

資料編

【資料編 目次】

第1章 使用済製品に関する事業者向けアンケート調査結果.....	1
1. 調査団体の概要.....	1
2. 使用済製品の引き渡し（廃棄、譲渡、販売等）に関して.....	6
3. 使用済製品の中古品・リユース品としての引き渡し状況について.....	17
4. 過去の中古品・リユース品の調達・購入について.....	26
第2章 使用済製品の品目別排出・流通実態（マテリアルフロー）の推計品目別の概要.....	38
1. 家具類.....	38
2. ブランド品.....	41
3. ブランド品を除く衣類・服飾品.....	44
4. ベビー・子供用品.....	47
5. 日用品・生活雑貨.....	50
6. スポーツ・レジャー用品.....	53
7. 書籍.....	56
8. ソフト・メディア類.....	59
9. ゲーム機器.....	62
10. 玩具・模型.....	65
11. カメラ・周辺機器.....	68
12. 携帯電話・スマートフォン.....	71
13. パソコン・周辺機器.....	74
14. 家電4品目（エアコン、テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫.....	77
15. その他の家電製品.....	80
16. 自転車、自転車部品・パーツ.....	83
17. カー用品.....	86
18. 自動車.....	89
19. バイク、原付バイク.....	92
20. その他.....	95

第1章 使用済製品に関する事業者向けアンケート調査結果

- ・ 民間データベースよりアンケート送付先を抽出。対象は 2,000 件、郵送法で実施した（※郵送で調査票を配布、郵送にて回答を回収）。
- ・ 対象とする業種は、日本標準産業分類¹の分類をもとに、同一業種内での事業者の規模に偏りが生じないように、従業員規模を踏まえて抽出を行った。
- ・ 以下は副次的に集計したものである。調査結果の詳細は、別データを参照のこと。

◆回収結果

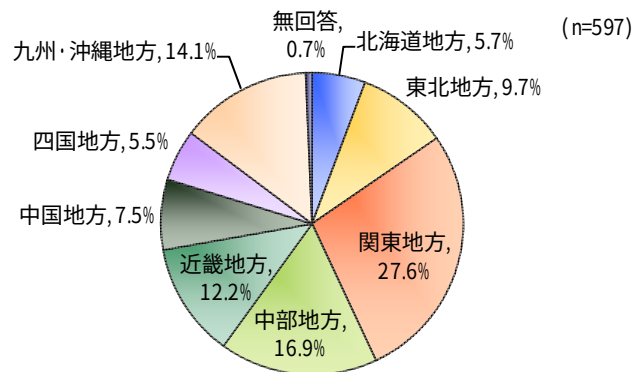
項目	件数・割合	備考・補足
発送数	2,000 件	うち、55 件が宛先・転居先不明で無効発送
回収数	597 件	
回収率	29.9%	回収数÷発送数として算出

1. 調査団体の概要

1.1 本社所在地

団体の本社所在地について、最も当てはまるとしては、「関東地方」の割合が最も高く 27.6%となっている。次いで、「中部地方（16.9%）」、「九州・沖縄地方（14.1%）」となっている。

図 1 本社所在地



Q.1 貴団体の本社所在地について、最も当てはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 北海道地方
2. 東北地方（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）
3. 関東地方（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）
4. 中部地方（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県）
5. 近畿地方（三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）
6. 中国地方（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）
7. 四国地方（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）
8. 九州・沖縄地方（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

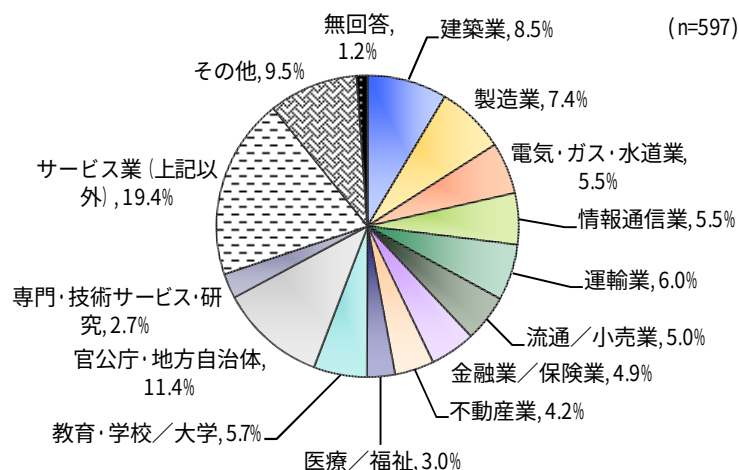
¹日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改定）（平成 26 年 4 月 1 日施行）

（http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/02toukatsu01_03000022.html、2014 年 8 月 28 日取得）

1.2 業種

団体の業種については、「サービス業（上記以外）」の割合が最も高く 19.4%となっている。次いで、「官公庁・地方自治体（11.4%）」、「その他（9.5%）」となっている。

図 2 業種



Q.2 貴団体の業種について、最も当てはまる番号に1つ○をつけてください。

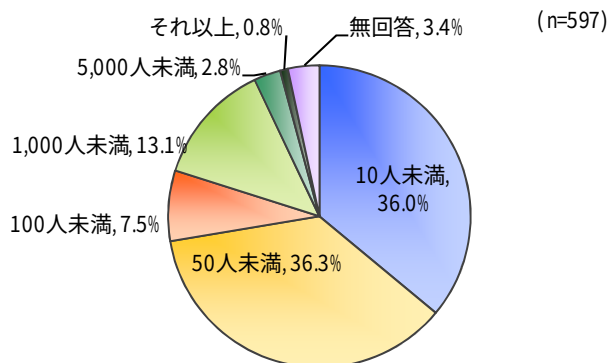
【業種】

1. 建設業 2. 製造業 3. 電気・ガス・水道業 4. 情報通信業 5. 運輸業
 6. 流通／小売業 7. 金融業／保険業 8. 不動産業 9. 医療／福祉 10. 教育、学校／大学
 11. 官公庁、地方自治体 12. 専門・技術サービス、研究 13. サービス業（上記以外）
 14. その他（ ）

1.3 直近の従業員・職員数

団体の1.3 直近の従業員・職員数は、「50人未満」の割合が最も高く 36.3%となっている。次いで、「10人未満（36.0%）」、「1,000人未満（13.1%）」となっている。

図 3 直近の従業員・職員数



Q.3 貴団体の直近の従業員・職員数（概数）を以下の空欄にご記入ください。

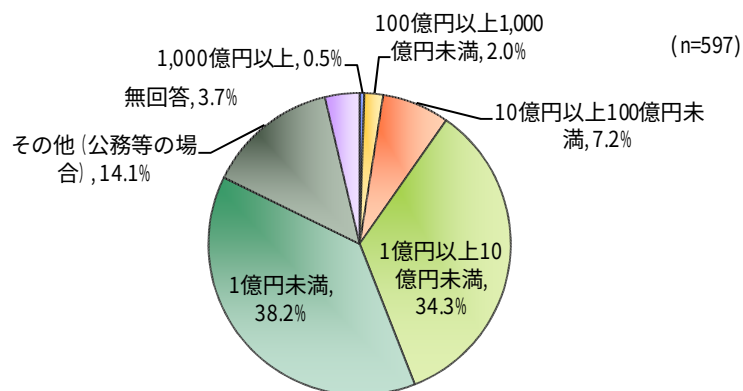
全従業員・職員数（パート・アルバイト含む） 約 _____人

（集計区分：10人未満、50人未満、100人未満、1,000人未満、5,000人未満、それ以上）

1.4 直近の売上規模

団体の直近の売上規模としては、「1 億円未満」の割合が最も高く 38.2%となっている。次いで、「1 億円以上 10 億円未満 (34.3%)」、「その他 (公務等の場合) (14.1%)」となっている。

図 4 直近の売上規模



Q.3 貴団体の直近の売上規模を以下の空欄にご記入ください。

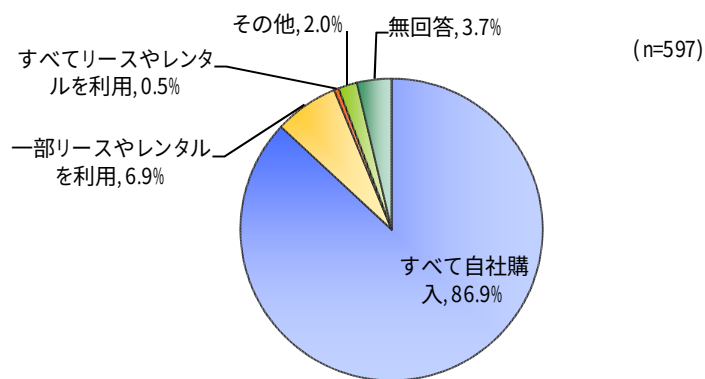
1. 「1,000 億円以上」
2. 「100 億円以上 1,000 億円未満」
3. 「10 億円以上 100 億円未満」
4. 「1 億円以上 10 億円未満」
5. 「1 億円未満」
6. その他 (公務等の場合)

1.5 オフィス家具の購入・調達の方法

1.5.1 オフィス家具の購入・調達の方法

団体における「オフィス家具」の購入・調達の方法については、「すべて自社購入」の割合が最も高く 86.9%となっている。次いで、「一部リースやレンタルを利用（6.9%）」となっている。

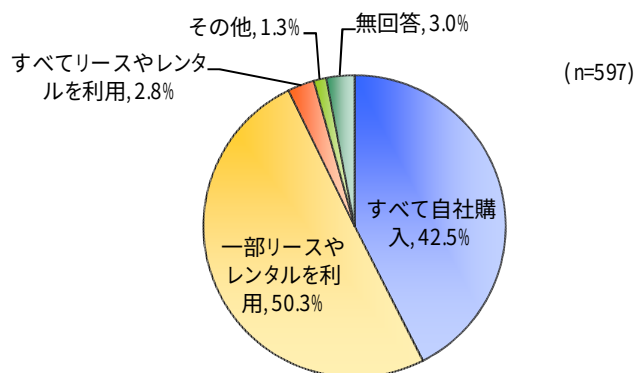
図 5 オフィス家具の購入・調達の方法



1.5.2 電気機器（OA 機器・家電製品）の購入・調達の方法

団体における「電気機器（OA 機器・家電製品）」の購入・調達方法については、「一部リースやレンタルを利用」の割合が最も高く 50.3%となっている。次いで、「すべて自社購入（42.5%）」となっている。

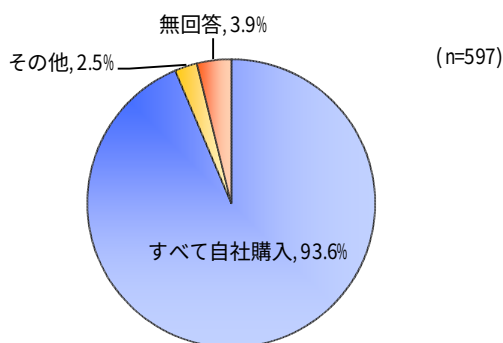
図 6 電気機器（OA 機器・家電製品）の購入・調達の方法



1.5.3 書類・書籍の購入・調達の方法

団体における「書類・書籍」の購入・調達の方法については、「すべて自社購入」の割合が最も高く 93.6%となっている。次いで、「その他（2.5%）」となっている。

図 7 書類・書籍の購入・調達の方法



Q.4 貴団体における「オフィス家具」、「電気機器（OA 機器・家電製品）」、「書類・書籍」の購入・調達の方法について、最も当てはまる番号に1つ○をつけてください。

また、自ら購入している際、その製品が新品か中古品・リユース品かをご回答ください。

【オフィス家具（机、書棚、ロッカー等）】

1. すべて自社購入している (A. すべて新品で購入 B. 一部中古品で購入)
2. 一部リースやレンタルを利用している
3. すべてリースやレンタルを利用している
4. その他 ()

【電気機器（パソコン、プリンター等の OA 機器・電気製品）】

1. すべて自社購入している (A. すべて新品を購入 B. 一部中古品を購入)
2. 一部リースやレンタルを利用している
3. すべてリースやレンタルを利用している
4. その他 ()

【書類・書籍】

1. すべて自社購入している (A. すべて新品を購入 B. 一部中古品を購入)
2. その他 ()

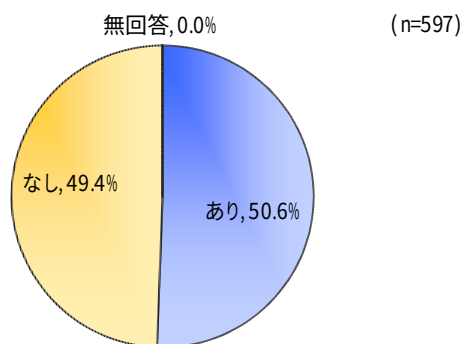
2. 使用済製品の引き渡し（廃棄、譲渡、販売等）に関して

2.1 不用・使用しなくなったもので、他者に引き渡し（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）の有無（過去1年間（平成27年1～12月）

2.1.1 不用・使用しなくなったものの引き渡しの有無（全体）

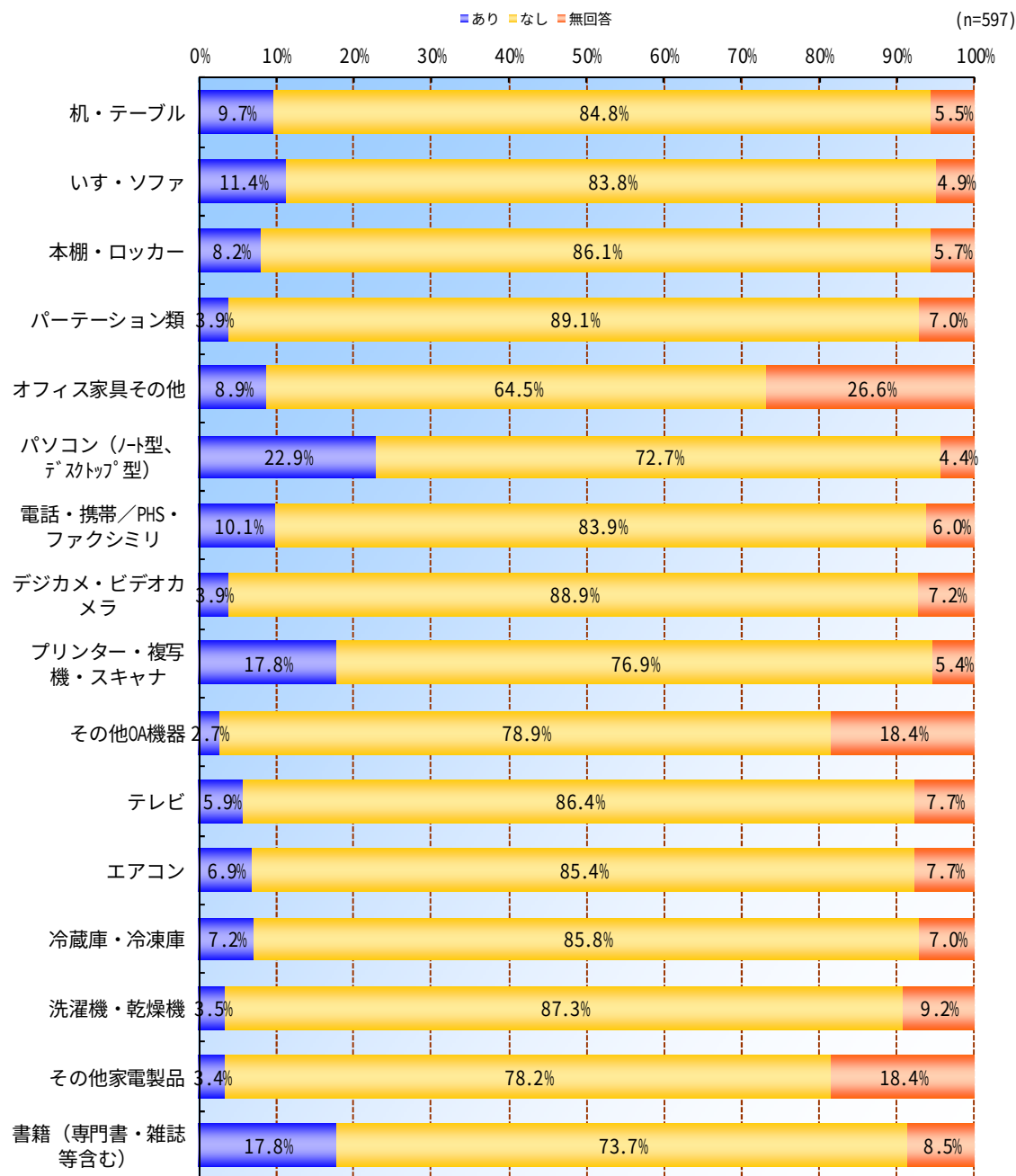
団体において、過去1年間（平成27年1～12月）に不用・使用しなくなったもので、他者に引き渡した（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）したものの有無を尋ねたところ、「あり」のが50.6%、「なし」が49.4%）となっている。

図 8 不用・使用しなくなったものを他者に引き渡し（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）の有無（過去1年間（平成27年1～12月）：全ての製品）



2.1.2 不用・使用しなくなったものの引き渡しの有無（品目別）

図 9 不用・使用しなくなったものを他者に引き渡し（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）の有無（過去1年間（平成27年1～12月））



Q.5 貴団体において、過去1年間（平成27年1～12月）に不用・使用しなくなったもので、他者に引き渡した（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）したものはございますか。具体的な品目・種類別に、引き渡しの有無をご記入ください。

また、お分かりであれば、引き渡し台数や引き渡し重量、貴団体での保有台数についてもご回答ください。

	品目	過去1年間の 他者へ引き渡し (いずれかに ○)	※おおよその数値をわかる範囲で ご記入ください		
			引き渡し台数	引き渡し重量	貴団体の 保有台数
オフィス 家具	机・テーブル	有 無	_____台	_____kg	_____台
	いす・ソファ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	本棚・ロッカー	有 無	_____台	_____kg	_____台
	パーテーション類	有 無	_____台	_____kg	_____台
	その他 ()	有 無	_____台	_____kg	_____台
電気機器 (OA 機 器・家電 製品)	パソコン (ノート型、デスクトップ型)	有 無	_____台	_____kg	_____台
	電話・携帯／PHS・ファクシミリ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	デジカメ・ビデオカメラ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	プリンター・複写機・スキャナ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	その他 OA 機器 ()	有 無	_____台	_____kg	_____台
	テレビ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	エアコン	有 無	_____台	_____kg	_____台
	冷蔵庫・冷凍庫	有 無	_____台	_____kg	_____台
	洗濯機・乾燥機	有 無	_____台	_____kg	_____台
	その他家電製品 ()	有 無	_____台	_____kg	_____台
書類	書籍 (専門書・雑誌等含む)	有 無	_____冊	_____kg	_____台

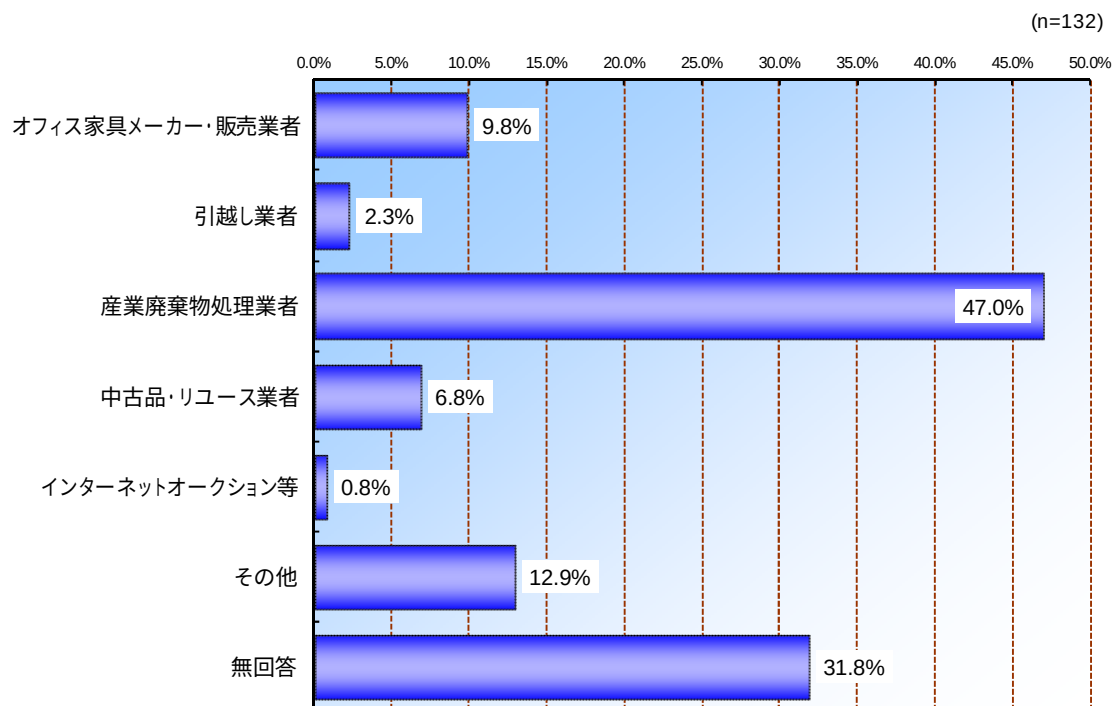
※排出台数もしくは重量のみお分りの場合は、いずれかの記載でも結構でございます。

2.2 不用・使用しなくなったものの引き渡し先

2.2.1 オフィス家具の場合

オフィス家具の不用・使用しなくなったものの引き渡し先としては、「産業廃棄物処理業者」の割合が最も高く 47.0%となっている。次いで、「その他（12.9%）」となっている。

図 10 不用・使用しなくなったものの引き渡し先（オフィス家具）



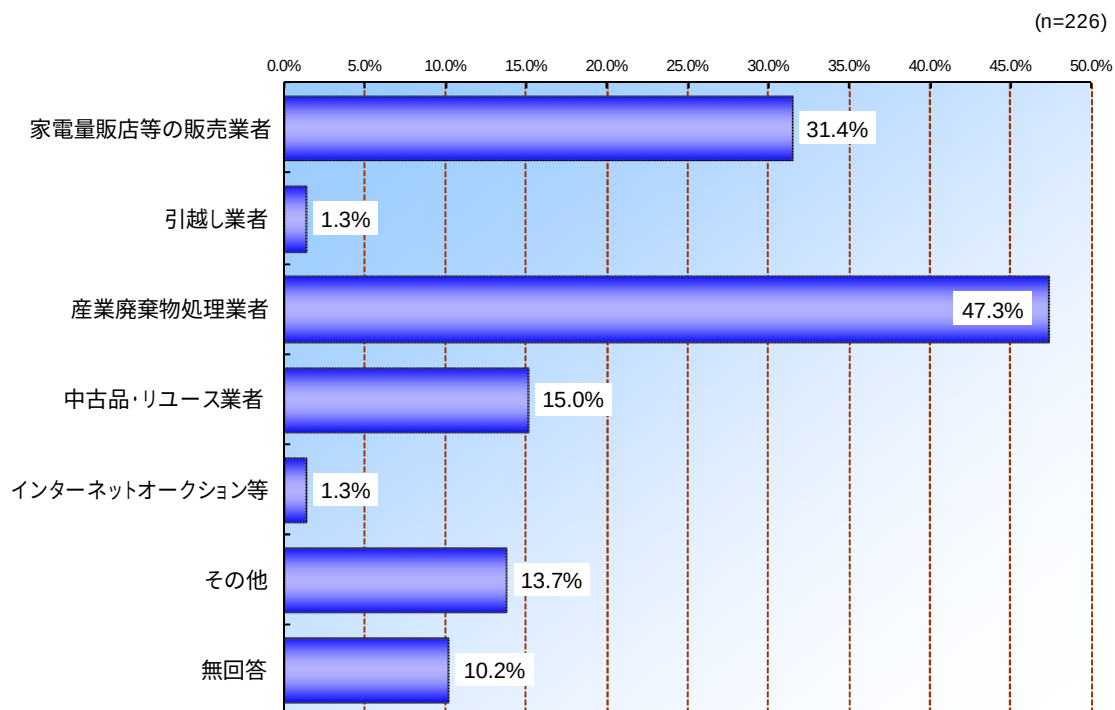
【その他の内容】

自治体（廃棄物処理局、クリーンセンター等）、知人友人、関連会社・団体、地域の子供会等

2.2.2 電気機器（OA機器、家電製品）の場合

電気機器（OA機器、家電製品）の不用・使用しなくなったものの引き渡し先としては、「産業廃棄物処理業者」の割合が最も高く 47.3%となっている。次いで、「家電量販店等の販売業者（31.4%）」、「中古品・リユース業者（15.0%）」となっている。

図 11 不用・使用しなくなったものの引き渡し先（電気機器（OA機器、家電製品））



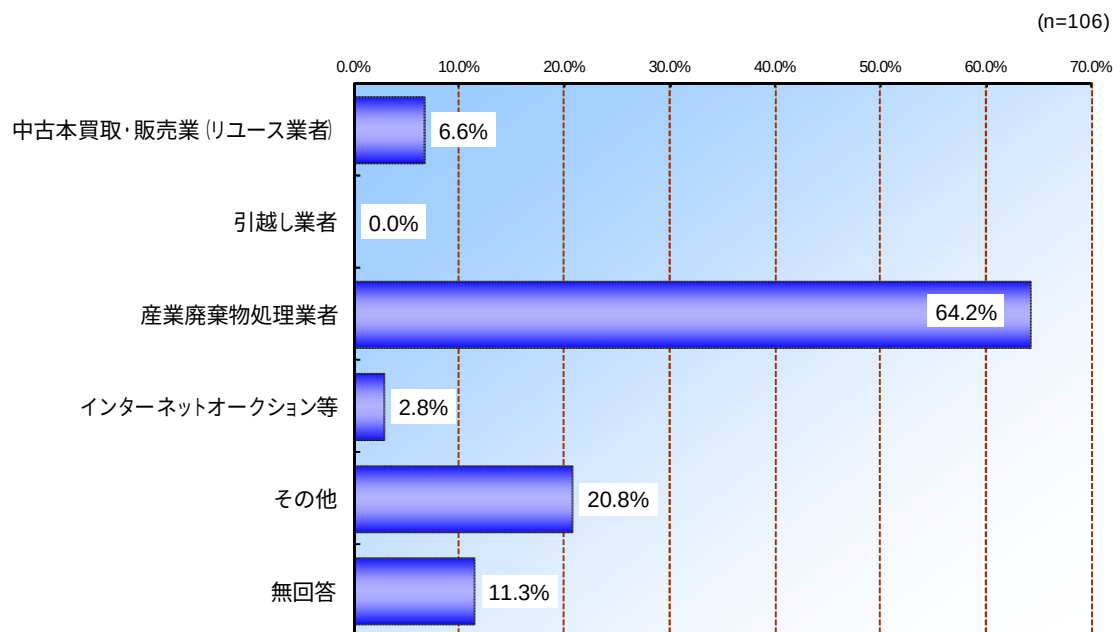
【引き渡した具体的品目】

パソコン、ファクシミリ、プリンタ、複写機、カメラ、電話、携帯電話、PHS、テレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫など

2.2.3 書籍の場合

書籍の不用・使用しなくなったものの引き渡し先としては、「産業廃棄物処理業者」の割合が最も高く 64.2%となっている。次いで、「その他 (20.8%)」となっている。

図 12 Q.6 不用・使用しなくなったものの引き渡し先（書籍）



Q.6 「Q.5」で、不用・使用しなくなったものを、他者に引き渡したことがある方にお伺いします。
(いずれの引き渡しも無かった場合には、Q7 をご回答ください)

引き渡し先として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、お分かりであれば、おおよその引き渡し先別の数量の割合をパーセント表記でご記入ください。電気機器 (OA 機器・家電製品) については、各引き渡し先に引き渡した具体的な品目に○をつけてください (複数回答可)

【オフィス家具】

1. オフィス家具メーカー・販売業者
2. 引越し業者
3. 産業廃棄物処理業者
4. 中古品・リユース業者
5. インターネットオークション等
6. その他 ()

【電気機器 (OA 機器・家電製品)】

1. 家電量販店等の販売業者
2. 引越し業者
3. 産業廃棄物処理業者
4. 中古品・リユース業者
5. インターネットオークション等
6. その他 ()

【書籍】

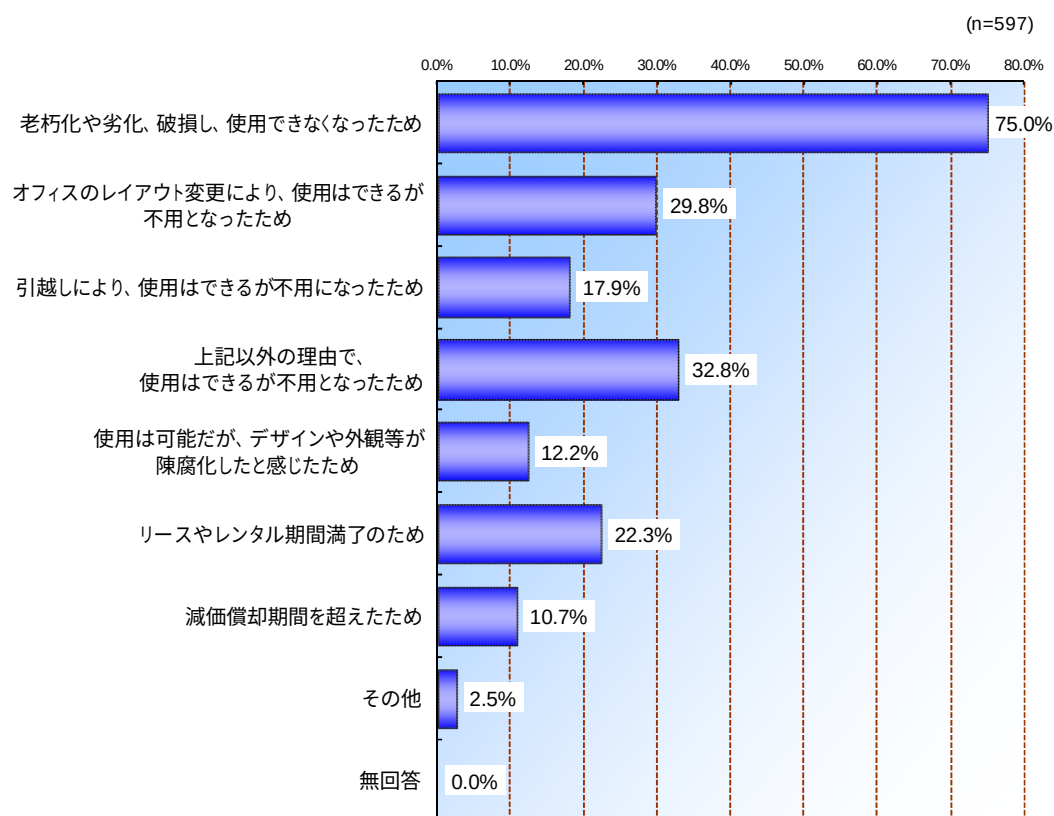
1. 中古本買取・販売業 (リユース業者)
2. 引越し業者
3. 産業廃棄物処理業者
4. インターネットオークション等
5. その他 ()

2.3 不用・使用しなくなったものを引き渡した理由

2.3.1 不用・使用しなくなったフィス家具を引き渡した理由

不用・使用しなくなったオフィス家具を引き渡した理由について、最も当てはまるもの上位3つ尋ねたところ、「老朽化や劣化、破損し、使用できなくなったため」の割合が最も高く75.0%となっている。次いで、「上記以外の理由で、使用はできるが不用となったため（32.8）」、「オフィスのレイアウト変更により、使用はできるが不用となったため（29.8%）」となっている。

図 13 不用・使用しなくなったオフィス家具を引き渡した理由

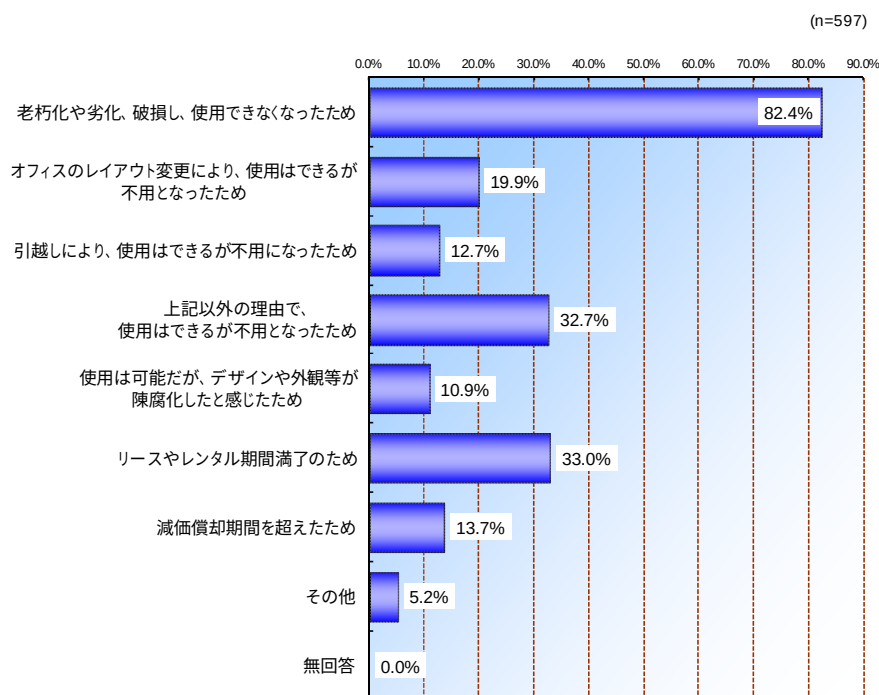


【その他の回答】
入居ビル解体のため、交換部品の製造終了のため、保管場所がないため 等

2.3.2 不用・使用しなくなった電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由

不用・使用しなくなった電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由について、最も当てはまるもの上位3つ尋ねたところ、「老朽化や劣化、破損し、使用できなくなったため」の割合が最も高く 82.4%となっている。次いで、「リースやレンタル期間満了のため（33.0%）」、「上記以外の理由で、使用はできるが不用となったため（32.7%）」となっている。

図 14 不用・使用しなくなった電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由



【その他の内容】

OS サポート終了に伴い（PC 等情報機器）、性能不足のため、入居ビル解体のため等

Q.7 すべての方にお伺いいたします。

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由について、それぞれ最も当てはまるもの上位3つをご回答ください。

（過去1年間に引き渡した実績のある方はその理由を、実績がない場合には不用・使用しなくなった場合を想定して回答ください。）

【オフィス家具】

1. 老朽化や劣化、破損し、使用できなくなったため
2. オフィスのレイアウト変更により、使用はできるが不用となったため
3. 引越により、使用はできるが不用になったため
4. 上記以外の理由で、使用はできるが不用となったため
5. 使用は可能だが、デザインや外観等が陳腐化したと感じたため
6. リースやレンタル期間満了のため
7. 減価償却期間を超えたため
8. その他（ ）

【電気機器（OA 機器・家電製品）について】

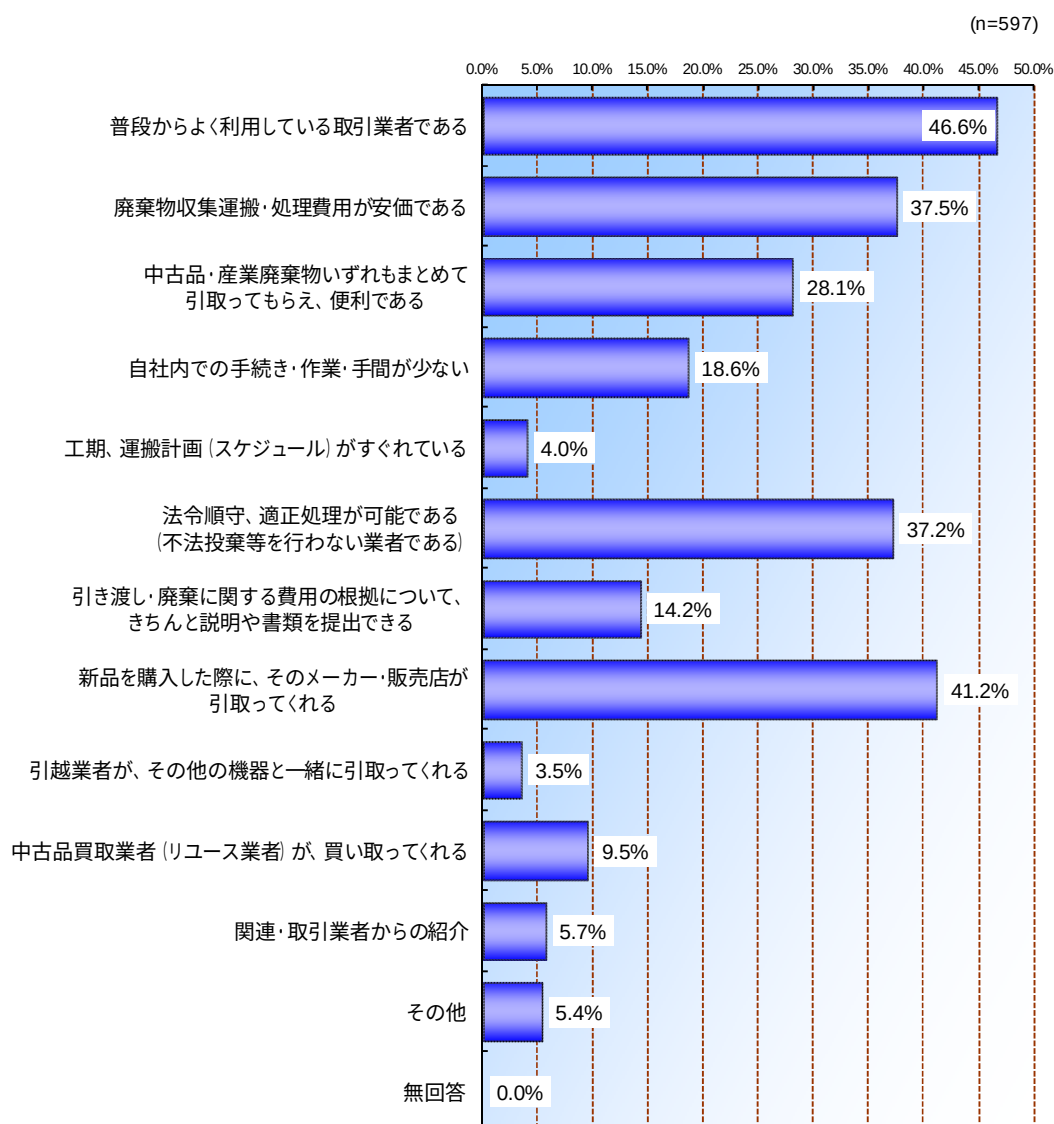
1. 老朽化や劣化、破損し、使用できなくなったため
2. オフィスのレイアウト変更により、使用はできるが不用となったため
3. 引越により、使用はできるが不用になったため
4. 上記以外の理由で、使用はできるが不用となったため
5. 使用は可能だが、デザインや外観等が陳腐化したと感じたため
6. リースやレンタル期間満了のため
7. 減価償却期間を超えたため
8. その他（ ）

2.4 不用・使用しなくなったものの引き渡し先の選定理由

2.4.1 引き取り先選定理由

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）の引き渡し先を選定した理由については、「普段からよく利用している取引業者である」の割合が最も高く 46.6%となっている。次いで、「新品を購入した際に、そのメーカー・販売店が引取ってくれる（41.2%）」、「廃棄物収集運搬・処理費用が安価である（37.5%）」となっている。

図 15 不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）の
引き渡し先を選定した理由



【その他の内容】

市町村からの紹介、組合等の指定業者だったため、ビル管理会社の指定業者のため等

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）の引き渡し先を選定した理由の中で、もっとも重視する理由は、「法令順守、適正処理が可能である（不法投棄等を行わない業者である）」の割合が最も高く 22.9%となっている。次いで、「新品を購入した際に、そのメーカー・販売店が引取ってくれる（18.4%）」、「普段からよく利用している取引業者である（16.4%）」となっている。

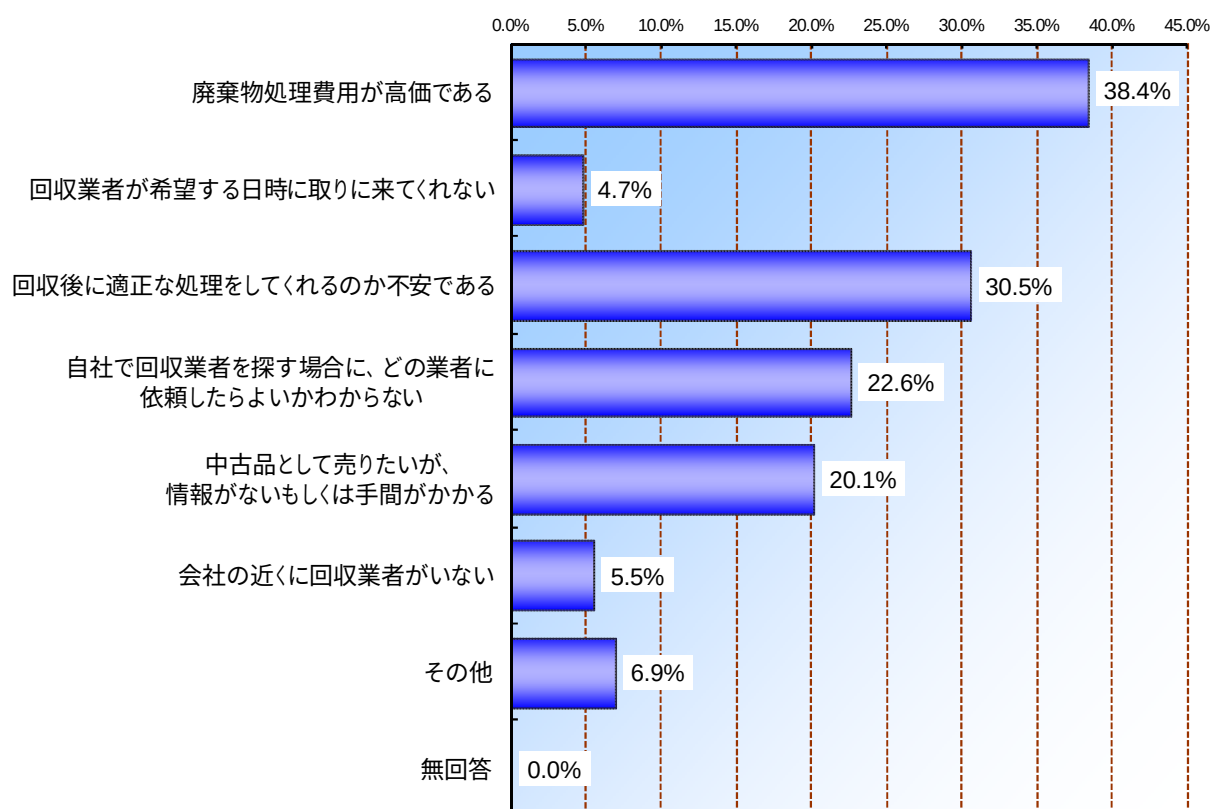
(n=597)

理由 (Reason)	割合 (Percentage)
通常からよく利用している取引業者である	16.4%
法令順守、適正処理が可能である (不法投棄等を行わない業者である)	22.9%
廃棄物収集運搬・処理費用が安価である	12.7%
中古品・産業廃棄物いずれもまとめて引取ってもらえ、便利である	7.4%
自社内での手続き・作業・手間が少ない	2.5%
工期、運搬計画 (スケジュール) がすぐれている	0.5%
引渡し・廃棄に関する費用の根拠について、きちんと説明や書類を提出できる	1.8%
新品を購入した際に、そのメーカー・販売店が引取ってくれる	18.4%
引越業者が、その他の機器と一緒に引取ってくれる	0.2%
中古品買取業者 (リユース業者) が、買い取ってくれる	2.2%
関連・取引業者からの紹介	0.8%
その他	2.7%
無回答	11.4%

1. 普段からよく利用している取引業者であること
2. 廃棄物収集運搬・処理費用が安価であること
3. 中古品・産業廃棄物いずれもまとめて引取ってもらえ、便利であること
4. 自社内での手続き・作業・手間が少ないこと
5. 工期、運搬計画（スケジュール）がすぐれていること
6. 法令順守、適正処理が可能であること（不法投棄等を行わない業者である）
7. 引き渡し・廃棄に関する費用の根拠について、きちんと説明や書類を提出できること
8. 新品を購入した際に、そのメーカー・販売店が引取ってくれる
9. 引越業者が、その他の機器と一緒に引取ってくれる
10. 中古品買取業者（リユース業者）が、買い取ってくれる
11. 関連・取引業者からの紹介
12. その他（ ）

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡す際に感じた問題点としては、「廃棄物処理費用が高価である」の割合が最も高く 38.4%となっている。次いで、「回収後に適正な処理をしてくれるのか不安である（30.5%）」、「自社で回収業者を探す場合に、どの業者に依頼したらよいかわからない（22.6%）」となっている。

(n=597)



自治体（廃棄物処理局、クリーンセンター等）、知人友人、関連会社・団体、地域の子供会等

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡す際に感じた問題点としてどのような点が挙げられますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 廃棄物処理費用が高価である
2. 回収業者が希望する日時に取りに来てくれない
3. 回収後に適正な処理をしてくれるのか不安である
4. 自社で回収業者を探す場合に、どの業者に依頼したらよいかわからない
5. 中古品として売りたいが、情報がないもしくは手間がかかる
6. 会社の近くに回収業者がない
7. その他 ()

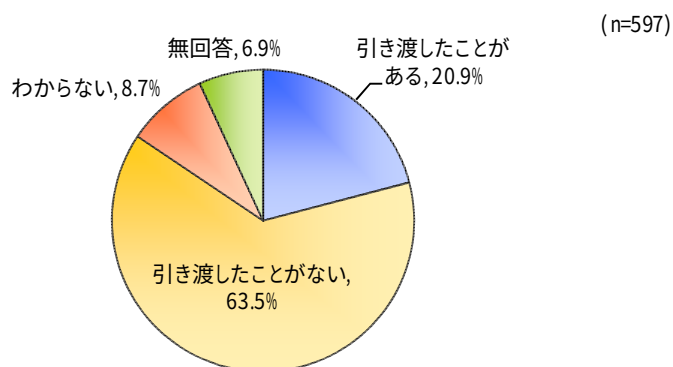
3. 使用済製品の中古品・リユース品としての引き渡し状況について

3.1 不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績

3.1.1 全業種

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績については、「引き渡したことがない」の割合が最も高く 63.5%となっている。次いで、「引き渡したことがある（20.9%）」、「わからない（8.7%）」となっている。

図 18 不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を
中古品・リユース品として引き渡した実績



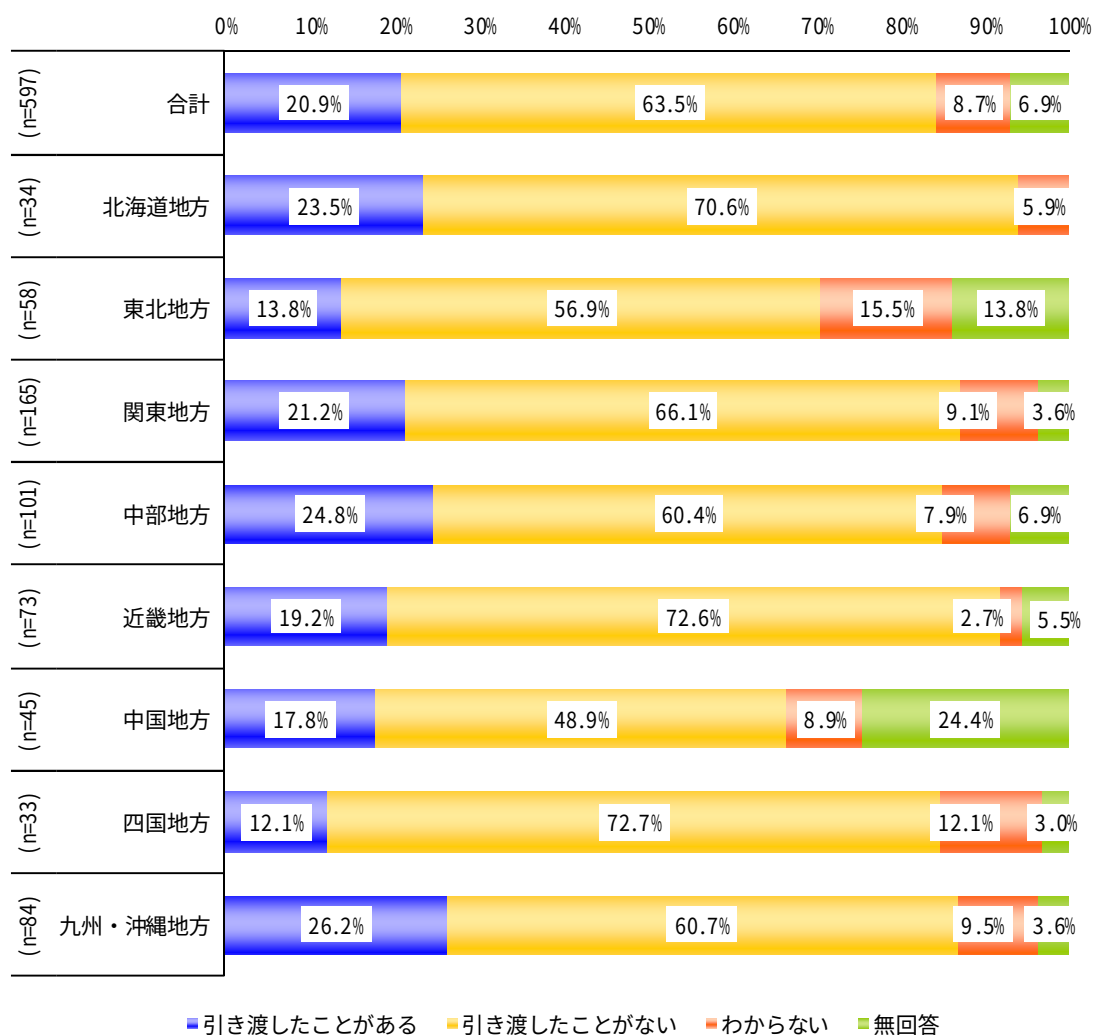
Q.11-A 不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績について、当てはまるものに1つ○をつけてください。

1. 引渡したことがある (→ Q.11-B～D をご回答ください)
2. 引渡したことがない (→ Q.11-E をご回答ください)
3. わからない (→ Q.12 をご回答ください)

3.1.2 本社所在地別

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績を、本社所在地別に見ると、「四国地方」における「引き渡したことがない（72.7%）」、「近畿地方」における「引き渡したことがない（72.6%）」、「北海道地方」における「引き渡したことがない（70.6%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

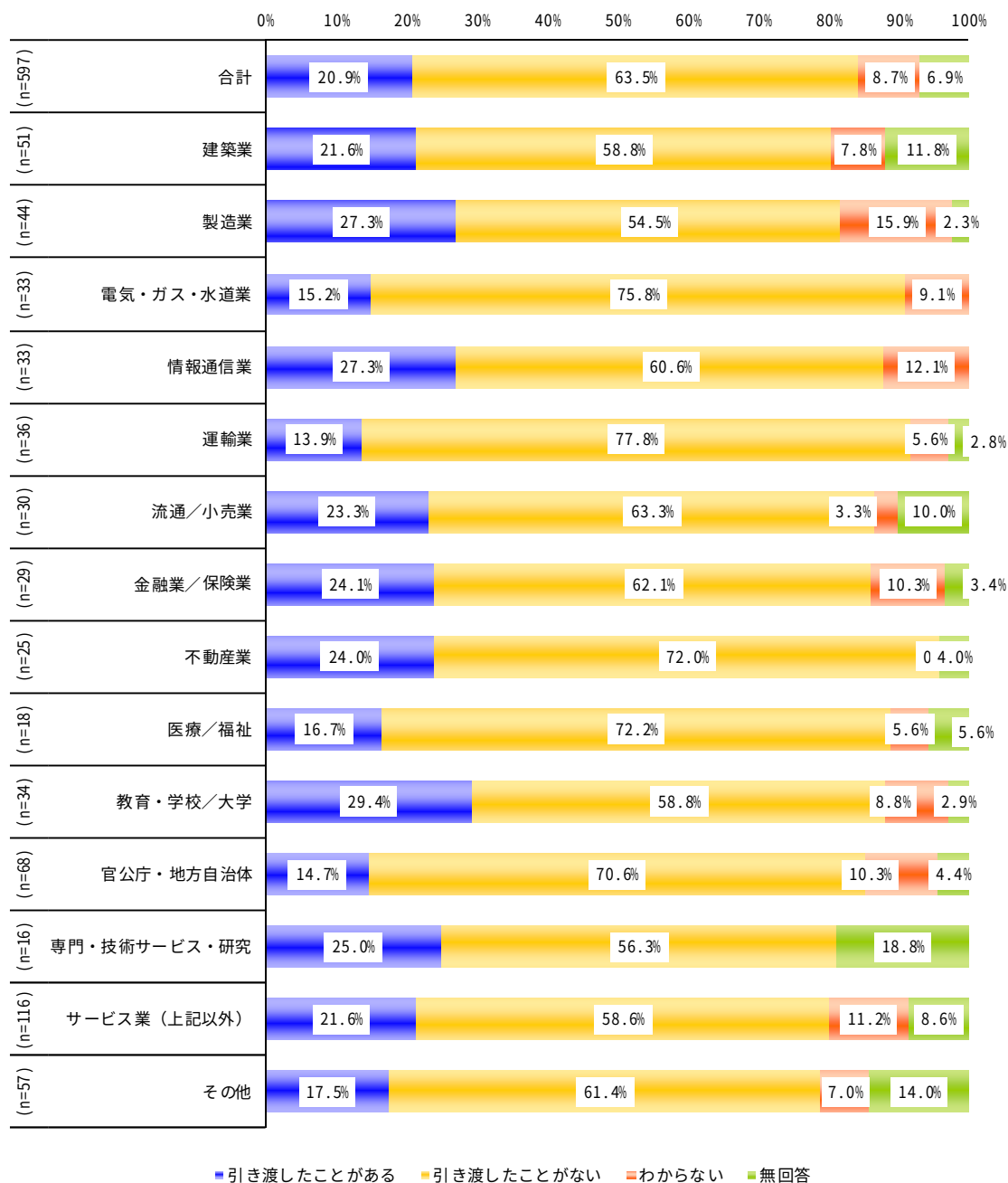
図 19 本社所在地別に見た不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績



3.1.3 業種別

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績を業種別に見ると、「運輸業」における「引き渡したことがない（77.8%）」、「電気・ガス・水道業」における「引き渡したことがない（75.8%）」、「医療／福祉」における「引き渡したことがない（72.2%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

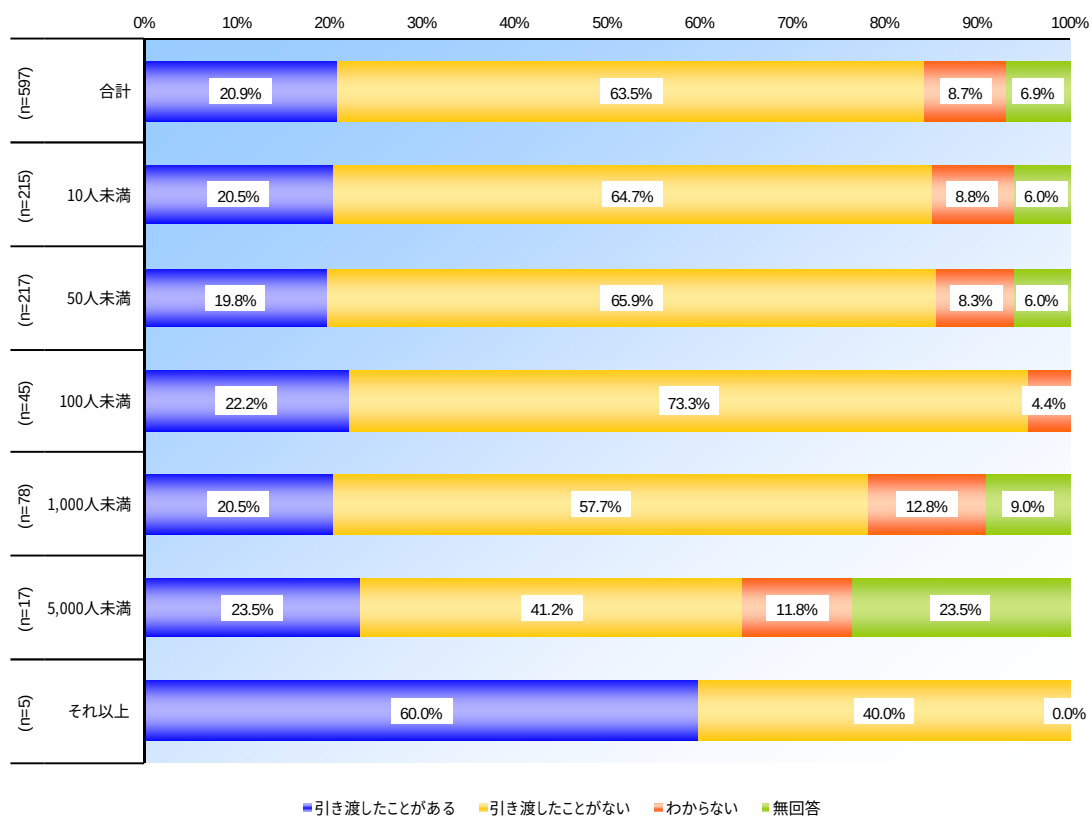
図 20 業種別に見た不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績



3.1.4 直近の従業員・職員数

直近の従業員・職員数別に見ると、「それ以上」における「引き渡したことがある（60.0%）」、「100人未満」における「引き渡したことがない（73.3%）」、「1,000人未満」における「わからない（12.8%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

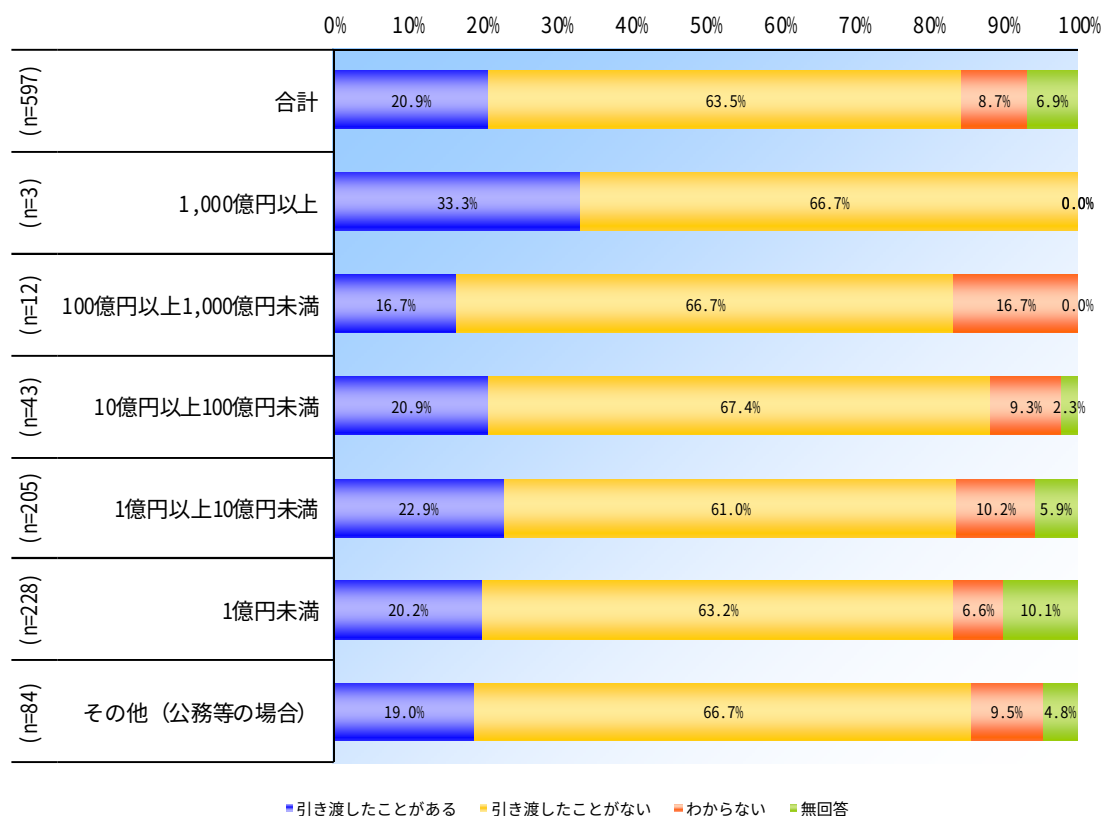
図 21 直近の従業員・職員数別に見た不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績



3.1.5 直近の売上規模別

直近の売上規模別に見ると、「1,000 億円以上」における「引き渡したことがある（33.3%）」、「100 億円以上 1,000 億円未満」における「わからない（16.7%）」、「10 億円以上 100 億円未満」における「引き渡したことがない（67.4%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

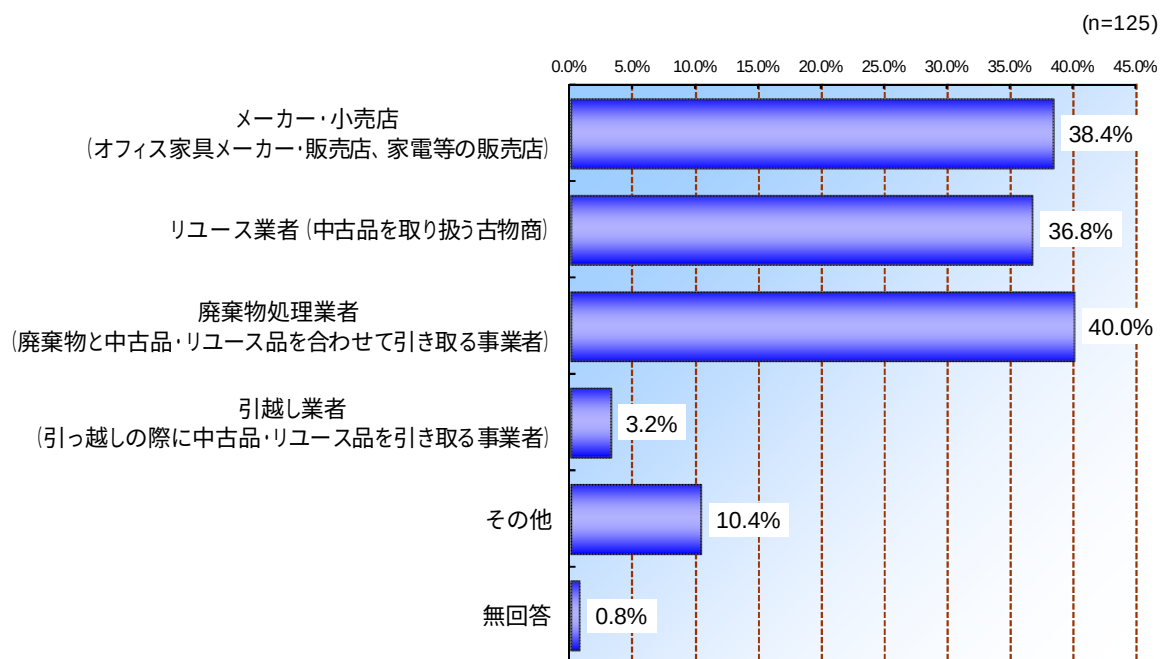
図 22 直近の売上規模別に見た不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績



3.2 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した先

中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した先としては、「廃棄物処理業者（廃棄物と中古品・リユース品を合わせて引き取る事業者）」の割合が最も高く 40.0%となっている。次いで、「メーカー・小売店（オフィス家具メーカー・販売店、家電等の販売店）（38.4%）」、「リユース業者（中古品を取り扱う古物商）（36.8%）」となっている。

図 23 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した先



【その他の内容】

同ビル内の他企業、関連会社、一般市民、知人友人、インターネットオークション等

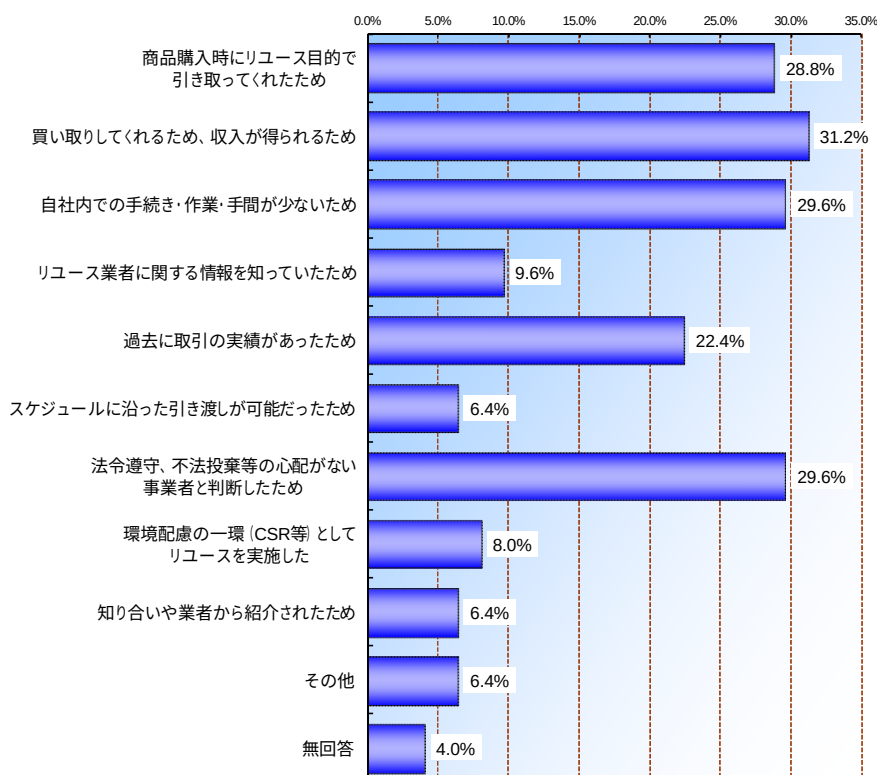
(Q.11-A で「1. 引渡したことがある」と回答した方が Q.11-B～D に回答ください)

Q.11-B 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した先として、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. メーカー・小売店（オフィス家具メーカー・販売店、家電等の販売店）
2. リユース業者（中古品を取り扱う古物商）
3. 廃棄物処理業者（廃棄物と中古品・リユース品を合わせて引き取る事業者）
4. 引越し業者（引っ越しの際に中古品・リユース品を引き取る事業者）
5. その他（)

中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由については、「買い取りしてくれるため、収入が得られるため」の割合が最も高く 31.2%となっている。次いで、「自社内での手続き・作業・手間が少ないため（29.6%）」、「法令遵守、不法投棄等の心配がない事業者と判断したため（29.6%）」となっている。

(n=125)



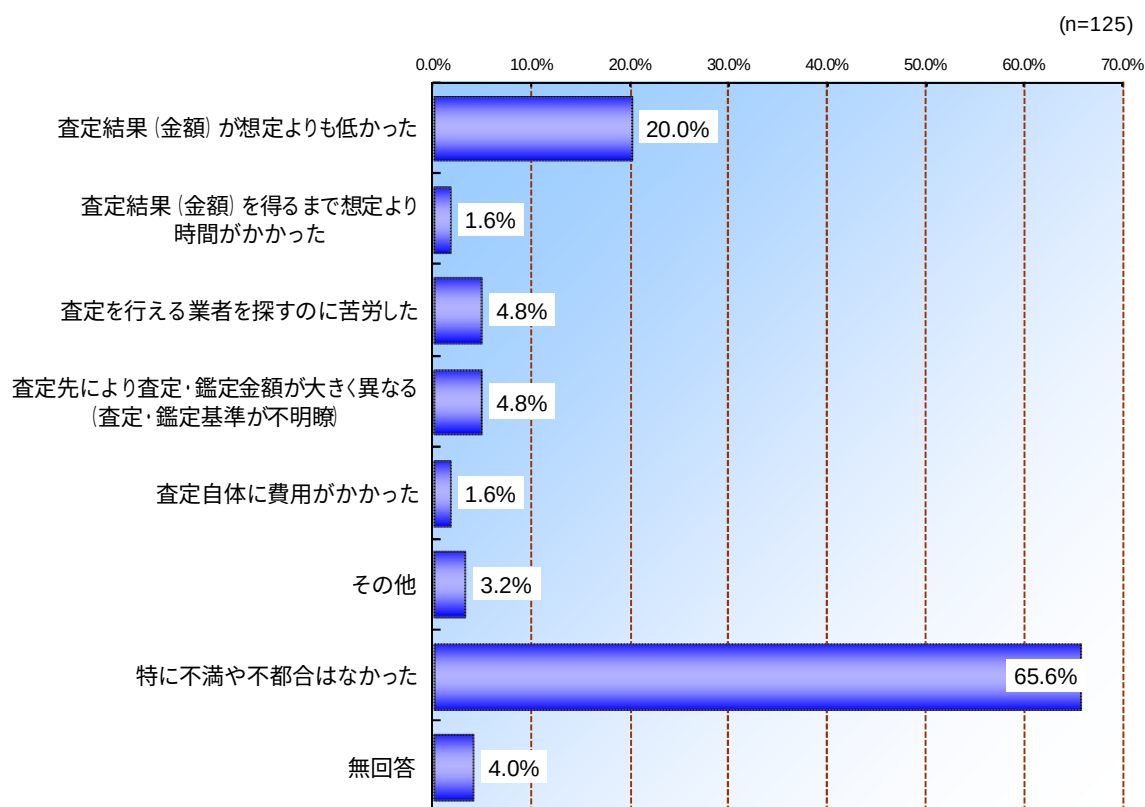
多少劣化はあったが引き取り先が引き取りを希望したため、一般市民等から要望があったため等

1. 商品購入時にリユース目的で引き取ってくれたため
2. 買い取りしてくれるため、収入が得られるため
3. 自社内での手続き・作業・手間が少ないため
4. リユース業者に関する情報を知っていたため
5. 過去に取引の実績があったため
6. スケジュールに沿った引き渡しが可能だったため
7. 法令遵守、不法投棄等の心配がない事業者と判断したため
8. 環境配慮の一環（CSR 等）としてリユースを実施した
9. 知り合いや業者から紹介されたため
10. その他（

3.4 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した際に感じた査定や手続きの問題点

中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した際に感じた査定や手続きの問題点については、「特に不満や不都合はなかった」の割合が最も高く 65.6% となっている。次いで、「査定結果（金額）が想定よりも低かった（20.0%）」、「査定を行える業者を探すのに苦労した（4.8%）」、「査定先により査定・鑑定金額が大きく異なる（査定・鑑定基準が不明瞭）（4.8%）」となっている。

図 25 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した際に感じた査定や手続きの問題点



【その他の内容】

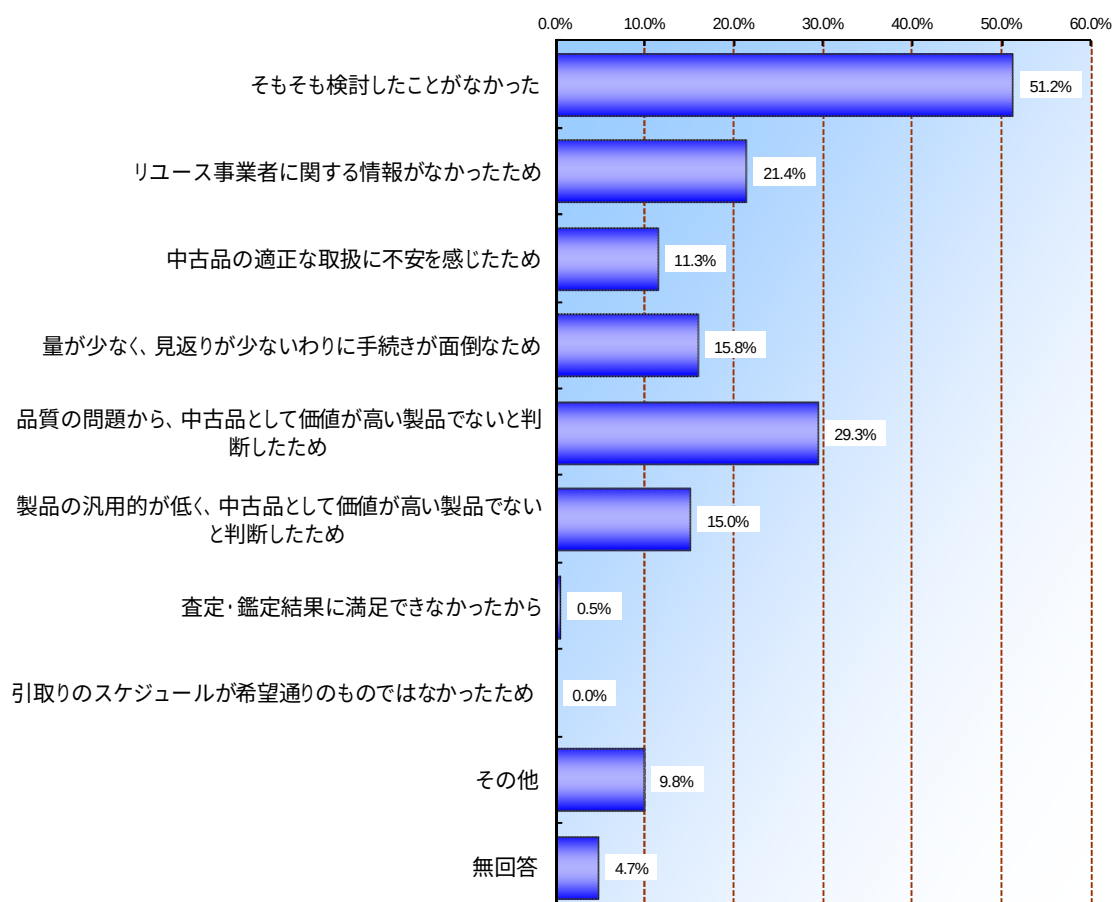
持込の手間が生じた、数量算定が大変だった、買取不可だった等

Q.11-D 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した際に感じた査定や手続きの問題点について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 査定結果（金額）が想定よりも低かった
2. 査定結果（金額）を得るまで想定より時間がかかった
3. 査定を行える業者を探すのに苦労した
4. 査定先により査定・鑑定金額が大きく異なる（査定・鑑定基準が不明瞭）
5. 査定自体に費用がかかった
6. その他（ ）
7. 特に不満や不都合はなかった

中古品・リユース品として、不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡したことがない理由については、「そもそも検討したことがなかった」の割合が最も高く 51.2%となっている。次いで、「品質の問題から、中古品として価値が高い製品でないと判断したため（29.3%）」、「リユース事業者に関する情報がなかったため（21.4%）」となっている。

(n=379)



情報漏えいの懸念（主に情報機器）、自社グループ内で再利用、社内でも有効活用等

1. そもそも検討したことがなかった
2. リユース事業者に関する情報がなかったため
3. 中古品の適正な取扱に不安を感じたため
4. 量が少なく、見返りが少ないわりに手続きが面倒なため
5. 品質の問題から、中古品として価値が高い製品でないと判断したため
6. 製品の汎用的が低く、中古品として価値が高い製品でないと判断したため
7. 査定・鑑定結果に満足できなかったから
8. 引取りのスケジュールが希望通りのものではなかったため
9. その他（

4. 過去の中古品・リユース品の調達・購入について

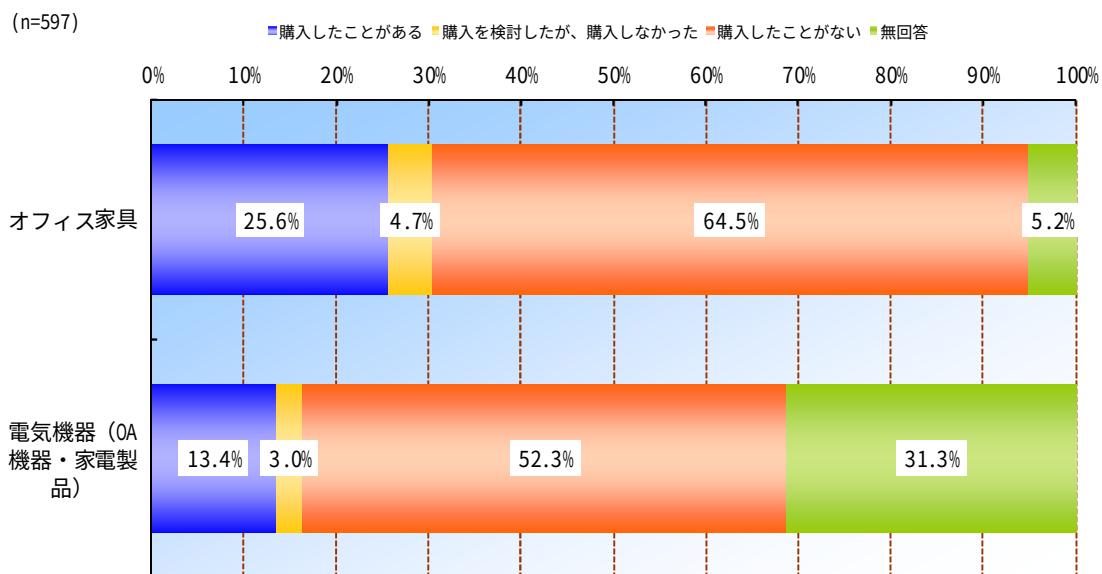
4.1 過去における中古品・リユース品の調達・購入の有無（オフィス家具）

4.1.1 全業種

過去（時期は問わない）におけるオフィス家具の中古品・リユース品を調達・購入の有無については、「購入したことがない」が最も高く、64.5%となっている。次いで、「購入したことがある（25.6%）」となっている。

過去（時期は問わない）に電気機器（OA 機器・家電製品における中古品・リユース品を調達・購入の有無については、「購入したことがない」の割合が最も高く 52.3%となっている。次いで、「購入したことがある（13.4%）」となっている。

図 27 過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品））



Q.12-A 貴団体では過去（時期は問いません）に中古品・リユース品を調達・購入したことがありますか。それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

【オフィス家具の中古品・リユース品の調達・購入について】

1. 購入したことがある （→ Q.12-B～E をご回答ください）
2. 購入を検討したが購入しなかった （→ Q.12-F をご回答ください）
3. 購入したことがない （→ Q.12-F をご回答ください）

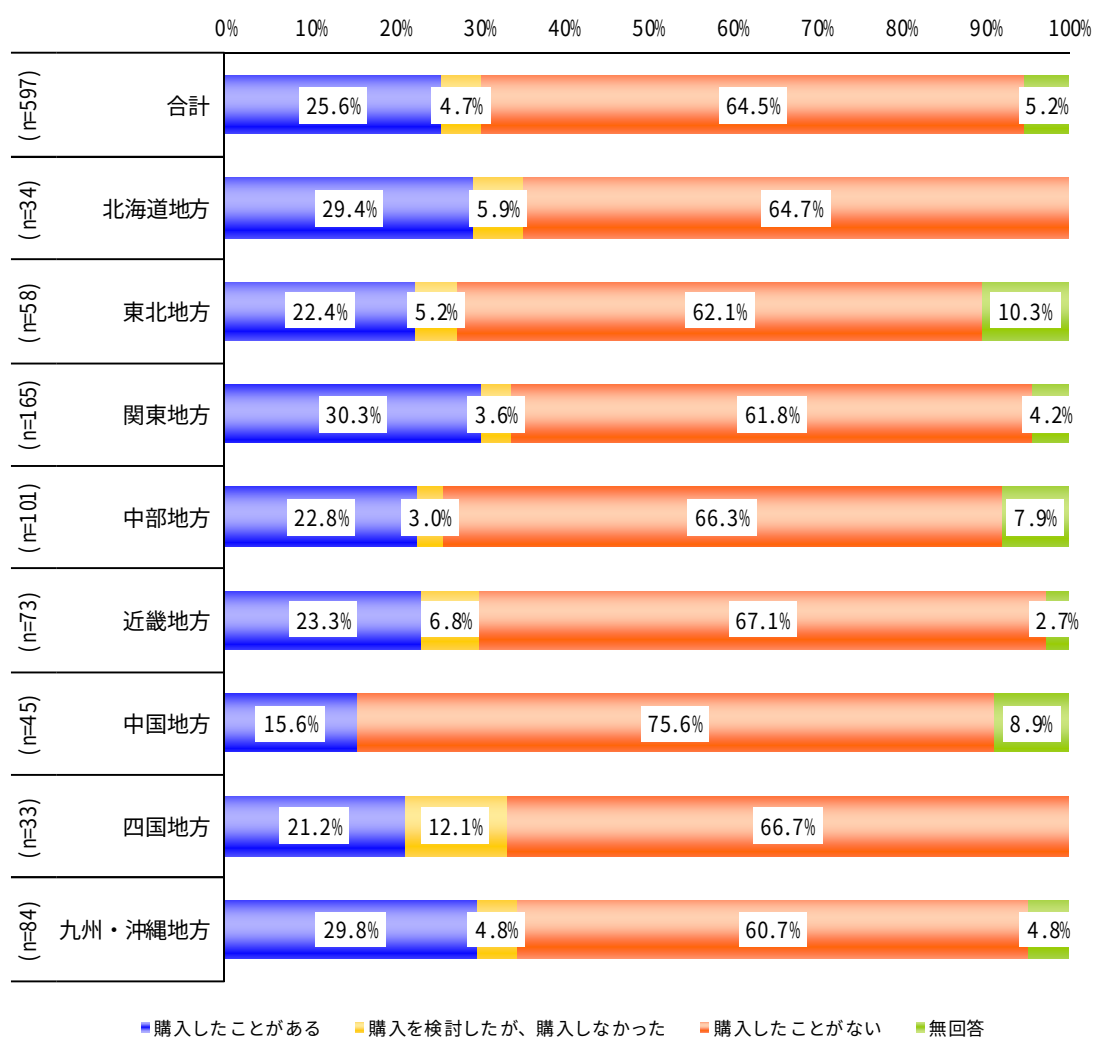
【電気機器（OA 機器・家電製品）の中古品・リユース品の調達・購入について】

1. 購入したことがある （→ Q.12-B～E をご回答ください）
2. 購入を検討したが購入しなかった （→ Q.12-F をご回答ください）
3. 購入したことがない （→ Q.12-F をご回答ください）

4.1.2 本社所在地別

過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）の有無を本社所在地別に見ると、「中国地方」における「購入したことがない（75.6%）」、「四国地方」における「購入を検討したが、購入しなかった（12.1%）」、「関東地方」における「購入したことがある（30.3%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

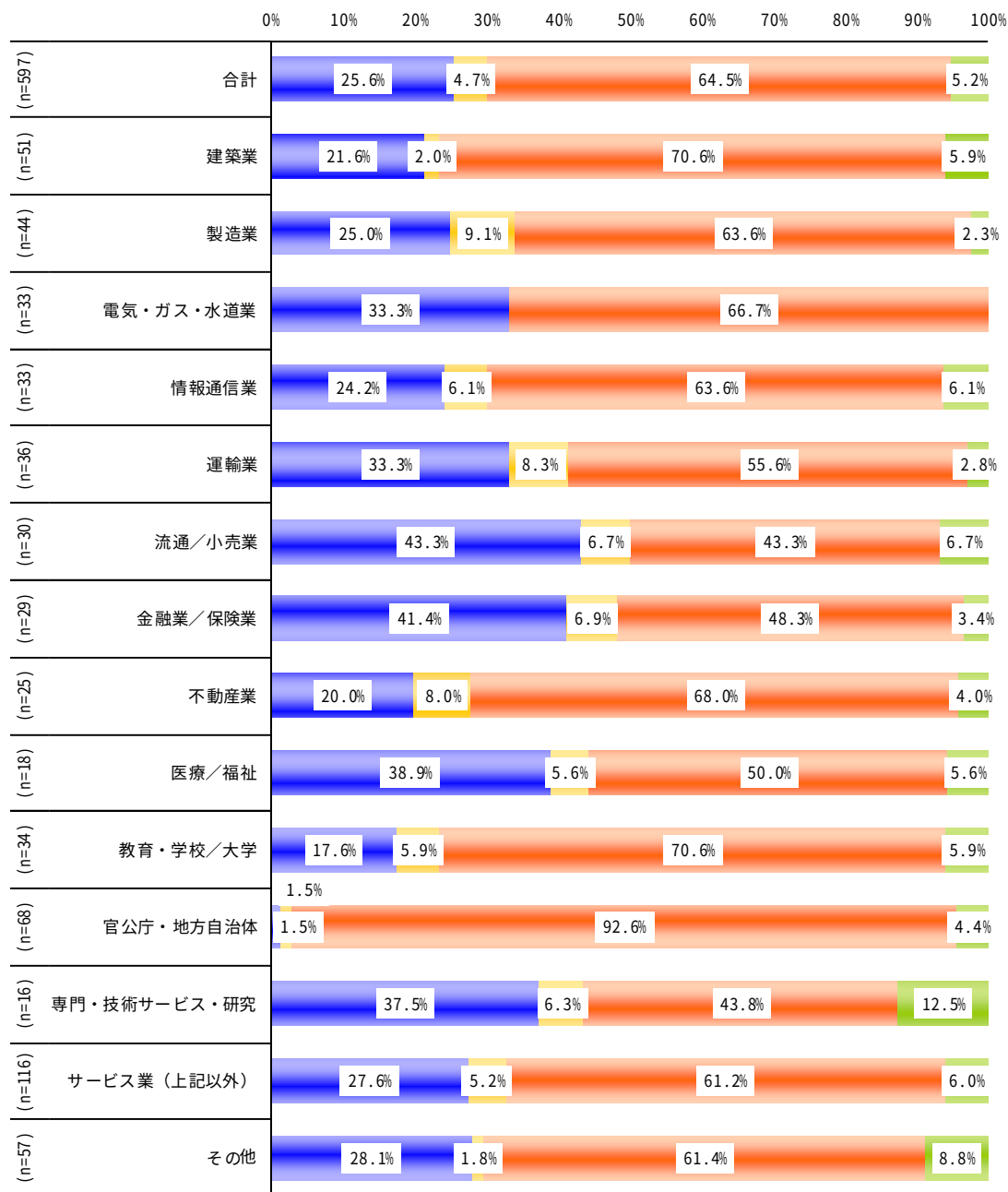
図 28 本社所在地別に見た過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）の有無



4.1.3 業種別

オフィス家具の中古品・リユース品の調達・購入の有無を業種別に見ると、「官公庁・地方自治体」における「購入したことがない(92.6%)」、「流通／小売業」における「購入したことがある(43.3%)」、「金融業／保険業」における「購入したことがある(41.4%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図 29 業種別に見た過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）

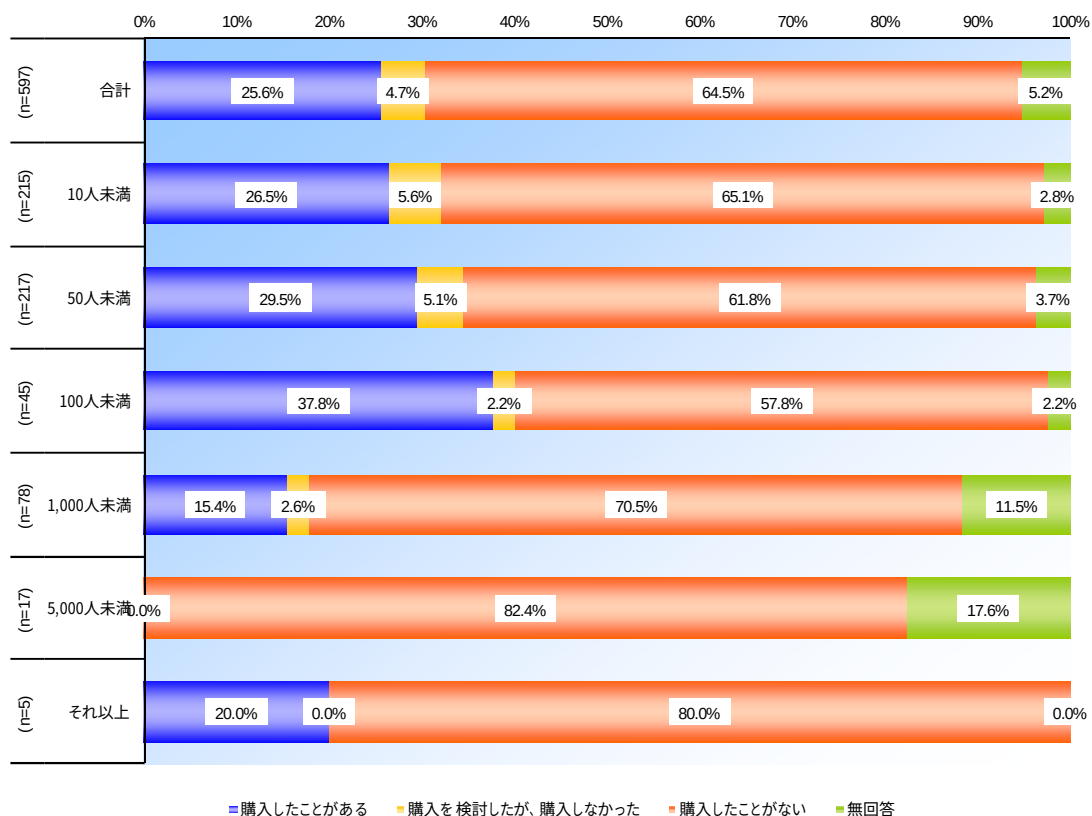


■購入したことがある ■購入を検討したが、購入しなかった ■購入したことがない ■無回答

4.1.4 直近の従業員・職員数別

直近の従業員・職員数別に見ると、「5,000 人未満」における「購入したことがない (82.4%)」、「それ以上」における「購入したことがない (80.0%)」、「100 人未満」における「購入したことがある (37.8%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

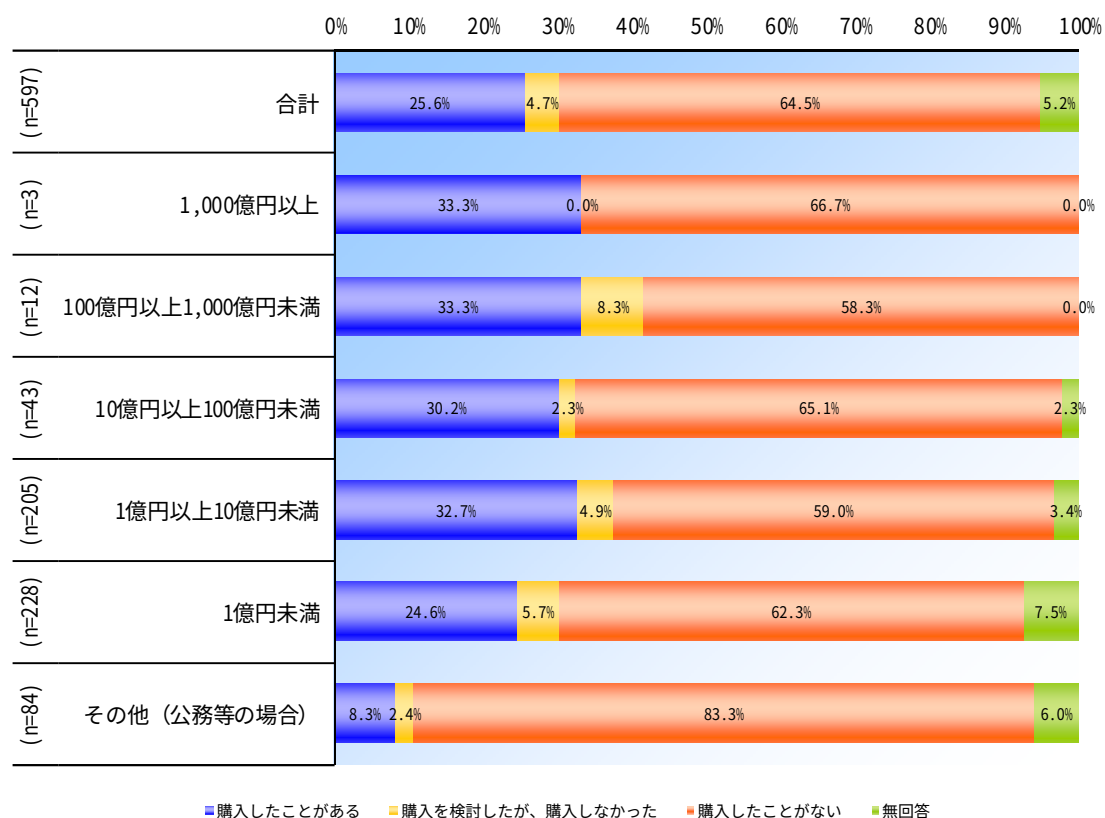
図 30 直近の従業員・職員数別に見た過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）



4.1.5 直近の売上規模別

過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）の有無を直近の売上規模別に見ると、「その他（公務等の場合）」における「購入したことがない（83.3%）」、「1,000 億円以上」における「購入したことがある（33.3%）」、「100 億円以上 1,000 億円未満」における「購入したことがある（33.3%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図 31 直近の売上規模別に見た過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）の有無



4.2 過去1年間及び5年間におけるリユース中古品・リユース製品の購入の有無

図 32 過去1年、5年の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）、書籍の平均値）

(n=597)

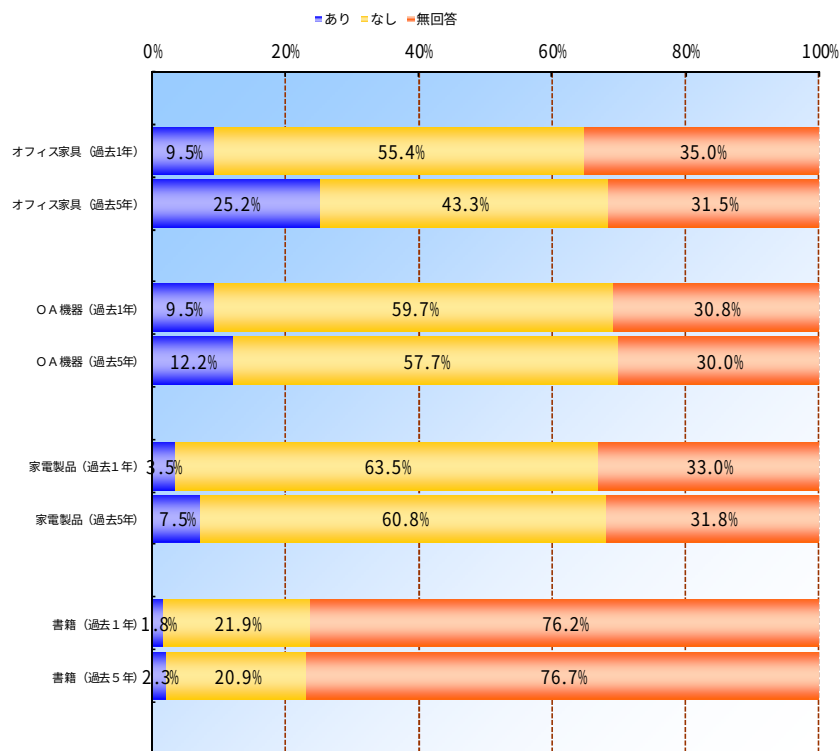


図 33 過去 1 年の中古品・リユース品の調達・購入（品目別）

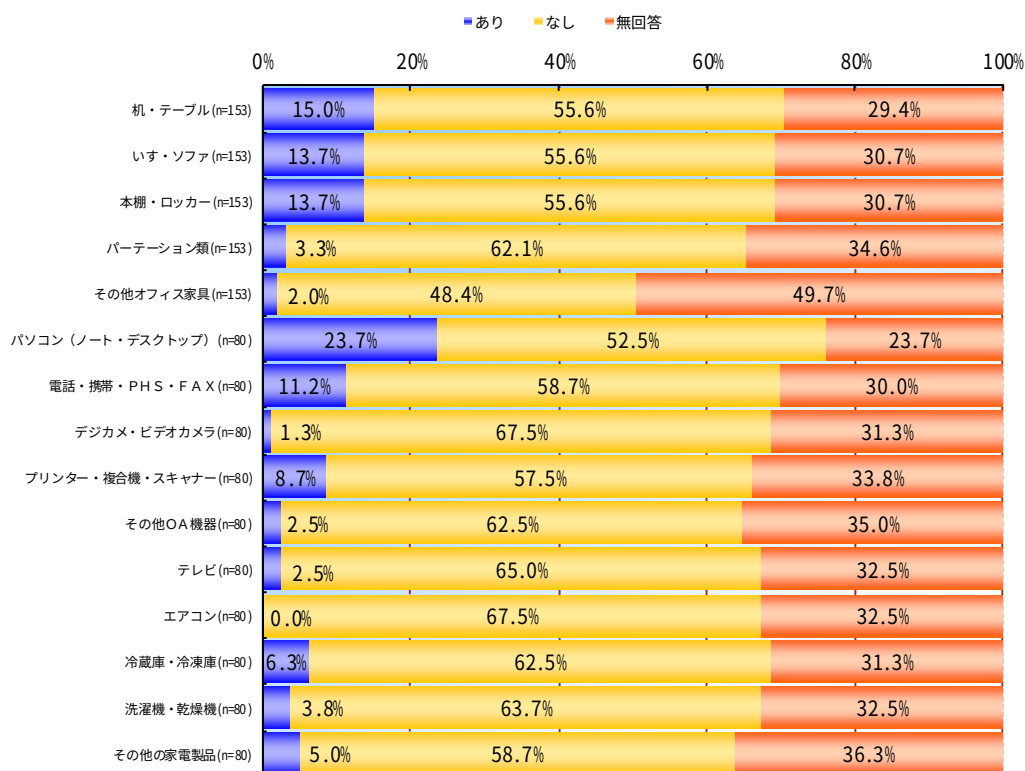
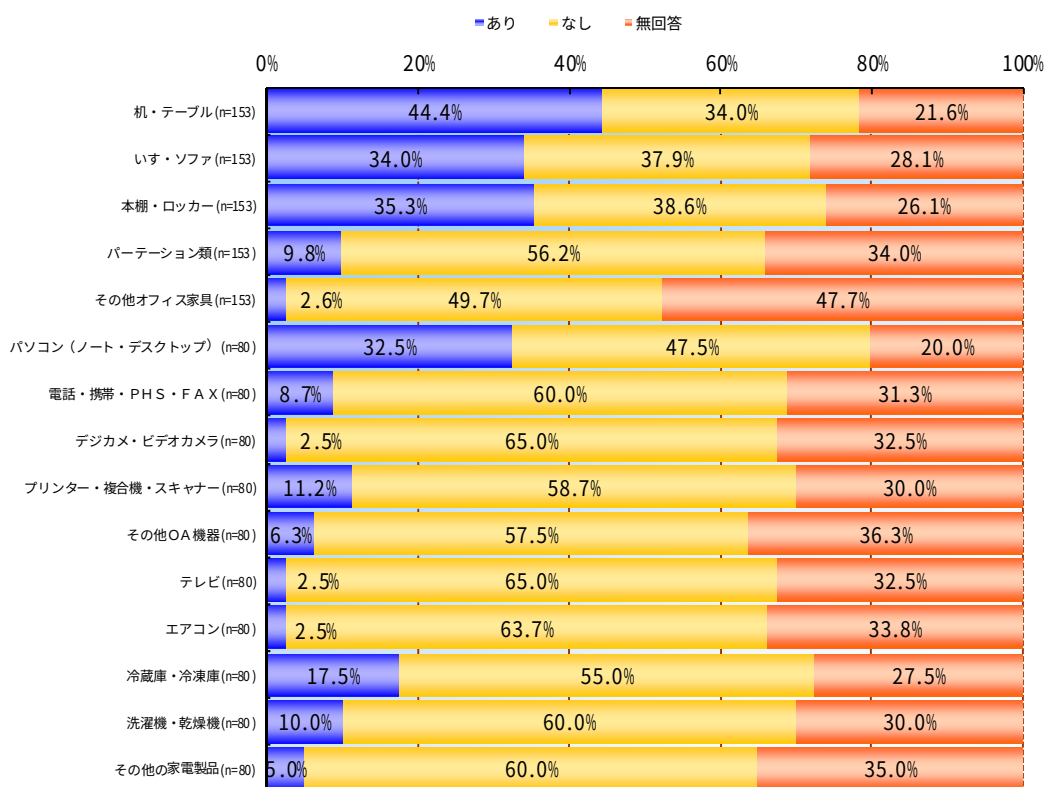


図 34 過去 5 年の中古品・リユース品の調達・購入（品目別）



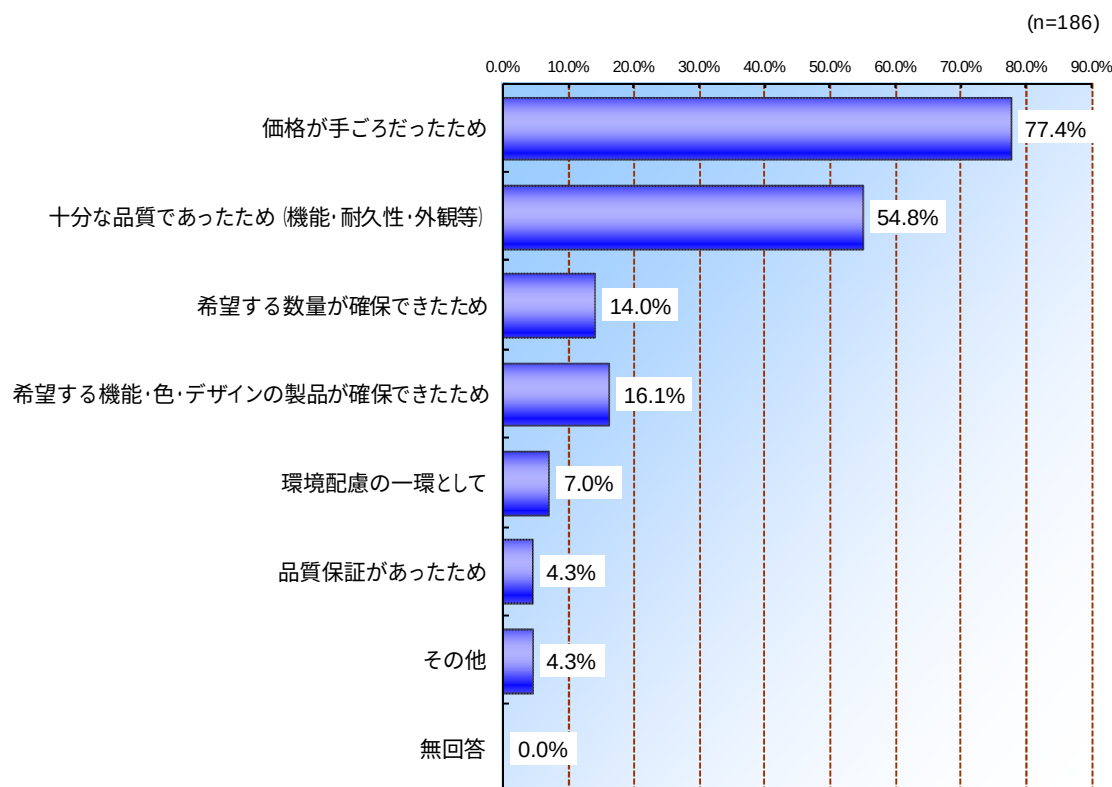
Q.12-B 貴団体において、過去1年間（平成27年）、過去5年程度の期間で、中古品・リユース製品を購入した経験の有無について、当てはまるものに○をつけてください。

品目		過去1年間の 中古品・リユース品の 購入有無 (いずれかに○)	過去5年程度の 中古品・リユース品の 購入の有無 (いずれかに○)
オフィス家具	机・テーブル	有 無	有 無
	いす・ソファ	有 無	有 無
	本棚・ロッカー	有 無	有 無
	パーテーション類	有 無	有 無
	その他（ ）	有 無	有 無
電気機器（OA機器・家電製品）	パソコン（ノート型、デスクトップ型）	有 無	有 無
	電話・携帯／PHS・ファクシミリ	有 無	有 無
	デジカメ・ビデオカメラ	有 無	有 無
	プリンター・複写機・スキャナ	有 無	有 無
	その他OA機器（ ）	有 無	有 無
	テレビ	有 無	有 無
	エアコン	有 無	有 無
	冷蔵庫・冷凍庫	有 無	有 無
	洗濯機・乾燥機	有 無	有 無
	その他家電製品（ ）	有 無	有 無
書籍	書籍	有 無	有 無

4.3 中古品・リユース品を購入した理由

中古品・リユース品を購入した理由については、「価格が手ごろだったため」の割合が最も高く77.4%となっている。次いで、「十分な品質であったため（機能・耐久性・外観等）（54.8%）」、「希望する機能・色・デザインの製品が確保できたため（16.1%）」となっている。

図 35 中古品・リユース品を購入した理由



【その他の内容】

知人の薦めがあったため、すぐに欲しかったため、もったいないと感じたため等

Q.12-C 中古品・リユース品を購入した理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

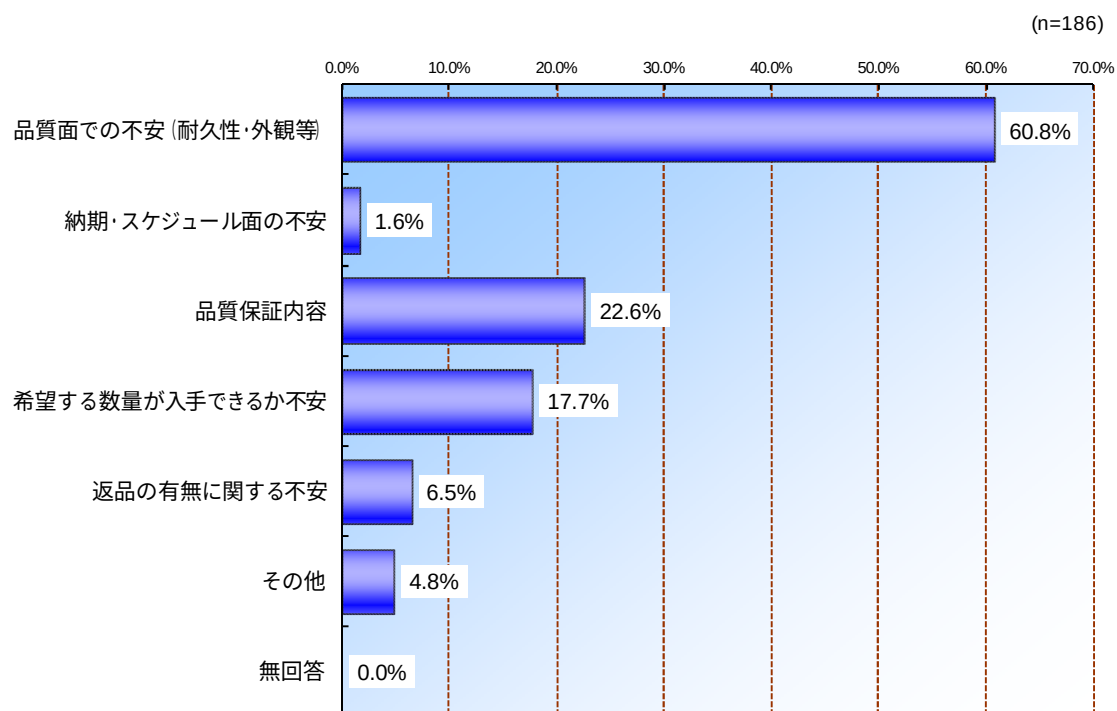
1. 価格が手ごろだったため
2. 十分な品質であったため（機能・耐久性・外観等）
3. 希望する数量が確保できたため
4. 希望する機能・色・デザインの製品が確保できたため
5. 環境配慮の一環として
6. 品質保証があったため
7. その他（

）

4.4 中古品・リユース品を購入した際に懸念された事項

中古品・リユース品を購入した際に懸念された事項については、「品質面での不安（耐久性・外観等）」の割合が最も高く 60.8%となっている。次いで、「品質保証内容（22.6%）」、「希望する数量が入手できるか不安（17.7%）」となっている。

図 36 中古品・リユース品を購入した際に懸念された事項



Q.12-D 中古品・リユース品を購入した際に懸念された事項について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 品質面での不安（耐久性・外観等）
2. 納期・スケジュール面の不安
3. 品質保証内容
4. 希望する数量が入手できるか不安
5. 返品の有無に関する不安
6. その他（

）

中古品・リユース品の購入先の認知経路については、「インターネット」の割合が最も高く 34.9% となっている。次いで、「その他 (28.0%)」、「新聞や雑誌等のチラシ・広告 (20.4%)」となっている。

情報源	割合
新聞や雑誌等のチラシ・広告	20.4%
インターネット	34.9%
検索エンジンで検索	7.5%
業者等からの紹介	17.2%
その他	28.0%
無回答	0.0%

(n=186)

近隣に店舗がある、既存の取引先、関連会社、知人友人、社員からの紹介等

1. 新聞や雑誌等のチラシ・広告
2. インターネット
3. 検索エンジンで検索
4. 業者等からの紹介
5. その他（ ）

中古品・リユース品の購入に至らなかった、あるいは購入したことがない理由については、「品質面（耐久性・外観等）で不安があったため」の割合が最も高く 45.5%となっている。次いで、「品質保証が不十分であったため（22.9%）」、「価格が思ったほど手ごろではなかったため（16.5%）」となっている。

A horizontal bar chart with a light blue background and vertical dashed grid lines. The x-axis at the top is labeled from 0.0% to 50.0% in 5.0% increments. The y-axis on the left lists ten reasons for dissatisfaction. Each reason is represented by a blue horizontal bar, with the percentage value displayed in a white box at the end of each bar.

不満理由	割合
価格が思ったほど手ごろではなかったため	16.5%
品質面（耐久性・外観等）で不安があったため	45.5%
希望する数量が入手できなかったため	5.1%
希望する機能・色・デザインの製品が得られなかったため	9.0%
品質保証が不十分であったため	22.9%
購入後の返品保証がない（あるいは不十分）だったため	8.3%
リユース品販売事業者の問い合わせ先に関する情報がなかったため	14.1%
リユース品販売事業者の信用度合いに関する情報がなかったため	10.7%
そもそもリユース事業者の存在を知らなかったため	14.6%
その他	9.7%
無回答	0.0%

前の使用者の使用状況が不明なため、希望製品を探す手間がかかる、時価算定が困難、指名登録業者の競争による購入を原則としている、実績がない等

1. 価格が思ったほど手ごろではなかったため
2. 品質面（耐久性・外観等）で不安があったため
3. 希望する数量が入手できなかったため
4. 希望する機能・色・デザインの製品が得られなかったため
5. 品質保証が不十分であったため
6. 購入後の返品保証がない（あるいは不十分）だったため
7. リユース品販売事業者の問い合わせ先に関する情報がなかったため
8. リユース品販売事業者の信用度合いに関する情報がなかったため
9. そもそもリユース事業者の存在を知らなかったため
10. その他（

第2章 使用済製品の品目別排出・流通実態（マテリアルフロー）の推計品目別の概要

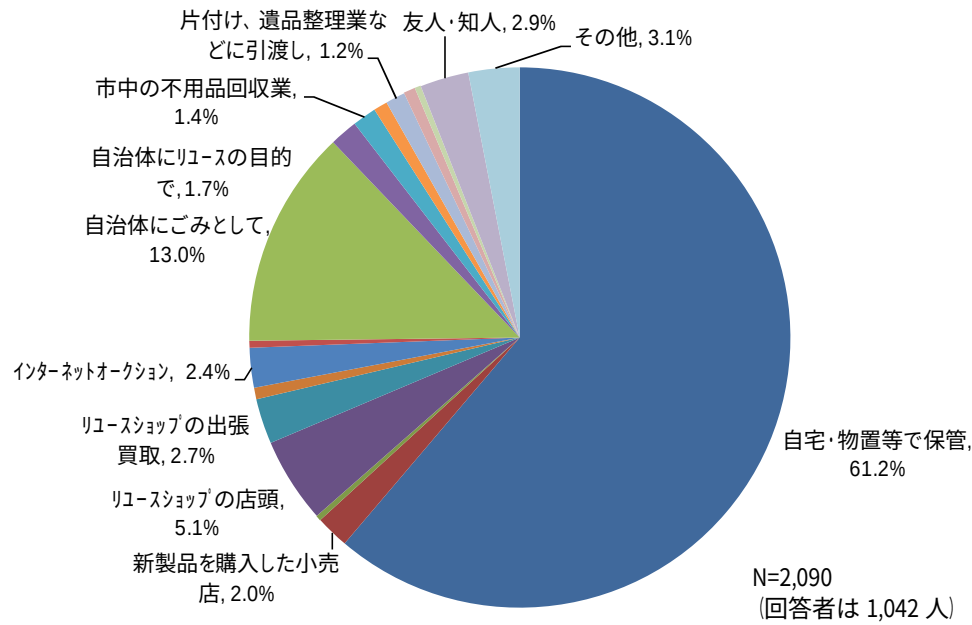
- 消費者モニターアンケートを踏まえた品目別の排出・流通実態の推計結果を以下に整理する。
- 以下は副次的に集計したものである。調査結果の詳細は、別データを参照のこと。

1. 家具類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家具類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった家具類の台数は2,090台（1,042人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く61.2%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.0%、「リユースショップの店頭で売却」が5.1%、「その他」が3.1%と続く。

図表 1 不用となった家具類の排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

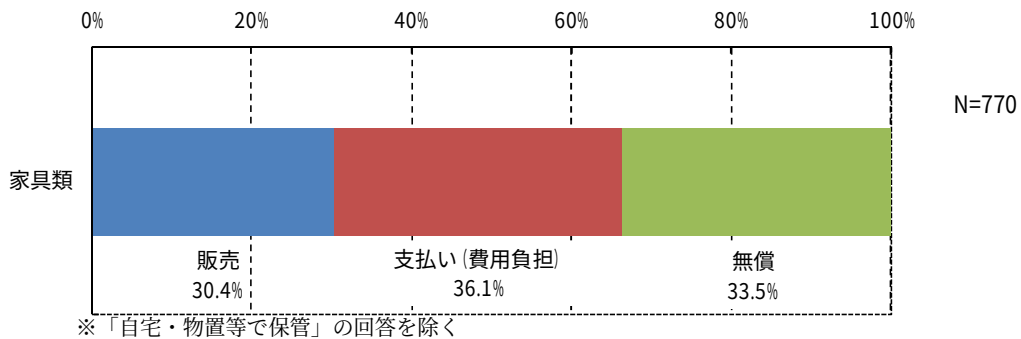
2) 不用品の排出における費用について

不用となった家具類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「支払い（費用負担）」との回答が最も多く 36.1%、次いで「無償」が 33.5%、「販売」は 30.4%となっている（図表 2）。また、「販売」の際の平均単価は 12,408 円/個、「支払い（費用負担）」は 4,556 円/個となっている（図表 3）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続く、そのうち 64.8%が「支払い（費用負担）」、「無償」が 34.9%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 89.1%（1,151 円/個）、「無償」が 10.0%、「友人・知人に譲渡売却」では「無償」が 68.3%、「販売」が 23.8%（500 円/個）、「支払い（費用負担）」が 7.9%（2,460 円/個）となっている。

図表 2 排出・引渡時の費用について（家具類）



図表 3 排出・引渡先別の割合・費用について（家具類）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
	個数	割合	(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,320	61.2%							1,320	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	43	2.0%	10	23.3%	5,900	4	9.3%	2,730	29	67.4%
その他の小売店に引渡し・売却	7	0.3%	5	71.4%	4,440	—	—	—	2	28.6%
リユースショップの店頭で売却	110	5.1%	98	89.1%	1,151	1	0.9%	500	11	10.0%
リユースショップの出張買取サービス	58	2.7%	41	70.7%	37,634	12	20.7%	33,833	5	8.6%
宅配で郵送する買取サービス	15	0.7%	8	53.3%	1,938	—	—	—	7	46.7%
インターネットオークションで売却	51	2.4%	42	82.4%	21,876	—	—	—	9	17.6%
フリマアプリで売却	9	0.4%	8	88.9%	21,500	—	—	—	1	11.1%
自治体にごみとして廃棄	281	13.0%	1	0.4%	300	182	64.8%	1,123	98	34.9%
自治体にリユースの目的で引渡し	36	1.7%	—	—	—	29	80.6%	3,460	7	19.4%
不用品回収業者に引渡し	31	1.4%	1	3.2%	100	12	38.7%	2,167	18	58.1%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	18	0.8%	1	5.6%	50	—	—	—	17	94.4%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	25	1.2%	—	—	—	23	92.0%	14,504	2	8.0%
引越し時に引越業者に引渡し	15	0.7%	1	6.7%	50,000	10	66.7%	17,260	4	26.7%
バザー・フリーマーケット等で売却	8	0.4%	3	37.5%	704	—	—	—	5	62.5%
友人・知人に譲渡・売却	63	2.9%	15	23.8%	500	5	7.9%	2,460	43	68.3%
その他	66	3.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,156	100.0%	234	11.2%	12,408	278	13.3%	4,556	1,578	75.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家具類の排出・流通実態の推計

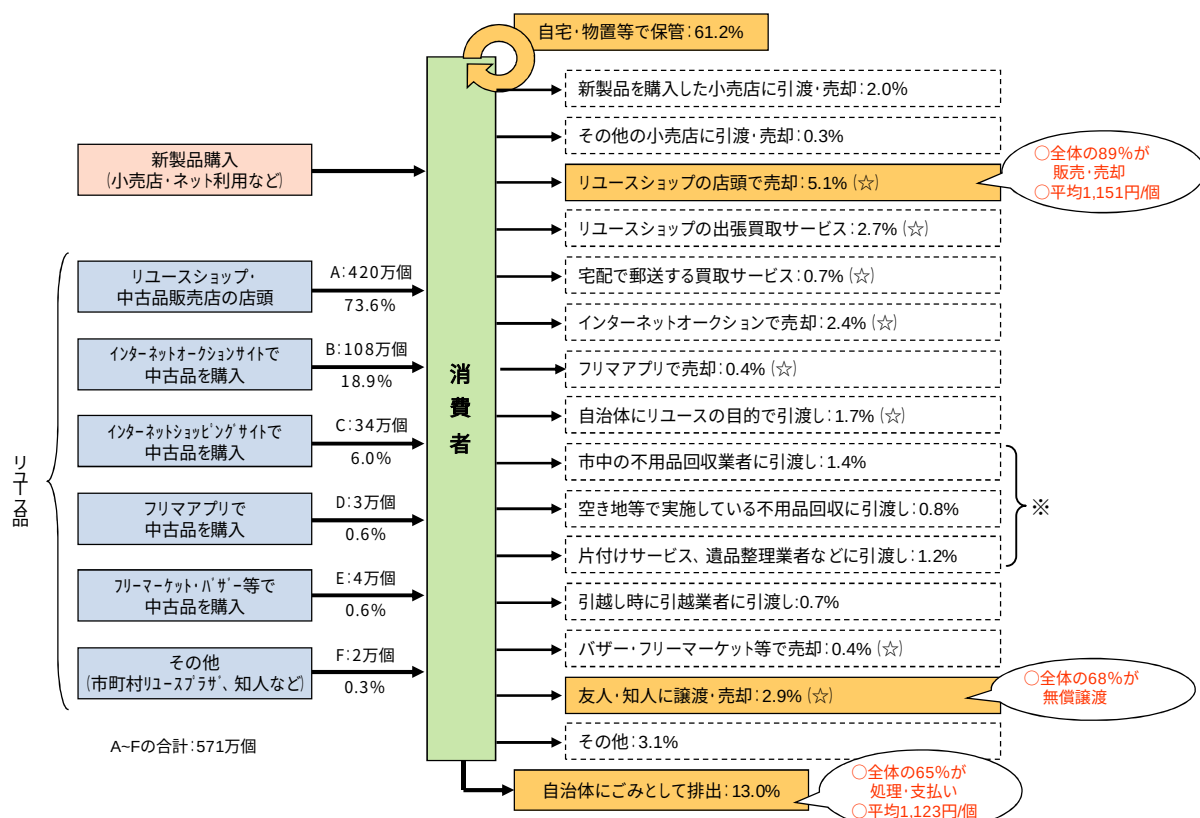
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は 571 万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 73.6%、420 万個、「インターネットオークションサイト」が 18.9%、108 万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった家具類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 61.2%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が 13.0%、「リユースショップの店頭で売却」が 5.1%、「友人・知人に譲渡・売却」が 2.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では支払が 65%を占め、その費用は平均 1,123 円/個となっている。「リユースショップの店頭」では販売が 89%、平均 1,151 円/個、「友人・知人に譲渡・売却」では無償譲渡が 68%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 16.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 45.5%を占めると推計される。

図表 4 家具類の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

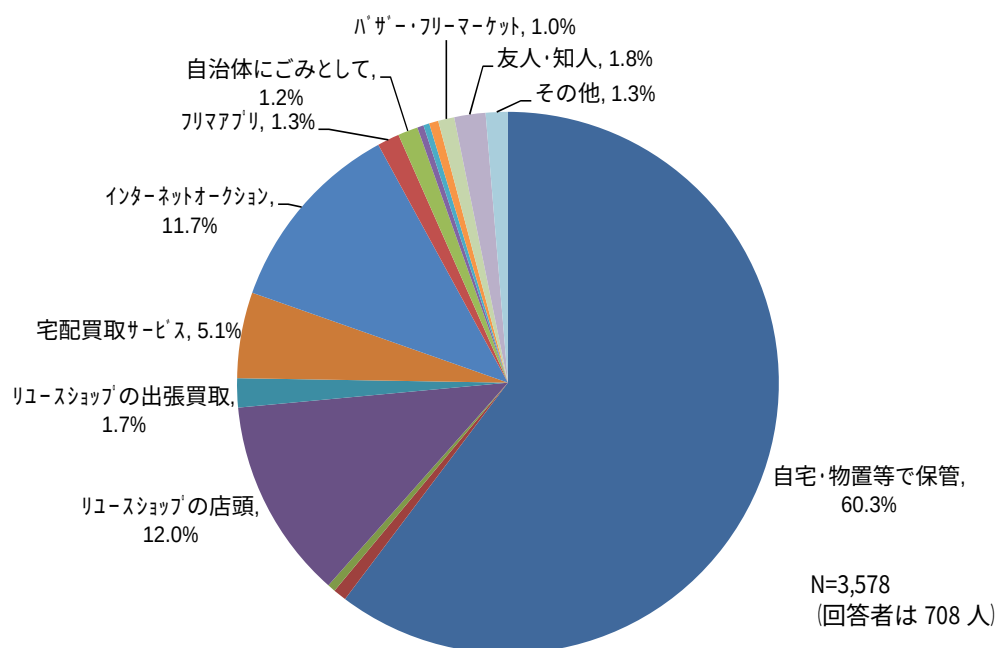
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

2. ブランド品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品の個数は3,578個（708人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が12.0%、「インターネットオークションで売却」が11.7%と続く。

図表 5 不用となったブランド品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

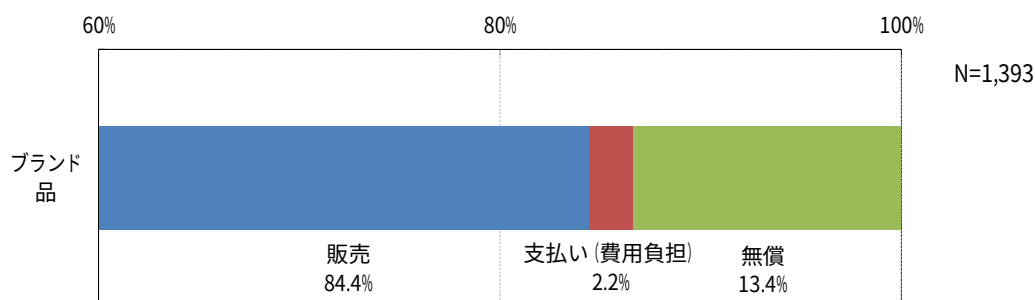
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 84.4%、次いで「無償」が 13.4%、「支払い（費用負担）」は 2.2%となっている（図表 6）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は 639 円/個、「販売」は 38,909 円/個となっている（図表 7）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 98.6%（8,382 円/個）となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 97.6%（20,205 円/個）、「無償」が 2.4%、「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 97.3%（126,943 円/個）となっている。

図表 6 排出・引渡時の費用について（ブランド品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 7 排出・引渡先別の割合・費用について（ブランド品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	2,185	60.3%	—	—	—	—	—	—	2,185	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	29	0.8%	18	62.1%	3,556	—	—	—	11	37.9%
その他の小売店に引渡し・売却	17	0.5%	16	94.1%	33,650	—	—	—	1	5.9%
リユースショップの店頭で売却	435	12.0%	429	98.6%	8,382	2	0.5%	2,000	4	0.9%
リユースショップの出張買取サービス	63	1.7%	62	98.4%	143,013	—	—	—	1	1.6%
宅配で郵送する買取サービス	186	5.1%	181	97.3%	126,943	—	—	—	5	2.7%
インターネットオークションで売却	423	11.7%	413	97.6%	20,205	—	—	—	10	2.4%
フリマアプリで売却	48	1.3%	38	79.2%	33,130	—	—	—	10	20.8%
自治体にごみとして廃棄	43	1.2%	—	—	—	16	37.2%	176	27	62.8%
自治体にリユースの目的で引渡し	14	0.4%	—	—	—	—	—	—	14	100.0%
不用品回収業者に引渡し	13	0.4%	—	—	—	13	100.0%	1,000	0	0.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	20	0.6%	1	5.0%	1,000	—	—	—	19	95.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	35	1.0%	15	42.9%	5,867	—	—	—	20	57.1%
友人・知人に譲渡・売却	67	1.8%	3	4.5%	7,667	—	—	—	64	95.5%
その他	48	1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	3,626	100.0%	1,176	32.9%	38,909	31	0.9%	639	2,371	66.3%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ブランド品の排出・流通実態の推計

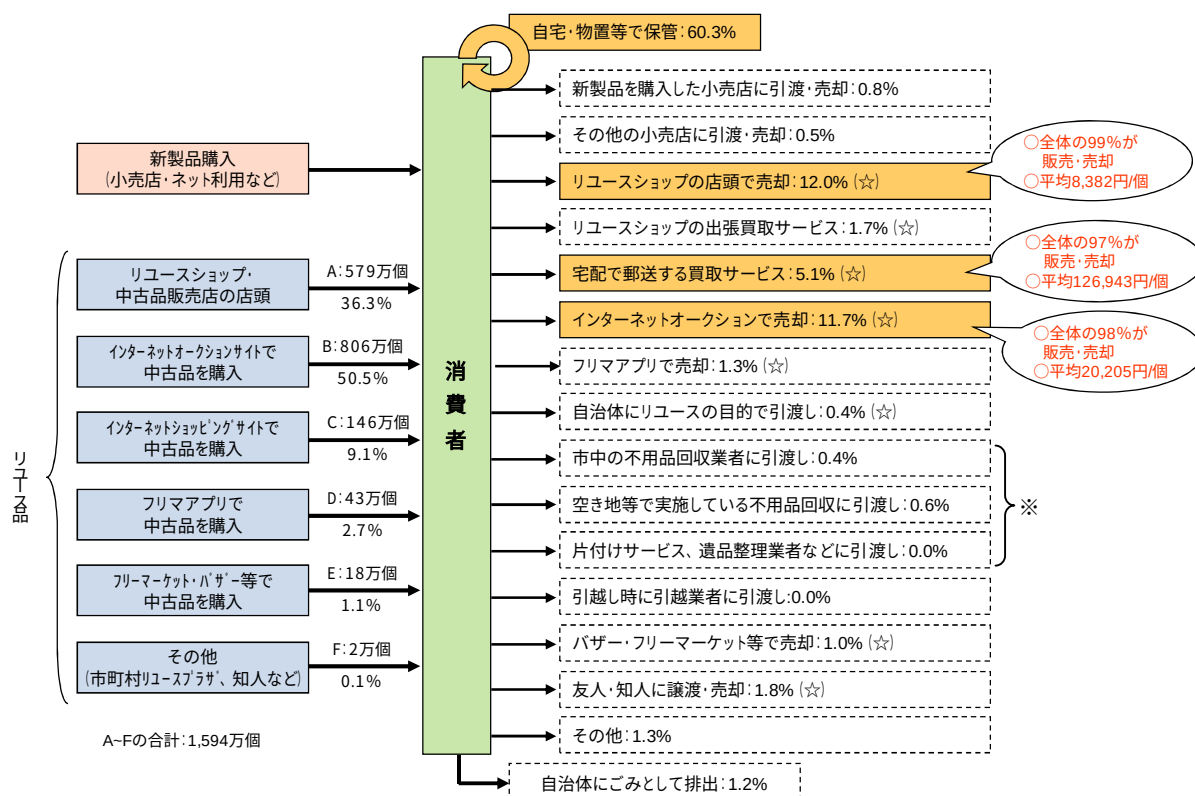
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したブランド品は1,594万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが50.5%、806万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が36.3%、579万個、「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものが、9.1%、146万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が12.0%、「インターネットオークションで売却」が11.7%、「宅配で郵送するサービスで売却」が5.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が99%を占め、平均8,382円/個となっている。次いで「インターネットオークションで売却」は販売・売却が98%を占め、平均20,205円/個、「宅配で郵送する買取サービスで売却」は販売・売却が97%、平均126,943円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の35.1%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の87.8%を占めると推計される。

図表 8 ブランド品の排出・流通実態の推計

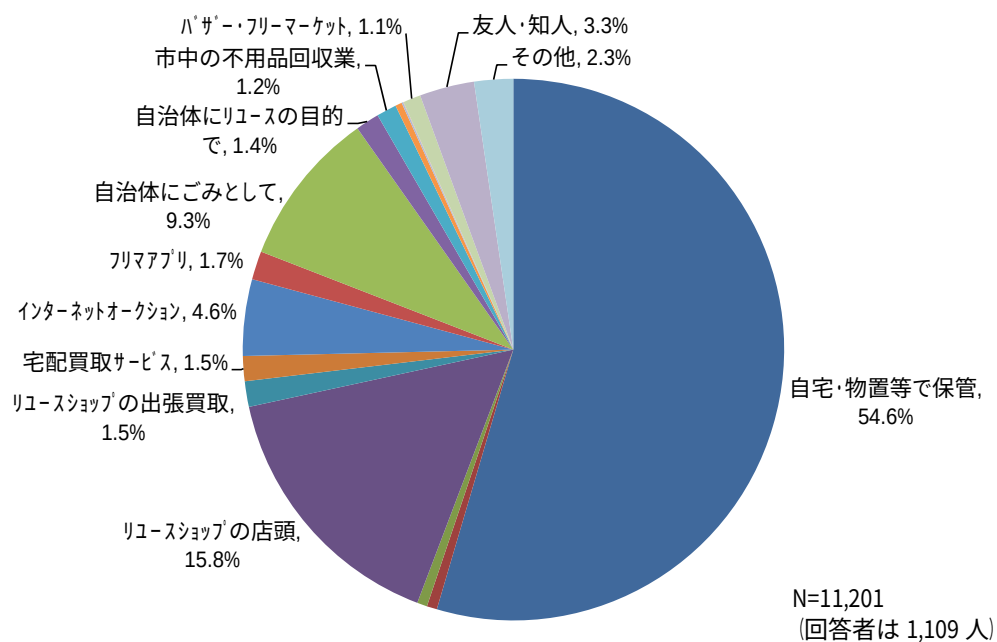


3. ブランド品を除く衣類・服飾品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の個数は11,201個（1,109人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く54.6%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が15.8%、「自治体にごみとして廃棄」が9.3%と続く。

図表 9 不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

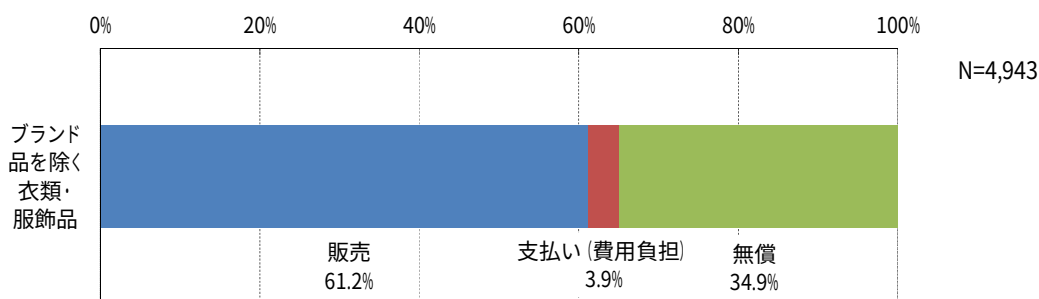
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 61.2%、次いで「無償」が 34.9%、「支払い（費用負担）」は 3.9%となっている（図表 10）。また、「販売」の際の平均単価は 3,553 円/個、「支払い（費用負担）」は 263 円/個となっている（図表 11）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.2%（1,297 円/個）、「無償」が 3.3%となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 83.4%、「支払い（費用負担）」が 14.2%（174 円/個）、「販売」が 2.4%（2,205 円/個）、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 98.9%（9,761 円/個）、「無償」が 1.1%となっている。

図表 10 排出・引渡時の費用について（ブランド品を除く衣類・服飾品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 11 排出・引渡先別の割合・費用について（ブランド品を除く衣類・服飾品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	6,258	54.6%	—	—	—	—	—	—	6,258	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	71	0.6%	46	64.8%	654	—	—	—	25	35.2%
その他の小売店に引渡し・売却	69	0.6%	31	44.9%	1,016	—	—	—	38	55.1%
リユースショップの店頭で売却	1814	15.8%	1,745	96.2%	1,297	10	0.6%	100	59	3.3%
リユースショップの出張買取サービス	175	1.5%	157	89.7%	6,796	—	—	—	18	10.3%
宅配で郵送する買取サービス	172	1.5%	165	95.9%	2,874	—	—	—	7	4.1%
インターネットオークションで売却	522	4.6%	516	98.9%	9,761	—	—	—	6	1.1%
フリマアプリで売却	196	1.7%	185	94.4%	7,713	—	—	—	11	5.6%
自治体にごみとして廃棄	1070	9.3%	26	2.4%	2,205	152	14.2%	174	892	83.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	162	1.4%	1	0.6%	25,000	20	12.3%	1,000	141	87.0%
不用品回収業者に引渡し	138	1.2%	—	—	—	10	7.2%	300	128	92.8%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	45	0.4%	—	—	—	—	—	—	45	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	10	0.1%	—	—	—	—	—	—	10	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	4	0.0%	—	—	—	—	—	—	4	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	122	1.1%	116	95.1%	987	—	—	—	6	4.9%
友人・知人に譲渡・売却	373	3.3%	39	10.5%	5,846	—	—	—	334	89.5%
その他	268	2.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	11,469	100.0%	3,027	27.0%	3,553	192	1.7%	263	7,982	71.3%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

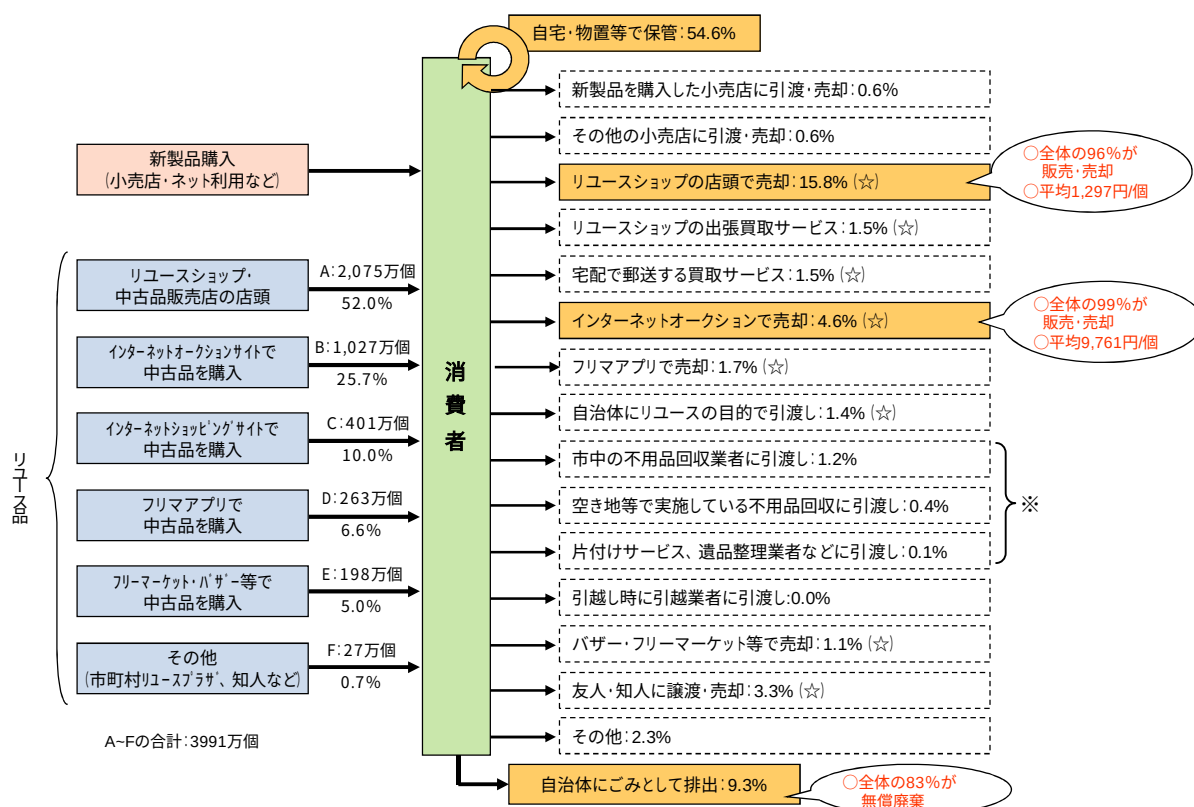
3) ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は 3,991 万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 52.0%、2,075 万個、「インターネットオークションサイト」が 25.7%、1,027 万個、「インターネットショッピングサイト」が 10.0%、401 万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡について「自宅・物置等で保管」が最も多く 54.6%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が 15.8%、「自治体にごみとして廃出」が 9.3%、「インターネットオークションで売却」が 4.6%と続く。排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が 96%を占め、その費用は平均 1,297 円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償廃棄が 83%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が 99%、平均 9,761 円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 30.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 67.6%を占めると推計される。

図表 12 ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

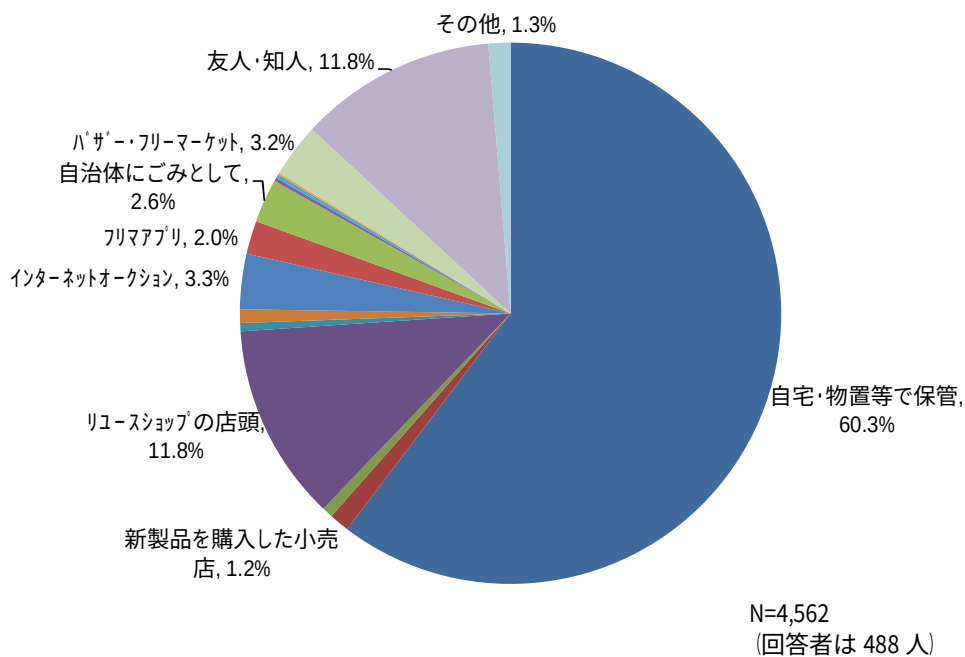
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

4. ベビー・子供用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったベビー・子供用品の個数は4,562個（488人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「友人・知人に譲渡・売却」が11.8%、「リユースショップの店頭で売却」が11.8%、「自治体にごみとして廃棄」が2.6%と続く。

図表 13 不用となったベビー・子供用品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

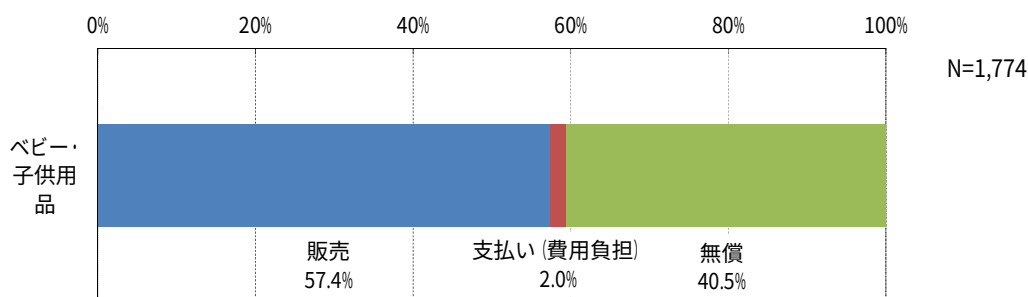
2) 不用品の排出における費用について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 57.4%、次いで「無償」が 40.5%、「支払い（費用負担）」は 2.0%となっている（図表 14）。また、「販売」の際の平均単価は 2,191 円/個、「支払い（費用負担）」は 300 円/個となっている（図表 15）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「友人・知人に譲渡・売却」と「リユースショップの店頭で売却」がともに続き、「友人・知人に譲渡・売却」のうち 96.1%が「無償」となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 96.9%（1,223 円/個）、「無償」が 3.1%、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 99.3%、「無償」が 0.7%となっている。

図表 14 排出・引渡時の費用について（ベビー・子供用品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 15 排出・引渡先別の割合・費用について（ベビー・子供用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	2,788	60.3%							2,788	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	56	1.2%	26	46.4%	1,692	—	—	—	30	53.6%
その他の小売店に引渡し・売却	29	0.6%	28	96.6%	804	—	—	—	1	3.4%
リユースショップの店頭で売却	545	11.8%	528	96.9%	1,223	—	—	—	17	3.1%
リユースショップの出張買取サービス	23	0.5%	20	87.0%	600	—	—	—	3	13.0%
宅配で郵送する買取サービス	37	0.8%	17	45.9%	3,176	1	2.7%	500	19	51.4%
インターネットオークションで売却	153	3.3%	152	99.3%	7,303	—	—	—	1	0.7%
フリマアプリで売却	92	2.0%	82	89.1%	2,332	—	—	—	10	10.9%
自治体にごみとして廃棄	120	2.6%	—	—	—	32	26.7%	322	88	73.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	10	0.2%	4	40.0%	2,233	—	—	—	6	60.0%
不用品回収業者に引渡し	11	0.2%	1	9.1%	5,000	—	—	—	10	90.9%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.1%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	148	3.2%	140	94.6%	271	3	2.0%	3	5	3.4%
友人・知人に譲渡・売却	545	11.8%	21	3.9%	4,810	—	—	—	524	96.1%
その他	61	1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	4,623	100.0%	1,019	22.3%	2,191	36	0.8%	300	3,507	76.9%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計

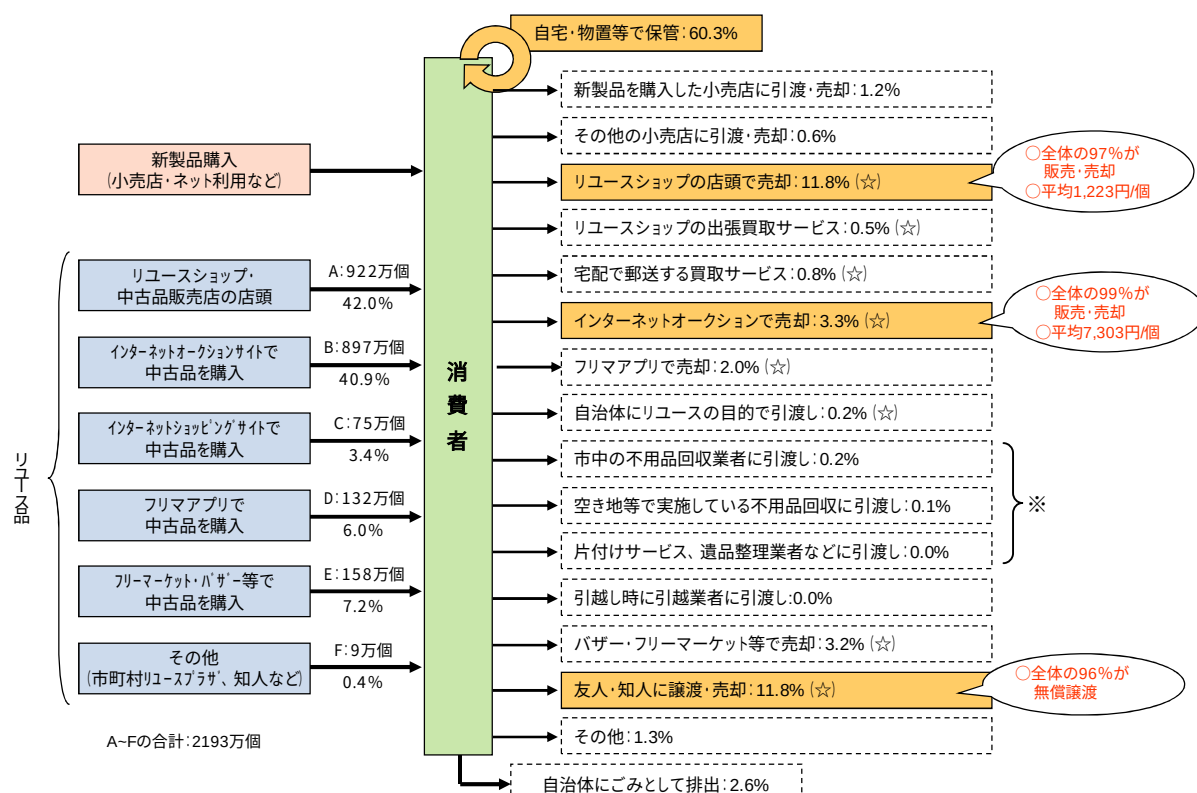
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したベビー・子供用品は2,193万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが42%、922万個、「インターネットオークションサイト」が40.9%、897万個、「フリーマーケット・バザー」が7.2%、158万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったベビー・子供用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「友人・知人に譲渡・売却」が11.8%、同じく「リユースショップの店頭で売却」が11.8%、「インターネットオークションで売却」が3.3%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が97%、平均1,223円/個、「友人・知人に譲渡・売却」では無償譲渡が96%を占めている。「インターネットオークションで売却」では販売・売却が99%、平均7,303円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の33.6%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の82.4%を占めると推計される。

図表 16 ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

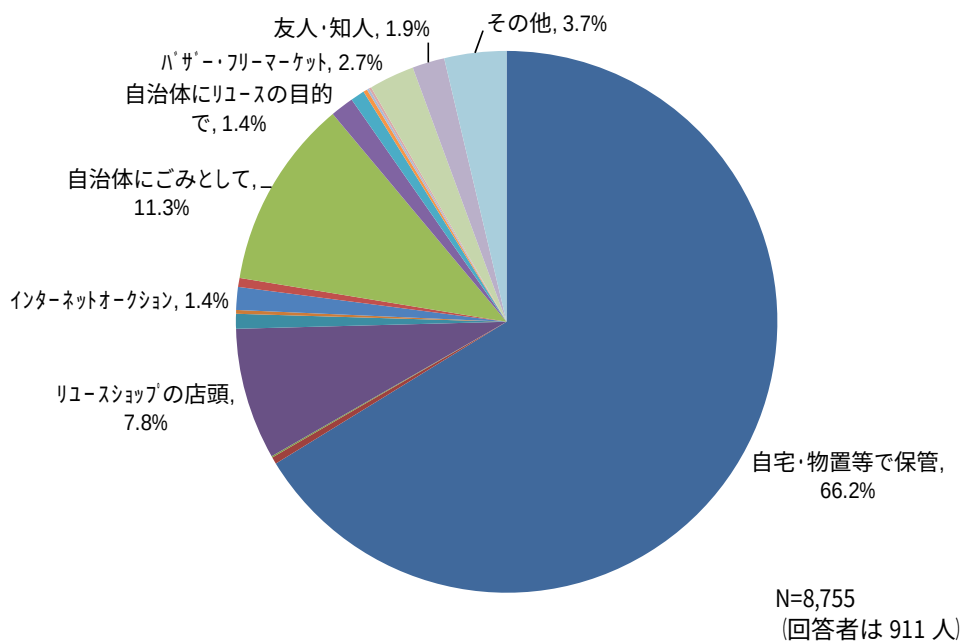
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

5. 日用品・生活雑貨

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった日用品・生活雑貨の個数は8,755個（911人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く66.2%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が11.3%、「リユースショップの店頭で売却」が7.8%と続く。

図表 17 不用となった日用品・生活雑貨の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

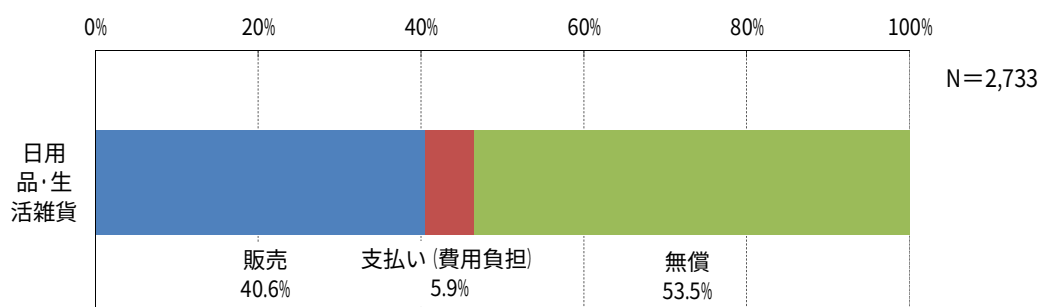
2) 不用品の排出における費用について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 53.5%、次いで「販売」が 40.6%、「支払い（費用負担）」は 5.9%となっている（図表 18）。また、「販売」の際の平均単価は 4,237 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,303 円/個となっている（図表 19）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続く、そのうち「無償」が 89.7%、「支払い（費用負担）」が 10.3%（541 円/個）となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 95.0%（428 円/個）、「無償」が 5.0%となっている。

図表 18 排出・引渡時の費用について（日用品・生活雑貨）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 19 排出・引渡先別の割合・費用について（日用品・生活雑貨）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い (費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	6,022	66.2%	—	—	—	—	—	—	6,022	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	37	0.4%	29	78.4%	636	—	—	—	8	21.6%
その他の小売店に引渡し・売却	9	0.1%	5	55.6%	140	—	—	—	4	44.4%
リユースショップの店頭で売却	713	7.8%	677	95.0%	428	—	—	—	36	5.0%
リユースショップの出張買取サービス	80	0.9%	80	100.0%	15,429	—	—	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	21	0.2%	17	81.0%	2,141	—	—	—	4	19.0%
インターネットオークションで売却	124	1.4%	120	96.8%	21,138	—	—	—	4	3.2%
フリマアプリで売却	49	0.5%	42	85.7%	7,557	1	2.0%	10,000	6	12.2%
自治体にごみとして廃棄	1028	11.3%	—	—	—	106	10.3%	541	922	89.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	127	1.4%	—	—	—	31	24.4%	1,000	96	75.6%
不用品回収業者に引渡し	77	0.8%	—	—	—	17	22.1%	647	60	77.9%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	22	0.2%	1	4.5%	89,220	—	—	—	21	95.5%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	12	0.1%	—	—	—	—	—	—	12	100.0%
引渡し時に引越業者に引渡し	12	0.1%	—	—	—	6	50.0%	16,750	6	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	247	2.7%	128	51.8%	1,298	—	—	—	119	48.2%
友人・知人に譲渡・売却	175	1.9%	10	5.7%	1,000	—	—	—	165	94.3%
その他	337	3.7%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	9,092	100.0%	1,109	12.7%	4,237	161	1.8%	1,303	7,485	85.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計

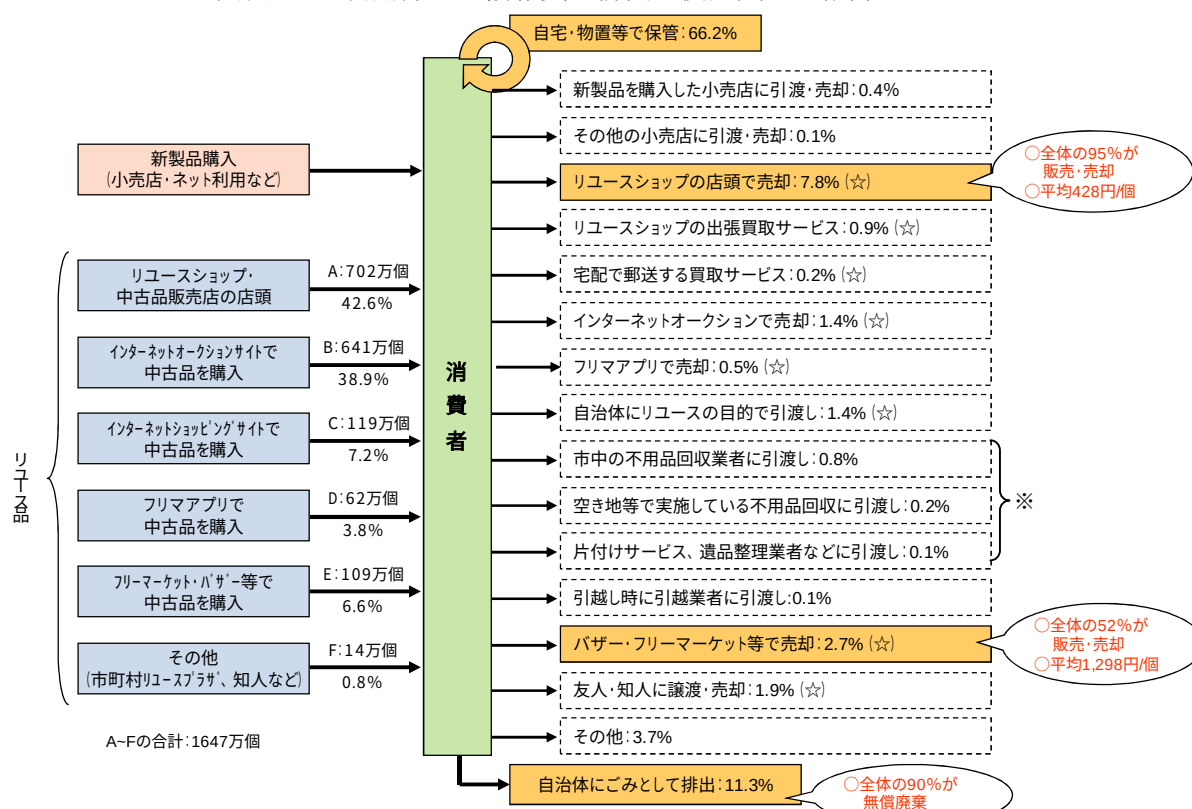
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した日用品・生活雑貨は1647万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが42.6%、702万個、「インターネットオークションサイト」が38.9%、641万個、「インターネットショッピングサイト」が7.2%、119万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く66.2%、次いで「自治体にごみとして廃出」が11.3%、「リユースショップの店頭で売却」が7.8%、「バザー・フリーマーケット等で売却」が2.7%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が95%、平均428円/個、「自治体にごみとして排出」では無償廃棄が90%を占めている。「バザー・フリーマーケット等で売却」では販売・売却が52%、平均1,298円/個、となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の16.9%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の54.4%を占めると推計される。

図表 20 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

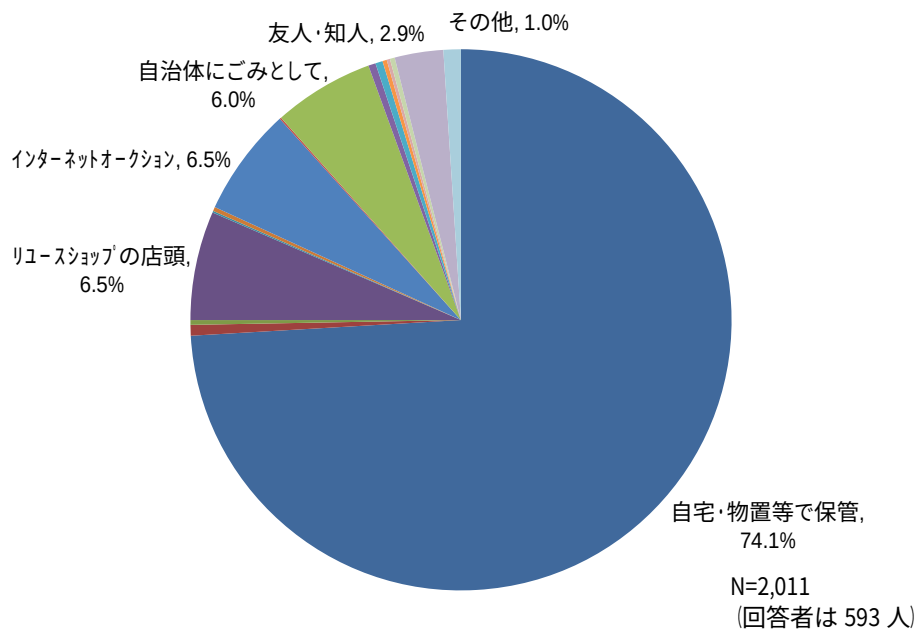
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

6. スポーツ・レジャー用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったスポーツ・レジャー用品の個数は2,011個（593人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く74.1%、次いで「リユースショップの店頭で売却」と「インターネットオークションで売却」がともに6.5%、「自治体にごみとして廃棄」が6.0%と続く。

図表 21 不用となったスポーツ・レジャー用品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

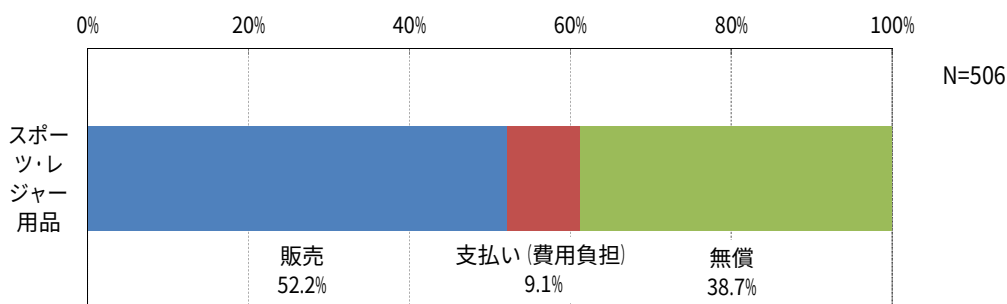
2) 不用品の排出における費用について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 52.2%、次いで「無償」が 38.7%、「支払い（費用負担）」は 9.1%となっている（図表 22）。また、「販売」の際の平均単価は 8,513 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,379 円/個となっている（図表 23）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」と「インターネットオークションで売却」がともに続き、「リユースショップの店頭で売却」のうち「販売」が 84.8%（6,592 円/個）、「無償」が 15.2%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 94.7%（9,765 円/個）、「無償」が 5.3%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 68.0%、「支払い（費用負担）」が 30.3%（363 円/個）、「販売」が 1.6%（100 円/個）となっている。

図表 22 排出・引渡時の費用について（スポーツ・レジャー用品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 23 排出・引渡先別の割合・費用について（スポーツ・レジャー用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,505	74.1%	—	—	—	—	—	—	1,505	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	13	0.6%	7	53.8%	19,286	—	—	—	6	46.2%
その他の小売店に引渡し・売却	6	0.3%	2	33.3%	1,000	—	—	—	4	66.7%
リユースショップの店頭で売却	132	6.5%	112	84.8%	6,592	—	—	—	20	15.2%
リユースショップの出張買取サービス	2	0.1%	2	100.0%	50,000	—	—	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	5	0.2%	5	100.0%	9,240	—	—	—	0	0.0%
インターネットオークションで売却	132	6.5%	125	94.7%	9,765	—	—	—	7	5.3%
フリマアプリで売却	2	0.1%	1	50.0%	1,000	1	50.0%	1,000	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	122	6.0%	2	1.6%	100	37	30.3%	363	83	68.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	9	0.4%	—	—	—	1	11.1%	500	8	88.9%
不用品回収業者に引渡し	9	0.4%	—	—	—	5	55.6%	1,700	4	44.4%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.2%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	4	0.2%	—	—	—	2	50.0%	20,000	2	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	6	0.3%	5	83.3%	200	—	—	—	1	16.7%
友人・知人に譲渡・売却	59	2.9%	3	5.1%	1,000	—	—	—	56	94.9%
その他	21	1.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,032	100.0%	264	13.1%	8,513	46	2.3%	1,379	1,701	84.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計

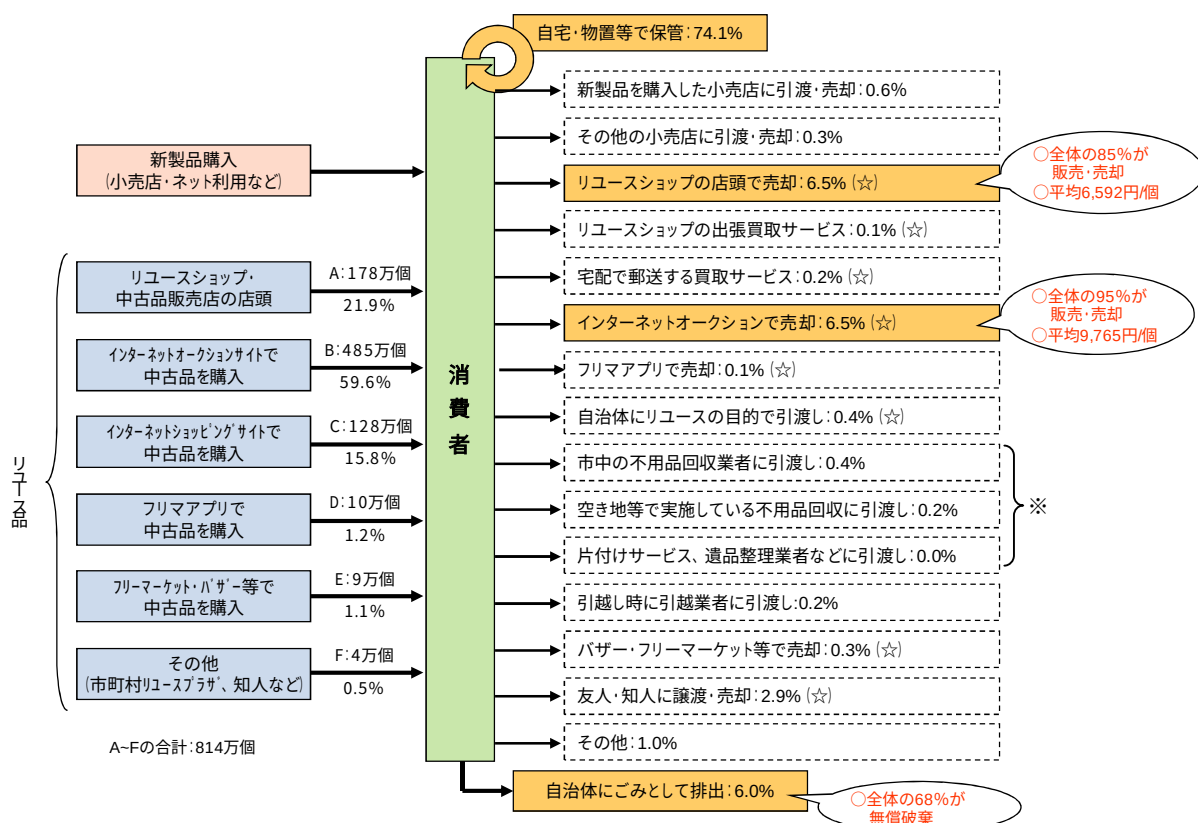
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したスポーツ・レジャー用品は814万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが59.6%、485万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が21.9%、178万個、「インターネットショッピングサイト」は15.8%、128万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く74.1%、次いで「リユースショップの店頭で売却」と「インターネットオークションで売却」が共に6.5%、「自治体にごみとして排出」が6.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が95%、平均9,765円/個、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が85%を占め、平均6,592円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償破棄が68%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の17.1%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の68.2%を占めると推計される。

図表 24 スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

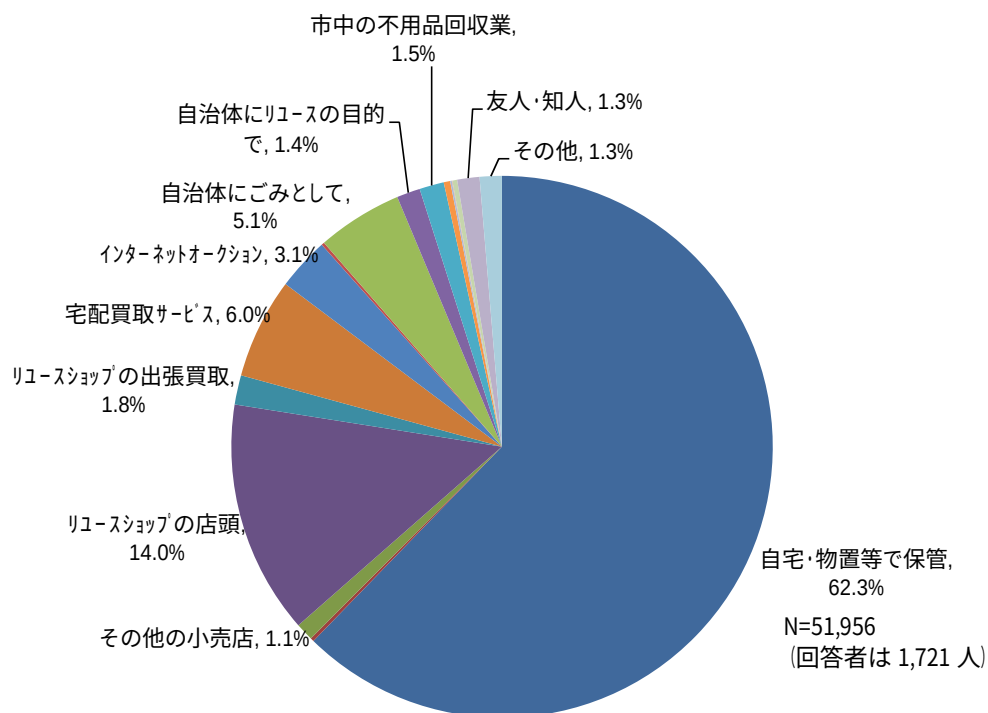
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

7. 書籍

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった書籍の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった書籍の冊数は51,956冊（1,721人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く62.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が14.0%、「宅配買取サービスで売却」が6.0%、「自治体にごみとして廃棄」が5.1%と続く。

図表 25 不用となった書籍の排出先別の割合（冊）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

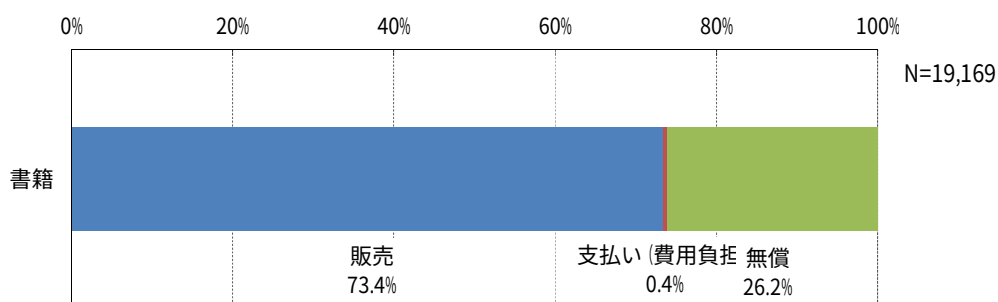
2) 不用品の排出における費用について

不用となった書籍の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 73.4%、次いで「無償」が 26.2%、「支払い（費用負担）」は 0.4%となっている（図表 26）。また、「販売」の際の平均単価は 3,934 円/冊、「支払い（費用負担）」は 356 円/冊となっている（図表 27）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.6%（2,069 円/冊）、「無償」が 3.3%となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 95.1%（1,724 円/冊）、「無償」が 4.9%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 78.2%、「支払い（費用負担）」が 0.9%（70 円/冊）となっている。

図表 26 排出・引渡時の費用について（書籍）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 27 排出・引渡先別の割合・費用について（書籍）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）								
			（1）販売			（2）支払い（費用負担）			（3）無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	
自宅・物置等で保管	32,787	62.3%							32,787	100.0%	
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	113	0.2%	95	84.1%	282	1	0.9%	2,300	17	15.0%	
その他の小売店に引渡し・売却	559	1.1%	457	81.8%	1,004	—	—	—	102	18.2%	
リユースショップの店頭で売却	7348	14.0%	7,101	96.6%	2,069	5	0.1%	1,000	242	3.3%	
リユースショップの出張買取サービス	924	1.8%	852	92.2%	1,882	—	—	—	72	7.8%	
宅配で郵送する買取サービス	3160	6.0%	3,005	95.1%	1,724	—	—	—	155	4.9%	
インターネットオークションで売却	1656	3.1%	1,642	99.2%	20,072	—	—	—	14	0.8%	
フリマアプリで売却	84	0.2%	83	98.8%	1,752	—	—	—	1	1.2%	
自治体にごみとして廃棄	2687	5.1%	560	20.8%	121	25	0.9%	70	2,102	78.2%	
自治体にリユースの目的で引渡し	738	1.4%	—	—	—	10	1.4%	250	728	98.6%	
不用品回収業者に引渡し	775	1.5%	200	25.8%	525	15	1.9%	300	560	72.3%	
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	205	0.4%	—	—	—	—	—	—	205	100.0%	
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	46	0.1%	35	76.1%	123	10	21.7%	1,000	1	2.2%	
引越し時に引越業者に引渡し	20	0.0%	—	—	—	10	50.0%	100	10	50.0%	
バザー・フリーマーケット等で売却	149	0.3%	12	8.1%	502	—	—	—	137	91.9%	
友人・知人に譲渡・売却	705	1.3%	33	4.7%	3,636	—	—	—	672	95.3%	
その他	695	1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	52,651	100.0%	14,075	27.1%	3,934	76	0.1%	356	37,805	72.8%	

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 書籍の排出・流通実態の推計

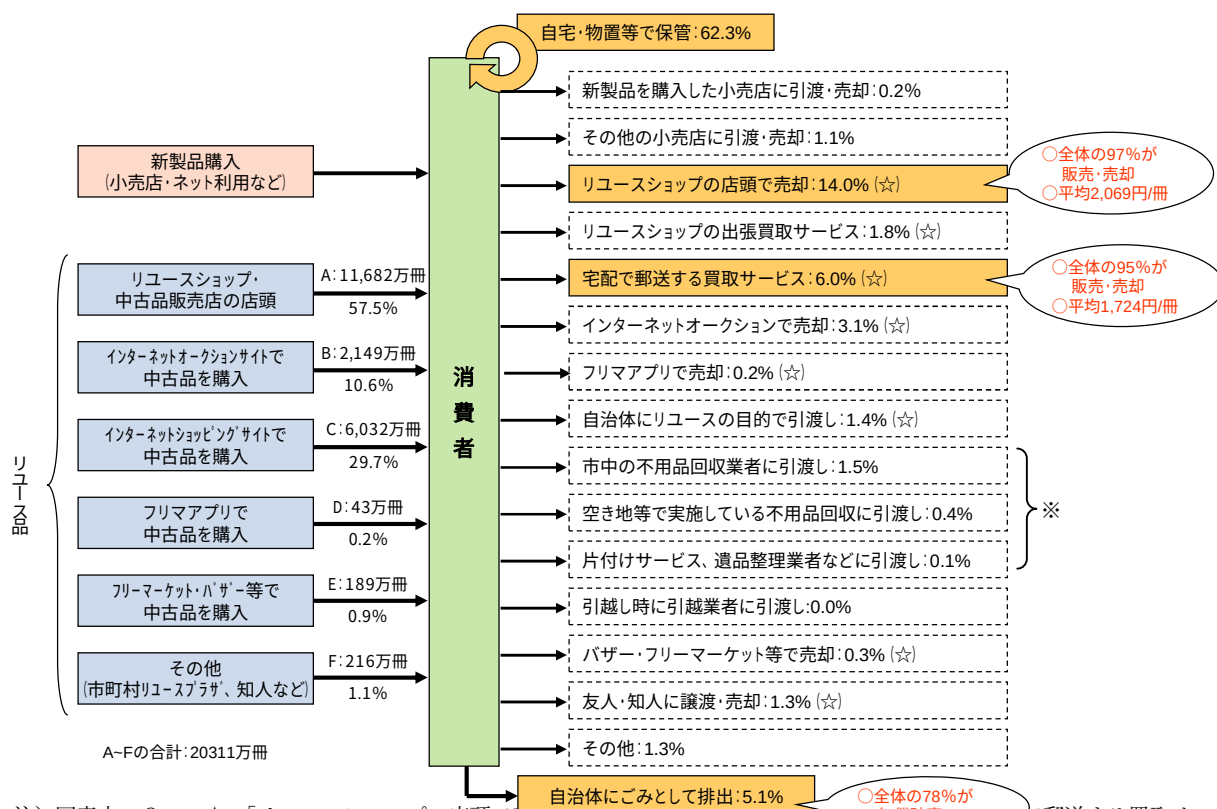
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した書籍は 20,311 万冊、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 57.5%、11,682 万冊、「インターネットショッピングサイト」が 29.7%、6,032 万冊、「インターネットオークションサイト」が 10.6%、2,149 万冊と推計される。

また、過去1年間で不用となった書籍の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 62.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が 14.0%、「宅配で郵送する買取サービス」が 6.0%、「自治体にごみとして排出」が 5.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が 97%を占め、平均 2,069 円/冊となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では販売・売却が 95%、平均 1,724 円/冊、「自治体にごみとして排出」では無償破棄が 78%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 28%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 76.6%を占めると推計される。

図表 28 書籍の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体でリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

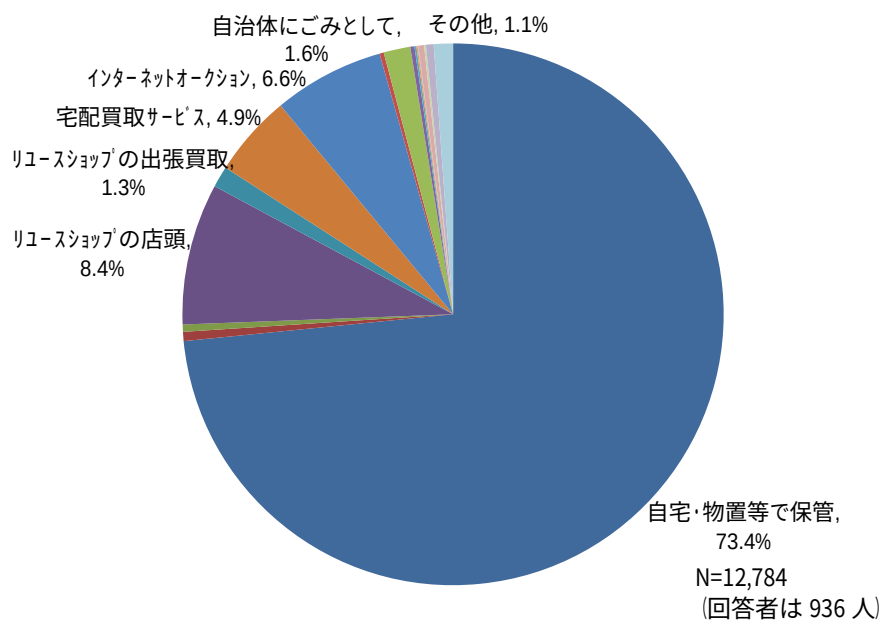
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

8. ソフト・メディア類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったソフト・メディア類の個数は12,784個（936人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く73.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が8.4%、「インターネットオークションで売却」が6.6%「宅配で郵送する買取サービスで売却」が4.9%と続く。

図表 29 不用となったソフト・メディア類の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

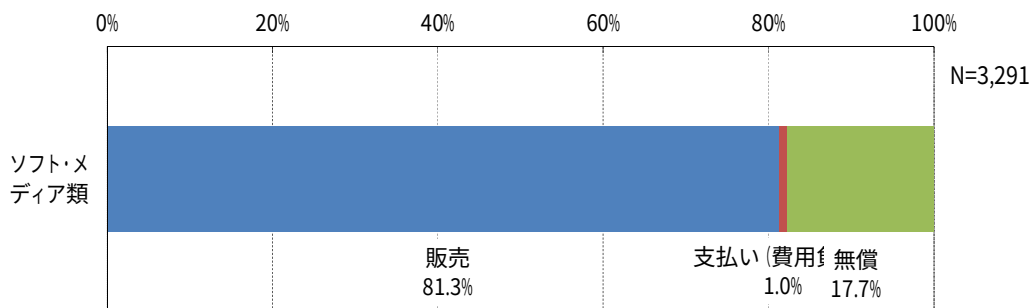
2) 不用品の排出における費用について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 81.3%、次いで「無償」が 17.7%、「支払い（費用負担）」は 1.0%となっている（図表 30）。また、「販売」の際の平均単価は 3,949 円/個、「支払い（費用負担）」は 319 円/個となっている（図表 31）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.2%（2,516 円/個）、「無償」が 3.8%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 80.6%（3,863 円/個）、「無償」が 19.4%、宅配で郵送する買取サービスでは「販売」が 96.4%（8,081 円/個）となっている。

図表 30 排出・引渡時の費用について（ソフト・メディア類）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 31 排出・引渡先別の割合・費用について（ソフト・メディア類）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	9,493	73.4%							9,493	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	73	0.6%	73	100.0%	918	—	—	—	0	0.0%
その他の小売店に引渡し・売却	56	0.4%	53	94.6%	3,087	—	—	—	3	5.4%
リユースショップの店頭で売却	1,091	8.4%	1,049	96.2%	2,516	—	—	—	42	3.8%
リユースショップの出張買取サービス	163	1.3%	158	96.9%	202	5	3.1%	1,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	633	4.9%	610	96.4%	8,081	1	0.2%	1,000	22	3.5%
インターネットオークションで売却	855	6.6%	689	80.6%	3,863	—	—	—	166	19.4%
フリマアプリで売却	33	0.3%	32	97.0%	1,963	1	3.0%	10	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	208	1.6%	—	—	—	24	11.5%	92	184	88.5%
自治体にリユースの目的で引渡し	32	0.2%	—	—	—	1	3.1%	2,000	31	96.9%
不用品回収業者に引渡し	14	0.1%	—	—	—	—	—	—	14	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	10	0.1%	—	—	—	—	—	—	10	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	5	0.0%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
引渡し時に引越業者に引渡し	44	0.3%	—	—	—	—	—	—	44	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	16	0.1%	11	68.8%	545	—	—	—	5	31.3%
友人・知人に譲渡・売却	58	0.4%	—	—	—	—	—	—	58	100.0%
その他	147	1.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	12,931	100.0%	2,675	20.9%	3,949	32	0.3%	319	10,077	78.8%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したソフト・メディア類は6,067万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが45.8%、2,780万個、「インターネットショッピングサイト」が26.9%、1,633万個、「インターネットオークションサイト」が26.0%、1,579万個と推計される。

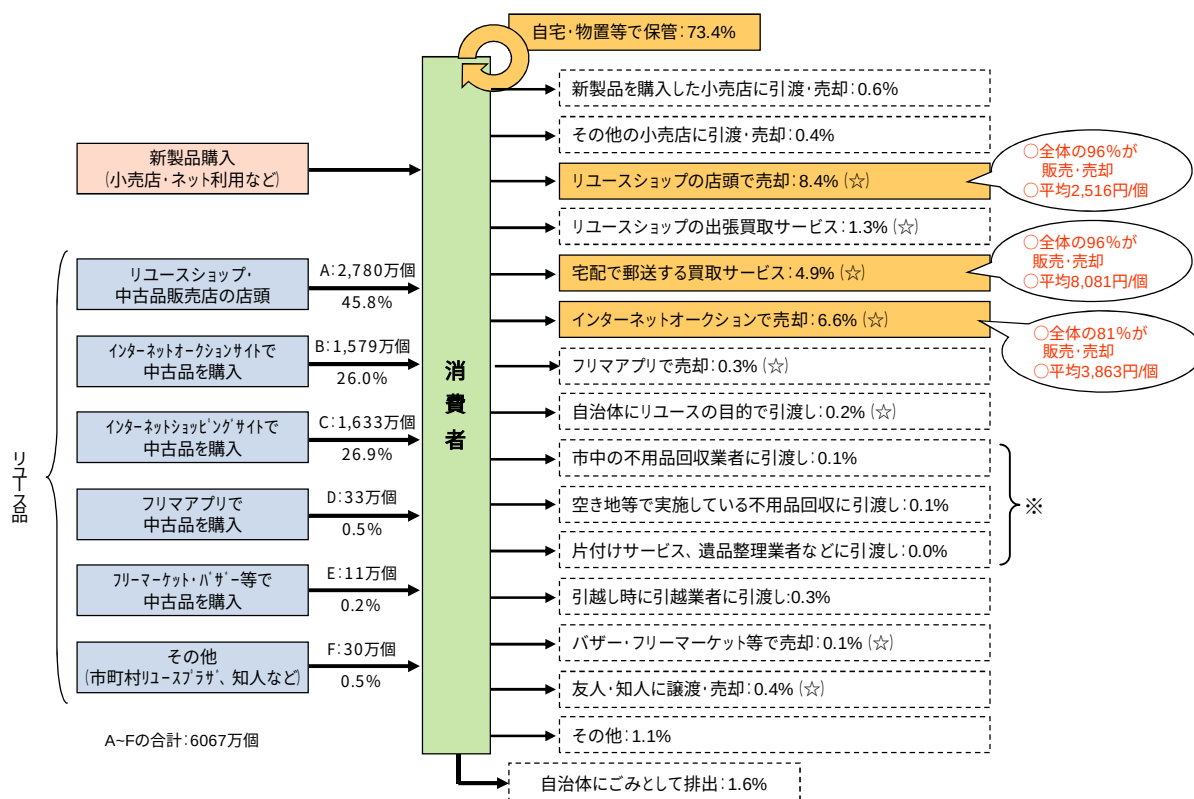
また、過去1年間で不用となったソフト・メディア類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く73.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が8.4%、「インターネットオークションで売却」が6.6%、「宅配で郵送する買取サービス」が4.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」と「宅配で郵送する買取サービス」では販売・売却がそれぞれ96%を占め、平均2,516円/個・平均8,081円/個となっている。

「インターネットオークションで売却」では販売・売却が81%、平均3,863円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の22.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の86.5%を占めると推計される。

図表 32 ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「パザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

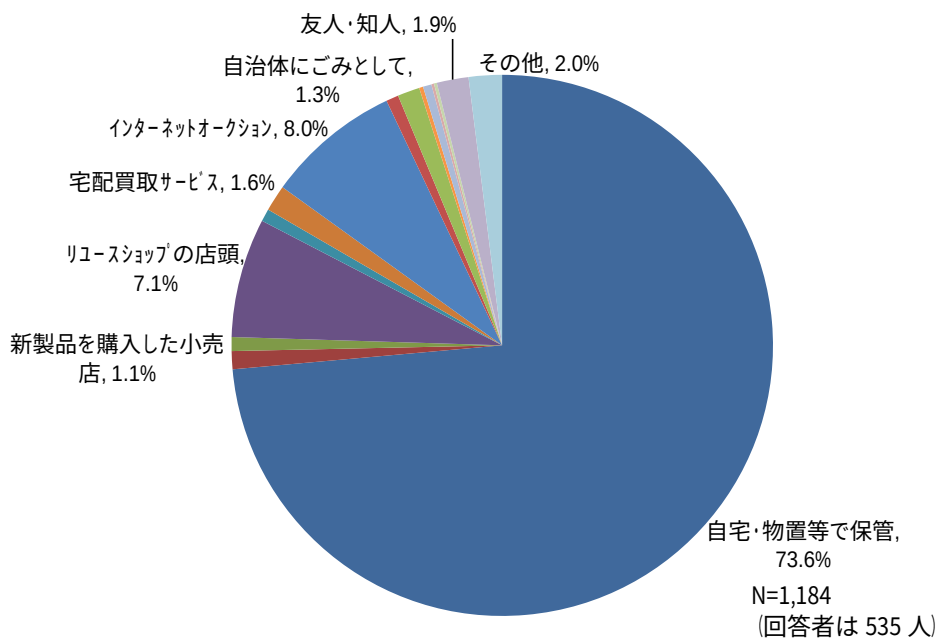
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

9. ゲーム機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったゲーム機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったゲーム機器の個数は1,184個（535人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く73.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が8.0%、「リユースショップの店頭で売却」が7.1%、と続く。

図表 33 不用となったゲーム機器の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

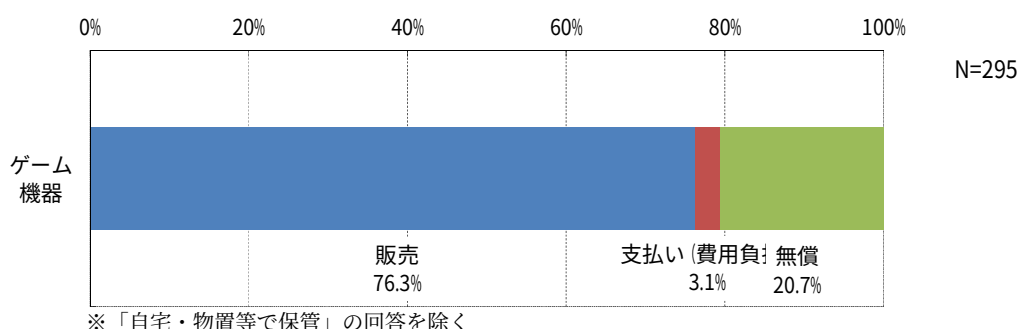
2) 不用品の排出における費用について

不用となったゲーム機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 76.3%、次いで「無償」が 20.7%、「支払い（費用負担）」は 3.1%となっている（図表 34）。また、「販売」の際の平均単価は 4,842 円/個、「支払い（費用負担）」は 11,722 円/個となっている（図表 35）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 91.8%（6,955 円/個）となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 94.2%（3,672 円/個）、「無償」が 5.8%、「友人知人に売却・譲渡」では「無償」が 100.0%となっている。

図表 34 排出・引渡時の費用について（ゲーム機器）



図表 35 排出・引渡先別の割合・費用について（ゲーム機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	889	73.6%	—	—	—	—	—	—	889	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	13	1.1%	12	92.3%	583	—	—	—	1	7.7%
その他の小売店に引渡し・売却	10	0.8%	9	90.0%	3,858	—	—	—	1	10.0%
リユースショップの店頭で売却	86	7.1%	81	94.2%	3,672	—	—	—	5	5.8%
リユースショップの出張買取サービス	9	0.7%	6	66.7%	1,017	3	33.3%	1,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	19	1.6%	18	94.7%	3,406	—	—	—	1	5.3%
インターネットオークションで売却	97	8.0%	89	91.8%	6,955	—	—	—	8	8.2%
フリマアプリで売却	9	0.7%	9	100.0%	6,667	—	—	—	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	16	1.3%	—	—	—	3	18.8%	167	13	81.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.2%	—	—	—	3	100.0%	34,000	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	6	0.5%	—	—	—	—	—	—	6	100.0%
引越時に引越業者に引渡し	2	0.2%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	2	0.2%	1	50.0%	4,000	—	—	—	1	50.0%
友人・知人に譲渡・売却	23	1.9%	—	—	—	—	—	—	23	100.0%
その他	24	2.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,208	100.0%	225	19.0%	4,842	9	0.8%	11,722	950	80.2%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ゲーム機器の排出・流通実態の推計

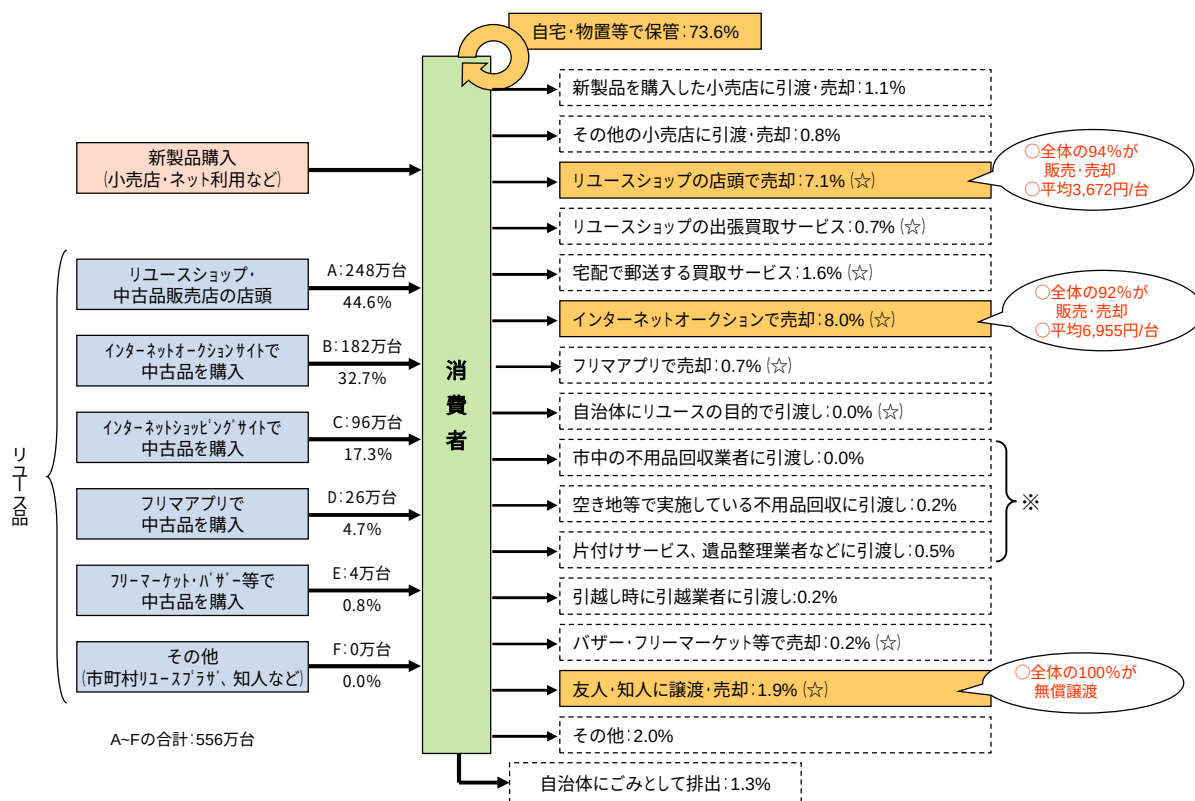
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したゲーム機器は556万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が44.6%、248万台。「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが32.7%、182万台、「インターネットショッピングサイト」が17.3%、96万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったゲーム機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く73.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が8.0%、「リユースショップの店頭で売却」が7.1%、「友人・知人に譲渡・売却」が1.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「友人・知人に譲渡・売却」は無償譲渡が100%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が92%、平均6,955円/台、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が94%を占め、平均3,672円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の20.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の80.0%を占めると推計される。

図表 36 ゲーム機器の排出・流通実態の推計

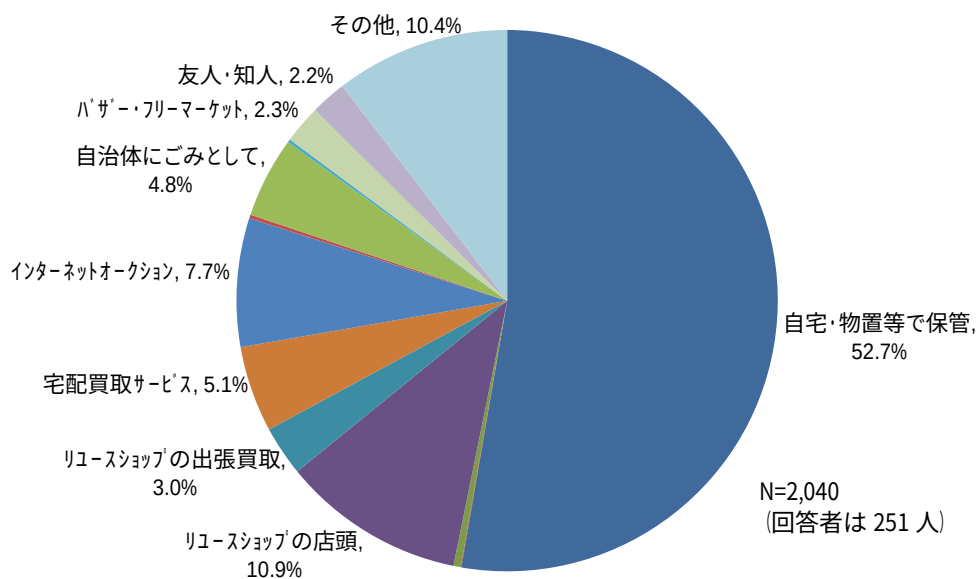


10. 玩具・模型

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった玩具・模型の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった玩具・模型の個数は2,040個（251人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く52.7%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.9%、「その他」が10.4%、「インターネットオークションで売却」が7.7%、「宅配で郵送する買取サービスで売却」が5.1%と続く。

図表 37 不用となった玩具・模型の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

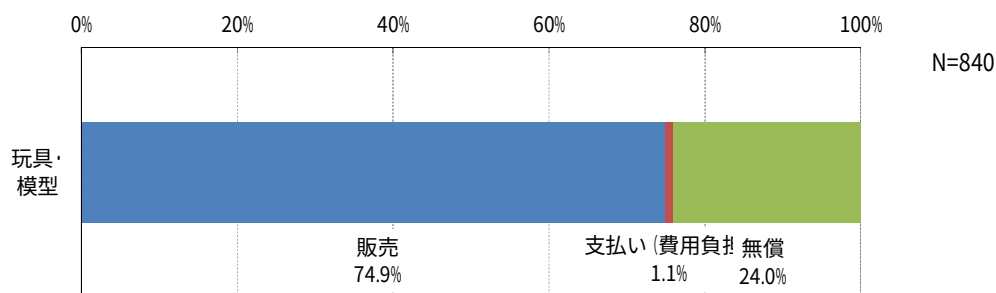
2) 不用品の排出における費用について

不用となった玩具・模型の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 74.9%、次いで「無償」が 24.0%、「支払い（費用負担）」は 1.1%となっている（図表 38）。また、「販売」の際の平均単価は 3,785 円/個、「支払い（費用負担）」は 10,380 円/個となっている（図表 39）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 98.8%（1,220 円/個）となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 100.0%（7,666 円/個）、「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 99.1%（3,326 円/個）、「無償」が 0.9%となっている。

図表 38 排出・引渡時の費用について（玩具・模型）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 39 排出・引渡先別の割合・費用について（玩具・模型）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,200	52.7%	—	—	—	—	—	—	1,200	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	1	0.0%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
その他の小売店に引渡し・売却	10	0.4%	9	90.0%	195	1	10.0%	10	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	249	10.9%	246	98.8%	1,220	—	—	—	3	1.2%
リユースショップの出張買取サービス	68	3.0%	54	79.4%	602	—	—	—	14	20.6%
宅配で郵送する買取サービス	117	5.1%	116	99.1%	3,326	—	—	—	1	0.9%
インターネットオークションで売却	175	7.7%	175	100.0%	7,666	—	—	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	5	0.2%	4	80.0%	3,800	—	—	—	1	20.0%
自治体にごみとして廃棄	110	4.8%	10	9.1%	300	3	2.7%	100	97	88.2%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	4	0.2%	—	—	—	4	100.0%	23,000	0	0.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	52	2.3%	10	19.2%	100	—	—	—	42	80.8%
友人・知人に譲渡・売却	49	2.2%	5	10.2%	60,000	1	2.0%	1,111	43	87.8%
その他	237	10.4%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,277	100.0%	629	30.8%	3,785	9	0.4%	10,380	1,402	68.7%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 玩具・模型の排出・流通実態の推計

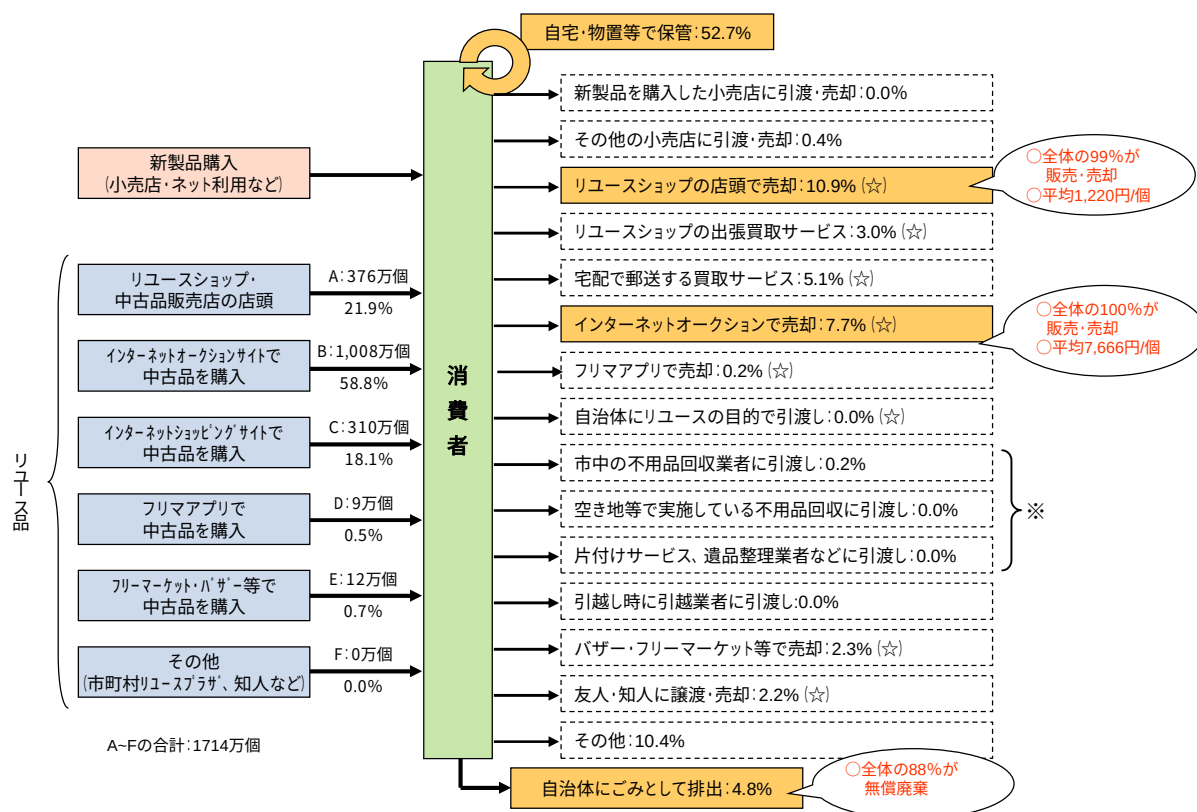
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した玩具・模型は1714万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが58.8%、1,008万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が21.9%、376万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった玩具・模型の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く52.7%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.9%、「インターネットオークションで売却」が7.7%、「自治体にごみとして排出」が4.8%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が99%、平均1,220円/個、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が100%を占め、平均7,666円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償廃棄が88%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の31.4%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の84.5%を占めると推計される。

図表 40 玩具・模型の排出・流通実態の推計

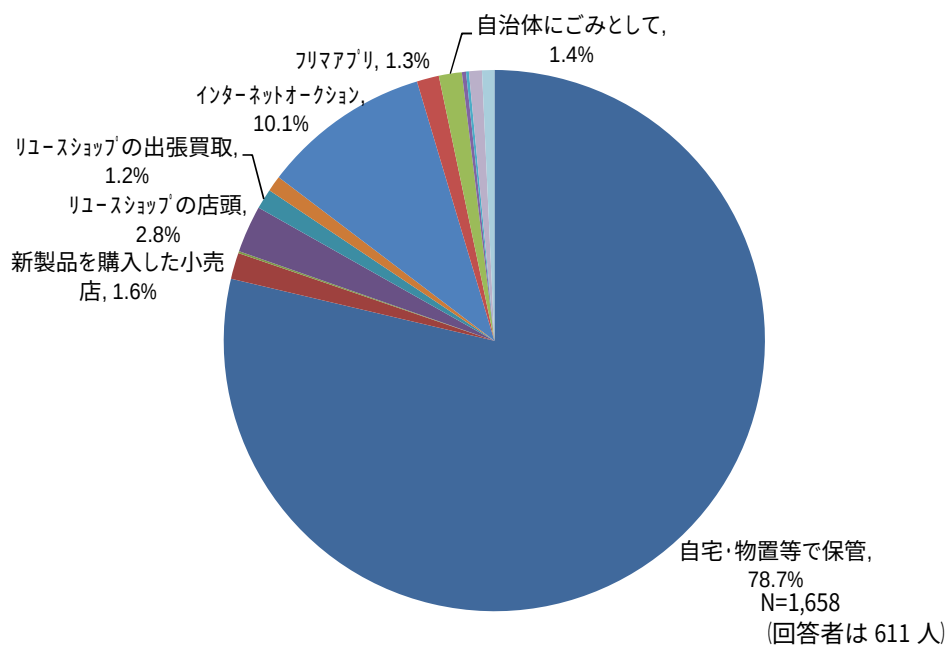


1 1. カメラ・周辺機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったカメラ・周辺機器の個数は1,658個（611人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く78.7%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.1%、「リユースショップの店頭で売却」が2.8%と続く。

図表 41 不用となったカメラ・周辺機器の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

2) 不用品の排出における費用について

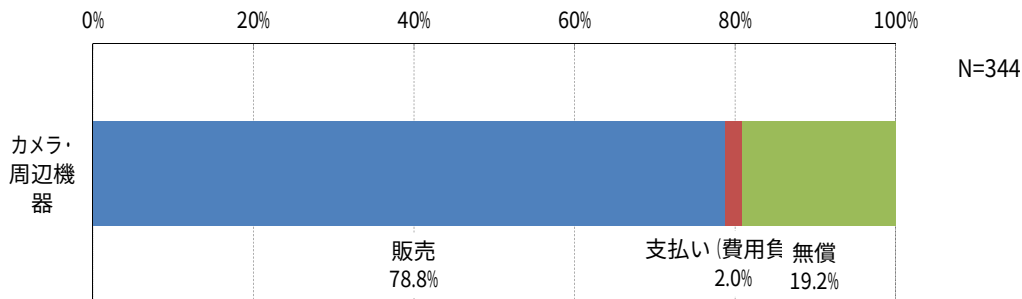
不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 78.8%、次いで「無償」が 19.2%、「支払い（費用負担）」は 2.0%となっている（図表 42）。また、「販売」の際の平均単価は 39,020 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,743 円/個となっている（図表 43）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 95.2%（46,725 円/個）、「無償」が 4.8%となっている。

「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 93.6%（7,476 円/個）、「無償」が 6.4%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 87.0%、「支払い（費用負担）」が 13.0%（400 円/個）となっている。

図表 42 排出・引渡時の費用について（カメラ・周辺機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 43 排出・引渡先別の割合・費用について（カメラ・周辺機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）						
	個数	割合	(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)		(3) 無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	割合
自宅・物置等で保管	1,314	78.7%							100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	26	1.6%	22	84.6%	7,389	—	—	—	15.4%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.1%	2	100.0%	20,000	—	—	—	0.0%
リユースショップの店頭で売却	47	2.8%	44	93.6%	7,476	—	—	—	6.4%
リユースショップの出張買取サービス	20	1.2%	18	90.0%	139,539	—	—	—	10.0%
宅配で郵送する買取サービス	16	1.0%	12	75.0%	3,500	2	12.5%	3,000	12.5%
インターネットオークションで売却	168	10.1%	160	95.2%	46,725	—	—	—	4.8%
フリマアプリで売却	22	1.3%	12	54.5%	842	—	—	—	45.5%
自治体にごみとして廃棄	23	1.4%	—	—	—	3	13.0%	400	87.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	4	0.2%	—	—	—	2	50.0%	2,500	50.0%
不用品回収業者に引渡し	3	0.2%	—	—	—	—	—	—	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—
引渡し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	13	0.8%	1	7.7%	3,000	—	—	—	92.3%
その他	12	0.7%	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,670	100.0%	271	16.3%	39,020	7	0.4%	1,743	83.2%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計

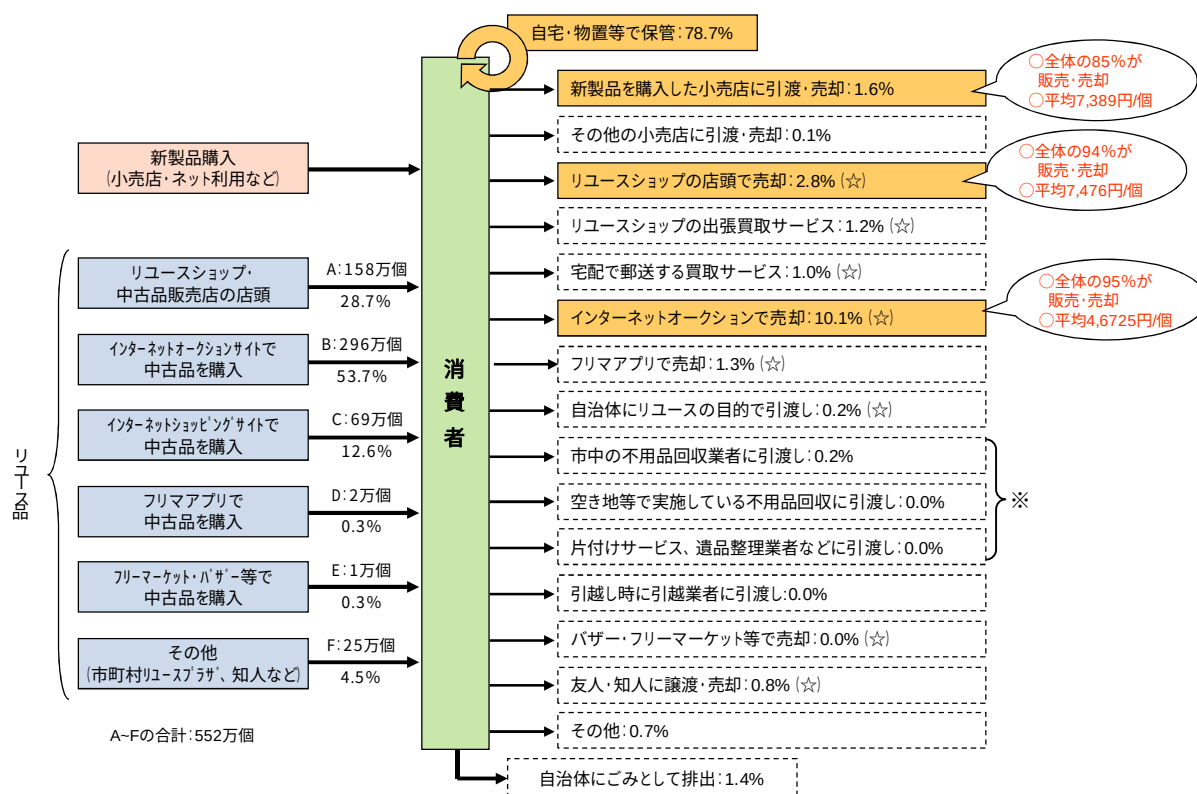
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカメラ・周辺機器は552万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが53.7%、296万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が28.7%、158万個、「インターネットショッピングサイト」が12.6%、69万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く78.7%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.1%、「リユースショップの店頭で売却」が2.8%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が1.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が95%占め、平均46,725円/個となっている。「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が94%平均7,476円/個、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では販売・売却が85%、平均7,389円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の17.4%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の77.9%を占めると推計される。

図表 44 カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

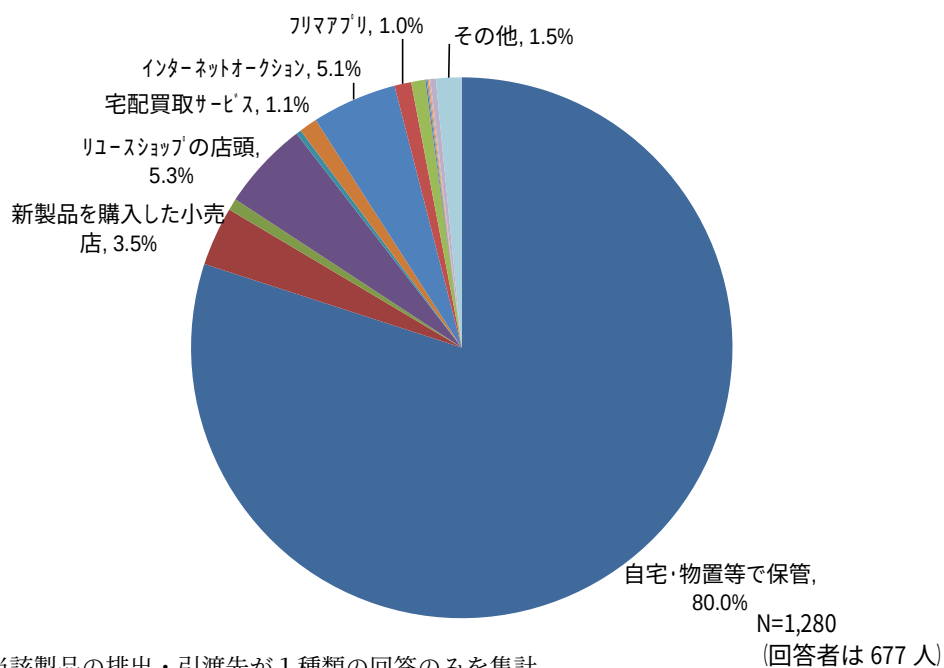
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1 2 . 携帯電話・スマートフォン

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった携帯電話・スマートフォンの個数は1,280個（677人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く80.0%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が5.3%、「インターネットオークションで売却」が5.1%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が3.5%と続く。

図表 45 不用となった携帯電話・スマートフォンの排出先別の割合（個）



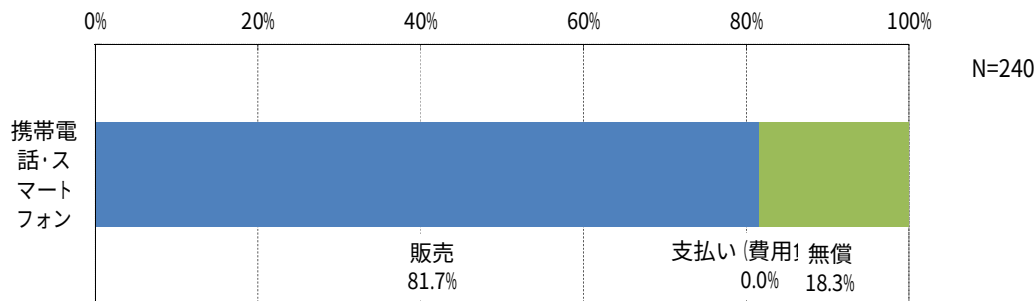
2) 不用品の排出における費用について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 81.7%、次いで「無償」が 18.3%、「支払い（費用負担）」は 0.0%となっている（図表 46）。また、「販売」の際の平均単価は 10,848 円/個となっている（図表 47）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 91.3%（7,518 円/個）、「無償」が 8.7%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 97.0%（16,195 円/個）、「無償」が 3.0%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「販売」が 67.4%（12,897 円/個）、「無償」が 32.6%となっている。

図表 46 排出・引渡時の費用について（携帯電話・スマートフォン）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 47 排出・引渡先別の割合・費用について（携帯電話・スマートフォン）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
	個数	割合	(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,040	80.0%							1,040	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	46	3.5%	31	67.4%	12,897	—	—	—	15	32.6%
その他の小売店に引渡し・売却	9	0.7%	7	77.8%	3,286	—	—	—	2	22.2%
リユースショップの店頭で売却	69	5.3%	63	91.3%	7,518	—	—	—	6	8.7%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.3%	4	100.0%	5,425	—	—	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	14	1.1%	12	85.7%	5,367	—	—	—	2	14.3%
インターネットオークションで売却	66	5.1%	64	97.0%	16,195	—	—	—	2	3.0%
フリマアプリで売却	13	1.0%	13	100.0%	6,700	—	—	—	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	11	0.8%	—	—	—	—	—	—	11	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
不用品回収業者に引渡し	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.1%	1	100.0%	50	—	—	—	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越時に引越業者に引渡し	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	4	0.3%	1	25.0%	20,000	—	—	—	3	75.0%
その他	20	1.5%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,300	100.0%	196	15.3%	10,848	0	0.0%	—	1,084	84.7%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した携帯電話・スマートフォンは369万台。

そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが50.4%、186万台、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が24.9%、92万台「インターネットショッピングサイト」が21.9%、81万台と推計される。

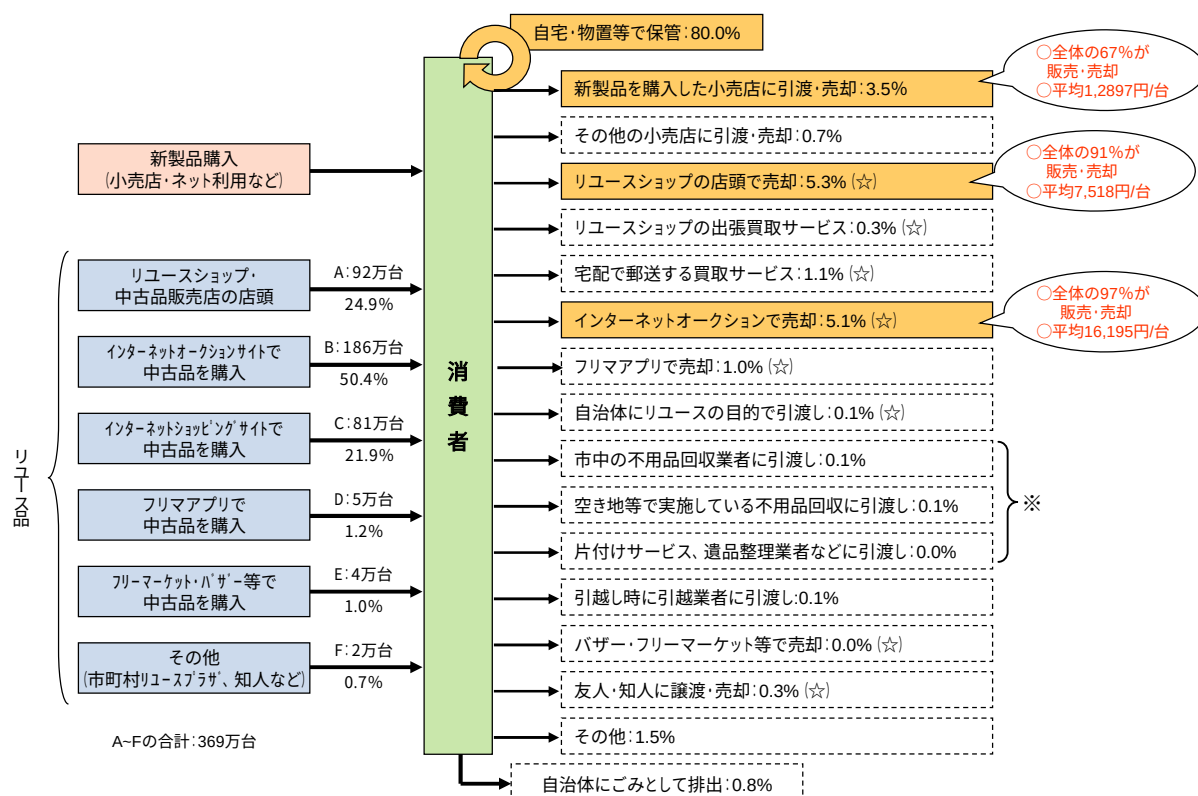
また、過去1年間で不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く80.0%、次いで「リユースショップ店頭で売却」が5.3%、

「インターネットオークションで売却」が5.1%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が3.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップ店頭で売却」では販売・売却が91%を占め、平均7,518円/台、次いで「インターネットオークションで売却」では販売・売却が97%を占め、平均16,195円/台、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では販売・売却が67%、平均12,897円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の13.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の65.8%を占めると推計される。

図表 48 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

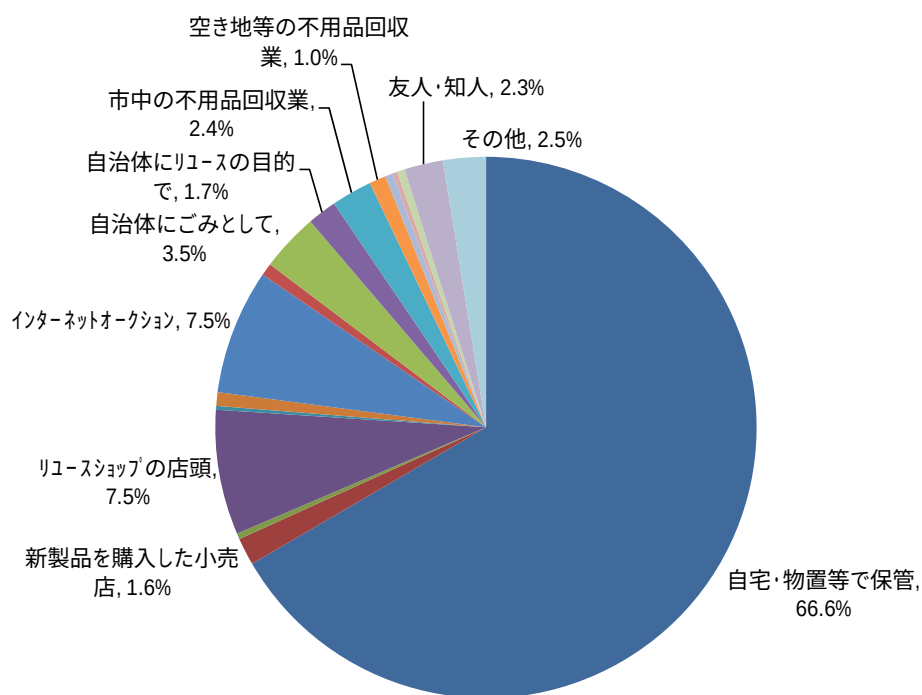
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1 3 . パソコン・周辺機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったパソコン・周辺機器の個数は1,684個（853人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く66.6%、次いで「インターネットオークションで売却」と「リユースショップの店頭で売却」がともに7.5%、「自治体にごみとして廃棄」が3.5%と続く。

図表 49 不用となったパソコン・周辺機器の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

N=1,684
(回答者は 853 人)

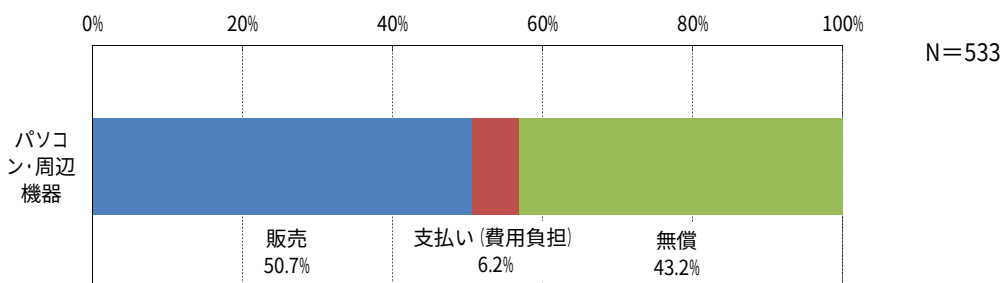
2) 不用品の排出における費用について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 50.7%、次いで「無償」が 43.2%、「支払い（費用負担）」は 6.2%となっている（図表 50）。また、「販売」の際の平均単価は 11,572 円/個、「支払い（費用負担）」は 7,513 円/個となっている（図表 51）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」と「リユースショップの店頭で売却」がともに続き、「インターネットオークションで売却」のうち「販売」が 82.2%（21,030 円/個）、「無償」が 17.8%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 85.3%（3,923 円/個）、「無償」が 14.7%、「自治体にごみとして廃棄」では「支払い（費用負担）」が 21.7%（2,033 円/個）、「無償」が 78.3%となっている。

図表 50 排出・引渡時の費用について（パソコン・周辺機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 51 排出・引渡先別の割合・費用について（パソコン・周辺機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,151	66.6%							1,151	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	28	1.6%	21	75.0%	10,629	—	—	—	7	25.0%
その他の小売店に引渡し・売却	6	0.3%	1	16.7%	100	—	—	—	5	83.3%
リユースショップの店頭で売却	129	7.5%	110	85.3%	3,923	—	—	—	19	14.7%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.2%	3	75.0%	1,500	1	25.0%	5,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	14	0.8%	3	21.4%	34,000	—	—	—	11	78.6%
インターネットオークションで売却	129	7.5%	106	82.2%	21,030	—	—	—	23	17.8%
フリマアプリで売却	13	0.8%	11	84.6%	6,827	—	—	—	2	15.4%
自治体にごみとして廃棄	60	3.5%	—	—	—	13	21.7%	2,033	47	78.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	30	1.7%	—	—	—	8	26.7%	23,688	22	73.3%
不用品回収業者に引渡し	42	2.4%	1	2.4%	7,500	9	21.4%	1,889	32	76.2%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	17	1.0%	2	11.8%	50	—	—	—	15	88.2%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	8	0.5%	1	12.5%	200	2	25.0%	5,000	5	62.5%
引越し時に引越業者に引渡し	5	0.3%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	8	0.5%	8	100.0%	2,000	—	—	—	0	0.0%
友人・知人に譲渡・売却	40	2.3%	3	7.5%	11,667	—	—	—	37	92.5%
その他	44	2.5%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,728	100.0%	270	16.0%	11,572	33	2.0%	7,513	1,381	82.0%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計

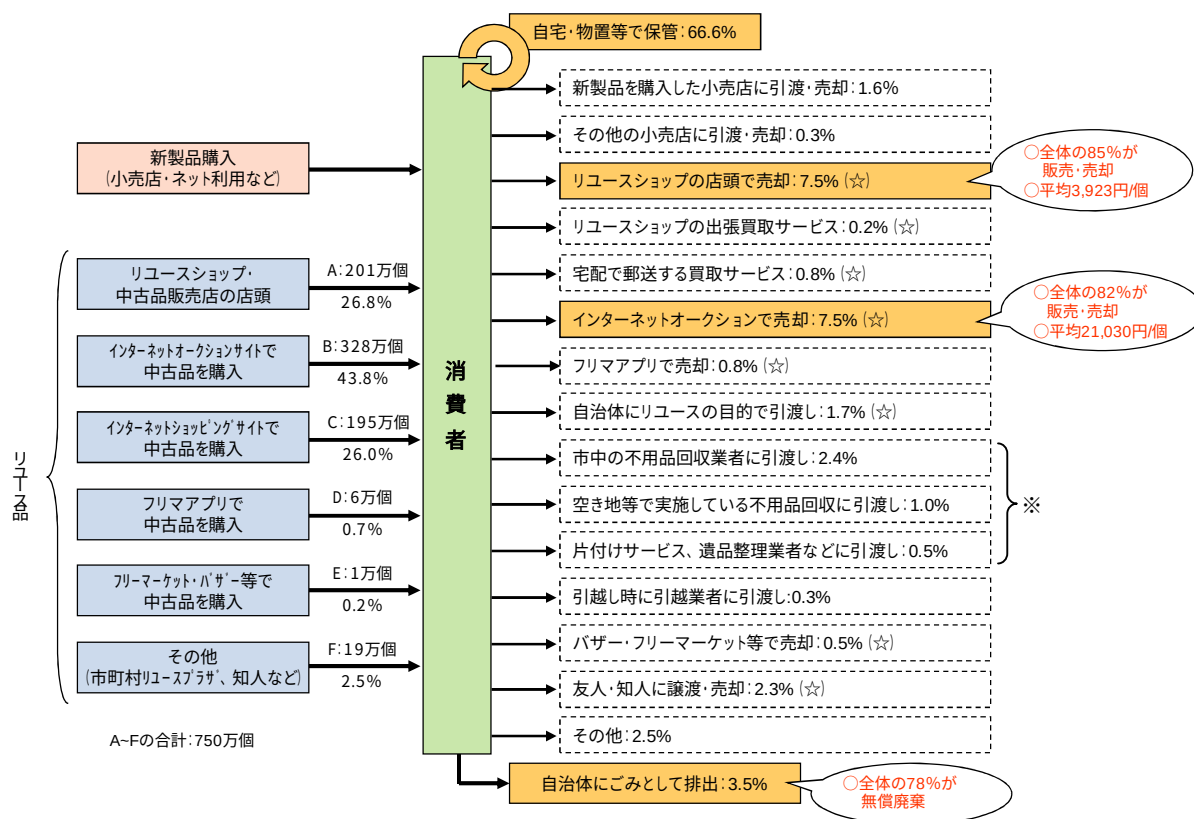
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したパソコン・周辺機器は750万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが43.8%、328万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が26.8%、201万個、「インターネットショッピングサイト」が26.0%、195万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く66.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が7.5%、「リユースショップの店頭で売却」も同じく7.5%、「自治体にごみとして排出」が3.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が85%、平均3,923円/個となり、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が82%を占め、平均21,030円/個となっている。「自治体にごみとして排出する」では78%が無償廃棄となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の21.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の66.4%を占めると推計される。

図表 52 パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

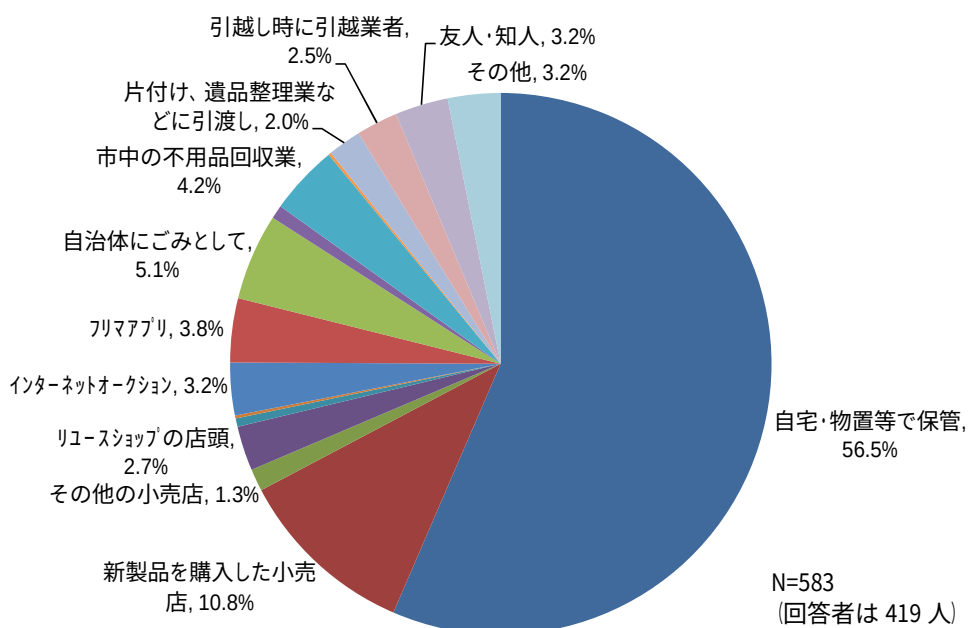
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1 4．家電 4 品目（エアコン、テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家電 4 品目の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去 1 年に不用となった家電 4 品目の個数は 583 個（419 人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く 56.5%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が 10.8%、「自治体にごみとして廃棄」が 5.1%、「市中の不用品回収業者に引き渡し」が 4.2%と続く。

図表 53 不用となった家電 4 品目の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が 1 種類の回答のみを集計。
※構成比 1 %以上のものの凡例・数値を表示

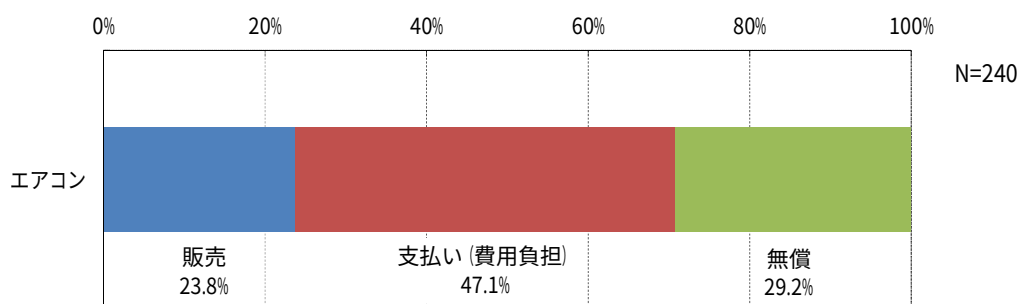
2) 不用品の排出における費用について

不用となった家電4品目の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「支払い（費用負担）」との回答が最も多く47.1%、次いで「無償」が29.2%、「販売」は23.8%となっている（図表54）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は3,983円/個、「販売」は7,201円/個となっている（図表55）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が続く、そのうち「支払い（費用負担）」が69.2%（3,884円/台）、「無償」が23.1%、「販売」が7.7%（3,000円/台）となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「支払い（費用負担）」が74.2%（2,298円/台）、「無償」が25.8%、「不用品回収業者に引渡し」では「支払い（費用負担）」が48.0%（2,667円/台）、「無償」が44.0%、「販売」が8.0%（20円/台）となっている。

図表 54 排出・引渡時の費用について（家電4品目）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 55 排出・引渡先別の割合・費用について（家電4品目）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			（1）販売			（2）支払い（費用負担）			（3）無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	340	56.5%							340	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	65	10.8%	5	7.7%	3,000	45	69.2%	3,884	15	23.1%
その他の小売店に引渡し・売却	8	1.3%	—	—	—	8	100.0%	4,050	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	16	2.7%	6	37.5%	3,000	1	6.3%	5,000	9	56.3%
リユースショップの出張買取サービス	3	0.5%	2	66.7%	10,000	1	33.3%	6,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	1	0.2%	1	100.0%	4,000	—	—	—	0	0.0%
インターネットオークションで売却	19	3.2%	16	84.2%	3,301	—	—	—	1	5.3%
フリマアプリで売却	23	3.8%	20	87.0%	15,005	—	—	—	2	8.7%
自治体にごみとして廃棄	31	5.1%	—	—	—	23	74.2%	2,298	8	25.8%
自治体にリユースの目的で引渡し	5	0.8%	—	—	—	4	80.0%	4,875	1	20.0%
不用品回収業者に引渡し	25	4.2%	2	8.0%	20	12	48.0%	2,667	11	44.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.2%	—	—	—	1	100.0%	2,000	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	12	2.0%	—	—	—	9	75.0%	9,111	3	25.0%
引越し時に引越業者に引渡し	15	2.5%	—	—	—	9	60.0%	5,389	6	40.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	19	3.2%	5	26.3%	100	—	—	—	14	73.7%
その他	19	3.2%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	602	100.0%	57	9.8%	7,201	113	19.5%	3,983	410	70.7%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家電 4 品目の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家電4品目は298万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが40.8%、122万台、「インターネットオークションサイト」が37.1%、110万台

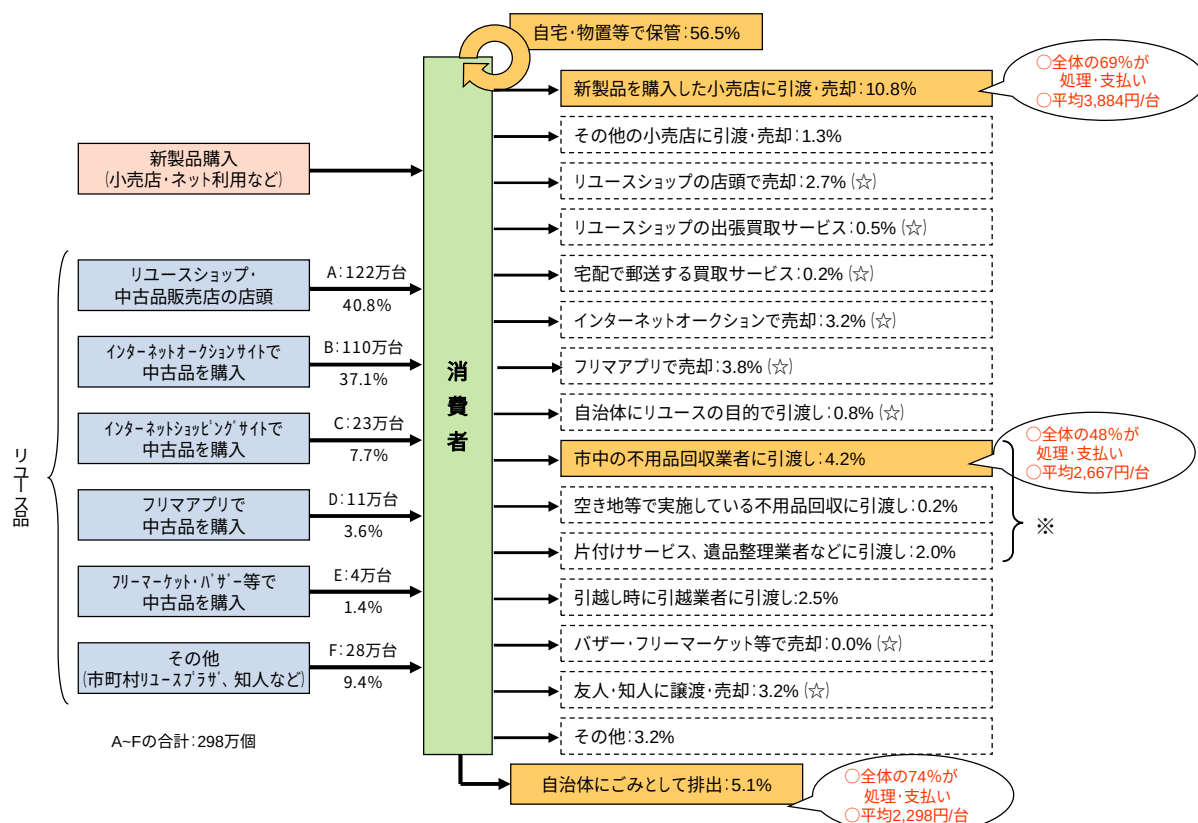
「インターネットショッピングサイト」が7.7%、23万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった家電4品目の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く56.5%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が10.8%、「自治体にごみとして廃棄」が5.1%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が4.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では支払が69%を占め、その費用は平均3,884円/台となっている。「市中の不用品回収業者に引き渡し」では支払が48%、平均2,667円/台、「自治体にごみとして排出」は74%、平均2,298円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の14.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の25.9%を占めると推計される。

図表 56 家電4品目の排出・流通実態の推計

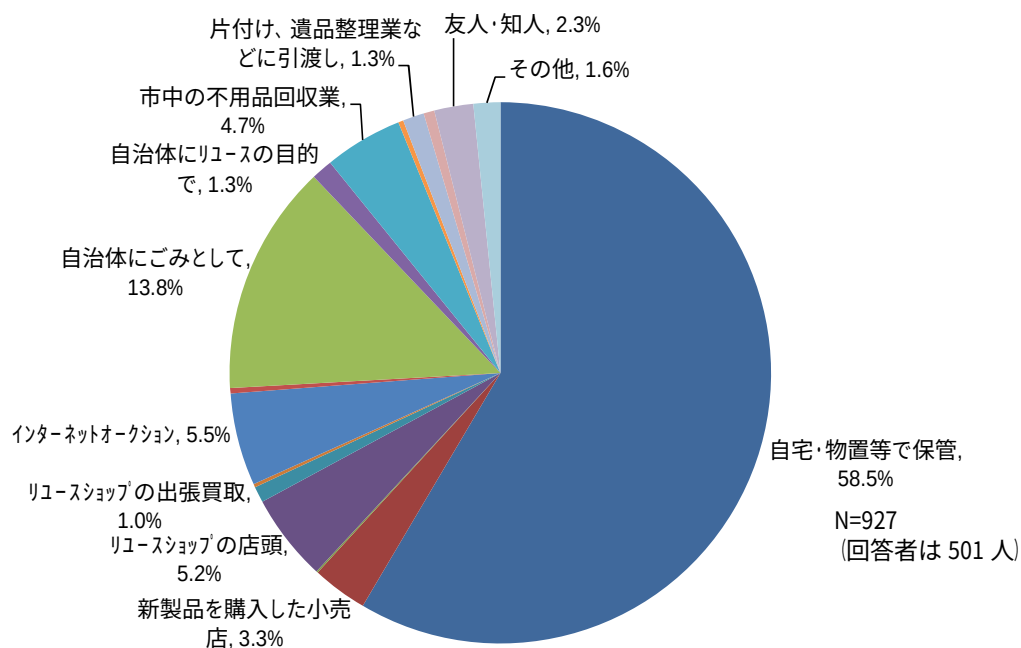


15. その他の家電製品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったその他の家電製品の個数は927個（501人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く58.5%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.8%、「インターネットオークションで売却」が5.5%と続く。

図表 57 不用となったその他の家電製品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

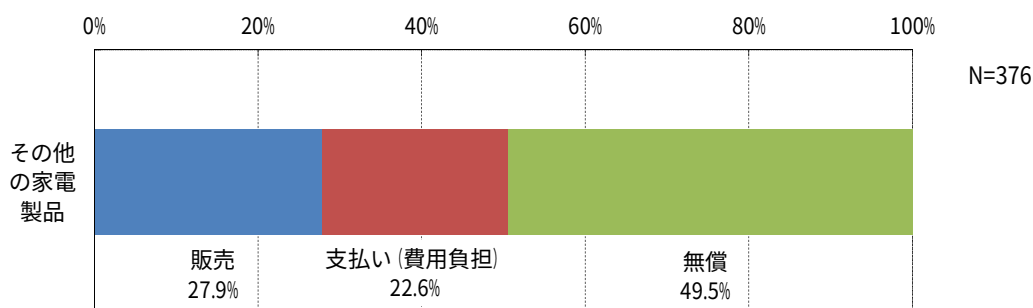
2) 不用品の排出における費用について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 49.5%、次いで「販売」が 27.9%、「支払い（費用負担）」は 22.6%となっている（図表 58）。また、「販売」の際の平均単価は 4,073 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,684 円/個となっている（図表 59）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続く、そのうち「無償」が 59.2%、「支払い（費用負担）」が 37.7%（709 円/台）、となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 90.4%（7,255 円/台）、「無償」が 9.6%、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 75.5%（812 円/台）、「無償」が 24.5%、「不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 61.4%、「支払い（費用負担）」が 31.8%（3,071 円/台）、「販売」が 6.8%（10,000 円/台）となっている。

図表 58 排出・引渡時の費用について（その他の家電製品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 59 排出・引渡先別の割合・費用について（その他の家電製品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	551	58.5%							551	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	31	3.3%	5	16.1%	660	12	38.7%	3,542	14	45.2%
その他の小売店に引渡し・売却	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
リユースショップの店頭で売却	49	5.2%	37	75.5%	812	—	—	—	12	24.5%
リユースショップの出張買取サービス	9	1.0%	5	55.6%	1,930	—	—	—	4	44.4%
宅配で郵送する買取サービス	2	0.2%	1	50.0%	3,000	1	50.0%	500	0	0.0%
インターネットオークションで売却	52	5.5%	47	90.4%	7,255	—	—	—	5	9.6%
フリマアプリで売却	3	0.3%	3	100.0%	2,836	—	—	—	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	130	13.8%	4	3.1%	550	49	37.7%	709	77	59.2%
自治体にリユースの目的で引渡し	12	1.3%	—	—	—	5	41.7%	2,400	7	58.3%
不用品回収業者に引渡し	44	4.7%	3	6.8%	10,000	14	31.8%	3,071	27	61.4%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.3%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	12	1.3%	—	—	—	4	33.3%	2,600	8	66.7%
引越し時に引越業者に引渡し	6	0.6%	—	—	—	—	—	—	6	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	22	2.3%	—	—	—	—	—	—	22	100.0%
その他	15	1.6%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	942	100.0%	105	11.3%	4,073	85	9.2%	1,684	737	79.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) その他の家電製品の排出・流通実態の推計

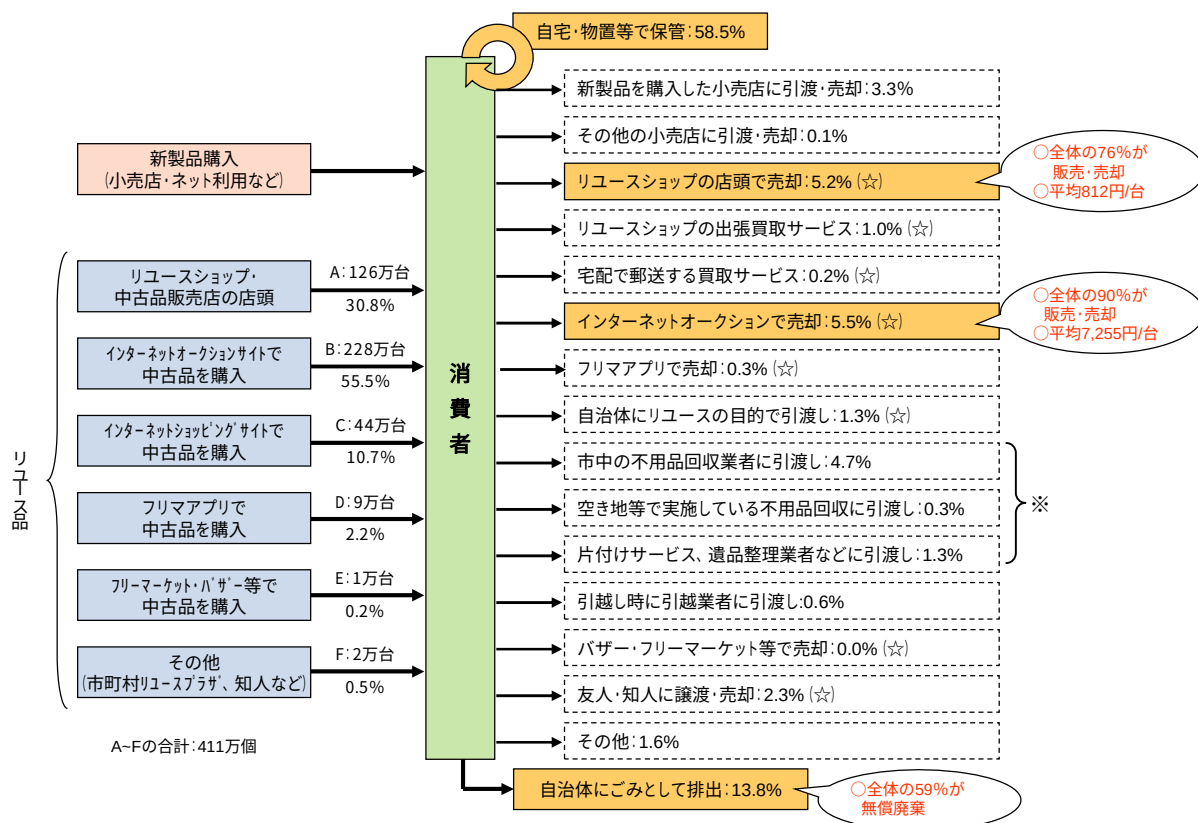
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したその他の家電製品は411万台、そのうち「インターネットオークションサイト」が55.5%、228万台「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが30.8%、126万台と「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものがそれぞれ10.7%、44万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったその他の家電製品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く58.5%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.8%、「インターネットオークションで売却」が5.5%、「リユースショップの店頭で売却」が5.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では無償が59%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が90%を占め、平均7,255円/台、「リユースショップの店頭」では販売・売却が76%を占め、平均812円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の15.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の38.8%を占めると推計される。

図表 60 その他の家電製品の排出・流通実態の推計

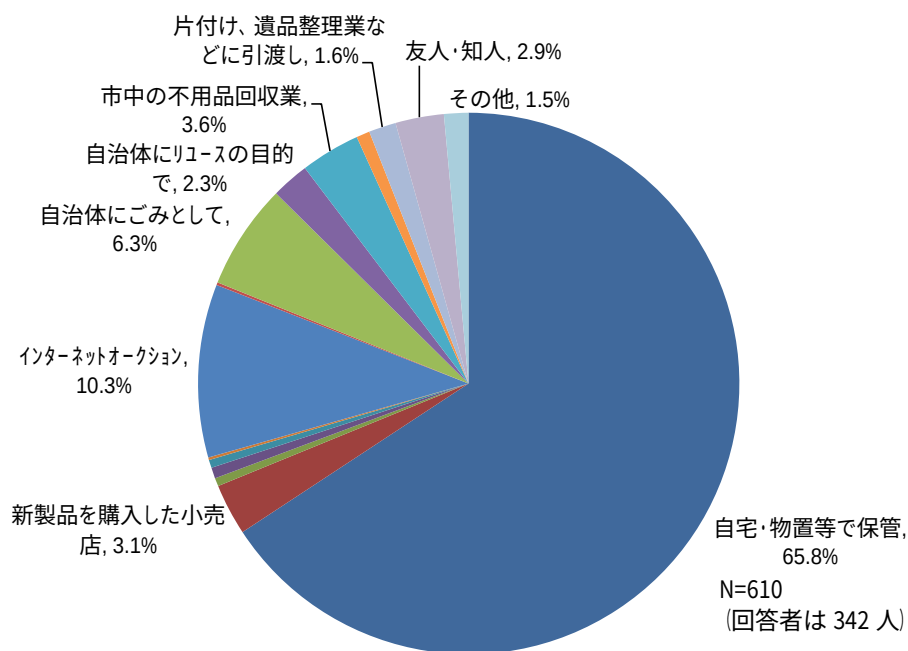


1 6．自転車、自転車部品・パーツ

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自転車、自転車部品・パーツの個数は610個（342人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く65.8%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.3%、「自治体にごみとして廃棄」が6.3%、「市中の不用品回収業者に引き渡し」が3.6%と続く。

図表 61 不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

2) 不用品の排出における費用について

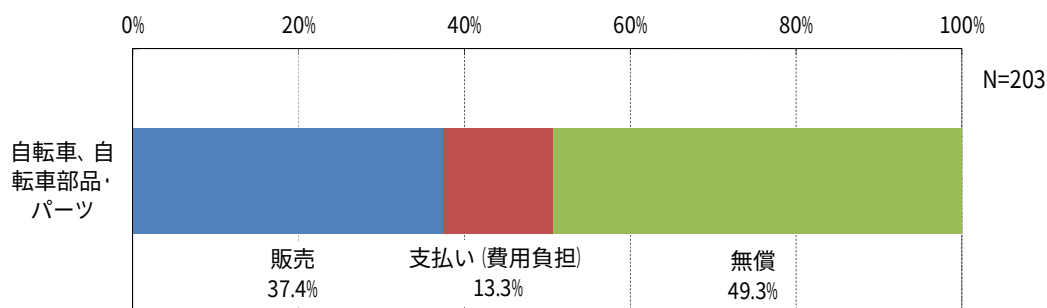
不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 49.3%、次いで「販売」が 37.4%、「支払い（費用負担）」は 13.3%となっている（図表 62）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は 1,667 円/個、「販売」は 23,751 円/個となっている（図表 63）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 98.4%（26,922 円/個）、「無償」が 1.6%となっている。

「自治体ごみとして廃棄」では「無償」が 56.4%、「支払い（費用負担）」が 30.8%（692 円/個）、「販売」が 12.8%（100 円/個）「不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 77.3%、「支払い（費用負担）」が 22.7%（2,300 円/個）となっている。

図表 62 排出・引渡時の費用について（自転車、自転車部品・パーツ）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 63 排出・引渡先別の割合・費用について（自転車、自転車部品・パーツ）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	407	65.8%							407	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	19	3.1%	1	5.3%	500	3	15.8%	1,000	15	78.9%
その他の小売店に引渡し・売却	3	0.5%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
リユースショップの店頭で売却	4	0.6%	3	75.0%	6,667	—	—	—	1	25.0%
リユースショップの出張買取サービス	3	0.5%	1	33.3%	50,000	—	—	—	2	66.7%
宅配で郵送する買取サービス	1	0.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
インターネットオークションで売却	64	10.3%	63	98.4%	26,922	—	—	—	1	1.6%
フリマアプリで売却	1	0.2%	1	100.0%	23,000	—	—	—	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	39	6.3%	5	12.8%	100	12	30.8%	692	22	56.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	14	2.3%	—	—	—	2	14.3%	550	12	85.7%
不用品回収業者に引渡し	22	3.6%	—	—	—	5	22.7%	2,300	17	77.3%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.8%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	10	1.6%	—	—	—	3	30.0%	6,833	7	70.0%
引越時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	18	2.9%	2	11.1%	7,500	2	11.1%	300	14	77.8%
その他	9	1.5%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	619	100.0%	76	12.5%	23,751	27	4.4%	1,667	507	83.1%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計

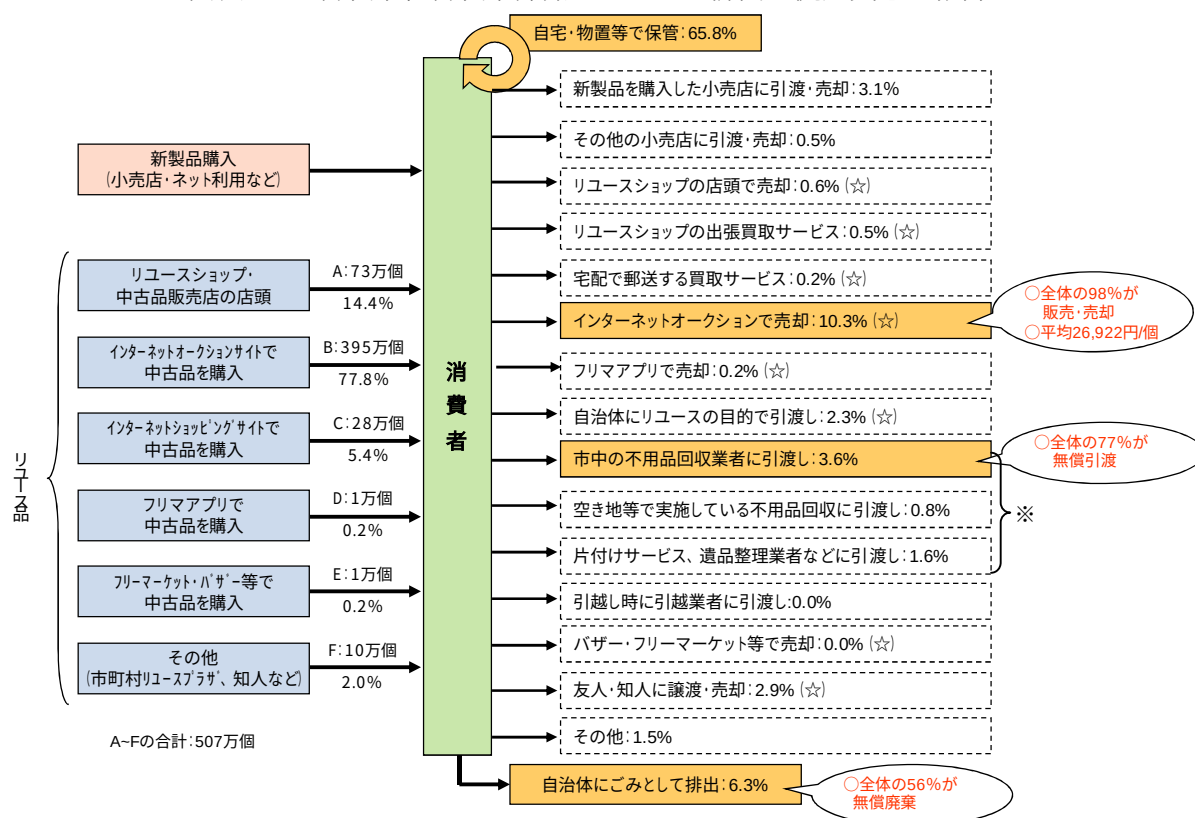
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自転車、自転車部品・パーツは507万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが77.8%、395万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が14.4%、73万個、「インターネットショッピングサイト」が5.4%、28万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く65.8%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.3%、「自治体にごみとして排出」が6.3%、「市内の不用品回収業者に引渡し」が3.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が98%を占め、平均26,922円/個。「市内の不用品回収業者に引渡し」では全体の77%が無償引渡、「自治体にごみとして排出」でも56%が無償廃棄となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の17%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の51.2%を占めると推計される。

図表 64 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为される排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

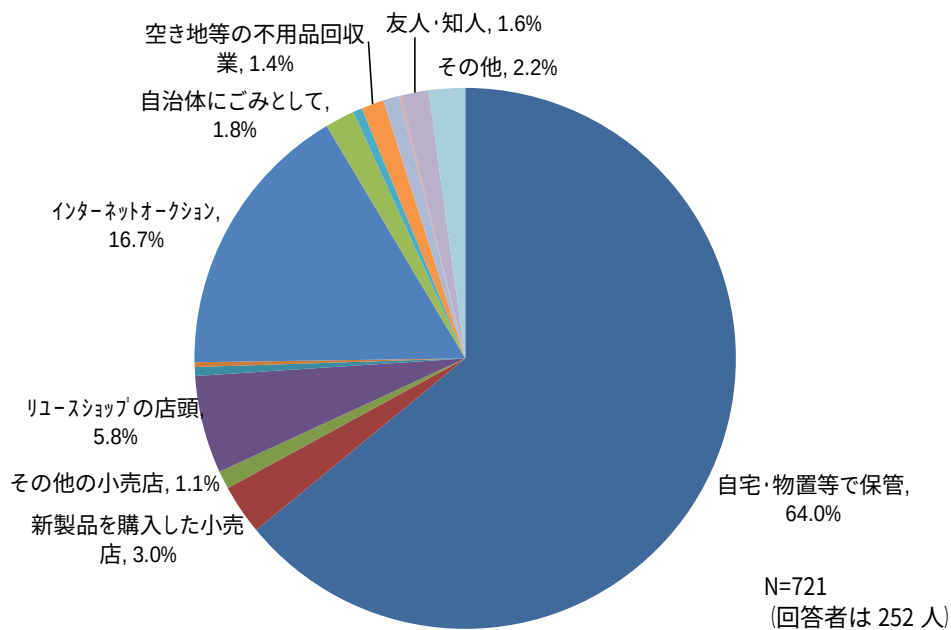
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

17. カー用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったカー用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったカー用品の個数は721個（252人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く64.0%、次いで「インターネットオークションで売却」が16.7%、「リユースショップの店頭で売却」が5.8%と続く。

図表 65 不用となったカー用品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

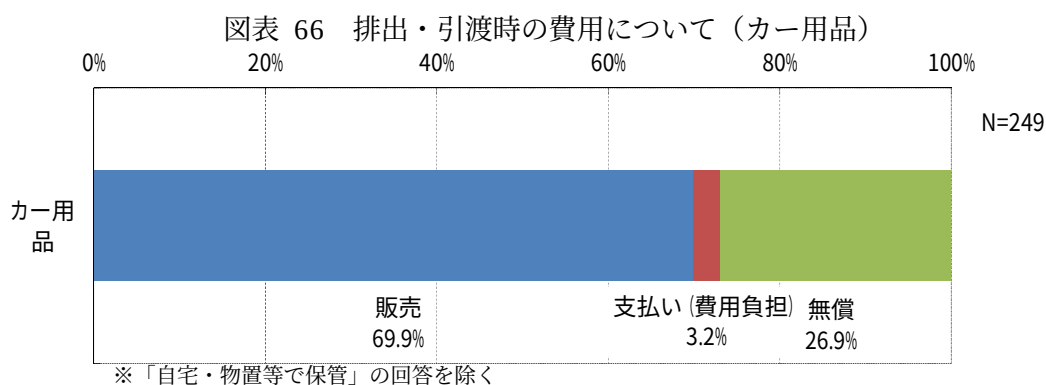
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

2) 不用品の排出における費用について

不用となったカー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 69.9%、次いで「無償」が 26.9%、「支払い（費用負担）」は 3.2%となっている（図表 66）。また、「販売」の際の平均単価は 23,490 円/個、「支払い（費用負担）」は 3,325 円/個となっている（図表 67）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、97.6%が「販売」（31,920 円/個）、「無償」が 2.4%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 95.3%（4,437 円/個）、「無償」が 4.7%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「無償」が 63.6%、「販売」が 22.7%（2,600 円/個）、「支払い（費用負担）」が 13.6%（700 円/個）となっている。



図表 67 排出・引渡先別の割合・費用について（カー用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	472	64.0%							472	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	22	3.0%	5	22.7%	2,600	3	13.6%	700	14	63.6%
その他の小売店に引渡し・売却	8	1.1%	3	37.5%	12,000	1	12.5%	500	4	50.0%
リユースショップの店頭で売却	43	5.8%	41	95.3%	4,437	—	—	—	2	4.7%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.5%	3	75.0%	5,333	—	—	—	1	25.0%
宅配で郵送する買取サービス	2	0.3%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
インターネットオークションで売却	123	16.7%	120	97.6%	31,920	—	—	—	3	2.4%
フリマアプリで売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
自治体にごみとして廃棄	13	1.8%	—	—	—	1	7.7%	1,000	12	92.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	4	0.5%	—	—	—	—	—	—	4	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	10	1.4%	—	—	—	—	—	—	10	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	7	0.9%	—	—	—	2	28.6%	10,000	5	71.4%
引越時に引越業者に引渡し	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	12	1.6%	2	16.7%	5,000	1	8.3%	3,000	9	75.0%
その他	16	2.2%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	737	100.0%	174	24.1%	23,490	8	1.1%	3,325	539	74.8%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カー用品の排出・流通実態の推計

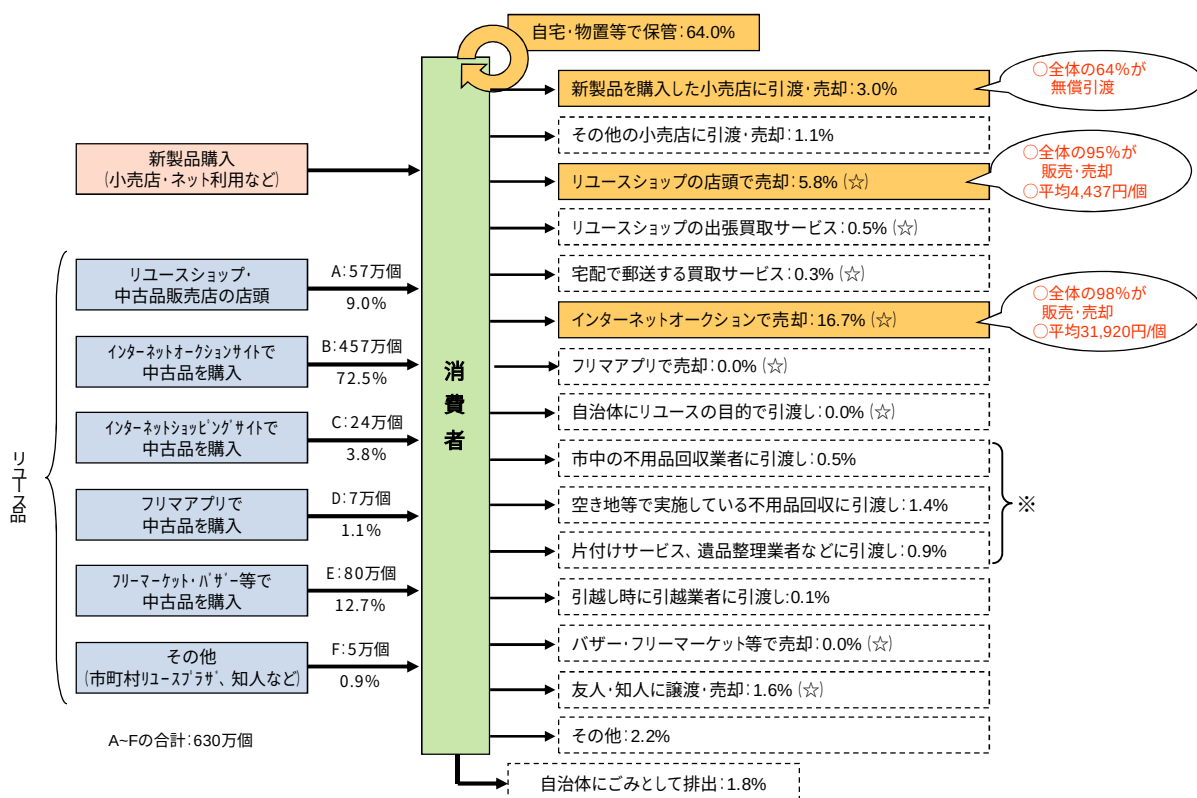
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカー用品は630万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが72.5%、457万個、「フリーマーケット・バザー等で中古品を購入」が12.7%、80万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が9.0%、57万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く64.0%、次いで「インターネットオークションで売却」が16.7%、「リユースショップの店頭で売却」が5.8%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が3.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」は98%が販売・売却であり、平均31,920円/個、「リユースショップの店頭で売却」では95%が販売・売却であり、平均4,437円/個、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では無償引渡しとなっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の25.0%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の73.9%を占めると推計される。

図表 68 カー用品の排出・流通実態の推計

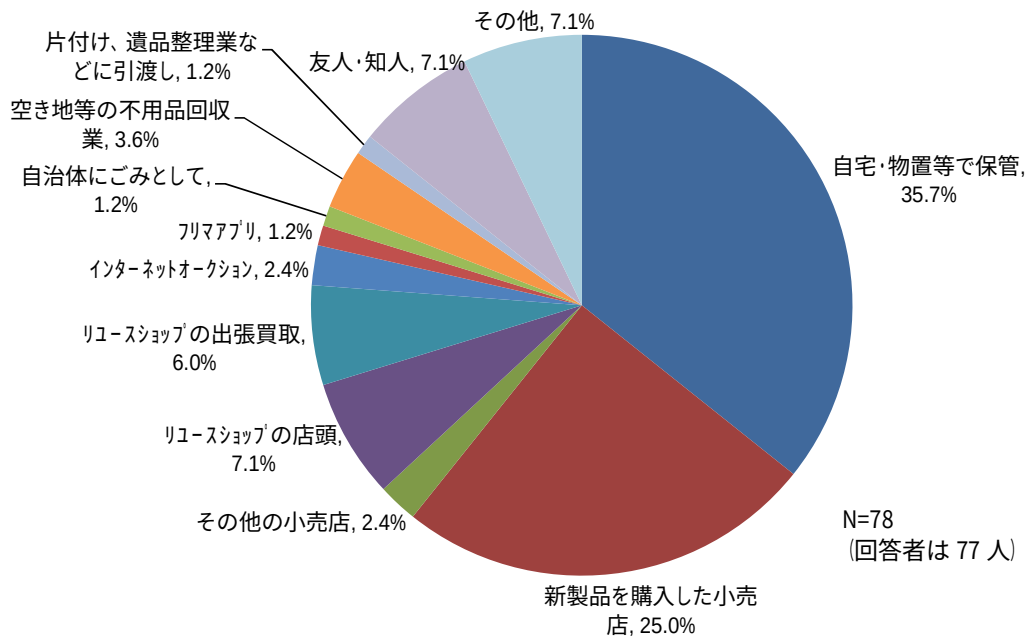


18. 自動車

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自動車の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自動車の台数は78台（77人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く35.7%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が25.0%、「リユースショップの店頭で売却」と「友人・知人に譲渡・売却」が共に7.1%と続く。

図表 69 不用となった自動車の排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

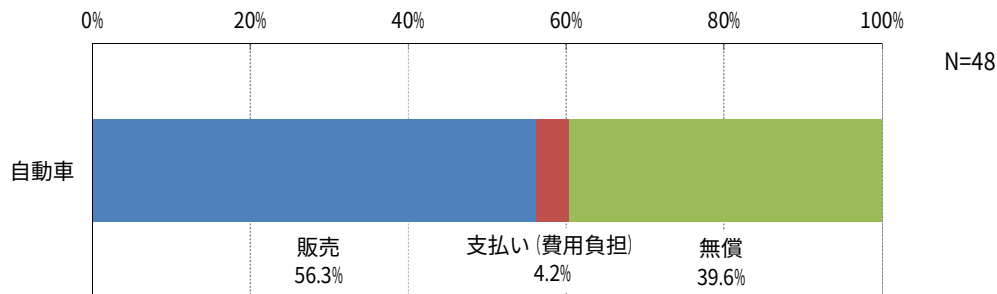
2) 不用品の排出における費用について

不用となった自動車の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 56.3%、次いで「無償」が 39.6%、「支払い（費用負担）」は 4.2%となっている（図表 70）。また、「販売」の際の平均単価は 319,267 円/個、「支払い（費用負担）」は 7,501 円/個となっている（図表 71）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が続く。「販売」が 76.2%（286,263 円/台）、「無償」が 23.8%、となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 66.7%（318,750 円/台）、「無償」が 16.7%、「支払い（費用負担）」が 16.7%（15,000 円/台）、「友人・知人に譲渡・売却」では「無償」が 83.3%、「販売」が 16.7%（100,000 円/台）となっている。

図表 70 排出・引渡時の費用について（自動車）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 71 排出・引渡先別の割合・費用について（自動車）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
	個数	割合	(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	30	35.7%							30	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	21	25.0%	16	76.2%	286,263	—	—	—	5	23.8%
その他の小売店に引渡し・売却	2	2.4%	1	50.0%	30,000	—	—	—	1	50.0%
リユースショップの店頭で売却	6	7.1%	4	66.7%	318,750	1	16.7%	15,000	1	16.7%
リユースショップの出張買取サービス	5	6.0%	3	60.0%	711,667	1	20.0%	—	1	20.0%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	2	2.4%	2	100.0%	250,000	—	—	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	1	1.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
自治体にごみとして廃棄	1	1.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	3.6%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	1	1.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	6	7.1%	1	16.7%	100,000	—	—	—	5	83.3%
その他	6	7.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	84	100.0%	27	34.6%	319,267	2	2.6%	7,501	49	62.8%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 自動車の排出・流通実態の推計

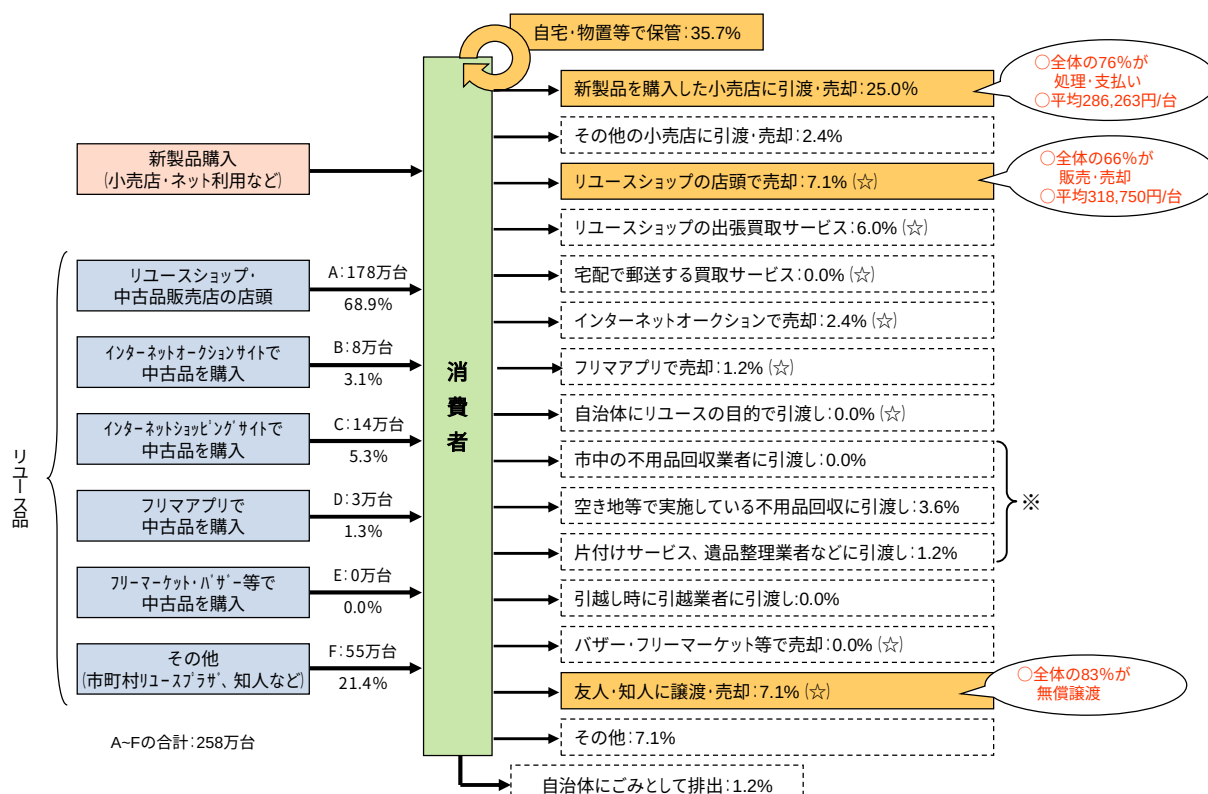
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自動車は 258 万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 68.9%、178 万台、「その他」が 21.4%、55 万台、「インターネットショッピングサイト」が 5.3%、14 万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった自動車の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 35.7%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が 25.0%、「リユースショップの店頭で売却」「友人知人に譲渡・売却」がそれぞれ 7.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では販売・売却が 76%、平均 286,263 円/台、「友人知人に譲渡・売却」では全体の 83%が無償譲渡、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が 66%、平均 318,750 円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 23.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 39.6%を占めると推計される。

図表 72 自動車の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

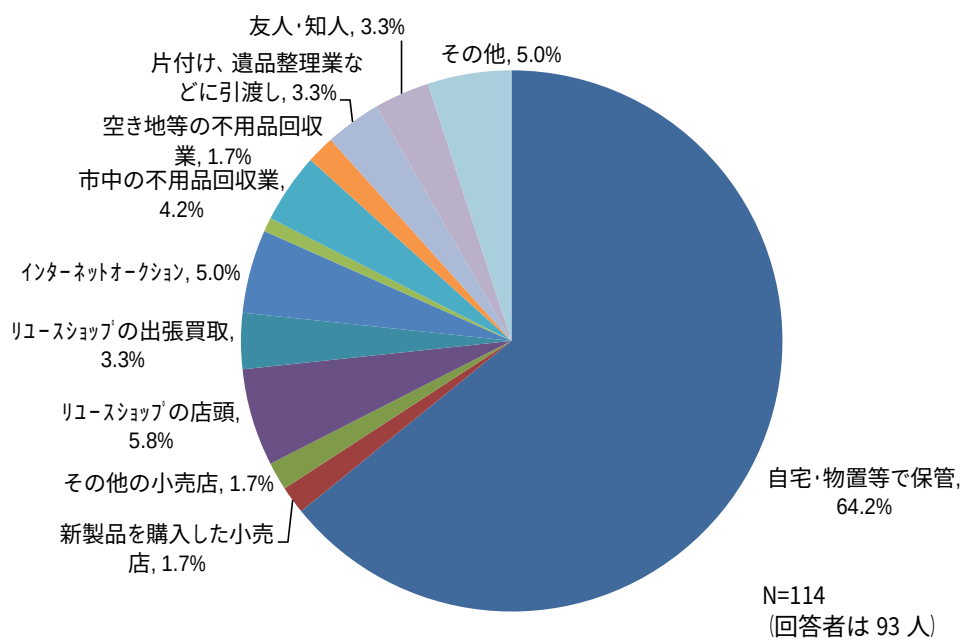
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

19. バイク、原付バイク

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったバイク・原付バイクの台数は114台（93人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く64.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が5.8%、「インターネットオークションで売却」が5.0%、と続く。

図表 73 不用となったバイク・原付バイクの排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

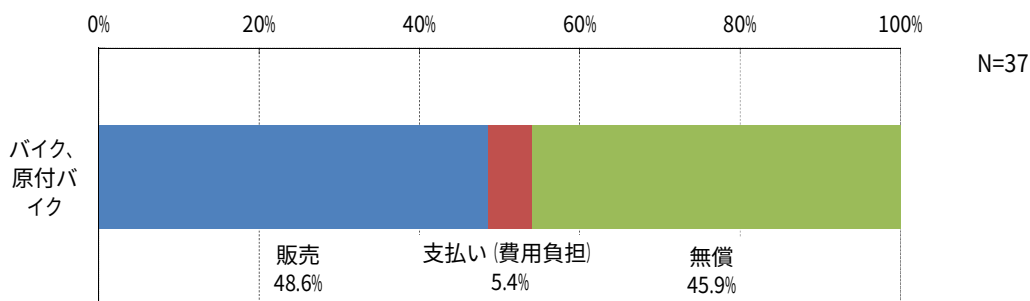
2) 不用品の排出における費用について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 48.6%、次いで「無償」が 45.9%、「支払い（費用負担）」は 5.4%となっている（図表 74）。また、「販売」の際の平均単価は 718,556 円/台、「支払い（費用負担）」は 1,500 円/台となっている（図表 75）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、100%が「販売」（159,857 円/台）となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 100.0%（84,167 円/台）、「不用品回収業者に引渡し」では「支払い（費用負担）」が 20.0%（2,000 円/台）、「無償」が 80.0%、「リユースショップの出張買取サービス」では「販売」が 50.0%（5,452,500 円/台）、「無償」が 50.0%となっている。

図表 74 排出・引渡時の費用について（バイク・原付バイク）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 75 排出・引渡先別の割合・費用について（バイク・原付バイク）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
	個数	割合	(1) 販売			(2) 支払い (費用負担)			(3) 無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	77	64.2%							77	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	2	1.7%	1	50.0%	330,000	—	—	—	1	50.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	1.7%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
リユースショップの店頭で売却	7	5.8%	7	100.0%	159,857	—	—	—	0	0.0%
リユースショップの出張買取サービス	4	3.3%	2	50.0%	5,452,500	—	—	—	2	50.0%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	6	5.0%	6	100.0%	84,167	—	—	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
自治体にごみとして廃棄	1	0.8%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	5	4.2%	—	—	—	1	20.0%	2,000	4	80.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	2	1.7%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	4	3.3%	—	—	—	1	25.0%	1,000	3	75.0%
引渡し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	4	3.3%	2	50.0%	37,500	—	—	—	2	50.0%
その他	6	5.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	120	100.0%	18	15.8%	718,556	2	1.8%	1,500	94	82.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計

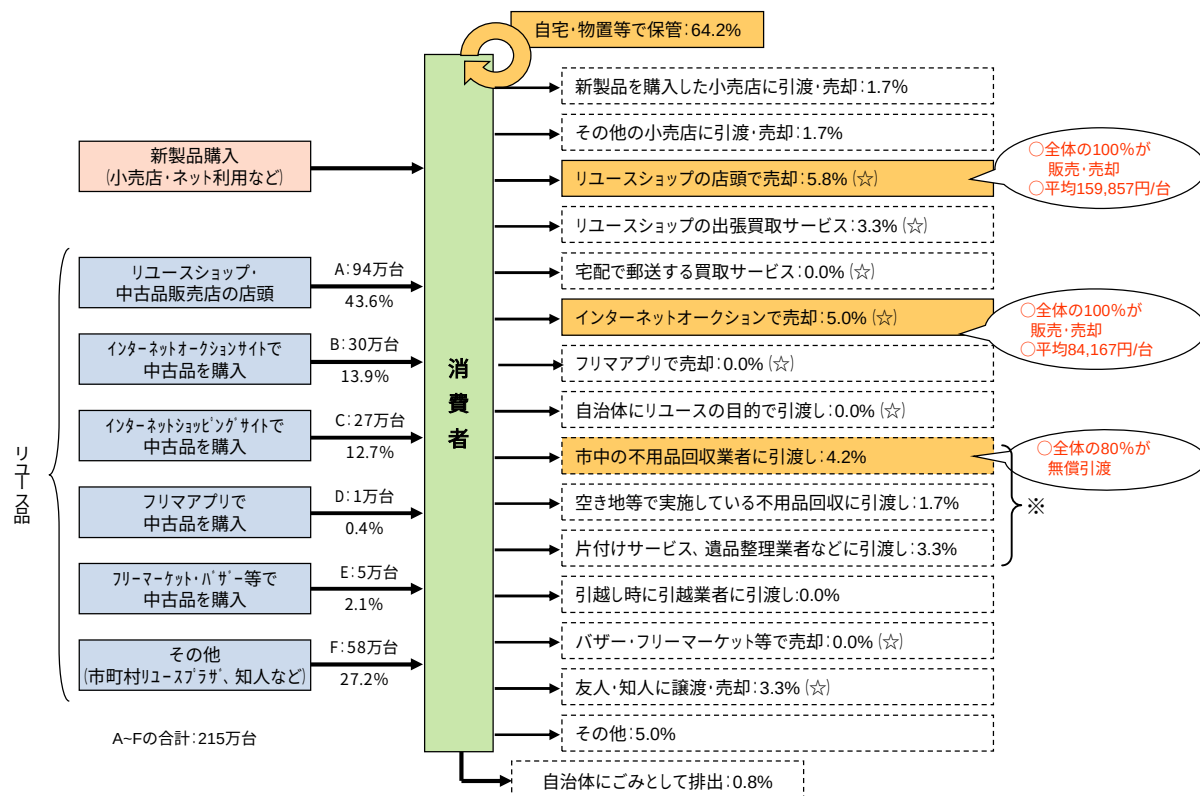
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したバイク・原付バイクは 215 万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 43.6%、94 万台、「その他」が 27.2%、58 万台、「インターネットオークションサイト」が 13.9%、30 万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 64.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が 5.8%、「インターネットオークションで売却」が 5.0%、「市内の不用品回収業者に引渡し」が 4.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」は 100%が販売・売却であり、平均 84,167 円/台、「リユースショップの店頭で売却」も販売・売却が 100%を占め、平均 159,857 円/台、「市内の不用品回収業者に引渡し」では 80%が無償引渡しとなる。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 17.5%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 56.8%を占めると推計される。

図表 76 バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

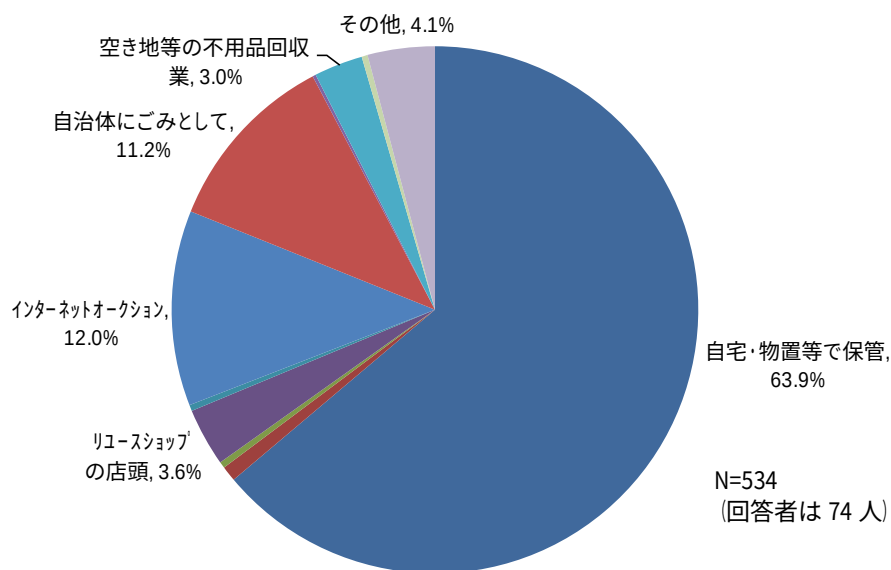
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

20. その他

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったその他の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったその他の個数は534個（74人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く63.9%、次いで「インターネットオークションで売却」が12.0%、「自治体にごみとして廃棄」が11.2%と続く。

図表 77 不用となったその他の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

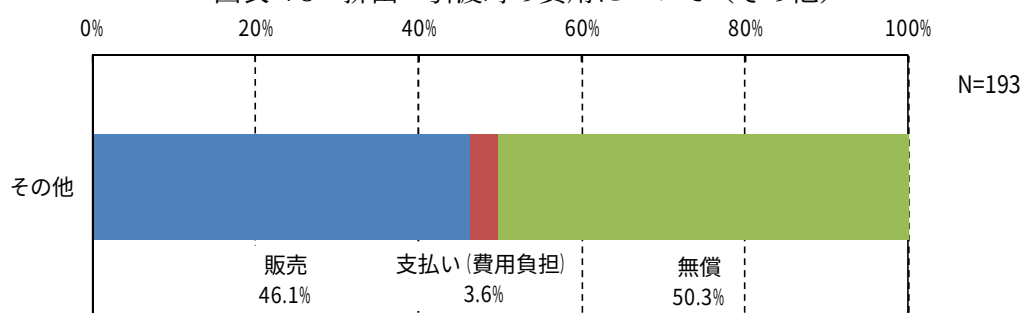
2) 不用品の排出における費用について

不用となったその他の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多 50.3%、次いで「販売」が 46.1%、「支払い（費用負担）」は 3.6%となっている（図表 78）。また、「販売」の際の平均単価は 3,451 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,589 円/個となっている（図表 79）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き 100%が「販売」（3,594 円/個）となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 91.7%、「支払い（費用負担）」が 8.3%（524 円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 100%（1,187 円/個）となっている。

図表 78 排出・引渡時の費用について（その他）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 79 排出・引渡先別の割合・費用について（その他）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	341	63.9%							341	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	5	0.9%	4	80.0%	2,637	—	—	—	1	20.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.4%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
リユースショップの店頭で売却	19	3.6%	19	100.0%	1,187	—	—	—	—	—
リユースショップの出張買取サービス	2	0.4%	2	100.0%	22,000	—	—	—	—	—
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	64	12.0%	64	100.0%	3,594	—	—	—	—	—
自治体にごみとして廃棄	60	11.2%	—	—	—	5	8.3%	524	55	91.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	1	0.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	16	3.0%	—	—	—	—	—	—	16	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	2	0.4%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
その他	22	4.1%	—	—	—	2	9.1%	4,250	20	90.9%
合計	534	100.0%	89	16.7%	3,451	7	1.3%	1,589	438	82.0%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) その他の排出・流通実態の推計

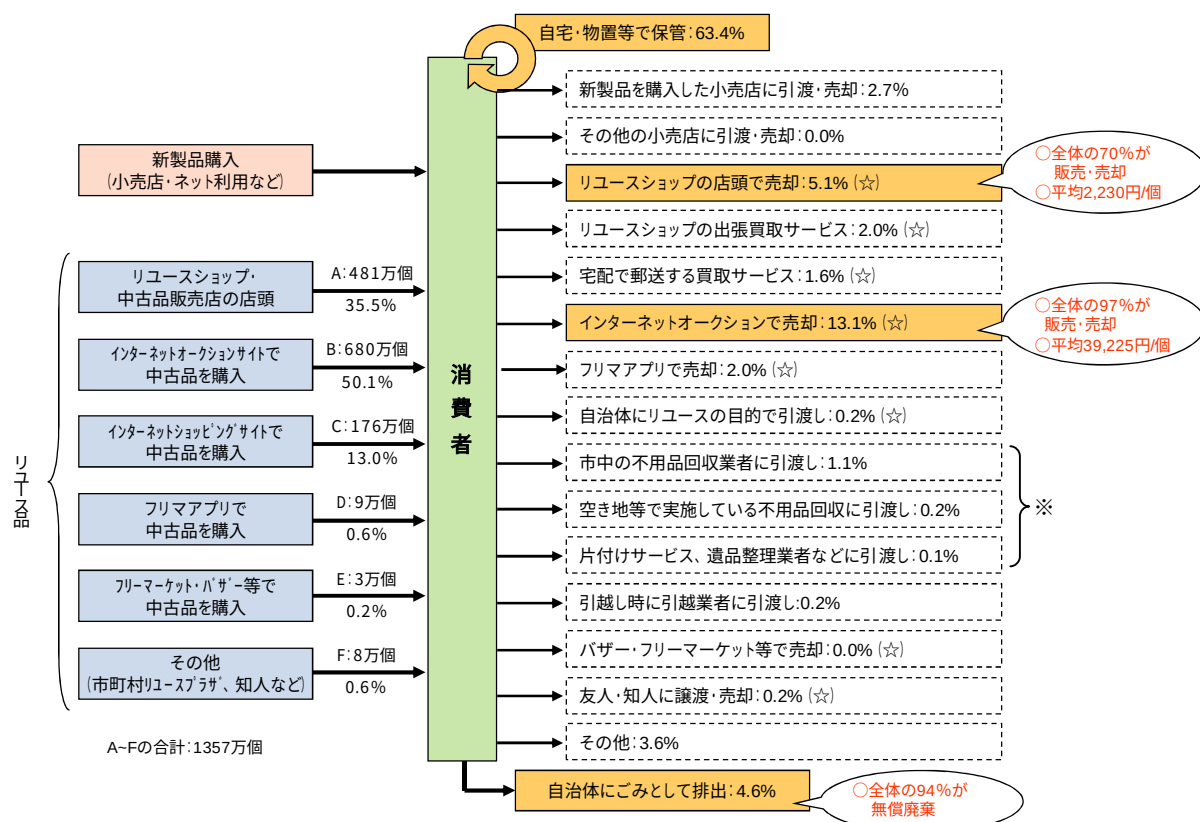
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したその他は 1,357 万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが 50.1%、680 万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が 35.5%、481 万個、「インターネットショッピングサイト」が 13.0%、176 万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったその他の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 63.4%、次いで「インターネットオークションで売却」が 13.1%、「リユースショップの店頭で売却」が 5.1%、「自治体にごみとして排出」が 4.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」97%が販売・売却であり、平均 39,225 円/個、「リユースショップの店頭で売却」では 70%が販売・売却であり、平均 2,230 円/個、「自治体にごみとして排出」は 94%無償廃棄となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 24.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 73.3%を占めると推計される。

図表 80 その他の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

資料編

【資料編 目次】

第1章 使用済製品に関する事業者向けアンケート調査結果.....	1
1. 調査団体の概要.....	1
2. 使用済製品の引き渡し（廃棄、譲渡、販売等）に関して.....	6
3. 使用済製品の中古品・リユース品としての引き渡し状況について.....	17
4. 過去の中古品・リユース品の調達・購入について.....	26
第2章 使用済製品の品目別排出・流通実態（マテリアルフロー）の推計品目別の概要.....	38
1. 家具類.....	38
2. ブランド品.....	41
3. ブランド品を除く衣類・服飾品.....	44
4. ベビー・子供用品.....	47
5. 日用品・生活雑貨.....	50
6. スポーツ・レジャー用品.....	53
7. 書籍.....	56
8. ソフト・メディア類.....	59
9. ゲーム機器.....	62
10. 玩具・模型.....	65
11. カメラ・周辺機器.....	68
12. 携帯電話・スマートフォン.....	71
13. パソコン・周辺機器.....	74
14. 家電4品目（エアコン、テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫.....	77
15. その他の家電製品.....	80
16. 自転車、自転車部品・パーツ.....	83
17. カー用品.....	86
18. 自動車.....	89
19. バイク、原付バイク.....	92
20. その他.....	95

第1章 使用済製品に関する事業者向けアンケート調査結果

- ・ 民間データベースよりアンケート送付先を抽出。対象は 2,000 件、郵送法で実施した（※郵送で調査票を配布、郵送にて回答を回収）。
- ・ 対象とする業種は、日本標準産業分類¹の分類をもとに、同一業種内での事業者の規模に偏りが生じないように、従業員規模を踏まえて抽出を行った。
- ・ 以下は副次的に集計したものである。調査結果の詳細は、別データを参照のこと。

◆回収結果

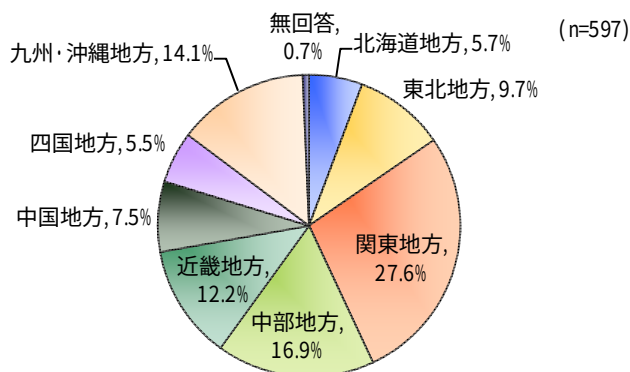
項目	件数・割合	備考・補足
発送数	2,000 件	うち、55 件が宛先・転居先不明で無効発送
回収数	597 件	
回収率	29.9%	回収数÷発送数として算出

1. 調査団体の概要

1.1 本社所在地

団体の本社所在地について、最も当てはまるとしては、「関東地方」の割合が最も高く 27.6%となっている。次いで、「中部地方（16.9%）」、「九州・沖縄地方（14.1%）」となっている。

図 1 本社所在地



Q.1 貴団体の本社所在地について、最も当てはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 北海道地方
2. 東北地方（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）
3. 関東地方（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）
4. 中部地方（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県）
5. 近畿地方（三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）
6. 中国地方（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）
7. 四国地方（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）
8. 九州・沖縄地方（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

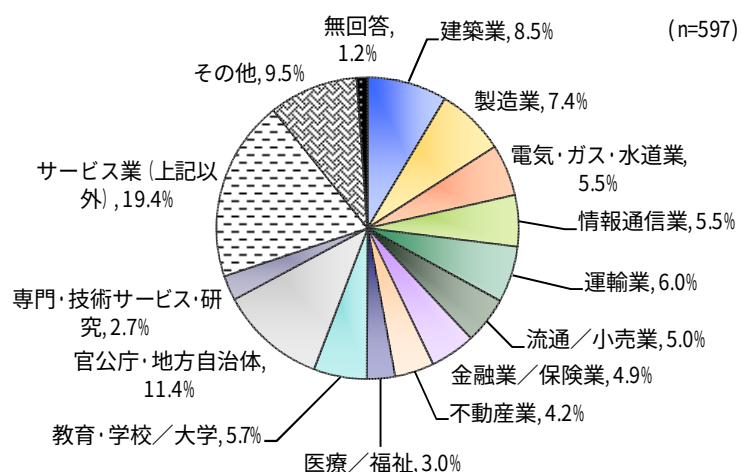
¹日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改定）（平成 26 年 4 月 1 日施行）

（http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/sangyo/02toukatsu01_03000022.html、2014 年 8 月 28 日取得）

1.2 業種

団体の業種については、「サービス業（上記以外）」の割合が最も高く 19.4%となっている。次いで、「官公庁・地方自治体（11.4%）」、「その他（9.5%）」となっている。

図 2 業種



Q.2 貴団体の業種について、最も当てはまる番号に1つ○をつけてください。

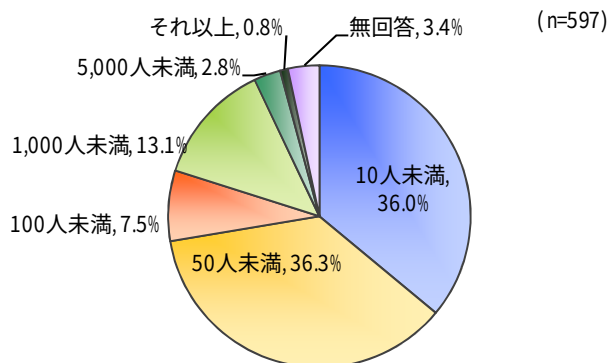
【業種】

1. 建設業 2. 製造業 3. 電気・ガス・水道業 4. 情報通信業 5. 運輸業
 6. 流通／小売業 7. 金融業／保険業 8. 不動産業 9. 医療／福祉 10. 教育、学校／大学
 11. 官公庁、地方自治体 12. 専門・技術サービス、研究 13. サービス業（上記以外）
 14. その他（ ）

1.3 直近の従業員・職員数

団体の1.3 直近の従業員・職員数は、「50人未満」の割合が最も高く 36.3%となっている。次いで、「10人未満（36.0%）」、「1,000人未満（13.1%）」となっている。

図 3 直近の従業員・職員数



Q.3 貴団体の直近の従業員・職員数（概数）を以下の空欄にご記入ください。

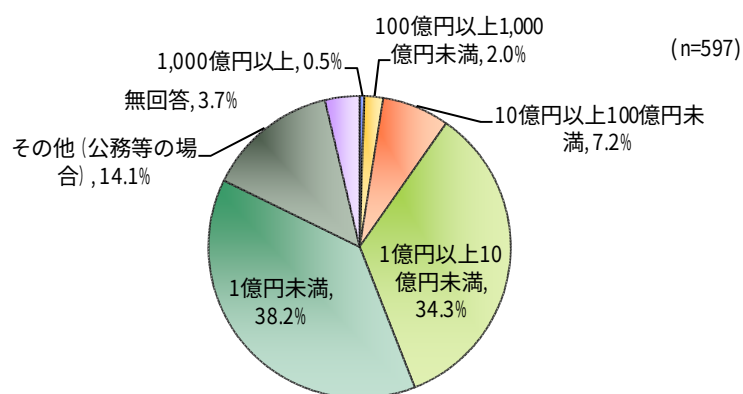
全従業員・職員数（パート・アルバイト含む） 約 _____人

（集計区分：10人未満、50人未満、100人未満、1,000人未満、5,000人未満、それ以上）

1.4 直近の売上規模

団体の直近の売上規模としては、「1 億円未満」の割合が最も高く 38.2%となっている。次いで、「1 億円以上 10 億円未満 (34.3%)」、「その他 (公務等の場合) (14.1%)」となっている。

図 4 直近の売上規模



Q.3 貴団体の直近の売上規模を以下の空欄にご記入ください。

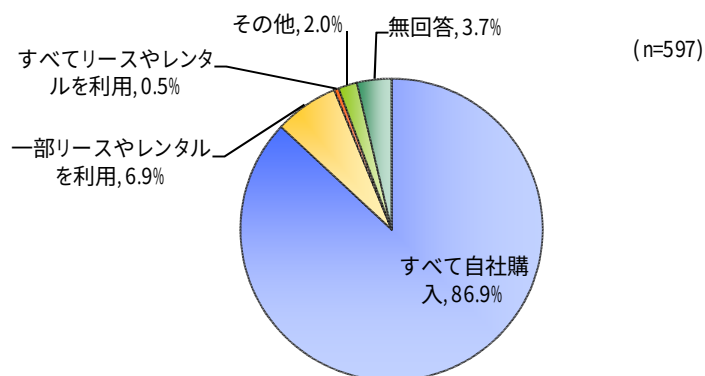
1. 「1,000 億円以上」
2. 「100 億円以上 1,000 億円未満」
3. 「10 億円以上 100 億円未満」
4. 「1 億円以上 10 億円未満」
5. 「1 億円未満」
6. その他 (公務等の場合)

1.5 オフィス家具の購入・調達の方法

1.5.1 オフィス家具の購入・調達の方法

団体における「オフィス家具」の購入・調達の方法については、「すべて自社購入」の割合が最も高く 86.9%となっている。次いで、「一部リースやレンタルを利用（6.9%）」となっている。

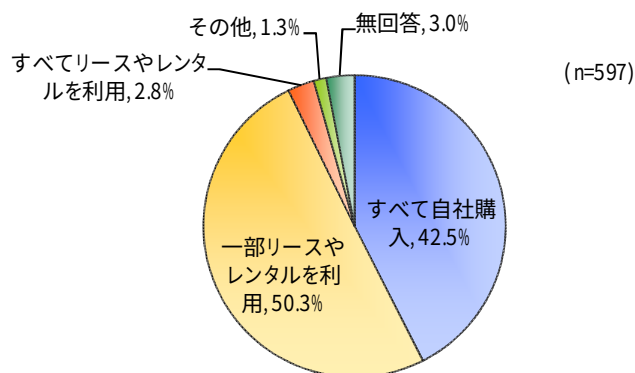
図 5 オフィス家具の購入・調達の方法



1.5.2 電気機器（OA 機器・家電製品）の購入・調達の方法

団体における「電気機器（OA 機器・家電製品）」の購入・調達方法については、「一部リースやレンタルを利用」の割合が最も高く 50.3%となっている。次いで、「すべて自社購入（42.5%）」となっている。

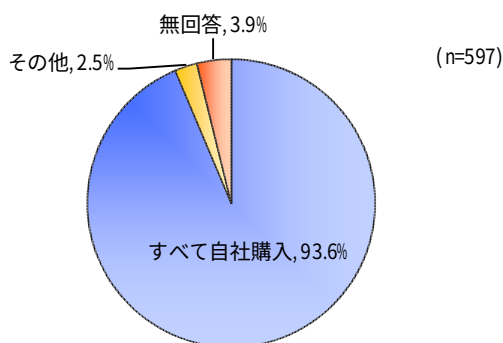
図 6 電気機器（OA 機器・家電製品）の購入・調達の方法



1.5.3 書類・書籍の購入・調達の方法

団体における「書類・書籍」の購入・調達の方法については、「すべて自社購入」の割合が最も高く 93.6%となっている。次いで、「その他（2.5%）」となっている。

図 7 書類・書籍の購入・調達の方法



Q.4 貴団体における「オフィス家具」、「電気機器（OA 機器・家電製品）」、「書類・書籍」の購入・調達の方法について、最も当てはまる番号に1つ○をつけてください。

また、自ら購入している際、その製品が新品か中古品・リユース品かをご回答ください。

【オフィス家具（机、書棚、ロッカー等）】

1. すべて自社購入している (A. すべて新品で購入 B. 一部中古品で購入)
2. 一部リースやレンタルを利用している
3. すべてリースやレンタルを利用している
4. その他 ()

【電気機器（パソコン、プリンター等の OA 機器・電気製品）】

1. すべて自社購入している (A. すべて新品を購入 B. 一部中古品を購入)
2. 一部リースやレンタルを利用している
3. すべてリースやレンタルを利用している
4. その他 ()

【書類・書籍】

1. すべて自社購入している (A. すべて新品を購入 B. 一部中古品を購入)
2. その他 ()

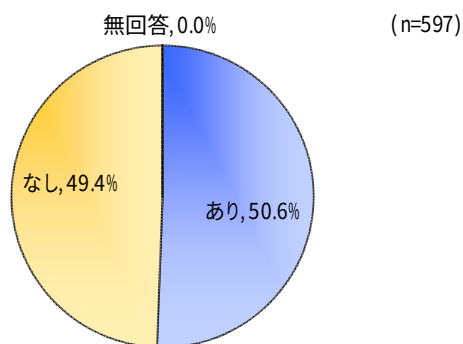
2. 使用済製品の引き渡し（廃棄、譲渡、販売等）に関して

2.1 不用・使用しなくなったもので、他者に引き渡し（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）の有無（過去1年間（平成27年1～12月）

2.1.1 不用・使用しなくなったものの引き渡しの有無（全体）

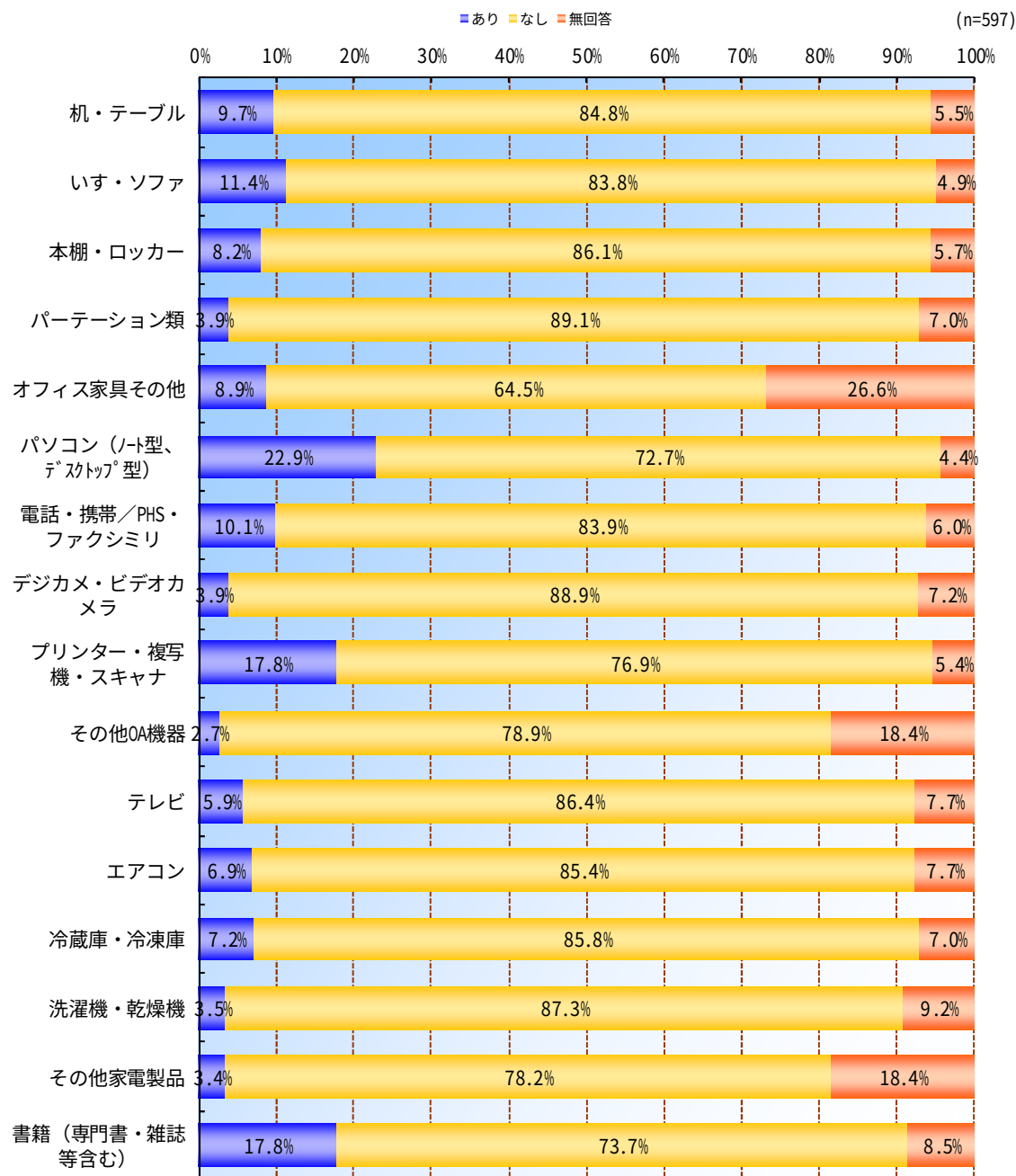
団体において、過去1年間（平成27年1～12月）に不用・使用しなくなったもので、他者に引き渡した（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）したものの有無を尋ねたところ、「あり」のが50.6%、「なし」が49.4%）となっている。

図 8 不用・使用しなくなったものを他者に引き渡し（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）の有無（過去1年間（平成27年1～12月）：全ての製品）



2.1.2 不用・使用しなくなったものの引き渡しの有無（品目別）

図 9 不用・使用しなくなったものを他者に引き渡し（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）の有無（過去1年間（平成27年1～12月））



Q.5 貴団体において、過去1年間（平成27年1～12月）に不用・使用しなくなったもので、他者に引き渡した（廃棄、譲渡、中古品として販売のすべてを含む）したものはございますか。具体的な品目・種類別に、引き渡しの有無をご記入ください。

また、お分かりであれば、引き渡し台数や引き渡し重量、貴団体での保有台数についてもご回答ください。

	品目	過去1年間の 他者へ引き渡し (いずれかに ○)	※おおよその数値をわかる範囲で ご記入ください		
			引き渡し台数	引き渡し重量	貴団体の 保有台数
オフィス 家具	机・テーブル	有 無	_____台	_____kg	_____台
	いす・ソファ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	本棚・ロッカー	有 無	_____台	_____kg	_____台
	パーテーション類	有 無	_____台	_____kg	_____台
	その他 ()	有 無	_____台	_____kg	_____台
電気機器 (OA 機 器・家電 製品)	パソコン (ノート型、デスクトップ型)	有 無	_____台	_____kg	_____台
	電話・携帯／PHS・ファクシミリ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	デジカメ・ビデオカメラ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	プリンター・複写機・スキャナ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	その他 OA 機器 ()	有 無	_____台	_____kg	_____台
	テレビ	有 無	_____台	_____kg	_____台
	エアコン	有 無	_____台	_____kg	_____台
	冷蔵庫・冷凍庫	有 無	_____台	_____kg	_____台
	洗濯機・乾燥機	有 無	_____台	_____kg	_____台
	その他家電製品 ()	有 無	_____台	_____kg	_____台
書類	書籍 (専門書・雑誌等含む)	有 無	_____冊	_____kg	_____台

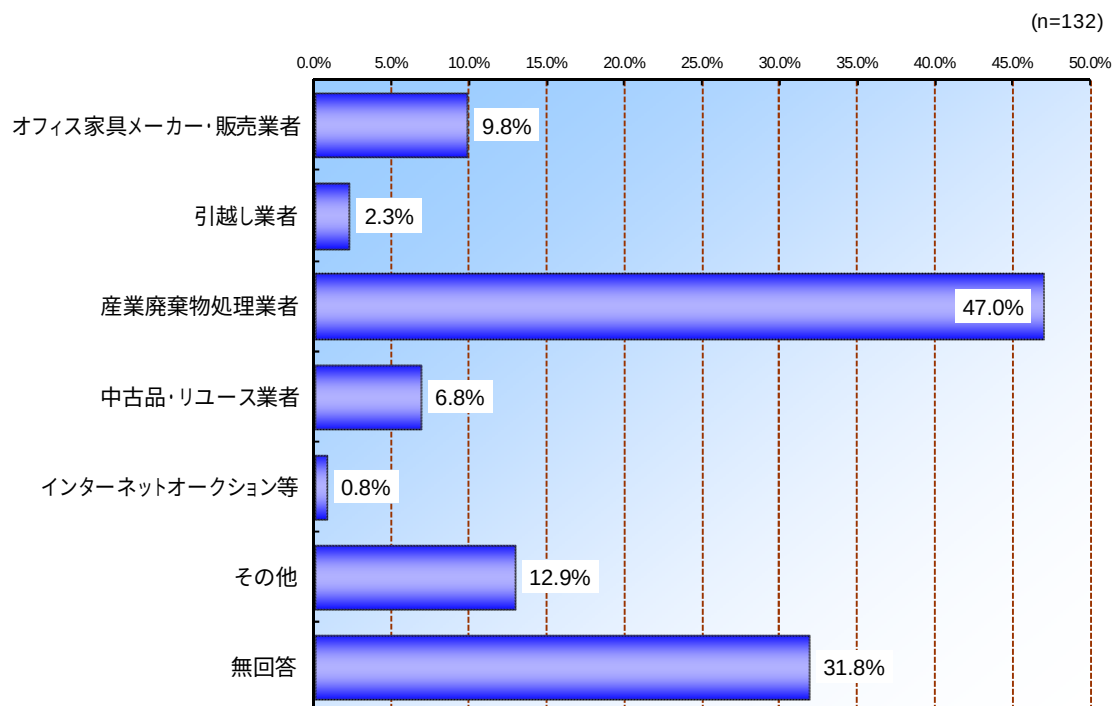
※排出台数もしくは重量のみお分りの場合は、いずれかの記載でも結構でございます。

2.2 不用・使用しなくなったものの引き渡し先

2.2.1 オフィス家具の場合

オフィス家具の不用・使用しなくなったものの引き渡し先としては、「産業廃棄物処理業者」の割合が最も高く 47.0%となっている。次いで、「その他（12.9%）」となっている。

図 10 不用・使用しなくなったものの引き渡し先（オフィス家具）



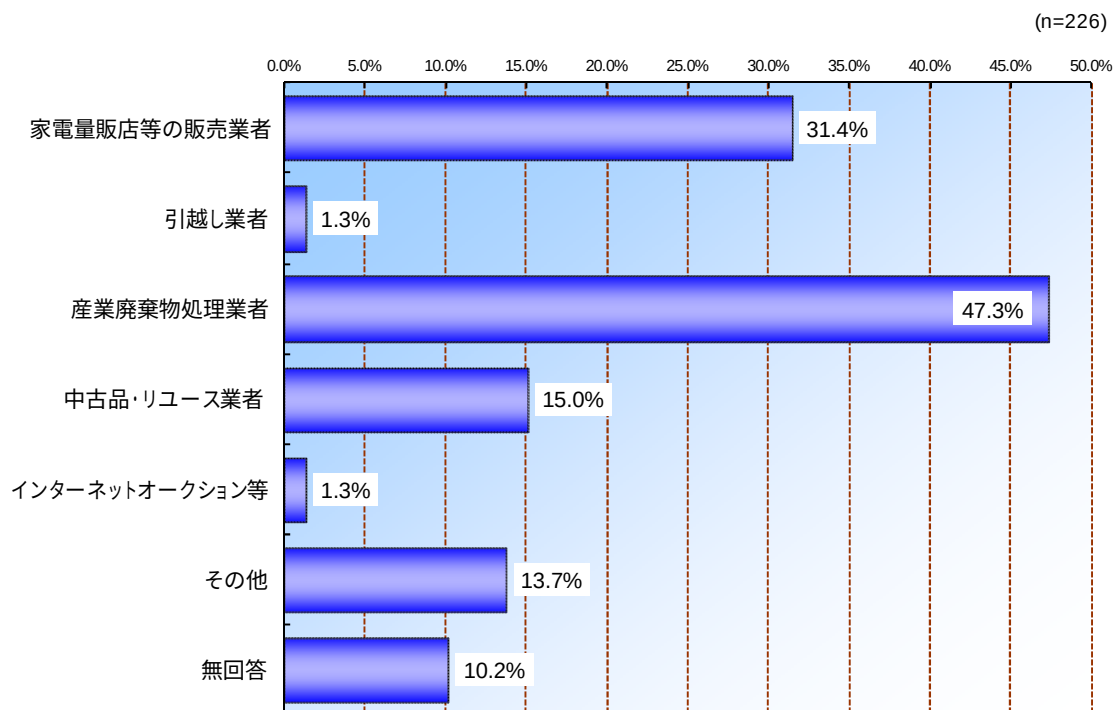
【その他の内容】

自治体（廃棄物処理局、クリーンセンター等）、知人友人、関連会社・団体、地域の子供会等

2.2.2 電気機器（OA機器、家電製品）の場合

電気機器（OA機器、家電製品）の不用・使用しなくなったものの引き渡し先としては、「産業廃棄物処理業者」の割合が最も高く 47.3%となっている。次いで、「家電量販店等の販売業者（31.4%）」、「中古品・リユース業者（15.0%）」となっている。

図 11 不用・使用しなくなったものの引き渡し先（電気機器（OA機器、家電製品））



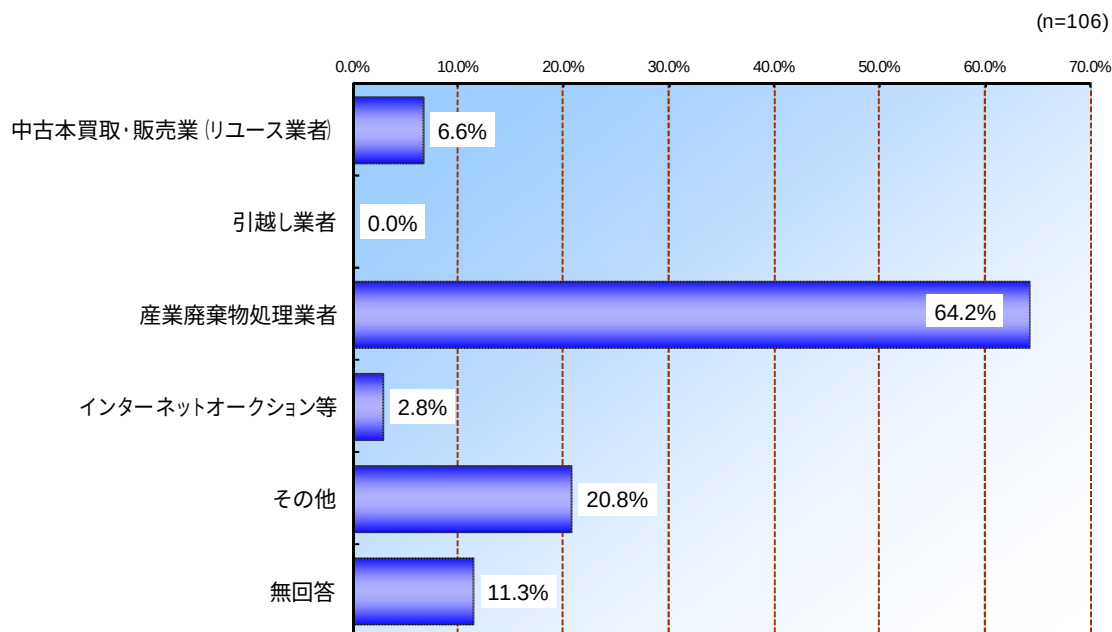
【引き渡した具体的品目】

パソコン、ファクシミリ、プリンタ、複写機、カメラ、電話、携帯電話、PHS、テレビ、エアコン、洗濯機、冷蔵庫など

2.2.3 書籍の場合

書籍の不用・使用しなくなったものの引き渡し先としては、「産業廃棄物処理業者」の割合が最も高く 64.2%となっている。次いで、「その他 (20.8%)」となっている。

図 12 Q.6 不用・使用しなくなったものの引き渡し先（書籍）



Q.6 「Q.5」で、不用・使用しなくなったものを、他者に引き渡したことがある方にお伺いします。
(いずれの引き渡しも無かった場合には、Q7 をご回答ください)

引き渡し先として、当てはまる番号すべてに○をつけてください。また、お分かりであれば、おおよその引き渡し先別の数量の割合をパーセント表記でご記入ください。電気機器 (OA 機器・家電製品) については、各引き渡し先に引き渡した具体的な品目に○をつけてください (複数回答可)

【オフィス家具】

1. オフィス家具メーカー・販売業者
2. 引越し業者
3. 産業廃棄物処理業者
4. 中古品・リユース業者
5. インターネットオークション等
6. その他 ()

【電気機器 (OA 機器・家電製品)】

1. 家電量販店等の販売業者
2. 引越し業者
3. 産業廃棄物処理業者
4. 中古品・リユース業者
5. インターネットオークション等
6. その他 ()

【書籍】

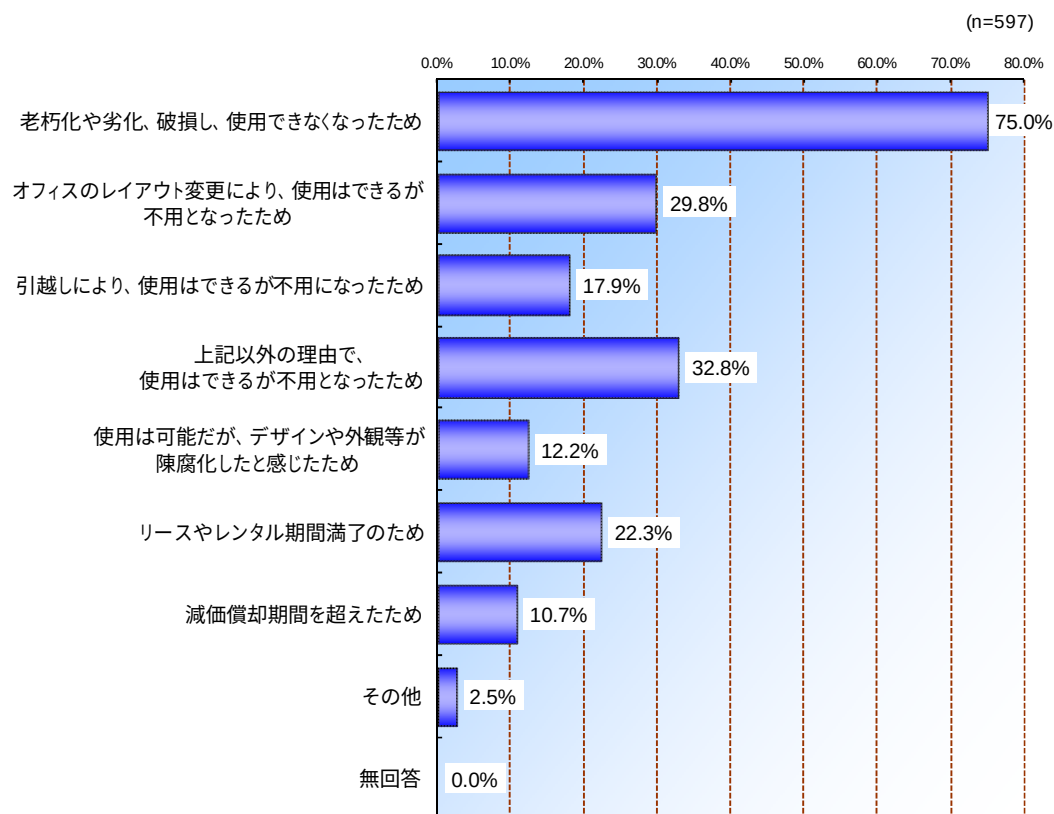
1. 中古本買取・販売業 (リユース業者)
2. 引越し業者
3. 産業廃棄物処理業者
4. インターネットオークション等
5. その他 ()

2.3 不用・使用しなくなったものを引き渡した理由

2.3.1 不用・使用しなくなったフィス家具を引き渡した理由

不用・使用しなくなったオフィス家具を引き渡した理由について、最も当てはまるもの上位3つ尋ねたところ、「老朽化や劣化、破損し、使用できなくなったため」の割合が最も高く75.0%となっている。次いで、「上記以外の理由で、使用はできるが不用となったため（32.8%）」、「オフィスのレイアウト変更により、使用はできるが不用となったため（29.8%）」となっている。

図 13 不用・使用しなくなったオフィス家具を引き渡した理由

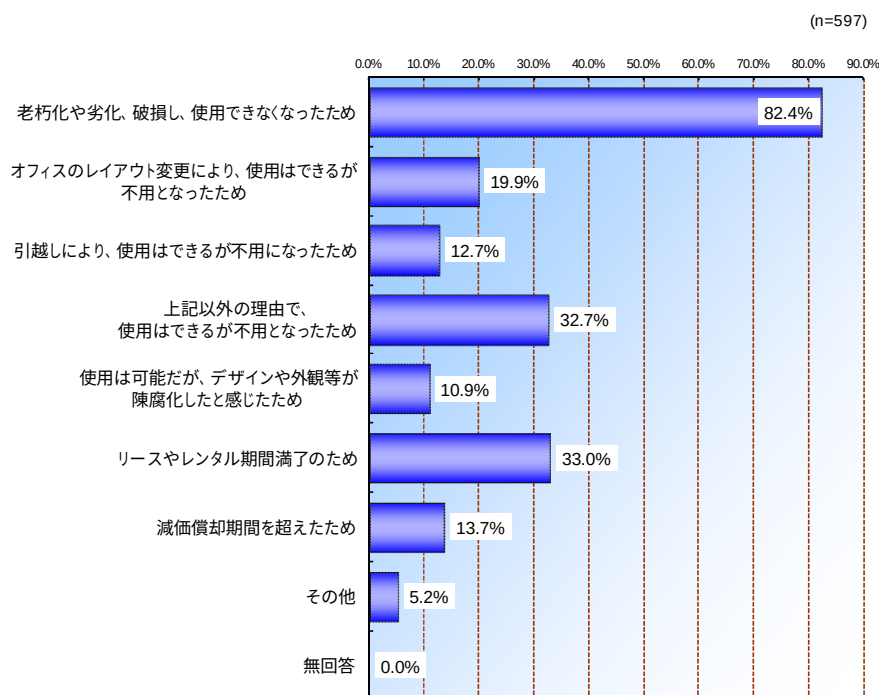


【その他の回答】
入居ビル解体のため、交換部品の製造終了のため、保管場所がないため 等

2.3.2 不用・使用しなくなった電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由

不用・使用しなくなった電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由について、最も当てはまるもの上位3つ尋ねたところ、「老朽化や劣化、破損し、使用できなくなったため」の割合が最も高く 82.4%となっている。次いで、「リースやレンタル期間満了のため（33.0%）」、「上記以外の理由で、使用はできるが不用となったため（32.7%）」となっている。

図 14 不用・使用しなくなった電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由



【その他の内容】

OS サポート終了に伴い（PC 等情報機器）、性能不足のため、入居ビル解体のため等

Q.7 すべての方にお伺いいたします。

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由について、それぞれ最も当てはまるもの上位3つをご回答ください。

（過去1年間に引き渡した実績のある方はその理由を、実績がない場合には不用・使用しなくなった場合を想定して回答ください。）

【オフィス家具】

1. 老朽化や劣化、破損し、使用できなくなったため
2. オフィスのレイアウト変更により、使用はできるが不用となったため
3. 引越により、使用はできるが不用になったため
4. 上記以外の理由で、使用はできるが不用となったため
5. 使用は可能だが、デザインや外観等が陳腐化したと感じたため
6. リースやレンタル期間満了のため
7. 減価償却期間を超えたため
8. その他（ ）

【電気機器（OA 機器・家電製品）について】

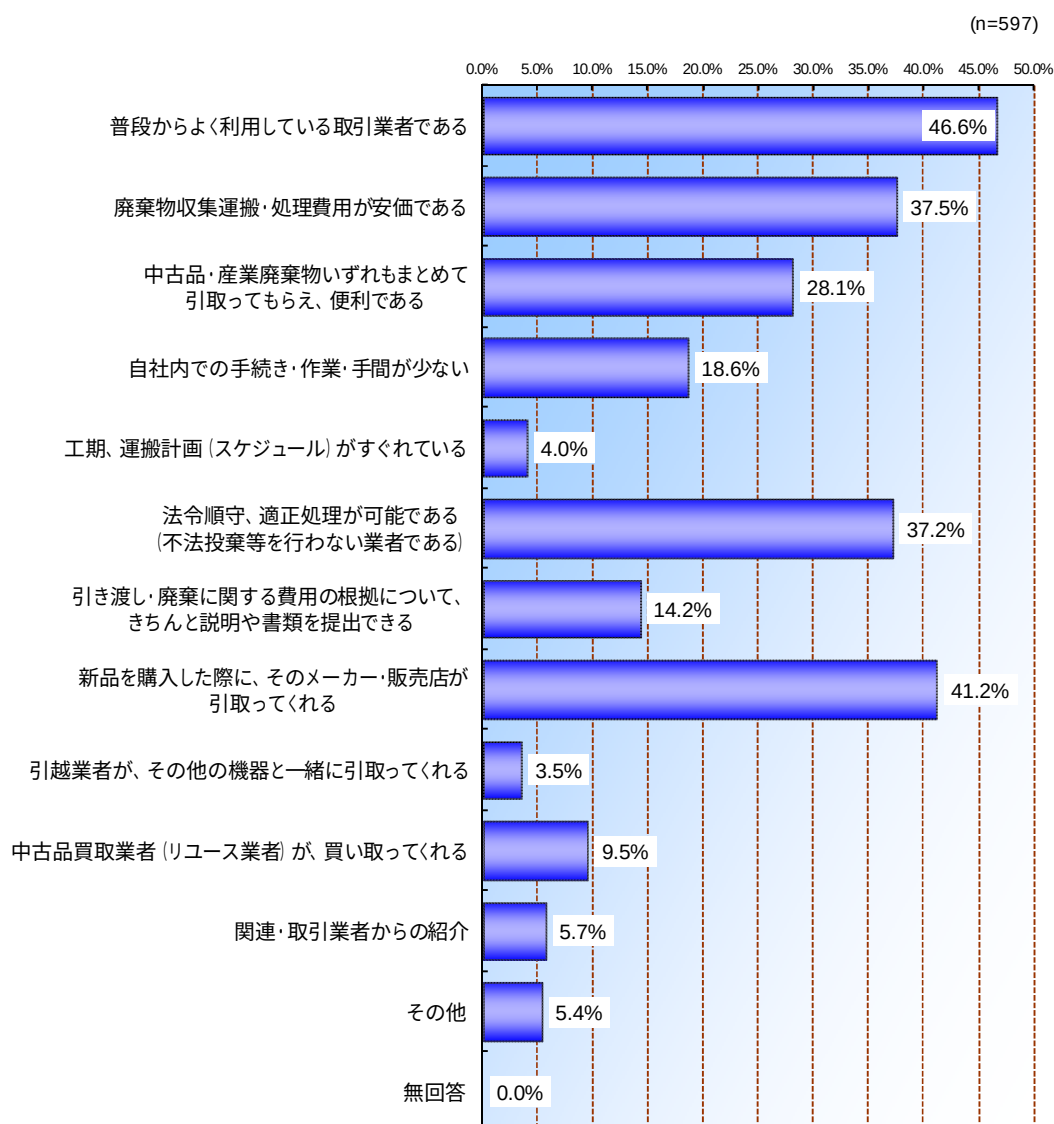
1. 老朽化や劣化、破損し、使用できなくなったため
2. オフィスのレイアウト変更により、使用はできるが不用となったため
3. 引越により、使用はできるが不用になったため
4. 上記以外の理由で、使用はできるが不用となったため
5. 使用は可能だが、デザインや外観等が陳腐化したと感じたため
6. リースやレンタル期間満了のため
7. 減価償却期間を超えたため
8. その他（ ）

2.4 不用・使用しなくなったものの引き渡し先の選定理由

2.4.1 引き取り先選定理由

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）の引き渡し先を選定した理由については、「普段からよく利用している取引業者である」の割合が最も高く 46.6%となっている。次いで、「新品を購入した際に、そのメーカー・販売店が引取ってくれる（41.2%）」、「廃棄物収集運搬・処理費用が安価である（37.5%）」となっている。

図 15 不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）の
引き渡し先を選定した理由



【その他の内容】

市町村からの紹介、組合等の指定業者だったため、ビル管理会社の指定業者のため等

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）の引き渡し先を選定した理由の中で、もっとも重視する理由は、「法令順守、適正処理が可能である（不法投棄等を行わない業者である）」の割合が最も高く 22.9%となっている。次いで、「新品を購入した際に、そのメーカー・販売店が引取ってくれる（18.4%）」、「普段からよく利用している取引業者である（16.4%）」となっている。

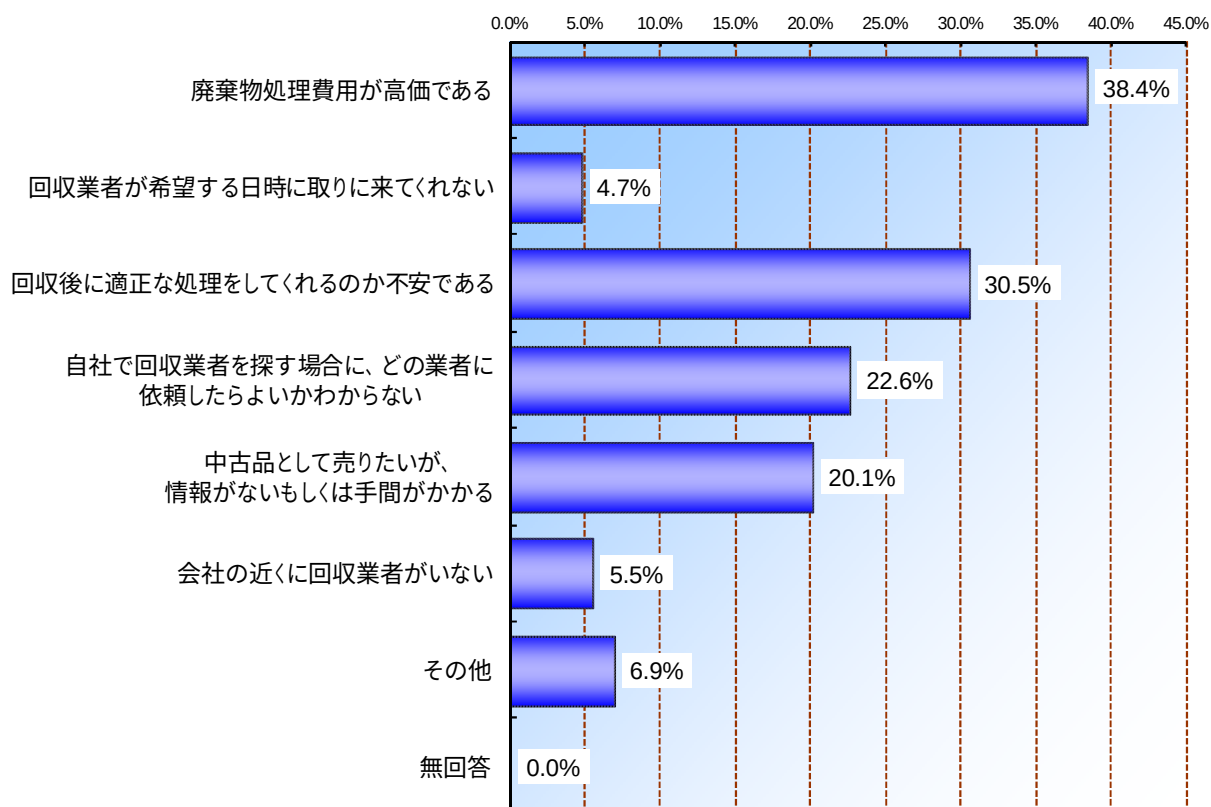
(n=597)

理由 (Reason)	割合 (Percentage)
通常からよく利用している取引業者である	16.4%
法令順守、適正処理が可能である (不法投棄等を行わない業者である)	22.9%
廃棄物収集運搬・処理費用が安価である	12.7%
中古品・産業廃棄物いずれもまとめて引取ってもらえ、便利である	7.4%
自社内での手続き・作業・手間が少ない	2.5%
工期、運搬計画(スケジュール)がすぐれている	0.5%
引き渡し・廃棄に関する費用の根拠について、きちんと説明や書類を提出できる	1.8%
新品を購入した際に、そのメーカー・販売店が引取ってくれる	18.4%
引越し業者が、その他の機器と一緒に引取ってくれる	0.2%
中古品買取業者(リユース業者)が、買い取ってくれる	2.2%
関連・取引業者からの紹介	0.8%
その他	2.7%
無回答	11.4%

1. 普段からよく利用している取引業者であること
2. 廃棄物収集運搬・処理費用が安価であること
3. 中古品・産業廃棄物いずれもまとめて引取ってもらえ、便利であること
4. 自社内での手続き・作業・手間が少ないこと
5. 工期、運搬計画（スケジュール）がすぐれていること
6. 法令順守、適正処理が可能であること（不法投棄等を行わない業者である）
7. 引き渡し・廃棄に関する費用の根拠について、きちんと説明や書類を提出できること
8. 新品を購入した際に、そのメーカー・販売店が引取ってくれる
9. 引越業者が、その他の機器と一緒に引取ってくれる
10. 中古品買取業者（リユース業者）が、買い取ってくれる
11. 関連・取引業者からの紹介
12. その他（ ）

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡す際に感じた問題点としては、「廃棄物処理費用が高価である」の割合が最も高く 38.4%となっている。次いで、「回収後に適正な処理をしてくれるのか不安である（30.5%）」、「自社で回収業者を探す場合に、どの業者に依頼したらよいかわからない（22.6%）」となっている。

(n=597)



自治体（廃棄物処理局、クリーンセンター等）、知人友人、関連会社・団体、地域の子供会等

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡す際に感じた問題点としてどのような点が挙げられますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 廃棄物処理費用が高価である
2. 回収業者が希望する日時に取りに来てくれない
3. 回収後に適正な処理をしてくれるのか不安である
4. 自社で回収業者を探す場合に、どの業者に依頼したらよいかわからない
5. 中古品として売りたいが、情報がないもしくは手間がかかる
6. 会社の近くに回収業者がない
7. その他 ()

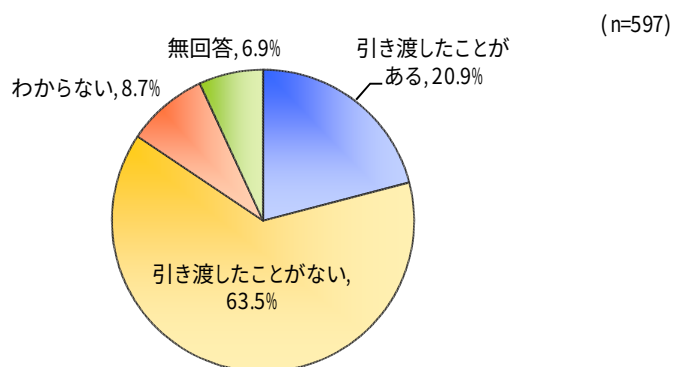
3. 使用済製品の中古品・リユース品としての引き渡し状況について

3.1 不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績

3.1.1 全業種

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績については、「引き渡したことがない」の割合が最も高く 63.5%となっている。次いで、「引き渡したことがある（20.9%）」、「わからない（8.7%）」となっている。

図 18 不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を
中古品・リユース品として引き渡した実績



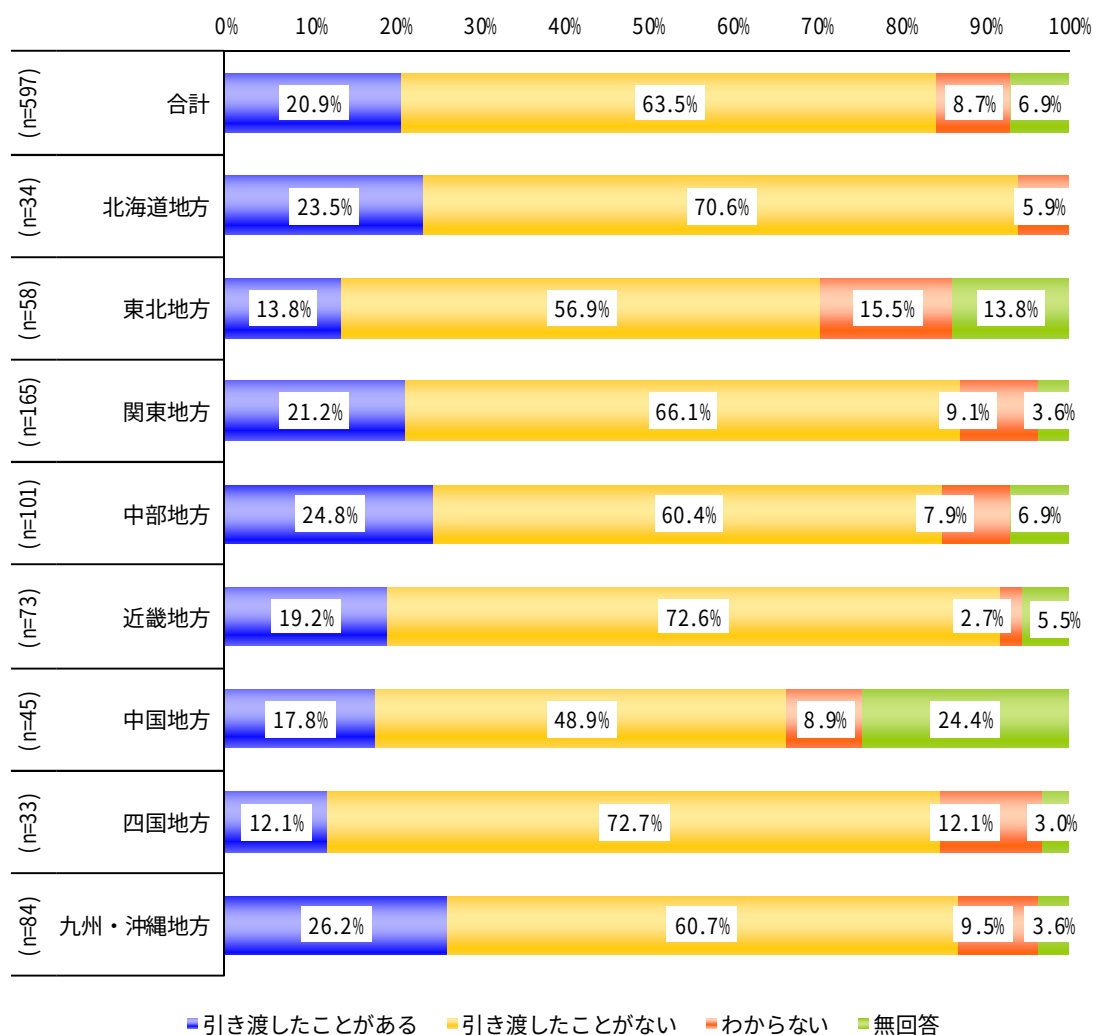
Q.11-A 不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績について、当てはまるものに1つ○をつけてください。

1. 引渡したことがある (→ Q.11-B～D をご回答ください)
2. 引渡したことがない (→ Q.11-E をご回答ください)
3. わからない (→ Q.12 をご回答ください)

3.1.2 本社所在地別

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績を、本社所在地別に見ると、「四国地方」における「引き渡したことがない（72.7%）」、「近畿地方」における「引き渡したことがない（72.6%）」、「北海道地方」における「引き渡したことがない（70.6%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

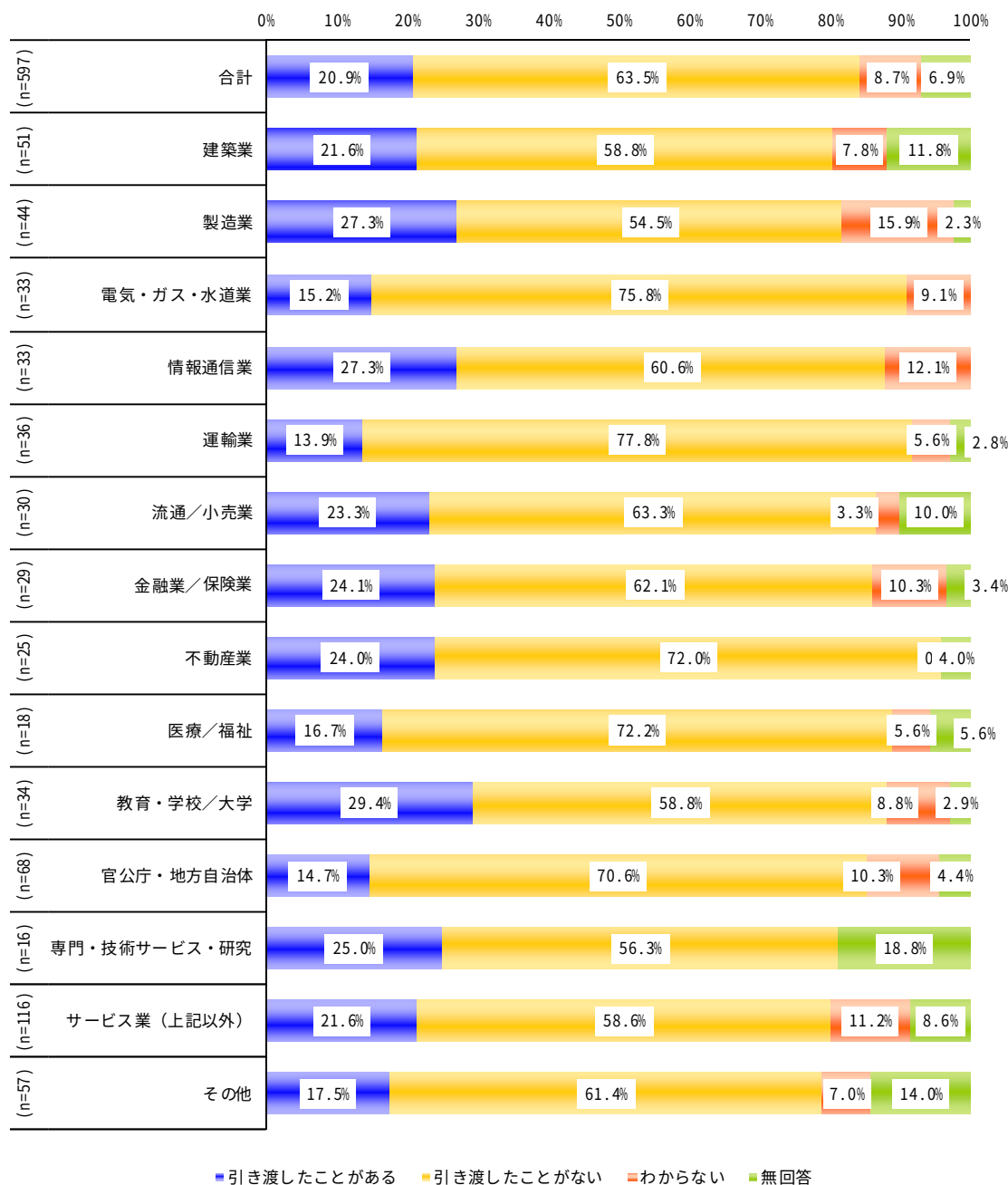
図 19 本社所在地別に見た不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績



3.1.3 業種別

不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績を業種別に見ると、「運輸業」における「引き渡したことがない（77.8%）」、「電気・ガス・水道業」における「引き渡したことがない（75.8%）」、「医療／福祉」における「引き渡したことがない（72.2%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

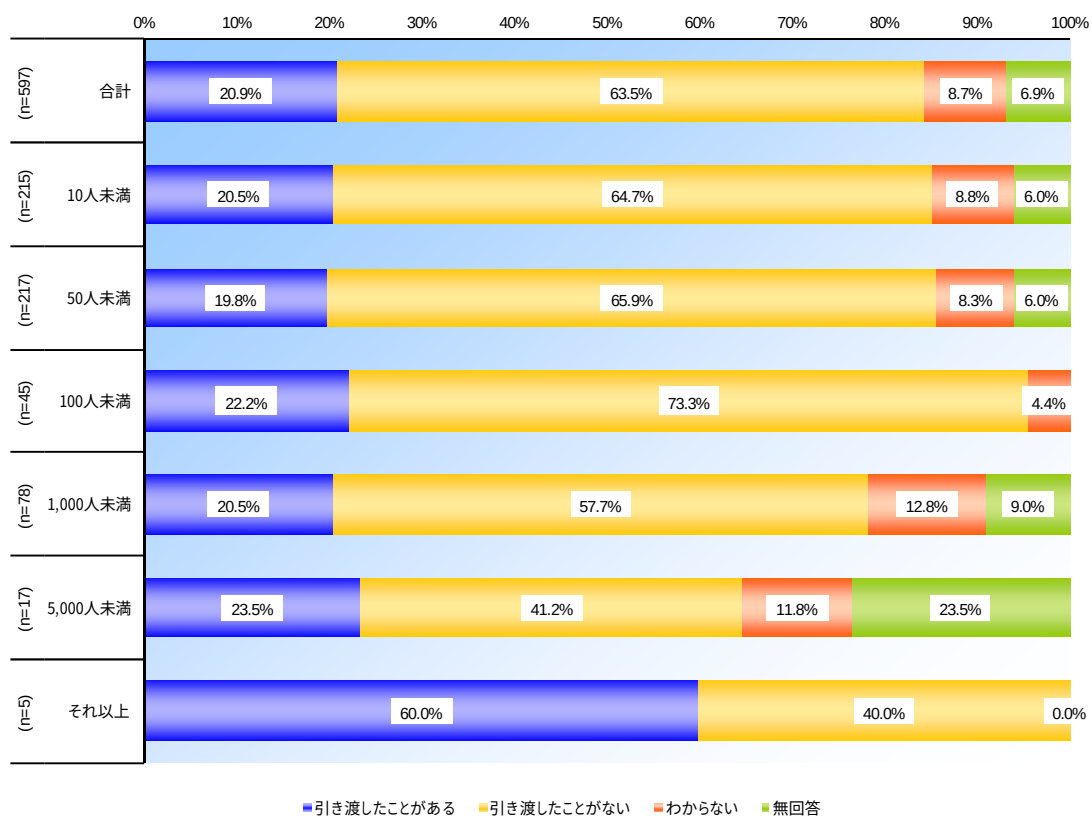
図 20 業種別に見た不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績



3.1.4 直近の従業員・職員数

直近の従業員・職員数別に見ると、「それ以上」における「引き渡したことがある（60.0%）」、「100人未満」における「引き渡したことがない（73.3%）」、「1,000人未満」における「わからない（12.8%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

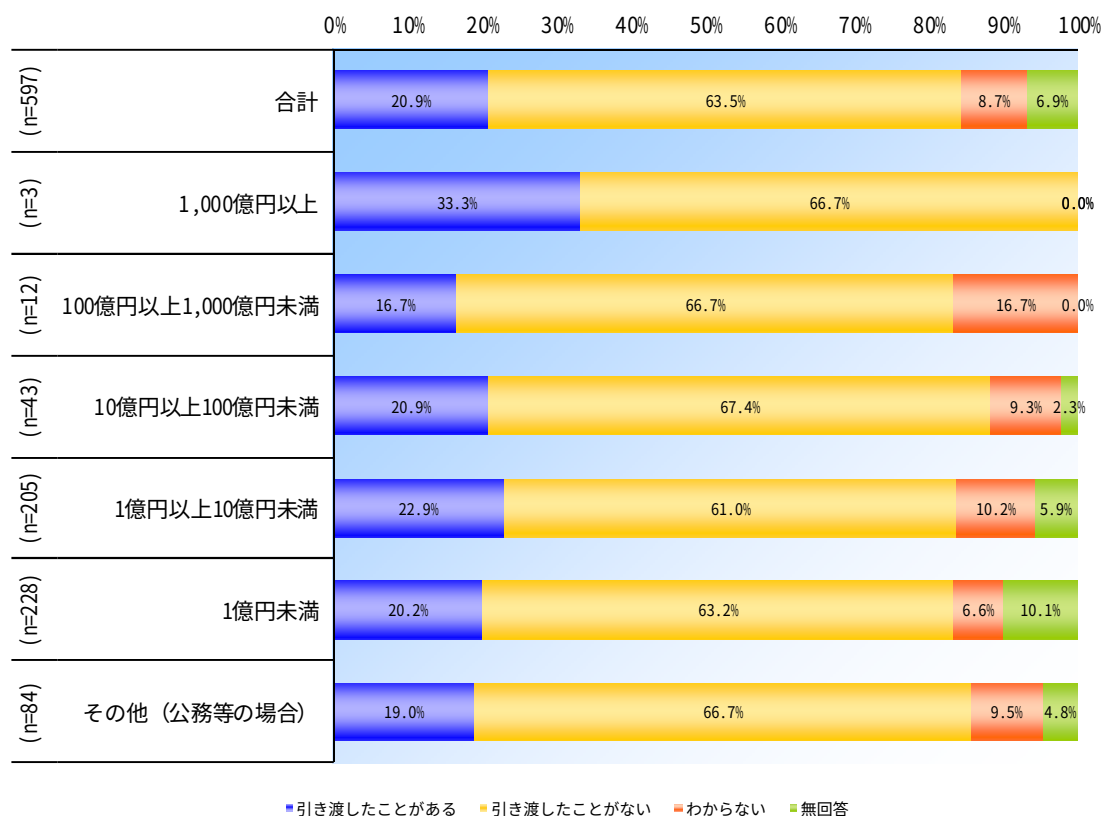
図 21 直近の従業員・職員数別に見た不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績



3.1.5 直近の売上規模別

直近の売上規模別に見ると、「1,000 億円以上」における「引き渡したことがある（33.3%）」、「100 億円以上 1,000 億円未満」における「わからない（16.7%）」、「10 億円以上 100 億円未満」における「引き渡したことがない（67.4%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

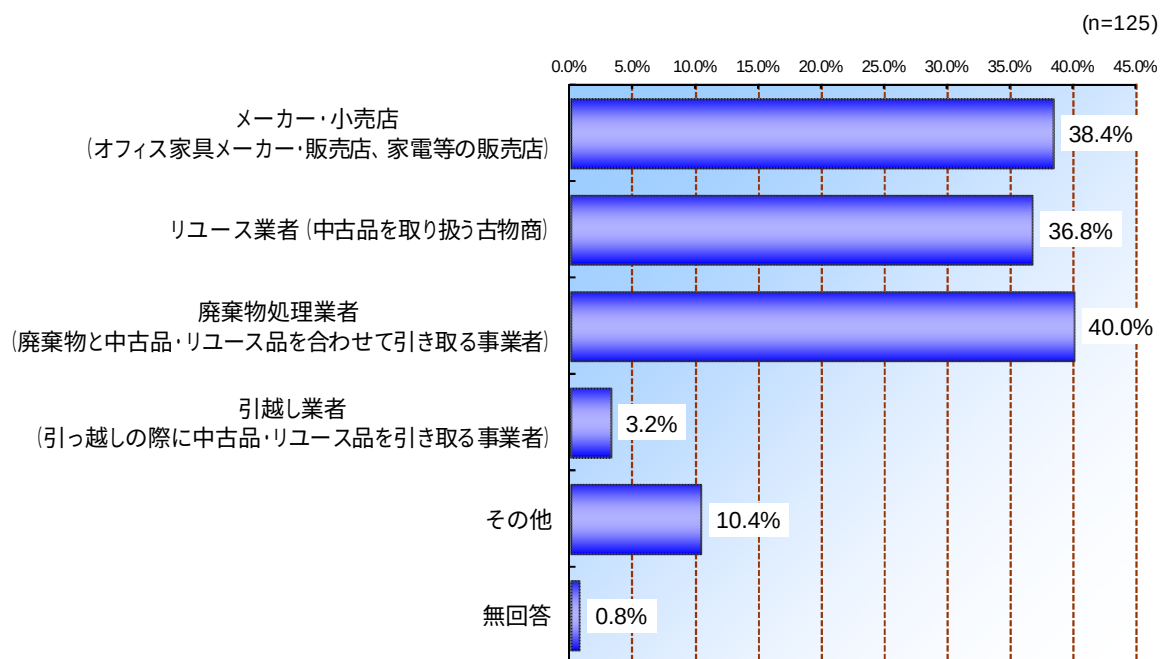
図 22 直近の売上規模別に見た不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を、中古品・リユース品として引き渡した実績



3.2 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した先

中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した先としては、「廃棄物処理業者（廃棄物と中古品・リユース品を合わせて引き取る事業者）」の割合が最も高く 40.0%となっている。次いで、「メーカー・小売店（オフィス家具メーカー・販売店、家電等の販売店）（38.4%）」、「リユース業者（中古品を取り扱う古物商）（36.8%）」となっている。

図 23 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した先



【その他の内容】

同ビル内の他企業、関連会社、一般市民、知人友人、インターネットオークション等

(Q.11-A で「1. 引渡したことがある」と回答した方が Q.11-B～D に回答ください)

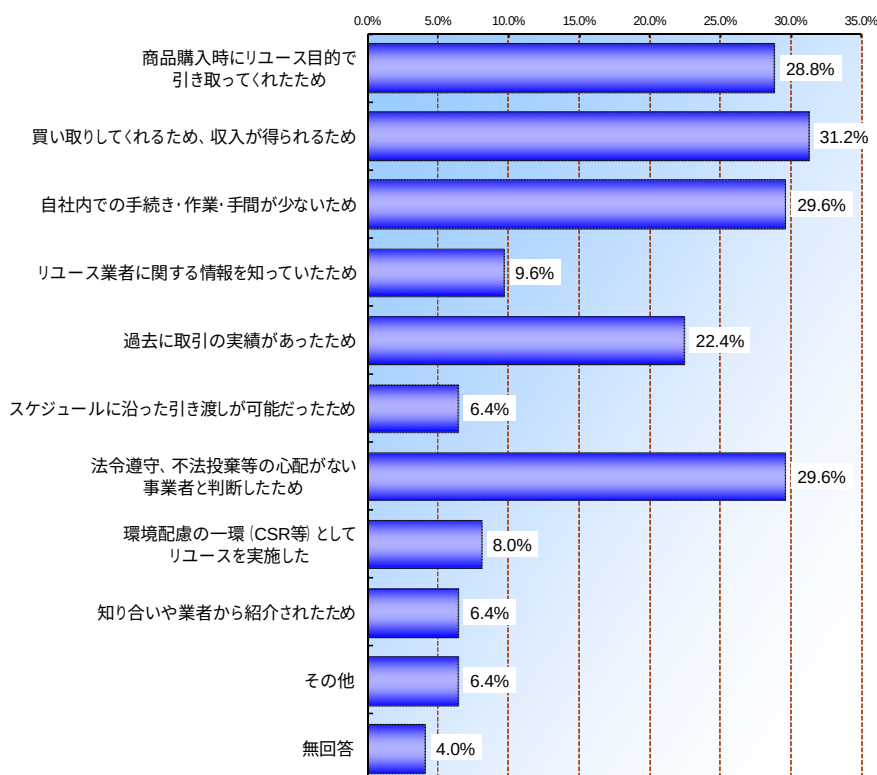
Q.11-B 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した先として、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. メーカー・小売店（オフィス家具メーカー・販売店、家電等の販売店）
2. リユース業者（中古品を取り扱う古物商）
3. 廃棄物処理業者（廃棄物と中古品・リユース品を合わせて引き取る事業者）
4. 引越し業者（引っ越しの際に中古品・リユース品を引き取る事業者）
5. その他（

)

中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した理由については、「買い取りしてくれるため、収入が得られるため」の割合が最も高く 31.2%となっている。次いで、「自社内での手続き・作業・手間が少ないため（29.6%）」、「法令遵守、不法投棄等の心配がない事業者と判断したため（29.6%）」となっている。

(n=125)



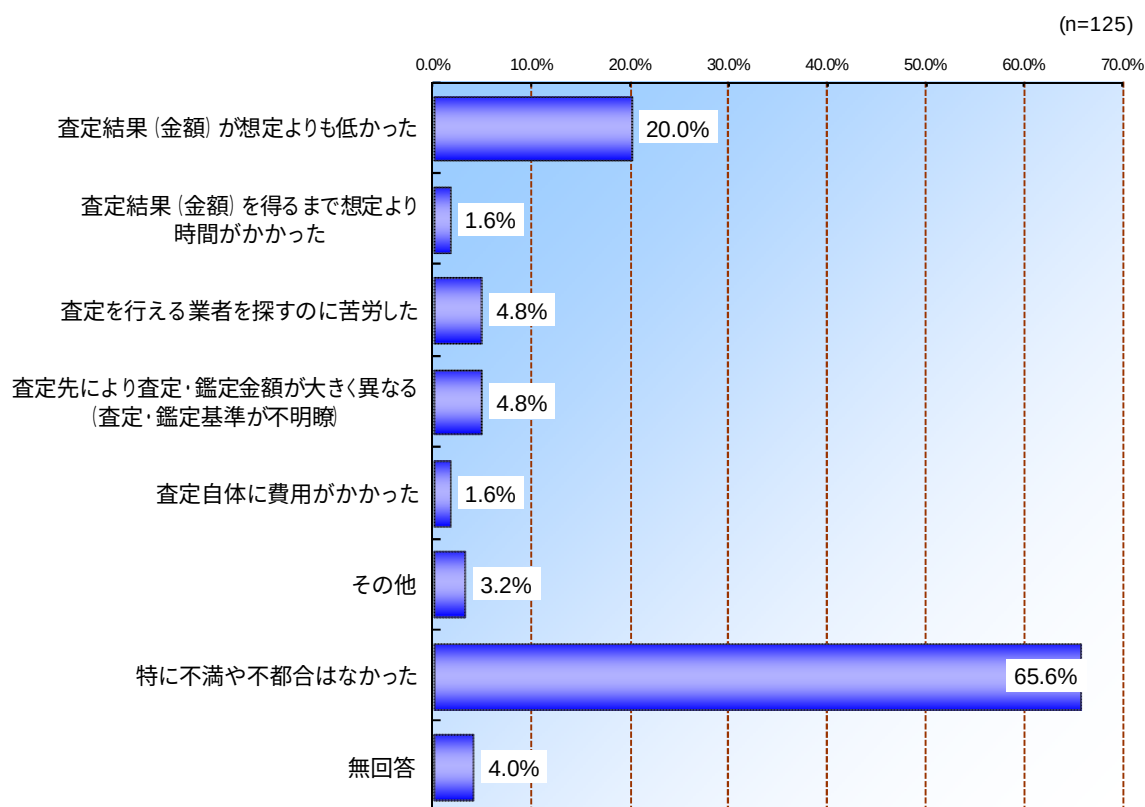
多少劣化はあったが引き取り先が引き取りを希望したため、一般市民等から要望があったため等

1. 商品購入時にリユース目的で引き取ってくれたため
2. 買い取りしてくれるため、収入が得られるため
3. 自社内での手続き・作業・手間が少ないため
4. リユース業者に関する情報を知っていたため
5. 過去に取引の実績があったため
6. スケジュールに沿った引き渡しが可能だったため
7. 法令遵守、不法投棄等の心配がない事業者と判断したため
8. 環境配慮の一環（CSR等）としてリユースを実施した
9. 知り合いや業者から紹介されたため
10. その他（

3.4 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した際に感じた査定や手続きの問題点

中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した際に感じた査定や手続きの問題点については、「特に不満や不都合はなかった」の割合が最も高く 65.6% となっている。次いで、「査定結果（金額）が想定よりも低かった（20.0%）」、「査定を行える業者を探すのに苦労した（4.8%）」、「査定先により査定・鑑定金額が大きく異なる（査定・鑑定基準が不明瞭）（4.8%）」となっている。

図 25 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した際に感じた査定や手続きの問題点



【その他の内容】

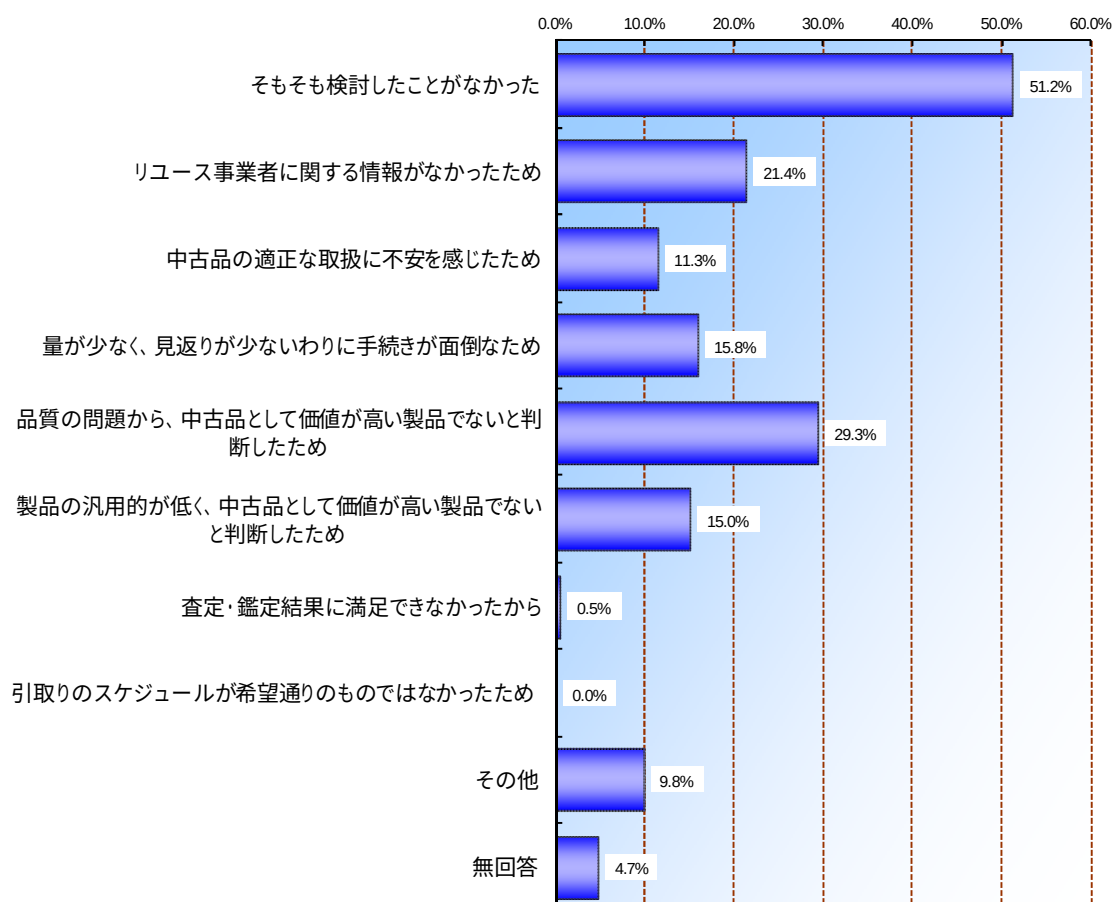
持込の手間が生じた、数量算定が大変だった、買取不可だった等

Q.11-D 中古品・リユース品として、オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡した際に感じた査定や手続きの問題点について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 査定結果（金額）が想定よりも低かった
2. 査定結果（金額）を得るまで想定より時間がかかった
3. 査定を行える業者を探すのに苦労した
4. 査定先により査定・鑑定金額が大きく異なる（査定・鑑定基準が不明瞭）
5. 査定自体に費用がかかった
6. その他（ ）
7. 特に不満や不都合はなかった

中古品・リユース品として、不用・使用しなくなったオフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）を引き渡したことがない理由については、「そもそも検討したことがなかった」の割合が最も高く 51.2%となっている。次いで、「品質の問題から、中古品として価値が高い製品でないと判断したため（29.3%）」、「リユース事業者に関する情報がなかったため（21.4%）」となっている。

(n=379)



情報漏えいの懸念（主に情報機器）、自社グループ内で再利用、社内では有効活用等

1. そもそも検討したことがなかった
2. リユース事業者に関する情報がなかったため
3. 中古品の適正な取扱に不安を感じたため
4. 量が少なく、見返りが少ないわりに手続きが面倒なため
5. 品質の問題から、中古品として価値が高い製品でないと判断したため
6. 製品の汎用性が低く、中古品として価値が高い製品でないと判断したため
7. 査定・鑑定結果に満足できなかったから
8. 引取りのスケジュールが希望通りのものではなかったため
9. その他（

4. 過去の中古品・リユース品の調達・購入について

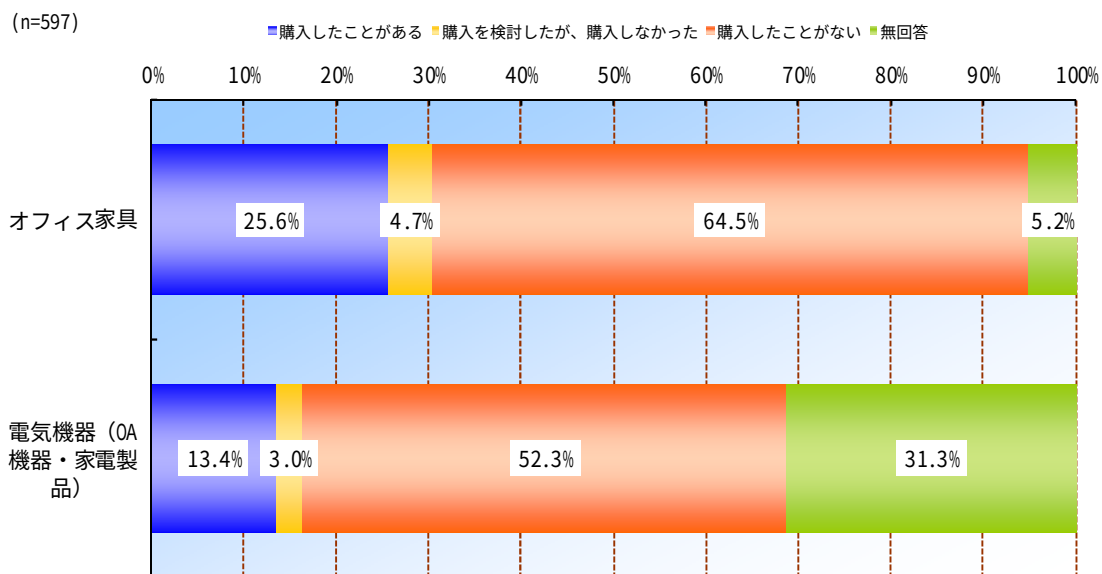
4.1 過去における中古品・リユース品の調達・購入の有無（オフィス家具）

4.1.1 全業種

過去（時期は問わない）におけるオフィス家具の中古品・リユース品を調達・購入の有無については、「購入したことがない」が最も高く、64.5%となっている。次いで、「購入したことがある（25.6%）」となっている。

過去（時期は問わない）に電気機器（OA 機器・家電製品における中古品・リユース品を調達・購入の有無については、「購入したことがない」の割合が最も高く 52.3%となっている。次いで、「購入したことがある（13.4%）」となっている。

図 27 過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品））



Q.12-A 貴団体では過去（時期は問いません）に中古品・リユース品を調達・購入したことがありますか。それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

【オフィス家具の中古品・リユース品の調達・購入について】

1. 購入したことがある （→ Q.12-B～E をご回答ください）
2. 購入を検討したが購入しなかった （→ Q.12-F をご回答ください）
3. 購入したことがない （→ Q.12-F をご回答ください）

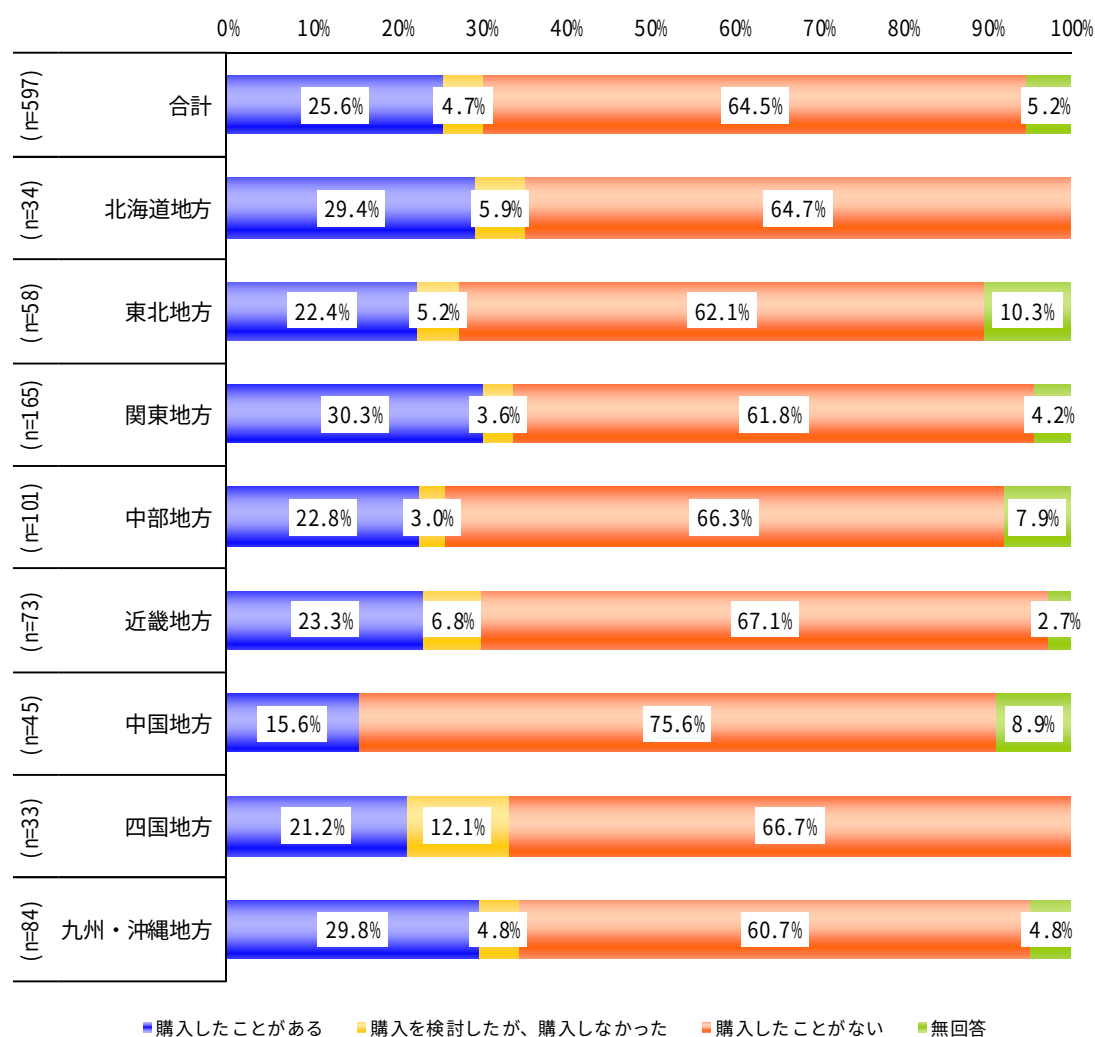
【電気機器（OA 機器・家電製品）の中古品・リユース品の調達・購入について】

1. 購入したことがある （→ Q.12-B～E をご回答ください）
2. 購入を検討したが購入しなかった （→ Q.12-F をご回答ください）
3. 購入したことがない （→ Q.12-F をご回答ください）

4.1.2 本社所在地別

過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）の有無を本社所在地別に見ると、「中国地方」における「購入したことがない（75.6%）」、「四国地方」における「購入を検討したが、購入しなかった（12.1%）」、「関東地方」における「購入したことがある（30.3%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

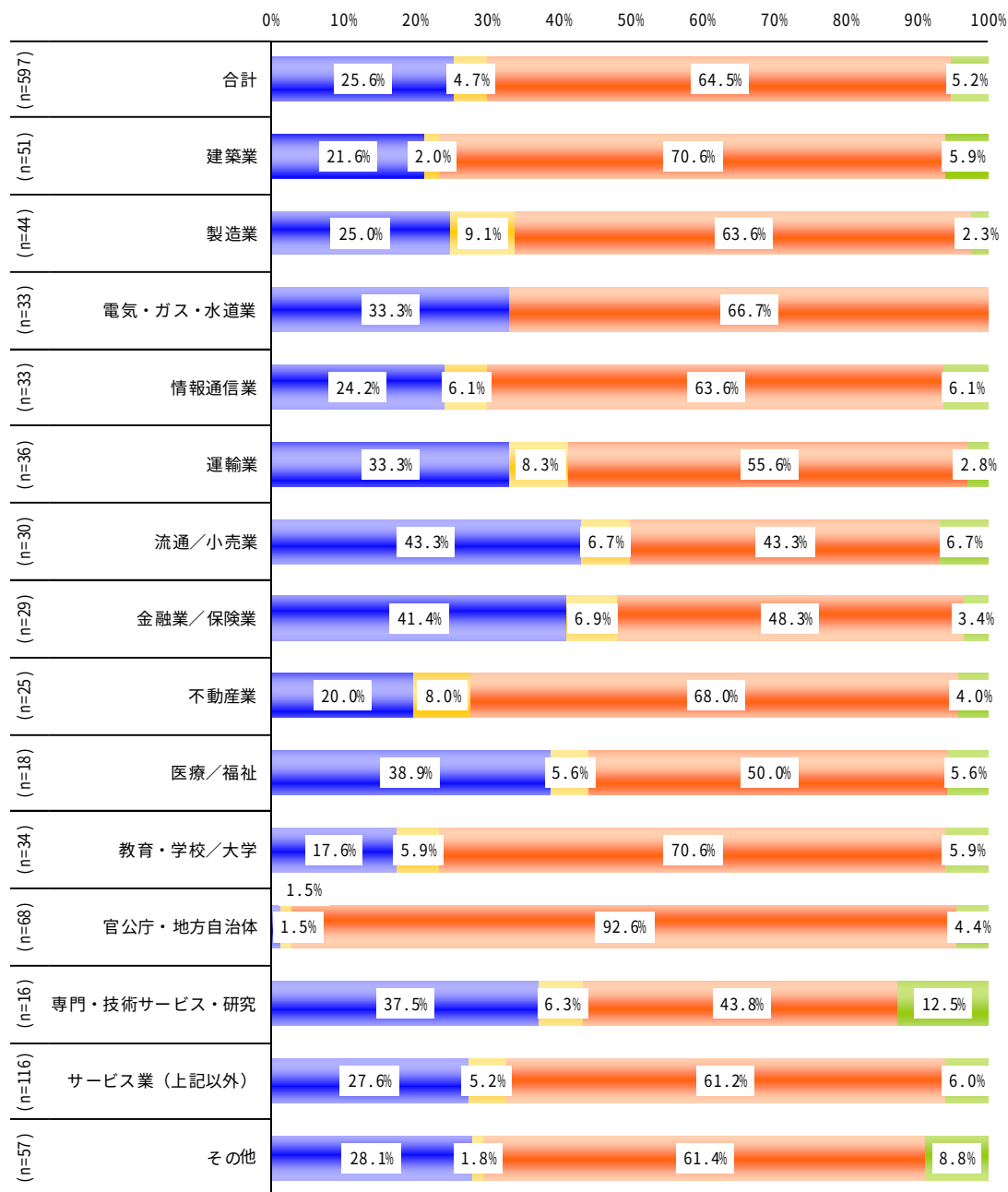
図 28 本社所在地別に見た過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）の有無



4.1.3 業種別

オフィス家具の中古品・リユース品の調達・購入の有無を業種別に見ると、「官公庁・地方自治体」における「購入したことがない(92.6%)」、「流通／小売業」における「購入したことがある(43.3%)」、「金融業／保険業」における「購入したことがある(41.4%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図 29 業種別に見た過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）

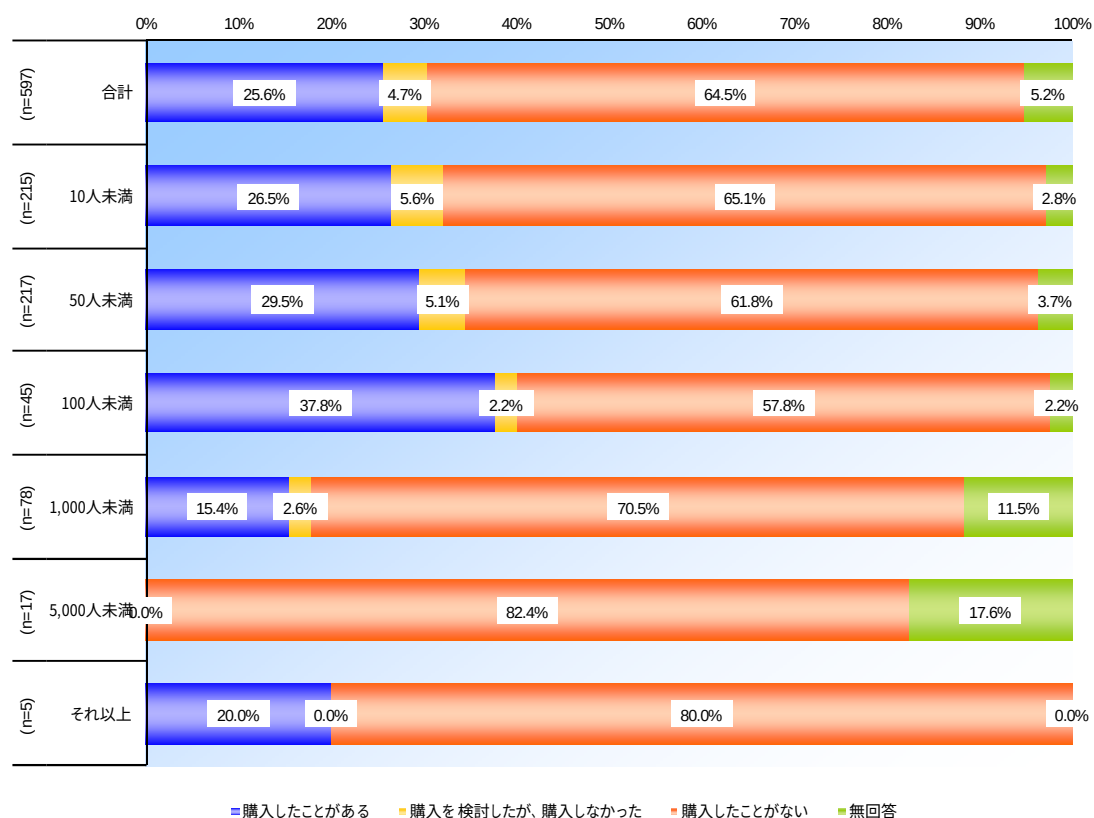


■購入したことがある ■購入を検討したが、購入しなかった ■購入したことがない ■無回答

4.1.4 直近の従業員・職員数別

直近の従業員・職員数別に見ると、「5,000 人未満」における「購入したことがない (82.4%)」、「それ以上」における「購入したことがない (80.0%)」、「100 人未満」における「購入したことがある (37.8%)」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

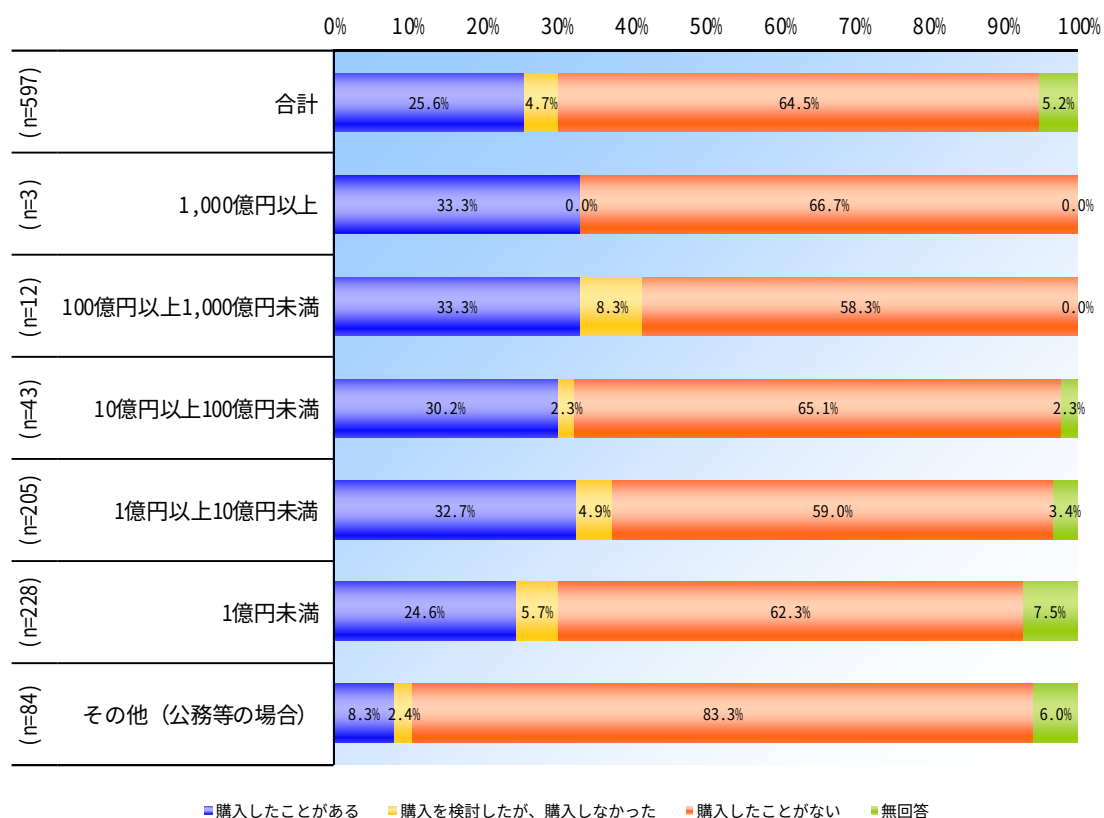
図 30 直近の従業員・職員数別に見た過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）



4.1.5 直近の売上規模別

過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）の有無を直近の売上規模別に見ると、「その他（公務等の場合）」における「購入したことがない（83.3%）」、「1,000 億円以上」における「購入したことがある（33.3%）」、「100 億円以上 1,000 億円未満」における「購入したことがある（33.3%）」等で、全体の傾向よりも割合が高くなっている。

図 31 直近の売上規模別に見た過去の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具）の有無



4.2 過去1年間及び5年間におけるリユース中古品・リユース製品の購入の有無

図 32 過去1年、5年の中古品・リユース品の調達・購入（オフィス家具、電気機器（OA 機器・家電製品）、書籍の平均値）

(n=597)

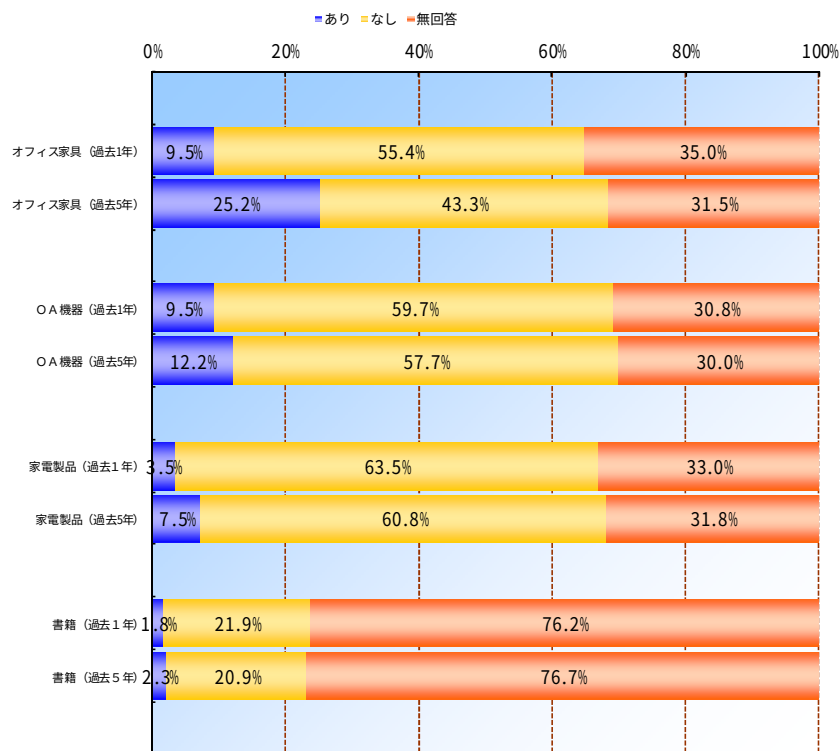


図 33 過去 1 年の中古品・リユース品の調達・購入（品目別）

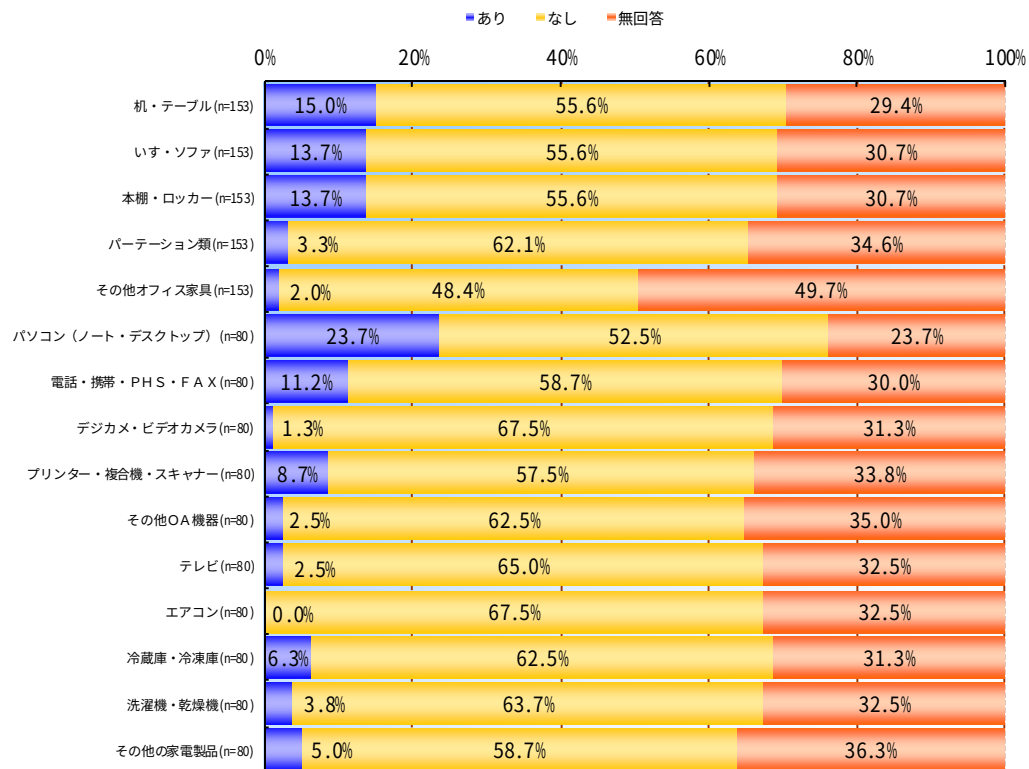
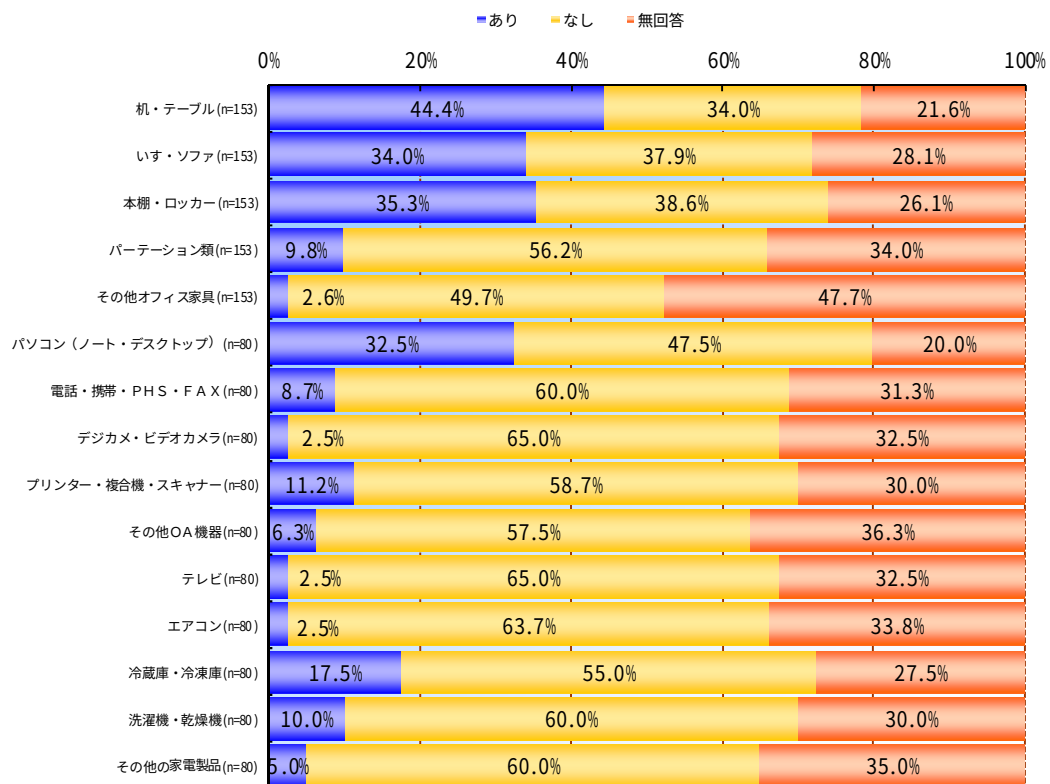


図 34 過去 5 年の中古品・リユース品の調達・購入（品目別）



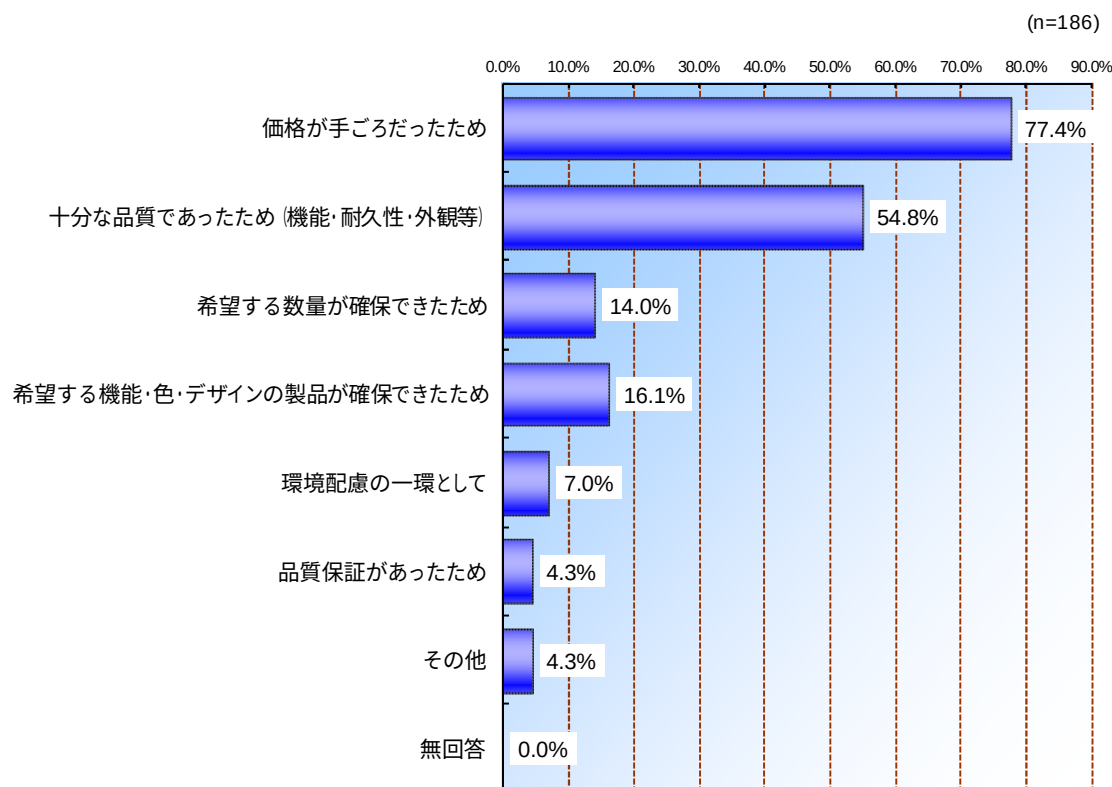
Q.12-B 貴団体において、過去1年間（平成27年）、過去5年程度の期間で、中古品・リユース製品を購入した経験の有無について、当てはまるものに○をつけてください。

品目		過去1年間の 中古品・リユース品の 購入有無 (いずれかに○)	過去5年程度の 中古品・リユース品の 購入の有無 (いずれかに○)
オフィス家具	机・テーブル	有 無	有 無
	いす・ソファ	有 無	有 無
	本棚・ロッカー	有 無	有 無
	パーテーション類	有 無	有 無
	その他（ ）	有 無	有 無
電気機器（OA機器・家電製品）	パソコン（ノート型、デスクトップ型）	有 無	有 無
	電話・携帯／PHS・ファクシミリ	有 無	有 無
	デジカメ・ビデオカメラ	有 無	有 無
	プリンター・複写機・スキャナ	有 無	有 無
	その他OA機器（ ）	有 無	有 無
	テレビ	有 無	有 無
	エアコン	有 無	有 無
	冷蔵庫・冷凍庫	有 無	有 無
	洗濯機・乾燥機	有 無	有 無
	その他家電製品（ ）	有 無	有 無
書籍	書籍	有 無	有 無

4.3 中古品・リユース品を購入した理由

中古品・リユース品を購入した理由については、「価格が手ごろだったため」の割合が最も高く77.4%となっている。次いで、「十分な品質であったため（機能・耐久性・外観等）（54.8%）」、「希望する機能・色・デザインの製品が確保できたため（16.1%）」となっている。

図 35 中古品・リユース品を購入した理由



【その他の内容】

知人の薦めがあったため、すぐに欲しかったため、もったいないと感じたため等

Q.12-C 中古品・リユース品を購入した理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

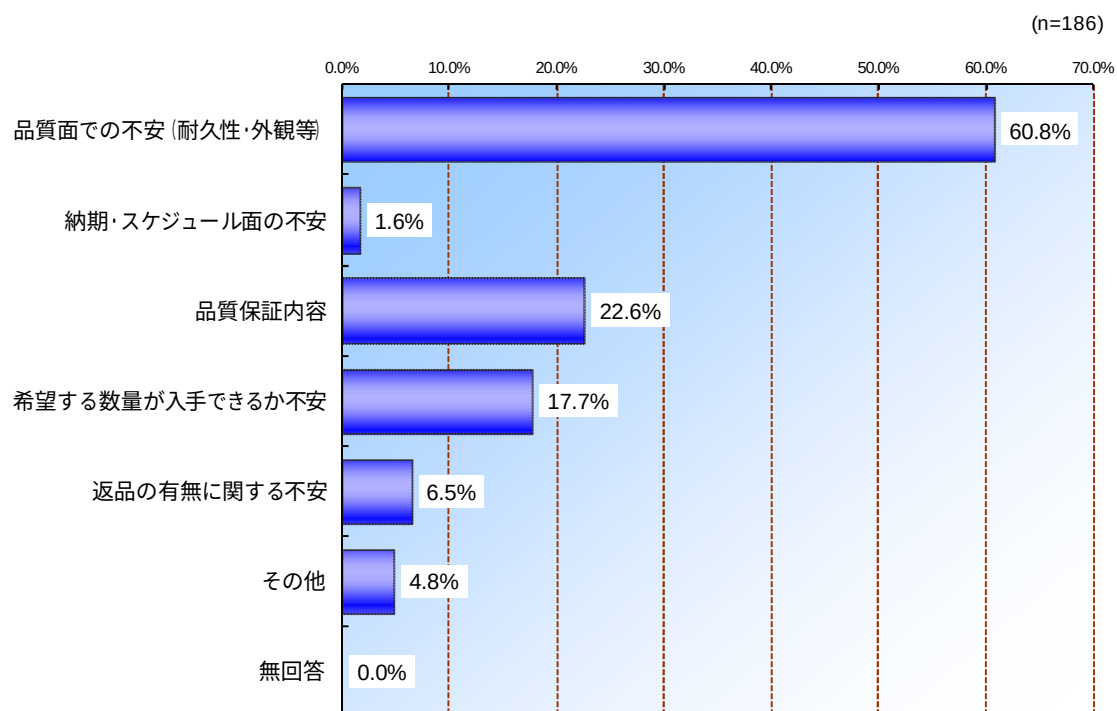
1. 価格が手ごろだったため
2. 十分な品質であったため（機能・耐久性・外観等）
3. 希望する数量が確保できたため
4. 希望する機能・色・デザインの製品が確保できたため
5. 環境配慮の一環として
6. 品質保証があったため
7. その他（

）

4.4 中古品・リユース品を購入した際に懸念された事項

中古品・リユース品を購入した際に懸念された事項については、「品質面での不安（耐久性・外観等）」の割合が最も高く 60.8%となっている。次いで、「品質保証内容（22.6%）」、「希望する数量が入手できるか不安（17.7%）」となっている。

図 36 中古品・リユース品を購入した際に懸念された事項



Q.12-D 中古品・リユース品を購入した際に懸念された事項について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

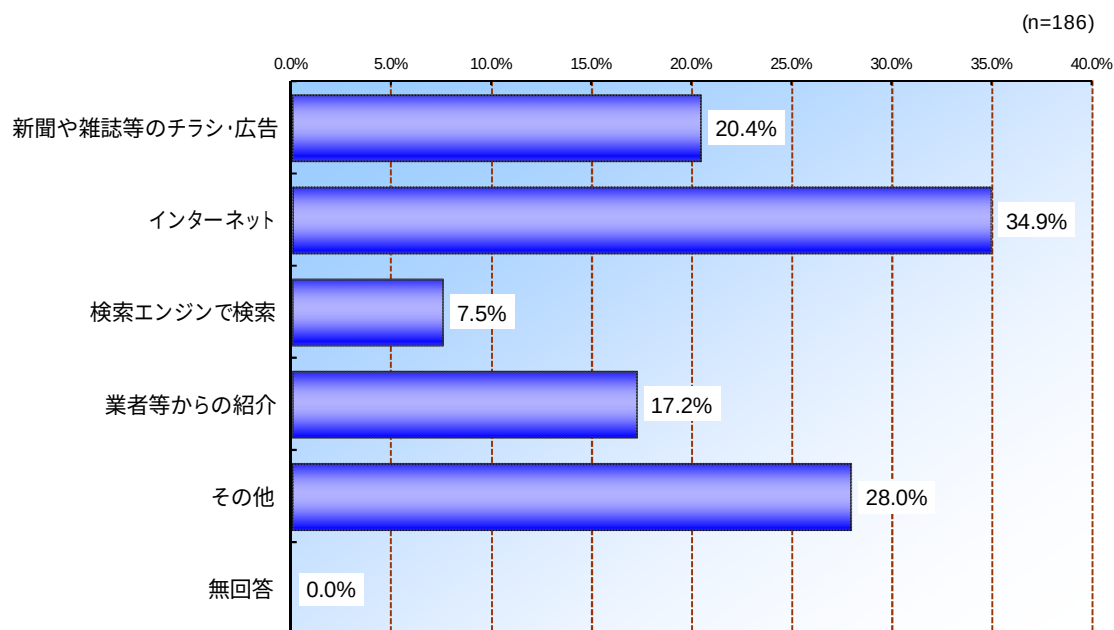
1. 品質面での不安（耐久性・外観等）
2. 納期・スケジュール面の不安
3. 品質保証内容
4. 希望する数量が入手できるか不安
5. 返品の有無に関する不安
6. その他（

）

4.5 中古品・リユース品の購入先の認知経路

中古品・リユース品の購入先の認知経路については、「インターネット」の割合が最も高く 34.9% となっている。次いで、「その他（28.0%）」、「新聞や雑誌等のチラシ・広告（20.4%）」となっている。

図 37 中古品・リユース品の購入先をどのように知ったか



【その他の内容】

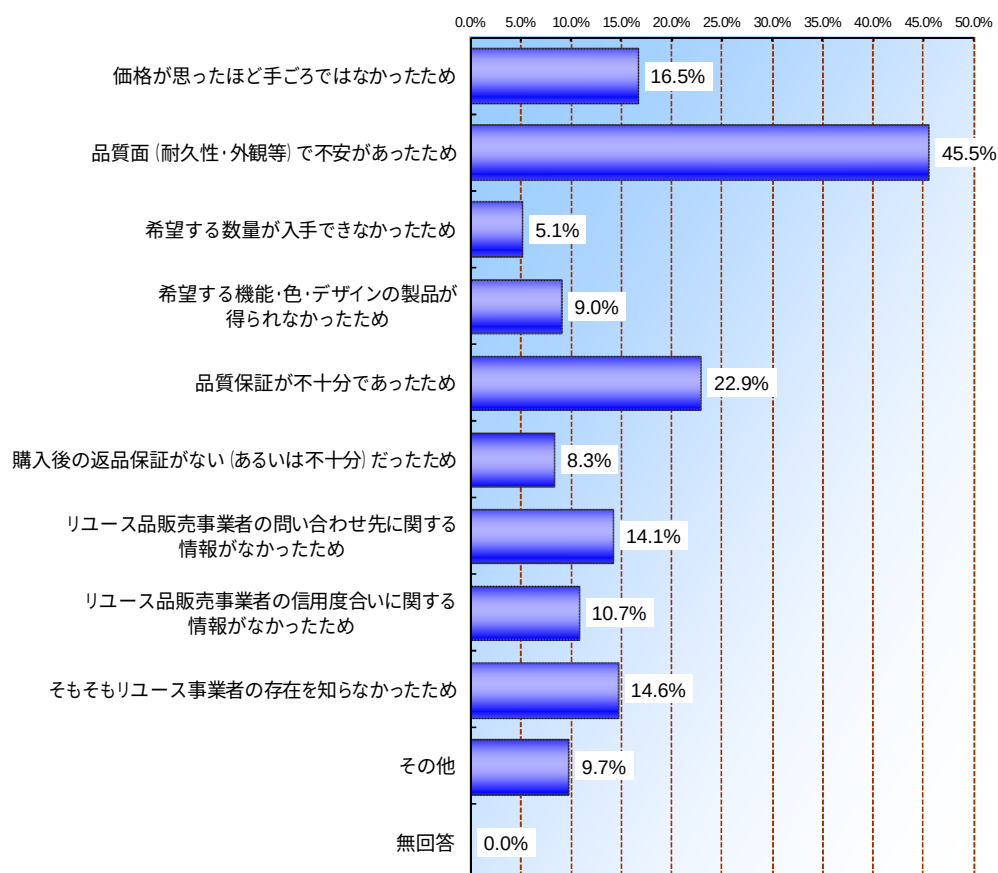
近隣に店舗がある、既存の取引先、関連会社、知人友人、社員からの紹介等

Q.12-E 中古品・リユース品の購入先をどのように知ったか、もっとも当てはまるもの1つに○をつけてください。

1. 新聞や雑誌等のチラシ・広告
2. インターネット
3. 検索エンジンで検索
4. 業者等からの紹介
5. その他 ()

中古品・リユース品の購入に至らなかった、あるいは購入したことがない理由については、「品質面（耐久性・外観等）で不安があったため」の割合が最も高く 45.5%となっている。次いで、「品質保証が不十分であったため（22.9%）」、「価格が思ったほど手ごろではなかったため（16.5%）」となっている。

(n=411)



前の使用者の使用状況が不明なため、希望製品を探す手間がかかる、時価算定が困難、指名登録業者の競争による購入を原則としている、実績がない等

1. 価格が思ったほど手ごろではなかったため
2. 品質面（耐久性・外観等）で不安があったため
3. 希望する数量が入手できなかったため
4. 希望する機能・色・デザインの製品が得られなかったため
5. 品質保証が不十分であったため
6. 購入後の返品保証がない（あるいは不十分）だったため
7. リユース品販売事業者の問い合わせ先に関する情報がなかったため
8. リユース品販売事業者の信用度合いに関する情報がなかったため
9. そもそもリユース事業者の存在を知らなかったため
10. その他（

第2章 使用済製品の品目別排出・流通実態（マテリアルフロー）の推計品目別の概要

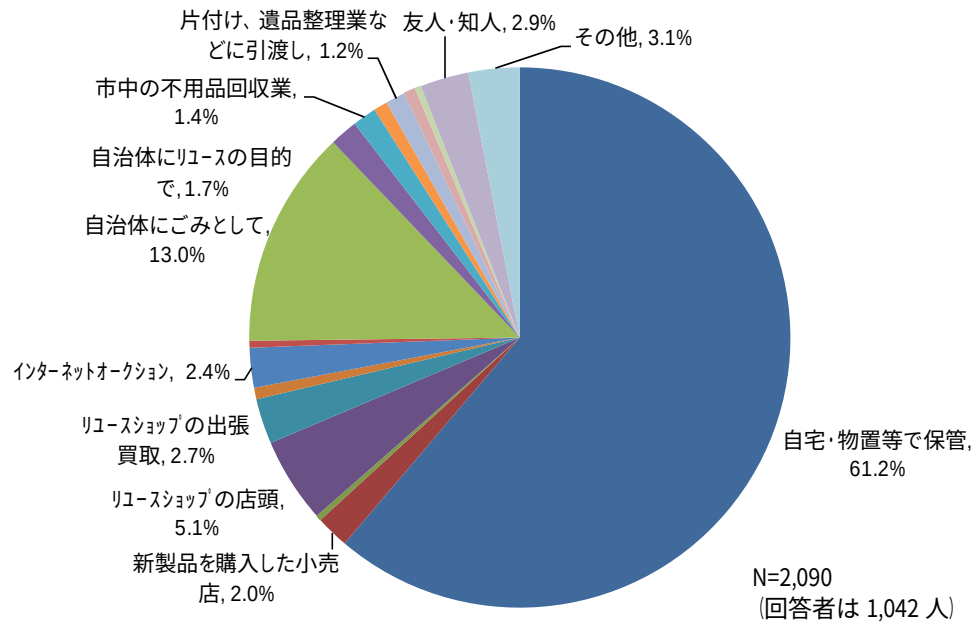
- 消費者モニターアンケートを踏まえた品目別の排出・流通実態の推計結果を以下に整理する。
- 以下は副次的に集計したものである。調査結果の詳細は、別データを参照のこと。

1. 家具類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家具類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった家具類の台数は2,090台（1,042人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く61.2%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.0%、「リユースショップの店頭で売却」が5.1%、「その他」が3.1%と続く。

図表 1 不用となった家具類の排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

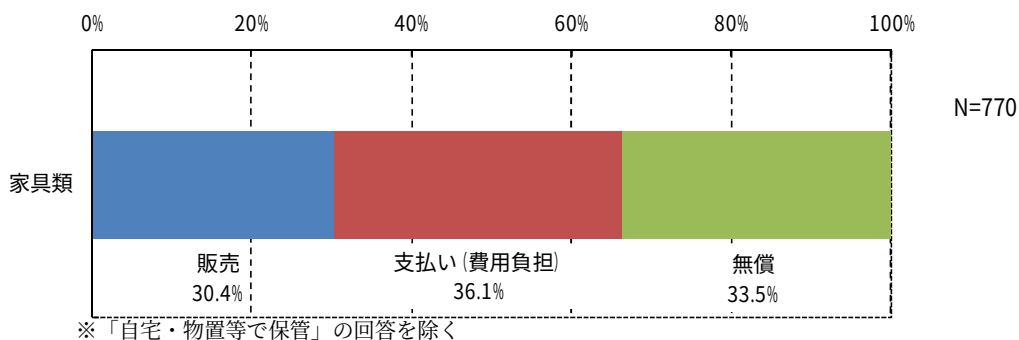
2) 不用品の排出における費用について

不用となった家具類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「支払い（費用負担）」との回答が最も多く 36.1%、次いで「無償」が 33.5%、「販売」は 30.4%となっている（図表 2）。また、「販売」の際の平均単価は 12,408 円/個、「支払い（費用負担）」は 4,556 円/個となっている（図表 3）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続く、そのうち 64.8%が「支払い（費用負担）」、「無償」が 34.9%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 89.1%（1,151 円/個）、「無償」が 10.0%、「友人・知人に譲渡売却」では「無償」が 68.3%、「販売」が 23.8%（500 円/個）、「支払い（費用負担）」が 7.9%（2,460 円/個）となっている。

図表 2 排出・引渡時の費用について（家具類）



図表 3 排出・引渡先別の割合・費用について（家具類）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
	個数	割合	(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,320	61.2%							1,320	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	43	2.0%	10	23.3%	5,900	4	9.3%	2,730	29	67.4%
その他の小売店に引渡し・売却	7	0.3%	5	71.4%	4,440	—	—	—	2	28.6%
リユースショップの店頭で売却	110	5.1%	98	89.1%	1,151	1	0.9%	500	11	10.0%
リユースショップの出張買取サービス	58	2.7%	41	70.7%	37,634	12	20.7%	33,833	5	8.6%
宅配で郵送する買取サービス	15	0.7%	8	53.3%	1,938	—	—	—	7	46.7%
インターネットオークションで売却	51	2.4%	42	82.4%	21,876	—	—	—	9	17.6%
フリマアプリで売却	9	0.4%	8	88.9%	21,500	—	—	—	1	11.1%
自治体にごみとして廃棄	281	13.0%	1	0.4%	300	182	64.8%	1,123	98	34.9%
自治体にリユースの目的で引渡し	36	1.7%	—	—	—	29	80.6%	3,460	7	19.4%
不用品回収業者に引渡し	31	1.4%	1	3.2%	100	12	38.7%	2,167	18	58.1%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	18	0.8%	1	5.6%	50	—	—	—	17	94.4%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	25	1.2%	—	—	—	23	92.0%	14,504	2	8.0%
引越し時に引越業者に引渡し	15	0.7%	1	6.7%	50,000	10	66.7%	17,260	4	26.7%
バザー・フリーマーケット等で売却	8	0.4%	3	37.5%	704	—	—	—	5	62.5%
友人・知人に譲渡・売却	63	2.9%	15	23.8%	500	5	7.9%	2,460	43	68.3%
その他	66	3.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,156	100.0%	234	11.2%	12,408	278	13.3%	4,556	1,578	75.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家具類の排出・流通実態の推計

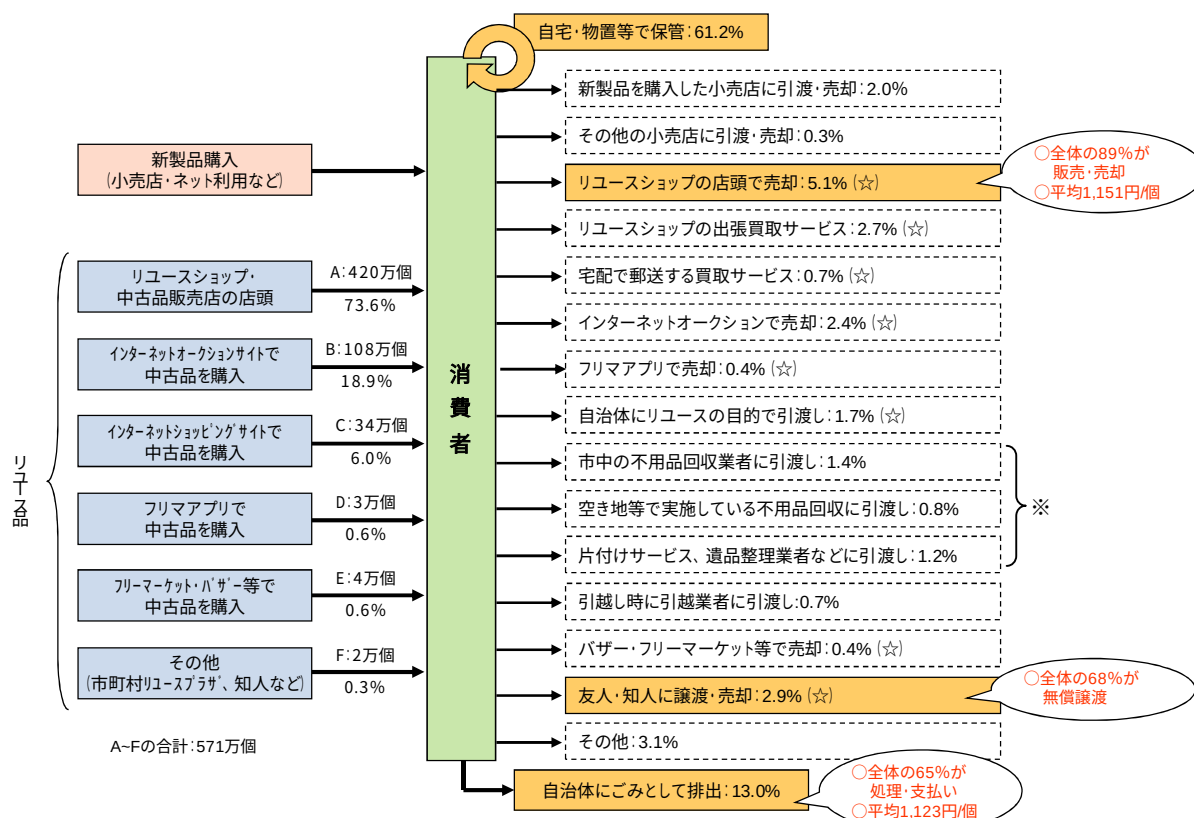
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は 571 万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 73.6%、420 万個、「インターネットオークションサイト」が 18.9%、108 万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった家具類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 61.2%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が 13.0%、「リユースショップの店頭で売却」が 5.1%、「友人・知人に譲渡・売却」が 2.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では支払が 65%を占め、その費用は平均 1,123 円/個となっている。「リユースショップの店頭」では販売が 89%、平均 1,151 円/個、「友人・知人に譲渡・売却」では無償譲渡が 68%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 16.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 45.5%を占めると推計される。

図表 4 家具類の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

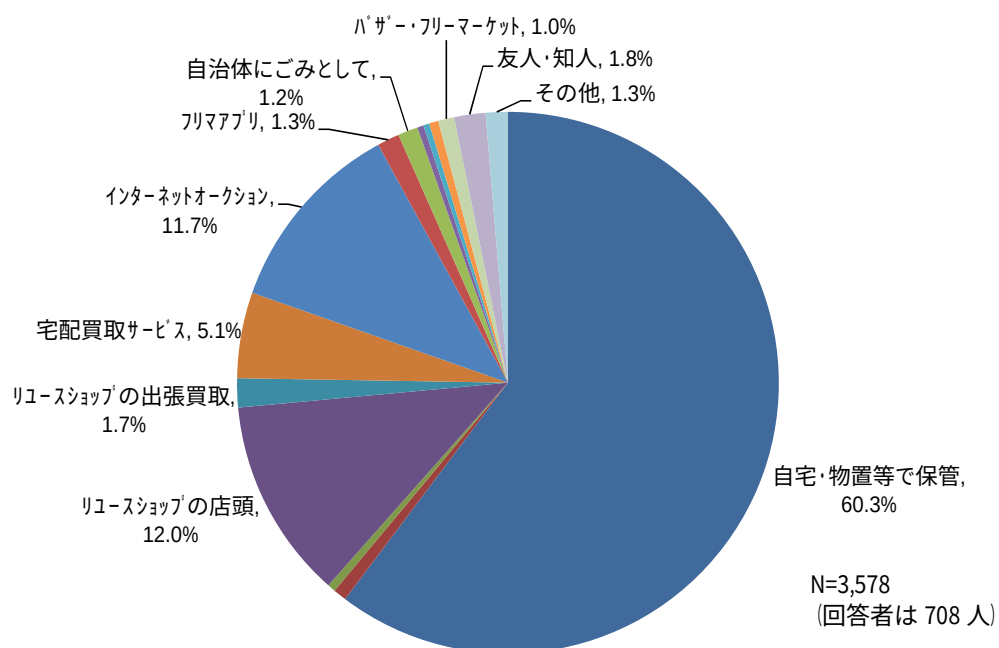
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

2. ブランド品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品の個数は3,578個（708人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が12.0%、「インターネットオークションで売却」が11.7%と続く。

図表 5 不用となったブランド品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

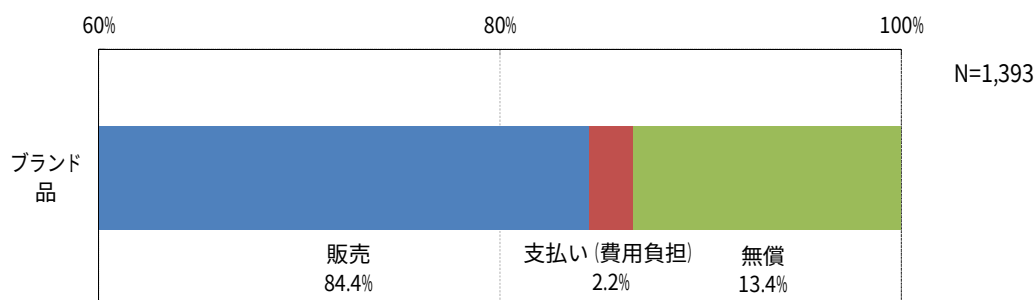
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 84.4%、次いで「無償」が 13.4%、「支払い（費用負担）」は 2.2%となっている（図表 6）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は 639 円/個、「販売」は 38,909 円/個となっている（図表 7）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 98.6%（8,382 円/個）となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 97.6%（20,205 円/個）、「無償」が 2.4%、「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 97.3%（126,943 円/個）となっている。

図表 6 排出・引渡時の費用について（ブランド品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 7 排出・引渡先別の割合・費用について（ブランド品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	2,185	60.3%	—	—	—	—	—	—	2,185	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	29	0.8%	18	62.1%	3,556	—	—	—	11	37.9%
その他の小売店に引渡し・売却	17	0.5%	16	94.1%	33,650	—	—	—	1	5.9%
リユースショップの店頭で売却	435	12.0%	429	98.6%	8,382	2	0.5%	2,000	4	0.9%
リユースショップの出張買取サービス	63	1.7%	62	98.4%	143,013	—	—	—	1	1.6%
宅配で郵送する買取サービス	186	5.1%	181	97.3%	126,943	—	—	—	5	2.7%
インターネットオークションで売却	423	11.7%	413	97.6%	20,205	—	—	—	10	2.4%
フリマアプリで売却	48	1.3%	38	79.2%	33,130	—	—	—	10	20.8%
自治体にごみとして廃棄	43	1.2%	—	—	—	16	37.2%	176	27	62.8%
自治体にリユースの目的で引渡し	14	0.4%	—	—	—	—	—	—	14	100.0%
不用品回収業者に引渡し	13	0.4%	—	—	—	13	100.0%	1,000	0	0.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	20	0.6%	1	5.0%	1,000	—	—	—	19	95.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	35	1.0%	15	42.9%	5,867	—	—	—	20	57.1%
友人・知人に譲渡・売却	67	1.8%	3	4.5%	7,667	—	—	—	64	95.5%
その他	48	1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	3,626	100.0%	1,176	32.9%	38,909	31	0.9%	639	2,371	66.3%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ブランド品の排出・流通実態の推計

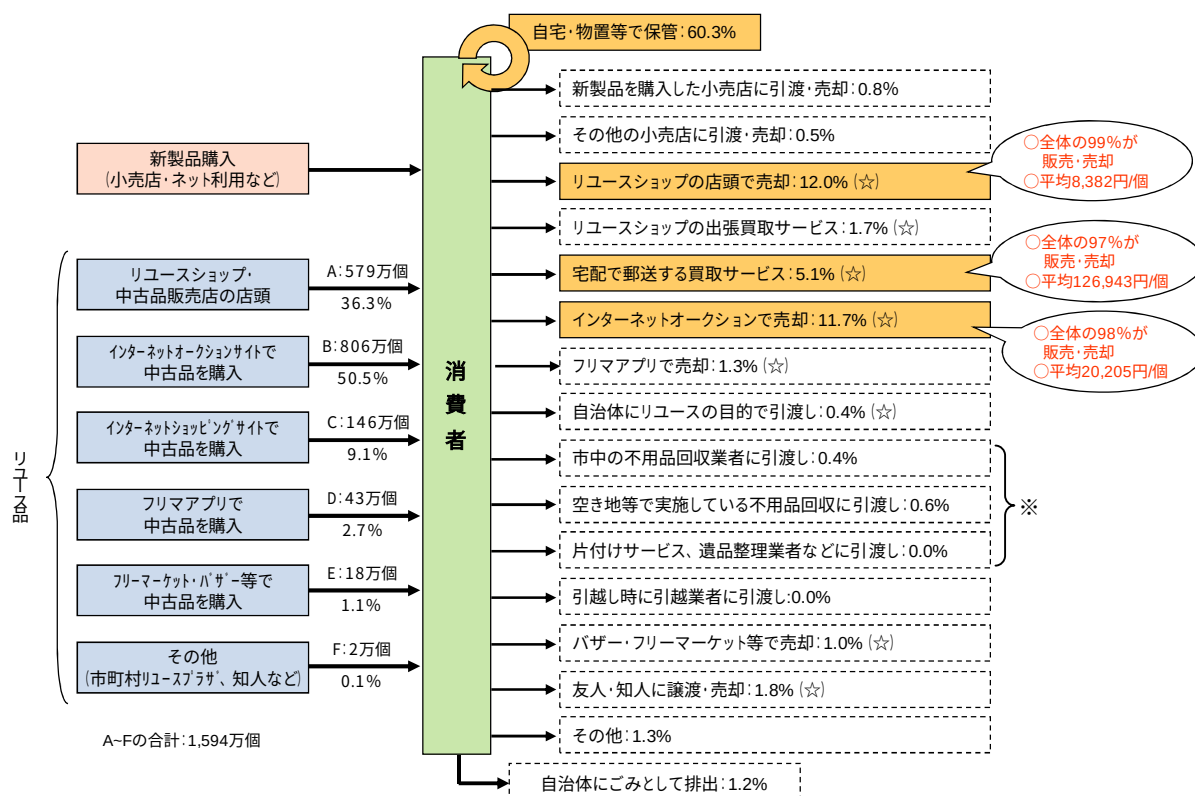
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したブランド品は1,594万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが50.5%、806万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が36.3%、579万個、「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものが、9.1%、146万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が12.0%、「インターネットオークションで売却」が11.7%、「宅配で郵送するサービスで売却」が5.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が99%を占め、平均8,382円/個となっている。次いで「インターネットオークションで売却」は販売・売却が98%を占め、平均20,205円/個、「宅配で郵送する買取サービスで売却」は販売・売却が97%、平均126,943円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の35.1%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の87.8%を占めると推計される。

図表 8 ブランド品の排出・流通実態の推計

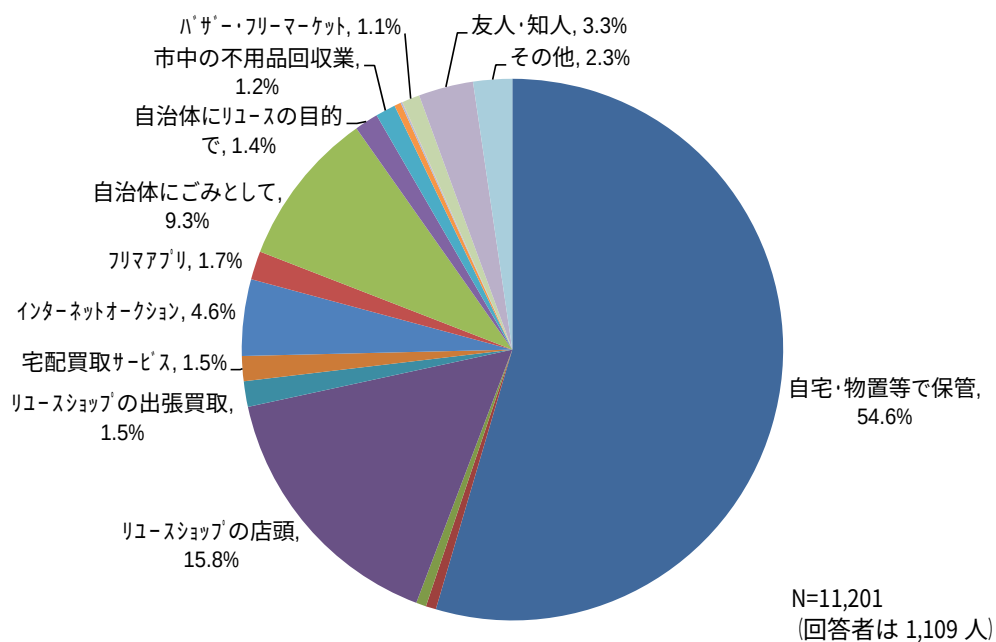


3. ブランド品を除く衣類・服飾品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の個数は11,201個（1,109人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く54.6%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が15.8%、「自治体にごみとして廃棄」が9.3%と続く。

図表 9 不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

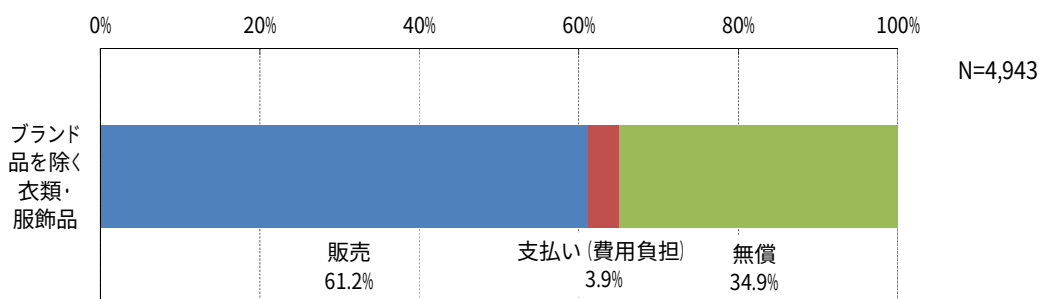
2) 不用品の排出における費用について

不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 61.2%、次いで「無償」が 34.9%、「支払い（費用負担）」は 3.9%となっている（図表 10）。また、「販売」の際の平均単価は 3,553 円/個、「支払い（費用負担）」は 263 円/個となっている（図表 11）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.2%（1,297 円/個）、「無償」が 3.3%となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 83.4%、「支払い（費用負担）」が 14.2%（174 円/個）、「販売」が 2.4%（2,205 円/個）、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 98.9%（9,761 円/個）、「無償」が 1.1%となっている。

図表 10 排出・引渡時の費用について（ブランド品を除く衣類・服飾品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 11 排出・引渡先別の割合・費用について（ブランド品を除く衣類・服飾品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	6,258	54.6%	—	—	—	—	—	—	6,258	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	71	0.6%	46	64.8%	654	—	—	—	25	35.2%
その他の小売店に引渡し・売却	69	0.6%	31	44.9%	1,016	—	—	—	38	55.1%
リユースショップの店頭で売却	1814	15.8%	1,745	96.2%	1,297	10	0.6%	100	59	3.3%
リユースショップの出張買取サービス	175	1.5%	157	89.7%	6,796	—	—	—	18	10.3%
宅配で郵送する買取サービス	172	1.5%	165	95.9%	2,874	—	—	—	7	4.1%
インターネットオークションで売却	522	4.6%	516	98.9%	9,761	—	—	—	6	1.1%
フリマアプリで売却	196	1.7%	185	94.4%	7,713	—	—	—	11	5.6%
自治体にごみとして廃棄	1070	9.3%	26	2.4%	2,205	152	14.2%	174	892	83.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	162	1.4%	1	0.6%	25,000	20	12.3%	1,000	141	87.0%
不用品回収業者に引渡し	138	1.2%	—	—	—	10	7.2%	300	128	92.8%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	45	0.4%	—	—	—	—	—	—	45	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	10	0.1%	—	—	—	—	—	—	10	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	4	0.0%	—	—	—	—	—	—	4	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	122	1.1%	116	95.1%	987	—	—	—	6	4.9%
友人・知人に譲渡・売却	373	3.3%	39	10.5%	5,846	—	—	—	334	89.5%
その他	268	2.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	11,469	100.0%	3,027	27.0%	3,553	192	1.7%	263	7,982	71.3%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

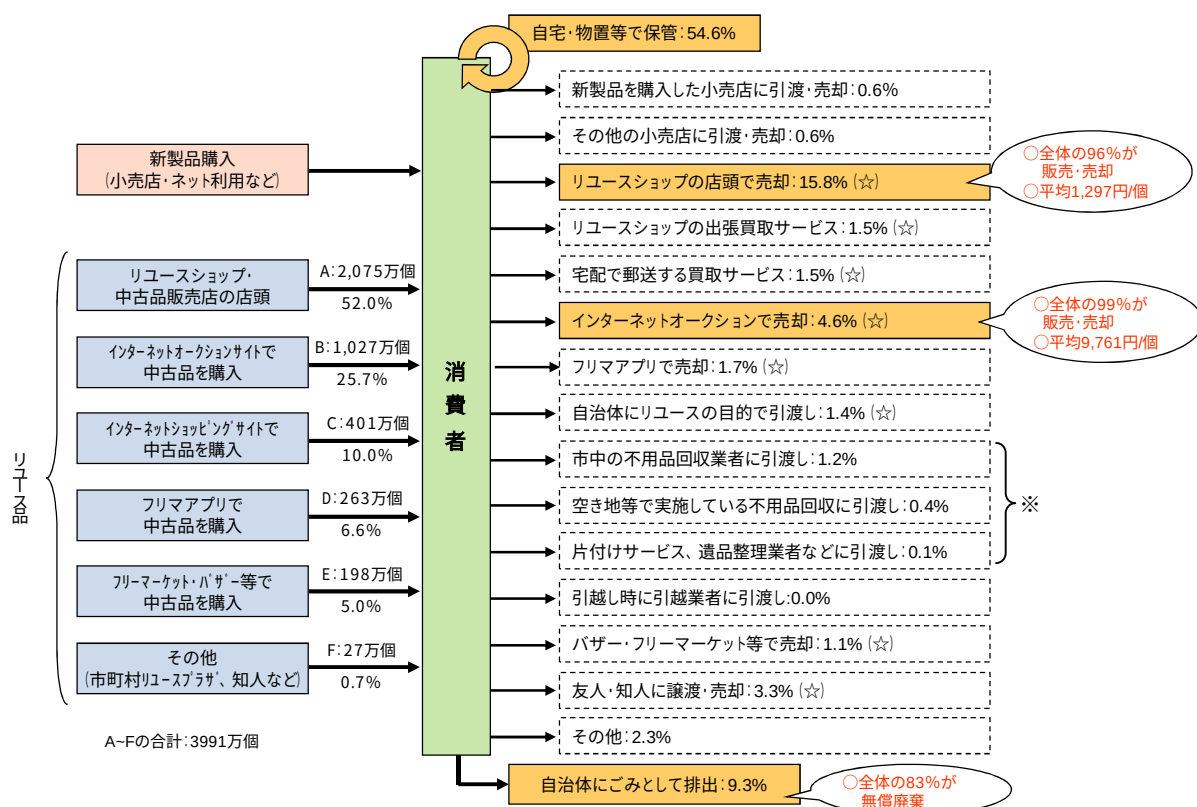
3) ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した家具類は 3,991 万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 52.0%、2,075 万個、「インターネットオークションサイト」が 25.7%、1,027 万個、「インターネットショッピングサイト」が 10.0%、401 万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったブランド品を除く衣類・服飾品の排出・引渡について「自宅・物置等で保管」が最も多く 54.6%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が 15.8%、「自治体にごみとして廃出」が 9.3%、「インターネットオークションで売却」が 4.6%と続く。排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が 96%を占め、その費用は平均 1,297 円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償廃棄が 83%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が 99%、平均 9,761 円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 30.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 67.6%を占めると推計される。

図表 12 ブランド品を除く衣類・服飾品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

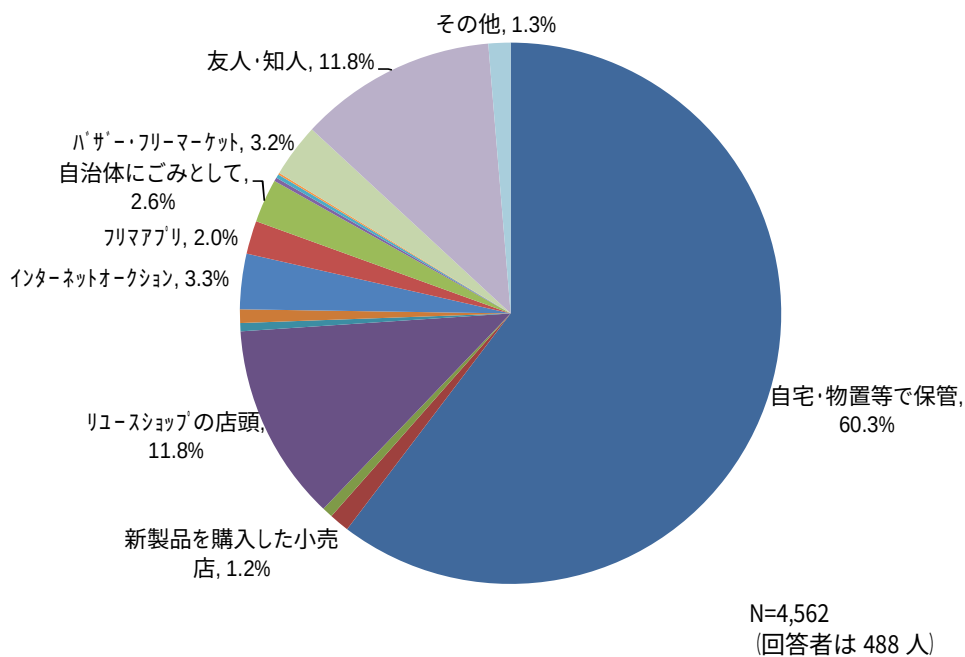
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

4. ベビー・子供用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったベビー・子供用品の個数は4,562個（488人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「友人・知人に譲渡・売却」が11.8%、「リユースショップの店頭で売却」が11.8%、「自治体にごみとして廃棄」が2.6%と続く。

図表 13 不用となったベビー・子供用品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

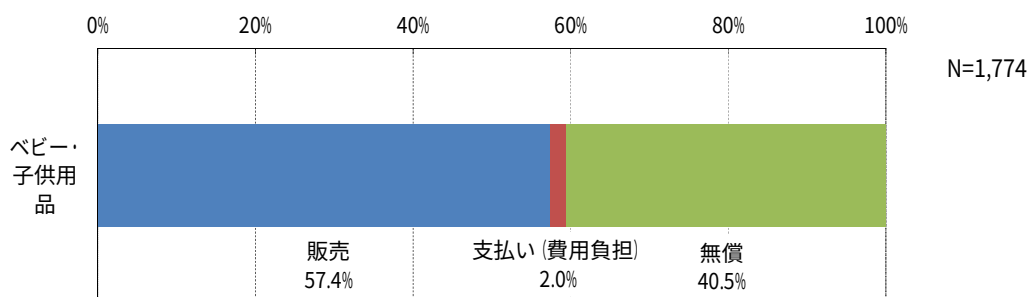
2) 不用品の排出における費用について

不用となったベビー・子供用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 57.4%、次いで「無償」が 40.5%、「支払い（費用負担）」は 2.0%となっている（図表 14）。また、「販売」の際の平均単価は 2,191 円/個、「支払い（費用負担）」は 300 円/個となっている（図表 15）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「友人・知人に譲渡・売却」と「リユースショップの店頭で売却」がともに続き、「友人・知人に譲渡・売却」のうち 96.1%が「無償」となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 96.9%（1,223 円/個）、「無償」が 3.1%、「インターネットオークションで売却」では「販売」が 99.3%、「無償」が 0.7%となっている。

図表 14 排出・引渡時の費用について（ベビー・子供用品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 15 排出・引渡先別の割合・費用について（ベビー・子供用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	2,788	60.3%							2,788	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	56	1.2%	26	46.4%	1,692	—	—	—	30	53.6%
その他の小売店に引渡し・売却	29	0.6%	28	96.6%	804	—	—	—	1	3.4%
リユースショップの店頭で売却	545	11.8%	528	96.9%	1,223	—	—	—	17	3.1%
リユースショップの出張買取サービス	23	0.5%	20	87.0%	600	—	—	—	3	13.0%
宅配で郵送する買取サービス	37	0.8%	17	45.9%	3,176	1	2.7%	500	19	51.4%
インターネットオークションで売却	153	3.3%	152	99.3%	7,303	—	—	—	1	0.7%
フリマアプリで売却	92	2.0%	82	89.1%	2,332	—	—	—	10	10.9%
自治体にごみとして廃棄	120	2.6%	—	—	—	32	26.7%	322	88	73.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	10	0.2%	4	40.0%	2,233	—	—	—	6	60.0%
不用品回収業者に引渡し	11	0.2%	1	9.1%	5,000	—	—	—	10	90.9%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.1%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	148	3.2%	140	94.6%	271	3	2.0%	3	5	3.4%
友人・知人に譲渡・売却	545	11.8%	21	3.9%	4,810	—	—	—	524	96.1%
その他	61	1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	4,623	100.0%	1,019	22.3%	2,191	36	0.8%	300	3,507	76.9%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計

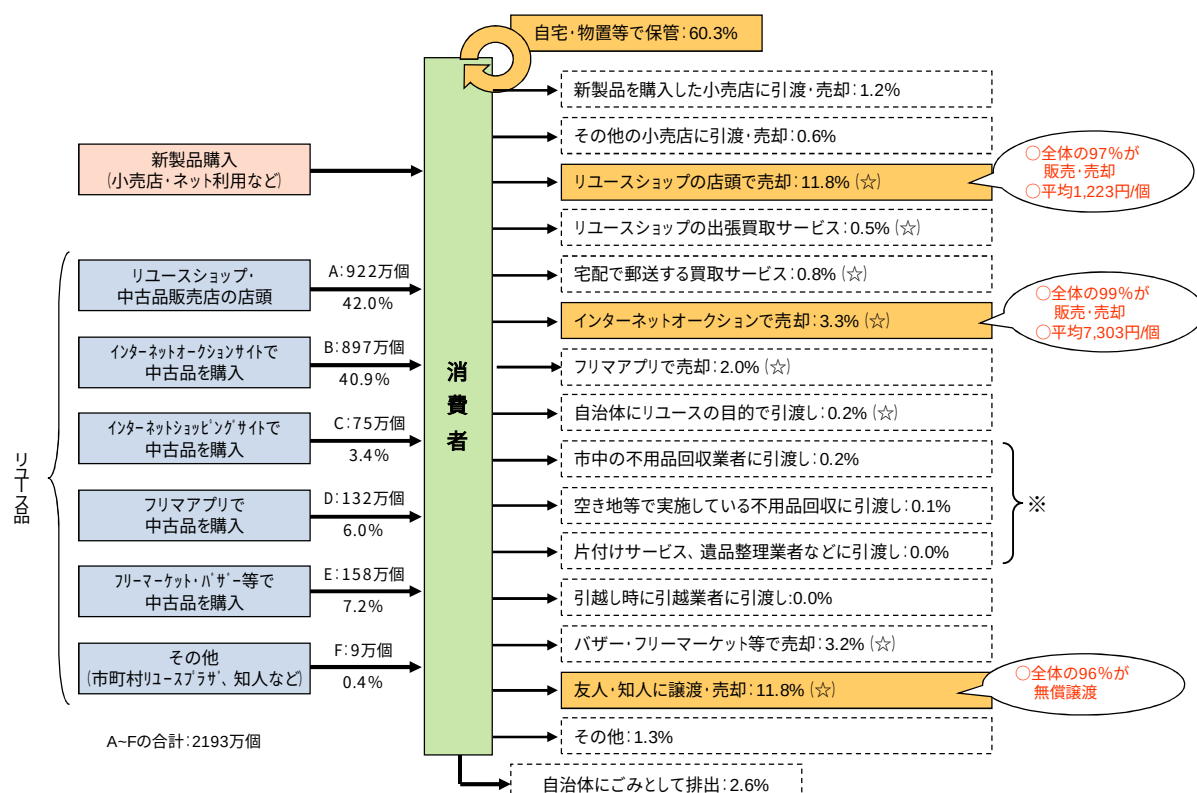
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したベビー・子供用品は2,193万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが42%、922万個、「インターネットオークションサイト」が40.9%、897万個、「フリーマーケット・バザー」が7.2%、158万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったベビー・子供用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く60.3%、次いで「友人・知人に譲渡・売却」が11.8%、同じく「リユースショップの店頭で売却」が11.8%、「インターネットオークションで売却」が3.3%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が97%、平均1,223円/個、「友人・知人に譲渡・売却」では無償譲渡が96%を占めている。「インターネットオークションで売却」では販売・売却が99%、平均7,303円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の33.6%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の82.4%を占めると推計される。

図表 16 ベビー・子供用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

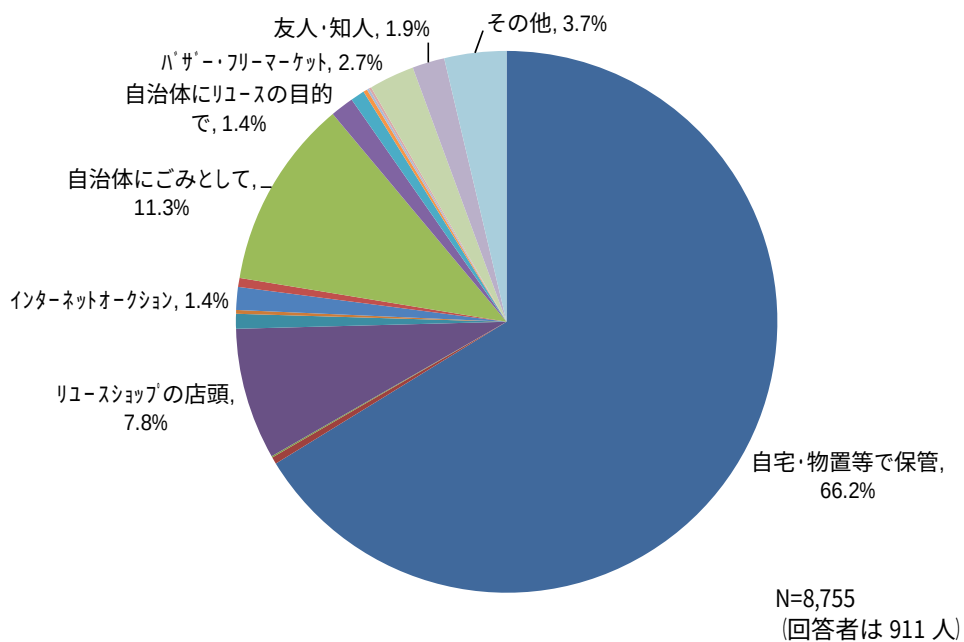
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

5. 日用品・生活雑貨

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった日用品・生活雑貨の個数は8,755個（911人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く66.2%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が11.3%、「リユースショップの店頭で売却」が7.8%と続く。

図表 17 不用となった日用品・生活雑貨の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

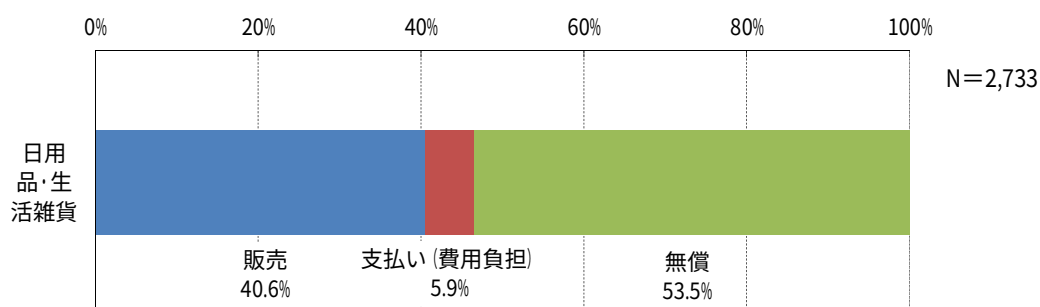
2) 不用品の排出における費用について

不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 53.5%、次いで「販売」が 40.6%、「支払い（費用負担）」は 5.9%となっている（図表 18）。また、「販売」の際の平均単価は 4,237 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,303 円/個となっている（図表 19）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続く、そのうち「無償」が 89.7%、「支払い（費用負担）」が 10.3%（541 円/個）となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 95.0%（428 円/個）、「無償」が 5.0%となっている。

図表 18 排出・引渡時の費用について（日用品・生活雑貨）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 19 排出・引渡先別の割合・費用について（日用品・生活雑貨）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い (費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	6,022	66.2%	—	—	—	—	—	—	6,022	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	37	0.4%	29	78.4%	636	—	—	—	8	21.6%
その他の小売店に引渡し・売却	9	0.1%	5	55.6%	140	—	—	—	4	44.4%
リユースショップの店頭で売却	713	7.8%	677	95.0%	428	—	—	—	36	5.0%
リユースショップの出張買取サービス	80	0.9%	80	100.0%	15,429	—	—	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	21	0.2%	17	81.0%	2,141	—	—	—	4	19.0%
インターネットオークションで売却	124	1.4%	120	96.8%	21,138	—	—	—	4	3.2%
フリマアプリで売却	49	0.5%	42	85.7%	7,557	1	2.0%	10,000	6	12.2%
自治体にごみとして廃棄	1028	11.3%	—	—	—	106	10.3%	541	922	89.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	127	1.4%	—	—	—	31	24.4%	1,000	96	75.6%
不用品回収業者に引渡し	77	0.8%	—	—	—	17	22.1%	647	60	77.9%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	22	0.2%	1	4.5%	89,220	—	—	—	21	95.5%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	12	0.1%	—	—	—	—	—	—	12	100.0%
引渡し時に引越業者に引渡し	12	0.1%	—	—	—	6	50.0%	16,750	6	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	247	2.7%	128	51.8%	1,298	—	—	—	119	48.2%
友人・知人に譲渡・売却	175	1.9%	10	5.7%	1,000	—	—	—	165	94.3%
その他	337	3.7%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	9,092	100.0%	1,109	12.7%	4,237	161	1.8%	1,303	7,485	85.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計

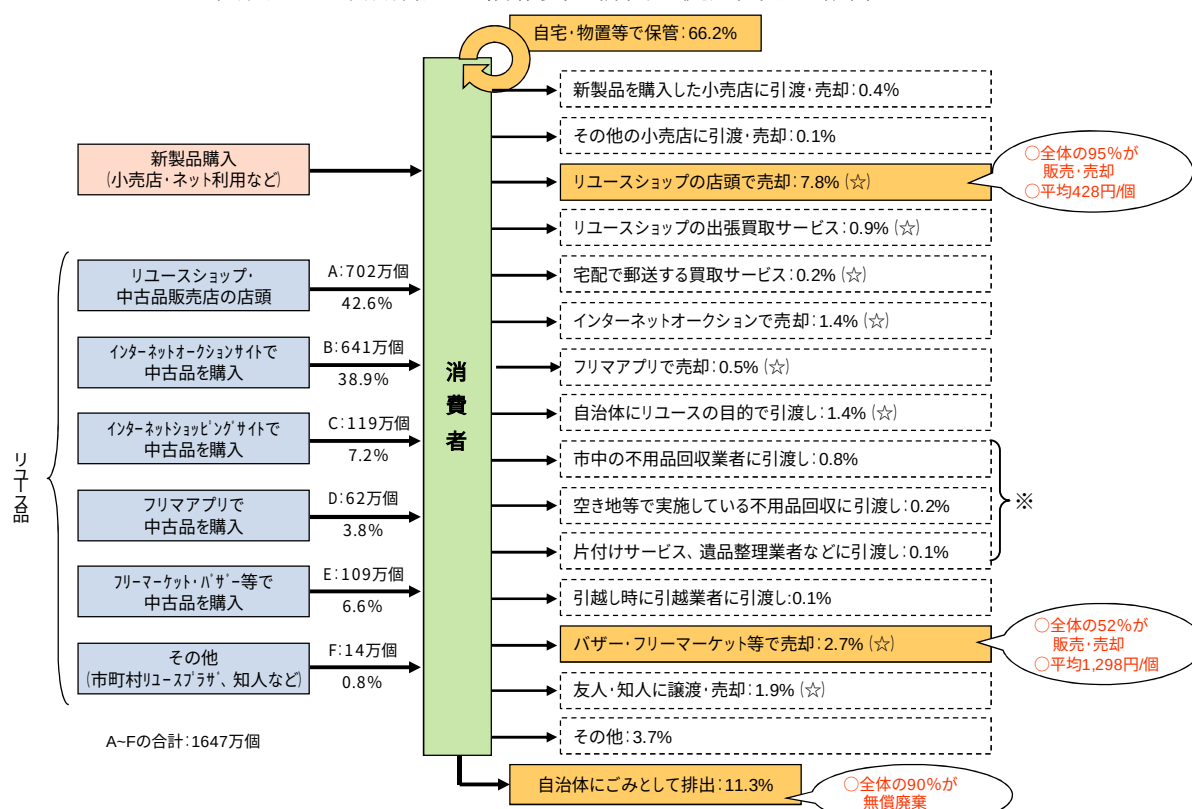
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した日用品・生活雑貨は1647万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが42.6%、702万個、「インターネットオークションサイト」が38.9%、641万個、「インターネットショッピングサイト」が7.2%、119万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった日用品・生活雑貨の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く66.2%、次いで「自治体にごみとして廃出」が11.3%、「リユースショップの店頭で売却」が7.8%、「バザー・フリーマーケット等で売却」が2.7%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が95%、平均428円/個、「自治体にごみとして排出」では無償廃棄が90%を占めている。「バザー・フリーマーケット等で売却」では販売・売却が52%、平均1,298円/個、となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の16.9%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の54.4%を占めると推計される。

図表 20 日用品・生活雑貨の排出・流通実態の推計

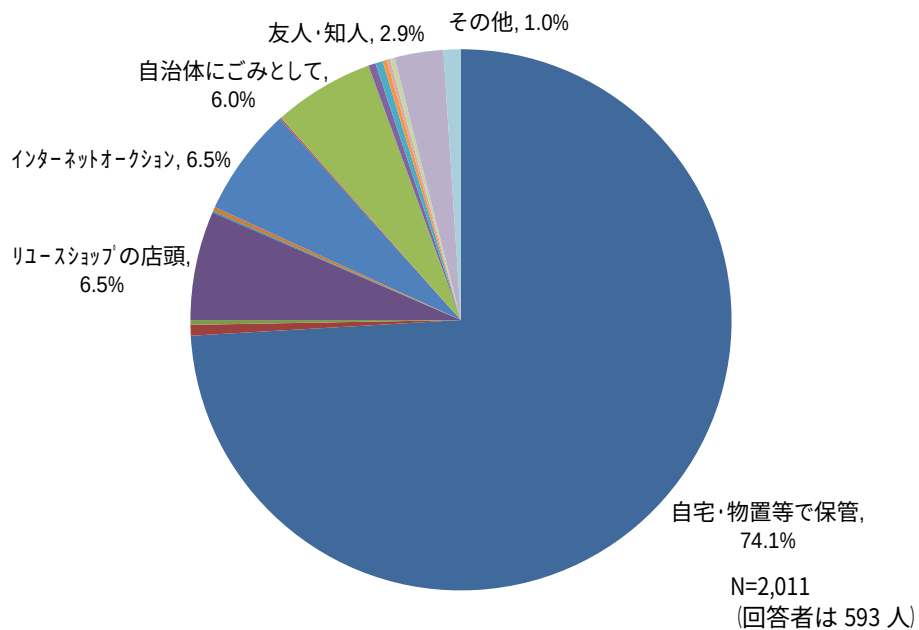


6. スポーツ・レジャー用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったスポーツ・レジャー用品の個数は2,011個（593人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く74.1%、次いで「リユースショップの店頭で売却」と「インターネットオークションで売却」がともに6.5%、「自治体にごみとして廃棄」が6.0%と続く。

図表 21 不用となったスポーツ・レジャー用品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

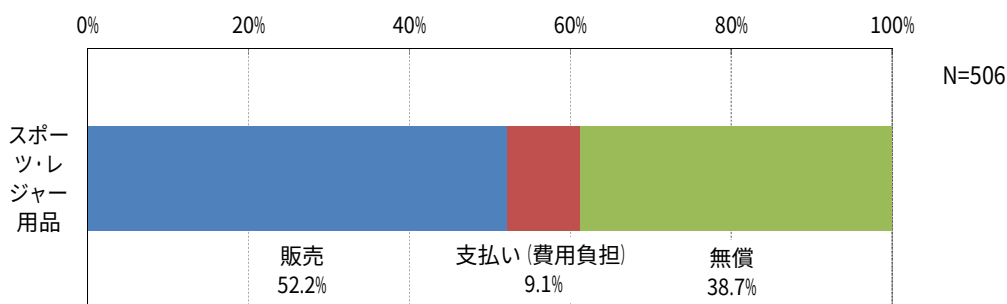
2) 不用品の排出における費用について

不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 52.2%、次いで「無償」が 38.7%、「支払い（費用負担）」は 9.1%となっている（図表 22）。また、「販売」の際の平均単価は 8,513 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,379 円/個となっている（図表 23）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」と「インターネットオークションで売却」がともに続き、「リユースショップの店頭で売却」のうち「販売」が 84.8%（6,592 円/個）、「無償」が 15.2%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 94.7%（9,765 円/個）、「無償」が 5.3%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 68.0%、「支払い（費用負担）」が 30.3%（363 円/個）、「販売」が 1.6%（100 円/個）となっている。

図表 22 排出・引渡時の費用について（スポーツ・レジャー用品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 23 排出・引渡先別の割合・費用について（スポーツ・レジャー用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,505	74.1%	—	—	—	—	—	—	1,505	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	13	0.6%	7	53.8%	19,286	—	—	—	6	46.2%
その他の小売店に引渡し・売却	6	0.3%	2	33.3%	1,000	—	—	—	4	66.7%
リユースショップの店頭で売却	132	6.5%	112	84.8%	6,592	—	—	—	20	15.2%
リユースショップの出張買取サービス	2	0.1%	2	100.0%	50,000	—	—	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	5	0.2%	5	100.0%	9,240	—	—	—	0	0.0%
インターネットオークションで売却	132	6.5%	125	94.7%	9,765	—	—	—	7	5.3%
フリマアプリで売却	2	0.1%	1	50.0%	1,000	1	50.0%	1,000	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	122	6.0%	2	1.6%	100	37	30.3%	363	83	68.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	9	0.4%	—	—	—	1	11.1%	500	8	88.9%
不用品回収業者に引渡し	9	0.4%	—	—	—	5	55.6%	1,700	4	44.4%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.2%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越時に引越業者に引渡し	4	0.2%	—	—	—	2	50.0%	20,000	2	50.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	6	0.3%	5	83.3%	200	—	—	—	1	16.7%
友人・知人に譲渡・売却	59	2.9%	3	5.1%	1,000	—	—	—	56	94.9%
その他	21	1.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,032	100.0%	264	13.1%	8,513	46	2.3%	1,379	1,701	84.6%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計

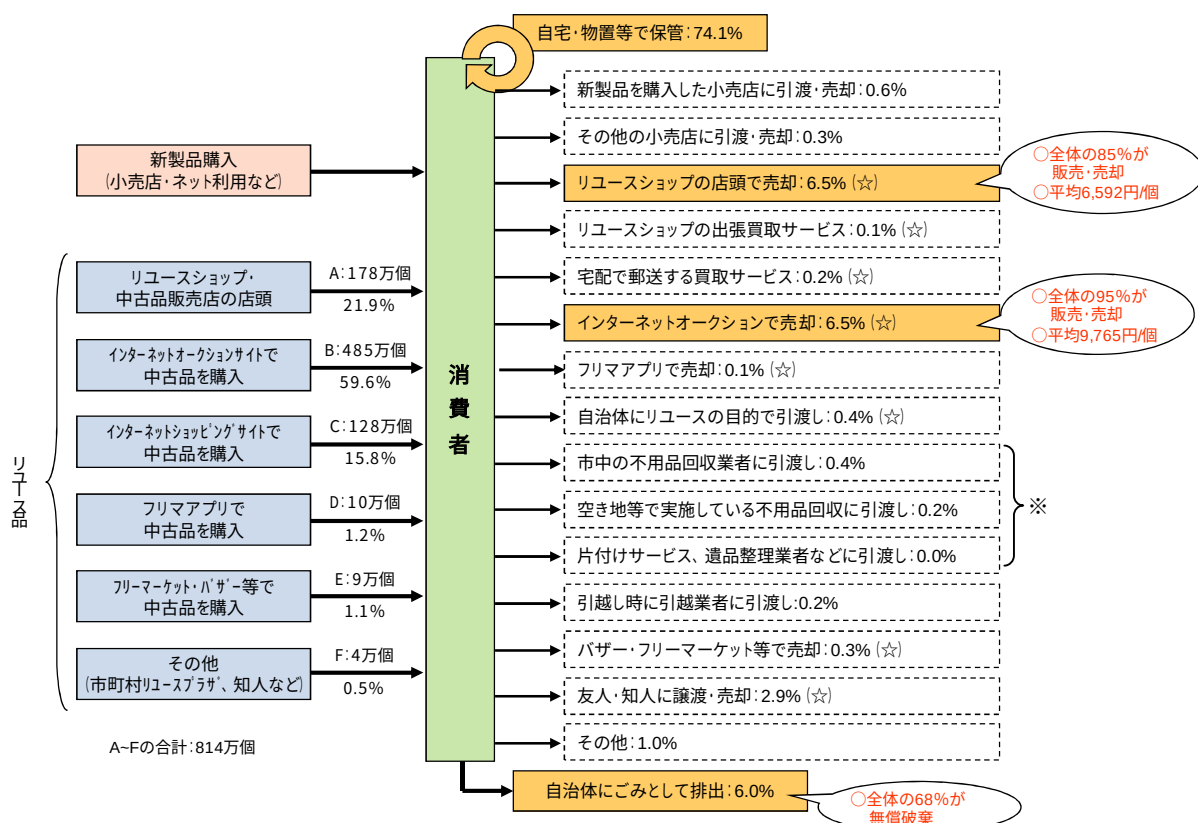
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したスポーツ・レジャー用品は814万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが59.6%、485万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が21.9%、178万個、「インターネットショッピングサイト」は15.8%、128万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったスポーツ・レジャー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く74.1%、次いで「リユースショップの店頭で売却」と「インターネットオークションで売却」が共に6.5%、「自治体にごみとして排出」が6.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が95%、平均9,765円/個、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が85%を占め、平均6,592円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償破棄が68%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の17.1%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の68.2%を占めると推計される。

図表 24 スポーツ・レジャー用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

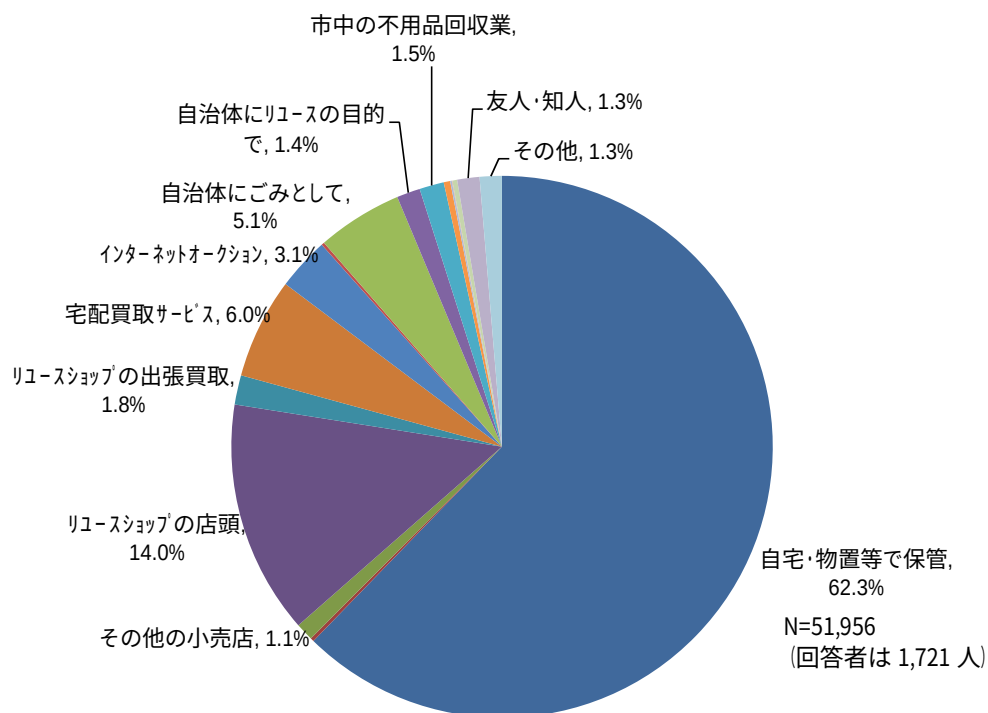
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

7. 書籍

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった書籍の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった書籍の冊数は51,956冊（1,721人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く62.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が14.0%、「宅配買取サービスで売却」が6.0%、「自治体にごみとして廃棄」が5.1%と続く。

図表 25 不用となった書籍の排出先別の割合（冊）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

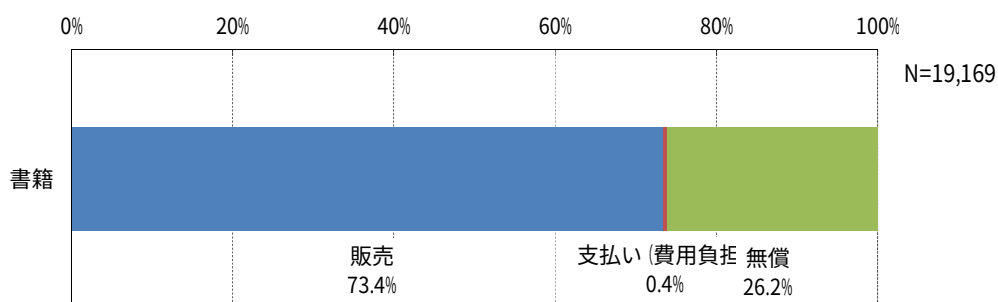
2) 不用品の排出における費用について

不用となった書籍の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 73.4%、次いで「無償」が 26.2%、「支払い（費用負担）」は 0.4%となっている（図表 26）。また、「販売」の際の平均単価は 3,934 円/冊、「支払い（費用負担）」は 356 円/冊となっている（図表 27）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.6%（2,069 円/冊）、「無償」が 3.3%となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 95.1%（1,724 円/冊）、「無償」が 4.9%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 78.2%、「支払い（費用負担）」が 0.9%（70 円/冊）となっている。

図表 26 排出・引渡時の費用について（書籍）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 27 排出・引渡先別の割合・費用について（書籍）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）								
			（1）販売			（2）支払い（費用負担）			（3）無償		
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	
自宅・物置等で保管	32,787	62.3%							32,787	100.0%	
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	113	0.2%	95	84.1%	282	1	0.9%	2,300	17	15.0%	
その他の小売店に引渡し・売却	559	1.1%	457	81.8%	1,004	—	—	—	102	18.2%	
リユースショップの店頭で売却	7348	14.0%	7,101	96.6%	2,069	5	0.1%	1,000	242	3.3%	
リユースショップの出張買取サービス	924	1.8%	852	92.2%	1,882	—	—	—	72	7.8%	
宅配で郵送する買取サービス	3160	6.0%	3,005	95.1%	1,724	—	—	—	155	4.9%	
インターネットオークションで売却	1656	3.1%	1,642	99.2%	20,072	—	—	—	14	0.8%	
フリマアプリで売却	84	0.2%	83	98.8%	1,752	—	—	—	1	1.2%	
自治体にごみとして廃棄	2687	5.1%	560	20.8%	121	25	0.9%	70	2,102	78.2%	
自治体にリユースの目的で引渡し	738	1.4%	—	—	—	10	1.4%	250	728	98.6%	
不用品回収業者に引渡し	775	1.5%	200	25.8%	525	15	1.9%	300	560	72.3%	
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	205	0.4%	—	—	—	—	—	—	205	100.0%	
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	46	0.1%	35	76.1%	123	10	21.7%	1,000	1	2.2%	
引越し時に引越業者に引渡し	20	0.0%	—	—	—	10	50.0%	100	10	50.0%	
バザー・フリーマーケット等で売却	149	0.3%	12	8.1%	502	—	—	—	137	91.9%	
友人・知人に譲渡・売却	705	1.3%	33	4.7%	3,636	—	—	—	672	95.3%	
その他	695	1.3%	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	52,651	100.0%	14,075	27.1%	3,934	76	0.1%	356	37,805	72.8%	

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 書籍の排出・流通実態の推計

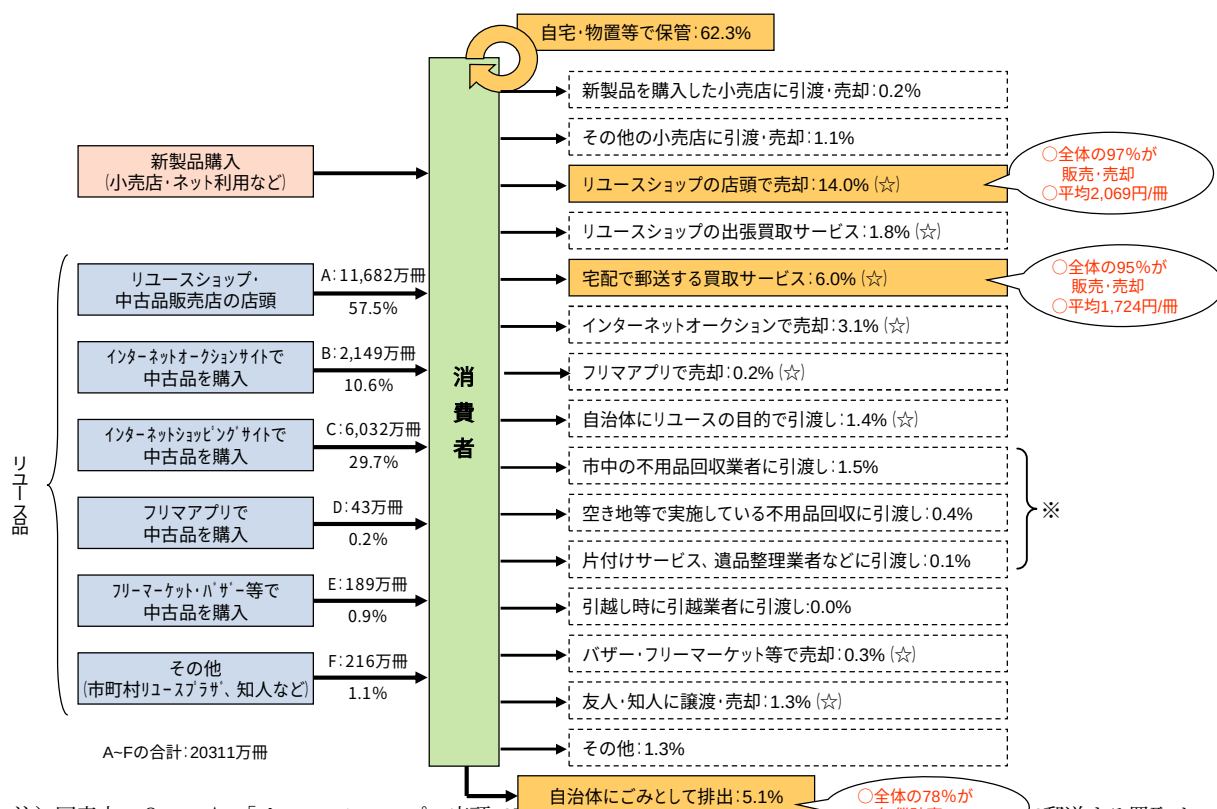
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した書籍は 20,311 万冊、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 57.5%、11,682 万冊、「インターネットショッピングサイト」が 29.7%、6,032 万冊、「インターネットオークションサイト」が 10.6%、2,149 万冊と推計される。

また、過去1年間で不用となった書籍の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 62.3%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が 14.0%、「宅配で郵送する買取サービス」が 6.0%、「自治体にごみとして排出」が 5.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が 97%を占め、平均 2,069 円/冊となっている。「宅配で郵送する買取サービス」では販売・売却が 95%、平均 1,724 円/冊、「自治体にごみとして排出」では無償破棄が 78%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 28%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 76.6%を占めると推計される。

図表 28 書籍の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体でリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

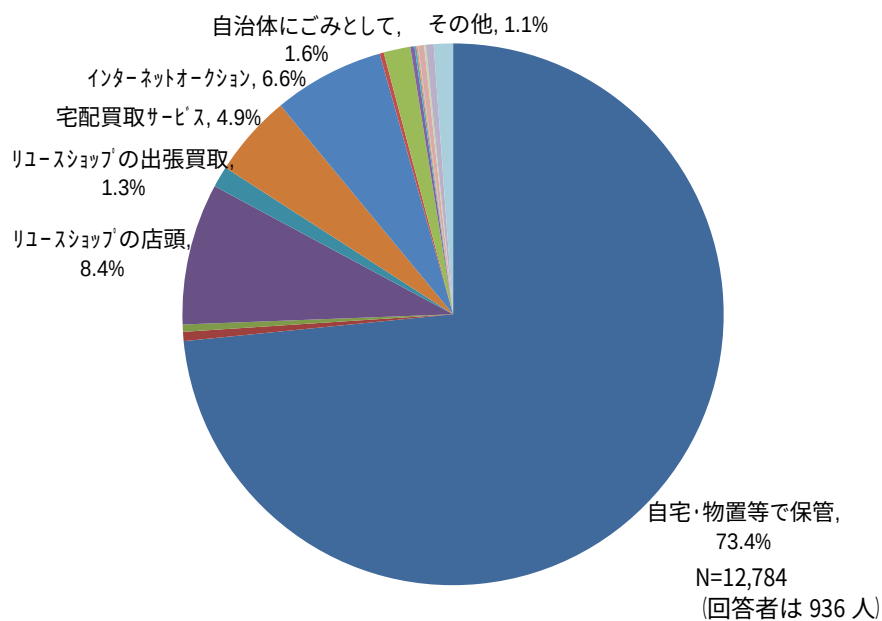
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

8. ソフト・メディア類

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったソフト・メディア類の個数は12,784個（936人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く73.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が8.4%、「インターネットオークションで売却」が6.6%「宅配で郵送する買取サービスで売却」が4.9%と続く。

図表 29 不用となったソフト・メディア類の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

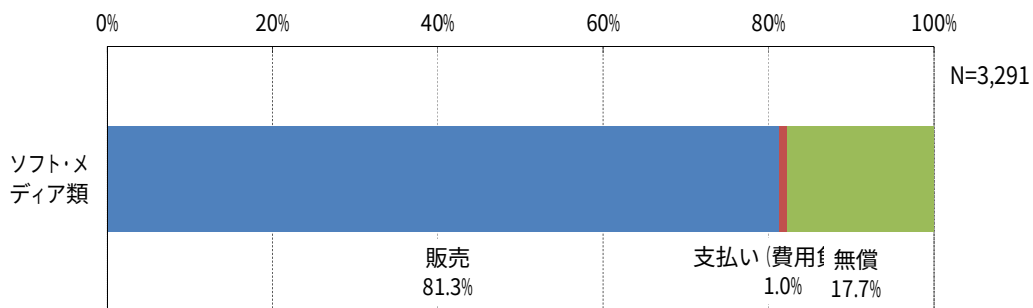
2) 不用品の排出における費用について

不用となったソフト・メディア類の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 81.3%、次いで「無償」が 17.7%、「支払い（費用負担）」は 1.0%となっている（図表 30）。また、「販売」の際の平均単価は 3,949 円/個、「支払い（費用負担）」は 319 円/個となっている（図表 31）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 96.2%（2,516 円/個）、「無償」が 3.8%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 80.6%（3,863 円/個）、「無償」が 19.4%、宅配で郵送する買取サービスでは「販売」が 96.4%（8,081 円/個）となっている。

図表 30 排出・引渡時の費用について（ソフト・メディア類）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 31 排出・引渡先別の割合・費用について（ソフト・メディア類）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	9,493	73.4%							9,493	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	73	0.6%	73	100.0%	918	—	—	—	0	0.0%
その他の小売店に引渡し・売却	56	0.4%	53	94.6%	3,087	—	—	—	3	5.4%
リユースショップの店頭で売却	1,091	8.4%	1,049	96.2%	2,516	—	—	—	42	3.8%
リユースショップの出張買取サービス	163	1.3%	158	96.9%	202	5	3.1%	1,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	633	4.9%	610	96.4%	8,081	1	0.2%	1,000	22	3.5%
インターネットオークションで売却	855	6.6%	689	80.6%	3,863	—	—	—	166	19.4%
フリマアプリで売却	33	0.3%	32	97.0%	1,963	1	3.0%	10	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	208	1.6%	—	—	—	24	11.5%	92	184	88.5%
自治体にリユースの目的で引渡し	32	0.2%	—	—	—	1	3.1%	2,000	31	96.9%
不用品回収業者に引渡し	14	0.1%	—	—	—	—	—	—	14	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	10	0.1%	—	—	—	—	—	—	10	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	5	0.0%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
引渡し時に引越業者に引渡し	44	0.3%	—	—	—	—	—	—	44	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	16	0.1%	11	68.8%	545	—	—	—	5	31.3%
友人・知人に譲渡・売却	58	0.4%	—	—	—	—	—	—	58	100.0%
その他	147	1.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	12,931	100.0%	2,675	20.9%	3,949	32	0.3%	319	10,077	78.8%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したソフト・メディア類は6,067万個、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが45.8%、2,780万個、「インターネットショッピングサイト」が26.9%、1,633万個、「インターネットオークションサイト」が26.0%、1,579万個と推計される。

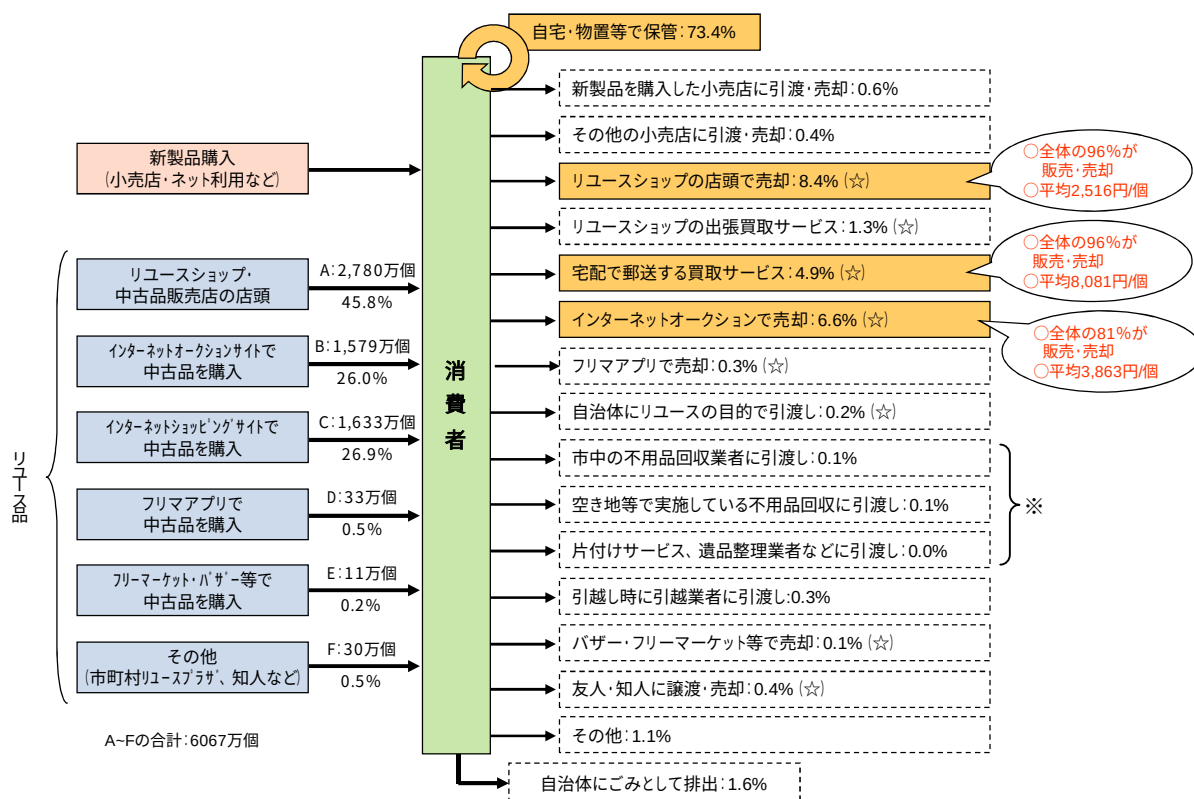
また、過去1年間で不用となったソフト・メディア類の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く73.4%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が8.4%、「インターネットオークションで売却」が6.6%、「宅配で郵送する買取サービス」が4.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」と「宅配で郵送する買取サービス」では販売・売却がそれぞれ96%を占め、平均2,516円/個・平均8,081円/個となっている。

「インターネットオークションで売却」では販売・売却が81%、平均3,863円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の22.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の86.5%を占めると推計される。

図表 32 ソフト・メディア類の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

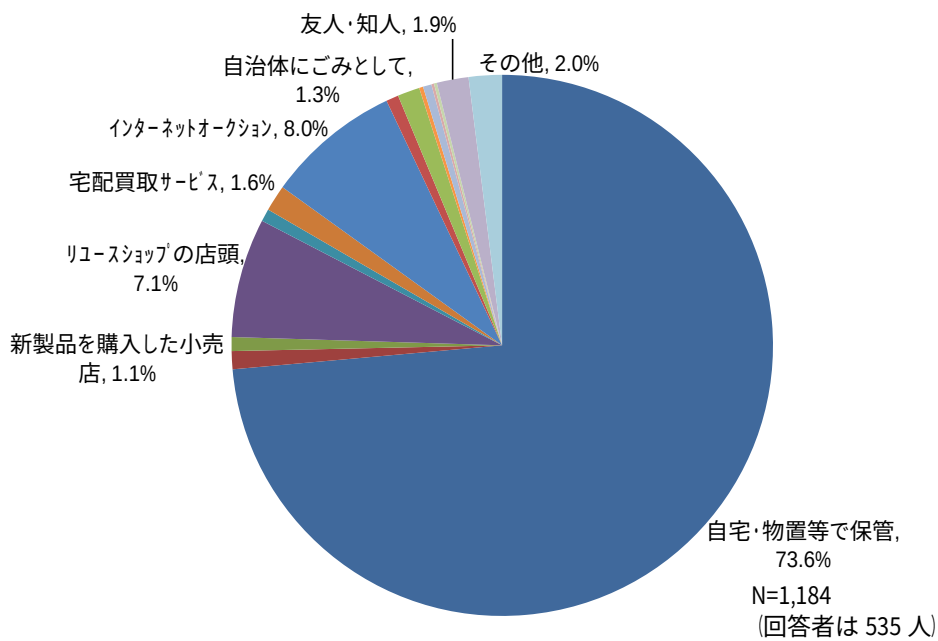
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

9. ゲーム機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったゲーム機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったゲーム機器の個数は1,184個（535人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く73.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が8.0%、「リユースショップの店頭で売却」が7.1%、と続く。

図表 33 不用となったゲーム機器の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

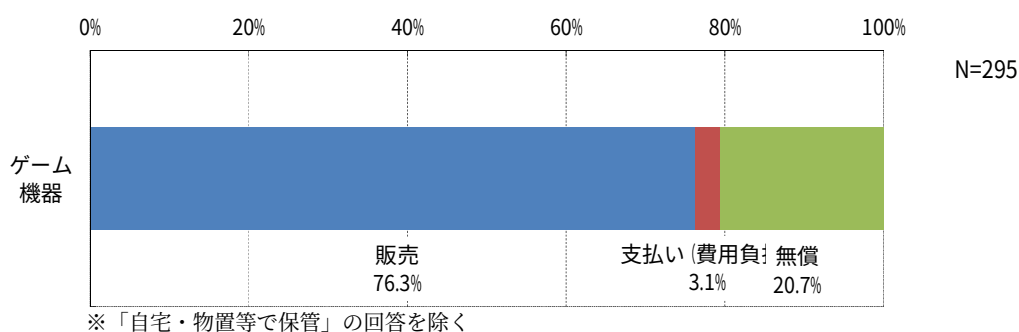
2) 不用品の排出における費用について

不用となったゲーム機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 76.3%、次いで「無償」が 20.7%、「支払い（費用負担）」は 3.1%となっている（図表 34）。また、「販売」の際の平均単価は 4,842 円/個、「支払い（費用負担）」は 11,722 円/個となっている（図表 35）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 91.8%（6,955 円/個）となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 94.2%（3,672 円/個）、「無償」が 5.8%、「友人知人に売却・譲渡」では「無償」が 100.0%となっている。

図表 34 排出・引渡時の費用について（ゲーム機器）



図表 35 排出・引渡先別の割合・費用について（ゲーム機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	889	73.6%	—	—	—	—	—	—	889	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	13	1.1%	12	92.3%	583	—	—	—	1	7.7%
その他の小売店に引渡し・売却	10	0.8%	9	90.0%	3,858	—	—	—	1	10.0%
リユースショップの店頭で売却	86	7.1%	81	94.2%	3,672	—	—	—	5	5.8%
リユースショップの出張買取サービス	9	0.7%	6	66.7%	1,017	3	33.3%	1,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	19	1.6%	18	94.7%	3,406	—	—	—	1	5.3%
インターネットオークションで売却	97	8.0%	89	91.8%	6,955	—	—	—	8	8.2%
フリマアプリで売却	9	0.7%	9	100.0%	6,667	—	—	—	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	16	1.3%	—	—	—	3	18.8%	167	13	81.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.2%	—	—	—	3	100.0%	34,000	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	6	0.5%	—	—	—	—	—	—	6	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	2	0.2%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	2	0.2%	1	50.0%	4,000	—	—	—	1	50.0%
友人・知人に譲渡・売却	23	1.9%	—	—	—	—	—	—	23	100.0%
その他	24	2.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,208	100.0%	225	19.0%	4,842	9	0.8%	11,722	950	80.2%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) ゲーム機器の排出・流通実態の推計

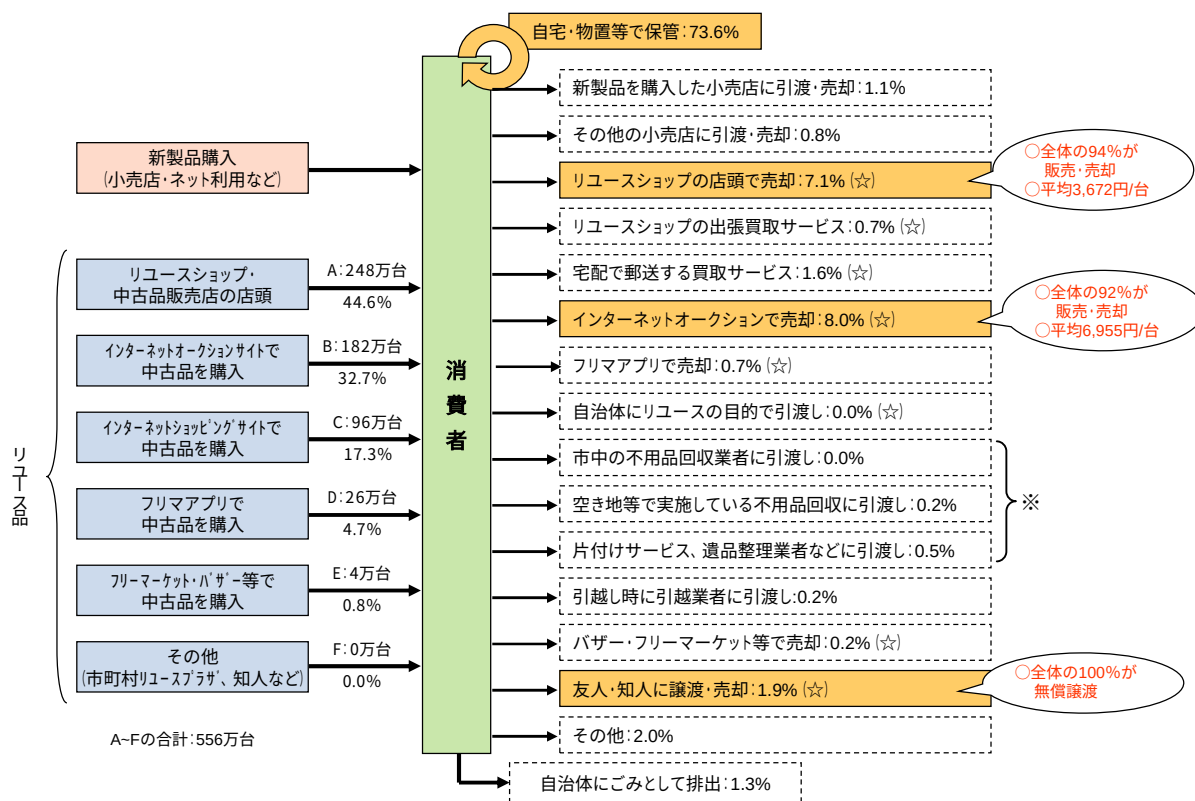
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したゲーム機器は556万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が44.6%、248万台。「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが32.7%、182万台、「インターネットショッピングサイト」が17.3%、96万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったゲーム機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く73.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が8.0%、「リユースショップの店頭で売却」が7.1%、「友人・知人に譲渡・売却」が1.9%と続く。

排出・引渡の費用は、「友人・知人に譲渡・売却」は無償譲渡が100%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が92%、平均6,955円/台、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が94%を占め、平均3,672円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の20.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の80.0%を占めると推計される。

図表 36 ゲーム機器の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

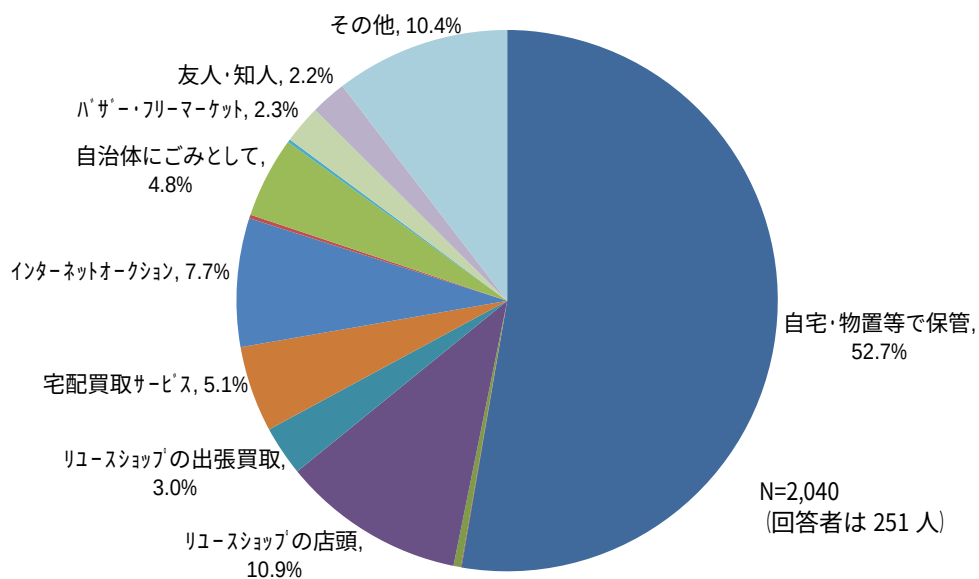
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

10. 玩具・模型

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった玩具・模型の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった玩具・模型の個数は2,040個（251人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く52.7%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.9%、「その他」が10.4%、「インターネットオークションで売却」が7.7%、「宅配で郵送する買取サービスで売却」が5.1%と続く。

図表 37 不用となった玩具・模型の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

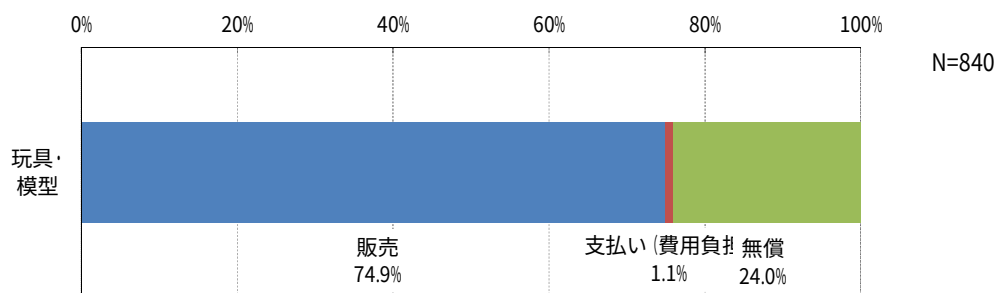
2) 不用品の排出における費用について

不用となった玩具・模型の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 74.9%、次いで「無償」が 24.0%、「支払い（費用負担）」は 1.1%となっている（図表 38）。また、「販売」の際の平均単価は 3,785 円/個、「支払い（費用負担）」は 10,380 円/個となっている（図表 39）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 98.8%（1,220 円/個）となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 100.0%（7,666 円/個）、「宅配で郵送する買取サービス」では「販売」が 99.1%（3,326 円/個）、「無償」が 0.9%となっている。

図表 38 排出・引渡時の費用について（玩具・模型）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 39 排出・引渡先別の割合・費用について（玩具・模型）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,200	52.7%	—	—	—	—	—	—	1,200	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	1	0.0%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
その他の小売店に引渡し・売却	10	0.4%	9	90.0%	195	1	10.0%	10	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	249	10.9%	246	98.8%	1,220	—	—	—	3	1.2%
リユースショップの出張買取サービス	68	3.0%	54	79.4%	602	—	—	—	14	20.6%
宅配で郵送する買取サービス	117	5.1%	116	99.1%	3,326	—	—	—	1	0.9%
インターネットオークションで売却	175	7.7%	175	100.0%	7,666	—	—	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	5	0.2%	4	80.0%	3,800	—	—	—	1	20.0%
自治体にごみとして廃棄	110	4.8%	10	9.1%	300	3	2.7%	100	97	88.2%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	4	0.2%	—	—	—	4	100.0%	23,000	0	0.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	52	2.3%	10	19.2%	100	—	—	—	42	80.8%
友人・知人に譲渡・売却	49	2.2%	5	10.2%	60,000	1	2.0%	1,111	43	87.8%
その他	237	10.4%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	2,277	100.0%	629	30.8%	3,785	9	0.4%	10,380	1,402	68.7%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 玩具・模型の排出・流通実態の推計

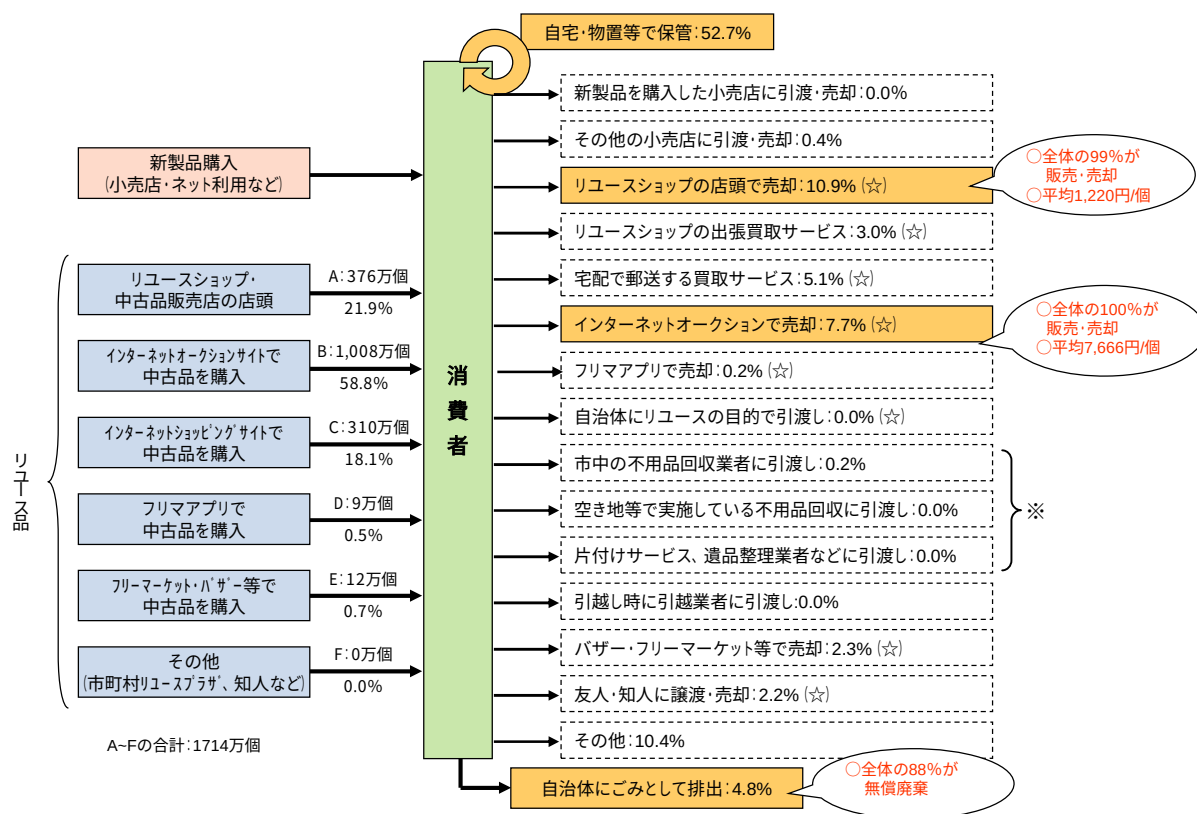
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した玩具・模型は1714万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが58.8%、1,008万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が21.9%、376万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった玩具・模型の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く52.7%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が10.9%、「インターネットオークションで売却」が7.7%、「自治体にごみとして排出」が4.8%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が99%、平均1,220円/個、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が100%を占め、平均7,666円/個となっている。「自治体にごみとして排出」では無償廃棄が88%となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の31.4%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の84.5%を占めると推計される。

図表 40 玩具・模型の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

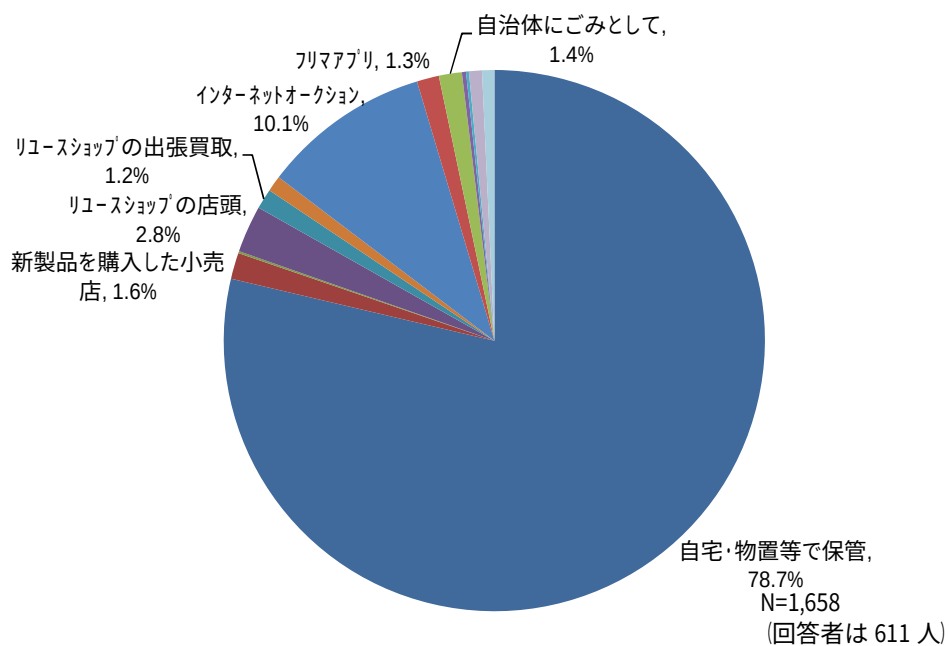
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1 1. カメラ・周辺機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったカメラ・周辺機器の個数は1,658個（611人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く78.7%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.1%、「リユースショップの店頭で売却」が2.8%と続く。

図表 41 不用となったカメラ・周辺機器の排出先別の割合（個）



2) 不用品の排出における費用について

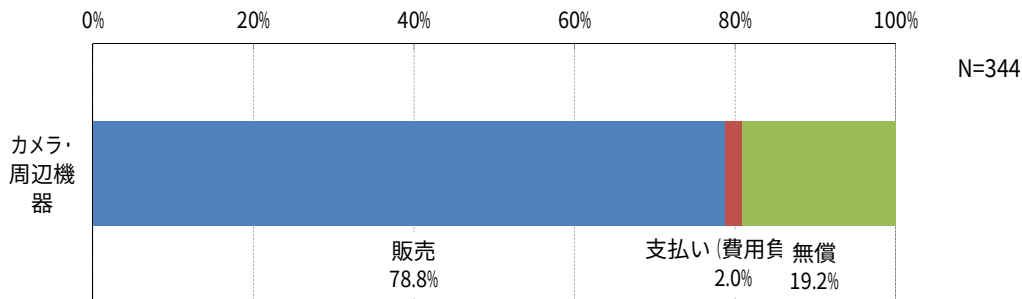
不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 78.8%、次いで「無償」が 19.2%、「支払い（費用負担）」は 2.0%となっている（図表 42）。また、「販売」の際の平均単価は 39,020 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,743 円/個となっている（図表 43）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 95.2%（46,725 円/個）、「無償」が 4.8%となっている。

「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 93.6%（7,476 円/個）、「無償」が 6.4%、「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 87.0%、「支払い（費用負担）」が 13.0%（400 円/個）となっている。

図表 42 排出・引渡時の費用について（カメラ・周辺機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 43 排出・引渡先別の割合・費用について（カメラ・周辺機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）						
	個数	割合	(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)		(3) 無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	割合
自宅・物置等で保管	1,314	78.7%							100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	26	1.6%	22	84.6%	7,389	—	—	—	15.4%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.1%	2	100.0%	20,000	—	—	—	0.0%
リユースショップの店頭で売却	47	2.8%	44	93.6%	7,476	—	—	—	6.4%
リユースショップの出張買取サービス	20	1.2%	18	90.0%	139,539	—	—	—	10.0%
宅配で郵送する買取サービス	16	1.0%	12	75.0%	3,500	2	12.5%	3,000	12.5%
インターネットオークションで売却	168	10.1%	160	95.2%	46,725	—	—	—	4.8%
フリマアプリで売却	22	1.3%	12	54.5%	842	—	—	—	45.5%
自治体にごみとして廃棄	23	1.4%	—	—	—	3	13.0%	400	87.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	4	0.2%	—	—	—	2	50.0%	2,500	50.0%
不用品回収業者に引渡し	3	0.2%	—	—	—	—	—	—	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—
引渡し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	13	0.8%	1	7.7%	3,000	—	—	—	92.3%
その他	12	0.7%	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,670	100.0%	271	16.3%	39,020	7	0.4%	1,743	83.2%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計

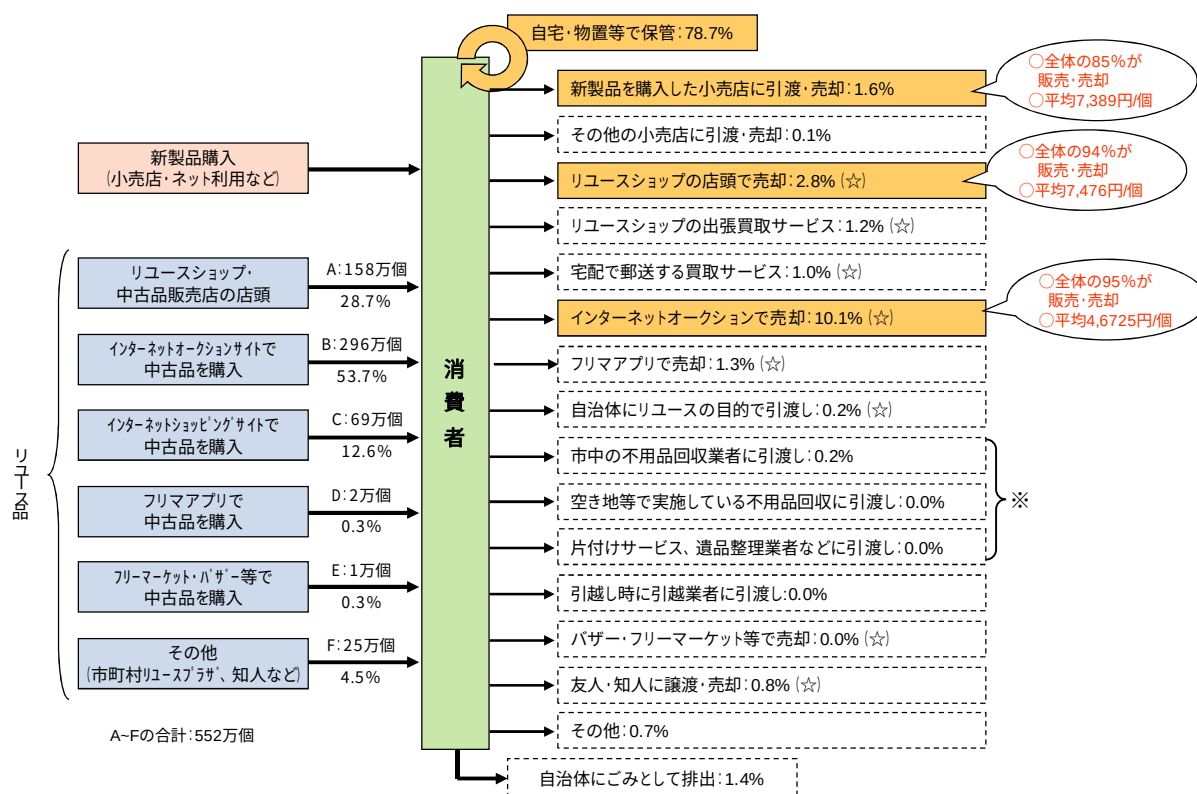
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカメラ・周辺機器は552万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが53.7%、296万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が28.7%、158万個、「インターネットショッピングサイト」が12.6%、69万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカメラ・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く78.7%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.1%、「リユースショップの店頭で売却」が2.8%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が1.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が95%占め、平均46,725円/個となっている。「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が94%平均7,476円/個、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では販売・売却が85%、平均7,389円/個となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の17.4%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の77.9%を占めると推計される。

図表 44 カメラ・周辺機器の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

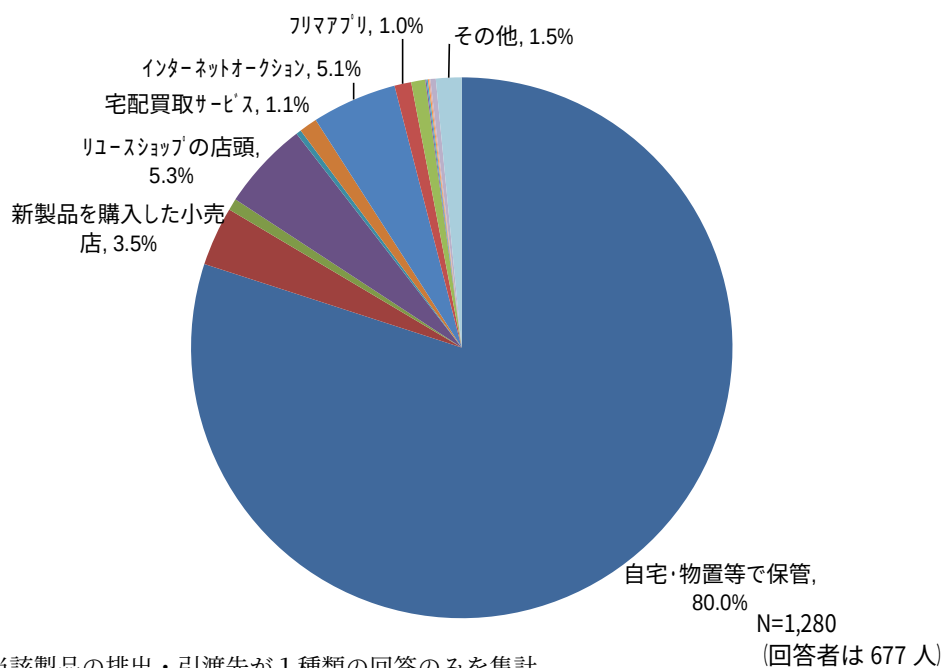
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1 2 . 携帯電話・スマートフォン

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった携帯電話・スマートフォンの個数は1,280個（677人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く80.0%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が5.3%、「インターネットオークションで売却」が5.1%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が3.5%と続く。

図表 45 不用となった携帯電話・スマートフォンの排出先別の割合（個）



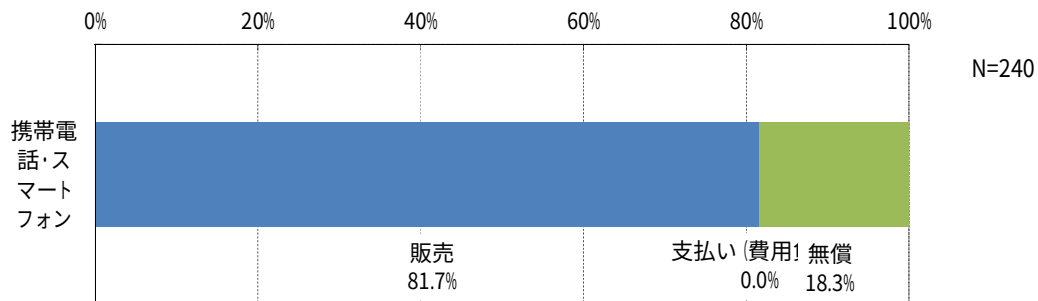
2) 不用品の排出における費用について

不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 81.7%、次いで「無償」が 18.3%、「支払い（費用負担）」は 0.0%となっている（図表 46）。また、「販売」の際の平均単価は 10,848 円/個となっている（図表 47）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、そのうち「販売」が 91.3%（7,518 円/個）、「無償」が 8.7%となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 97.0%（16,195 円/個）、「無償」が 3.0%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「販売」が 67.4%（12,897 円/個）、「無償」が 32.6%となっている。

図表 46 排出・引渡時の費用について（携帯電話・スマートフォン）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 47 排出・引渡先別の割合・費用について（携帯電話・スマートフォン）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
	個数	割合	(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,040	80.0%							1,040	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	46	3.5%	31	67.4%	12,897	—	—	—	15	32.6%
その他の小売店に引渡し・売却	9	0.7%	7	77.8%	3,286	—	—	—	2	22.2%
リユースショップの店頭で売却	69	5.3%	63	91.3%	7,518	—	—	—	6	8.7%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.3%	4	100.0%	5,425	—	—	—	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	14	1.1%	12	85.7%	5,367	—	—	—	2	14.3%
インターネットオークションで売却	66	5.1%	64	97.0%	16,195	—	—	—	2	3.0%
フリマアプリで売却	13	1.0%	13	100.0%	6,700	—	—	—	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	11	0.8%	—	—	—	—	—	—	11	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
不用品回収業者に引渡し	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.1%	1	100.0%	50	—	—	—	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越時に引越業者に引渡し	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	4	0.3%	1	25.0%	20,000	—	—	—	3	75.0%
その他	20	1.5%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,300	100.0%	196	15.3%	10,848	0	0.0%	—	1,084	84.7%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した携帯電話・スマートフォンは369万台。

そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが50.4%、186万台、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が24.9%、92万台「インターネットショッピングサイト」が21.9%、81万台と推計される。

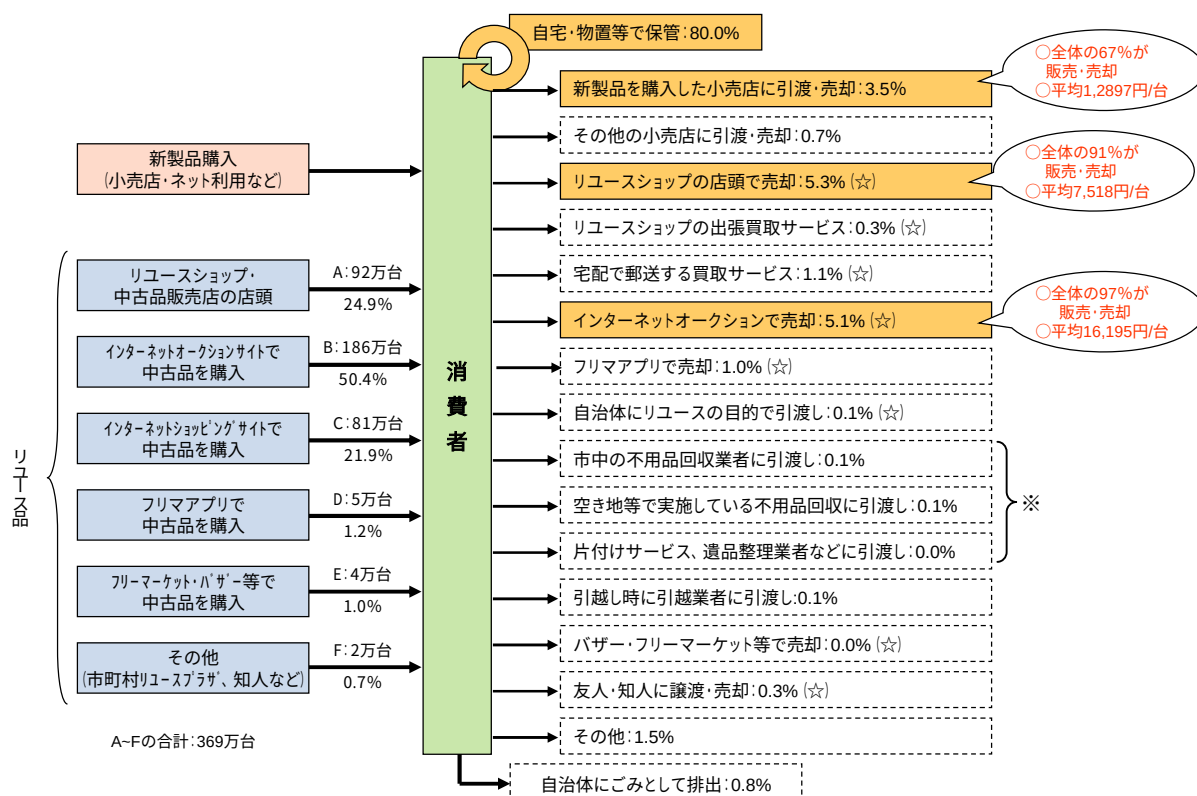
また、過去1年間で不用となった携帯電話・スマートフォンの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く80.0%、次いで「リユースショップ店頭で売却」が5.3%、

「インターネットオークションで売却」が5.1%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が3.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップ店頭で売却」では販売・売却が91%を占め、平均7,518円/台、次いで「インターネットオークションで売却」では販売・売却が97%を占め、平均16,195円/台、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では販売・売却が67%、平均12,897円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の13.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の65.8%を占めると推計される。

図表 48 携帯電話・スマートフォンの排出・流通実態の推計

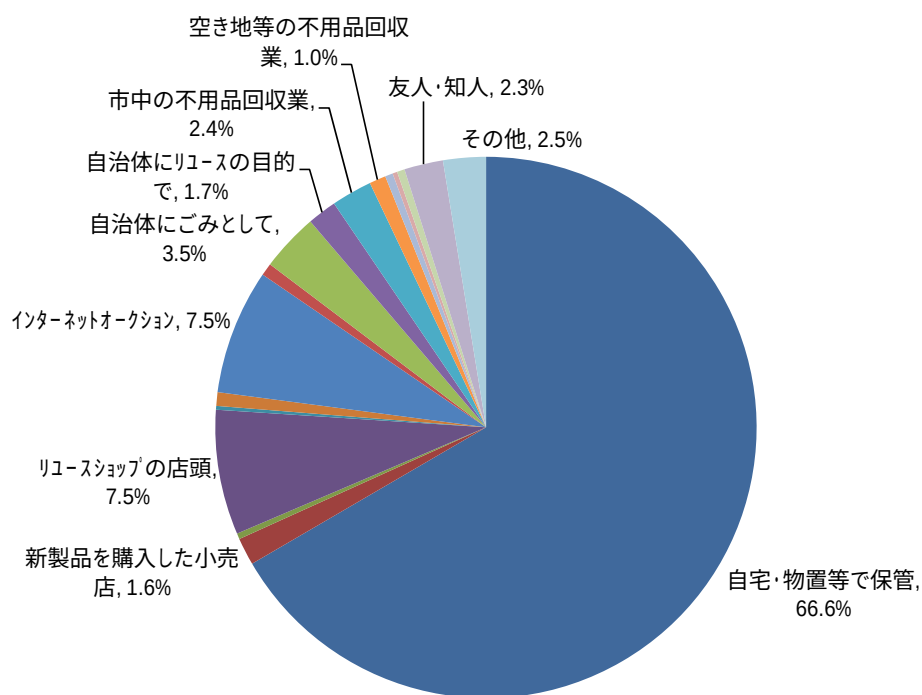


1 3 . パソコン・周辺機器

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったパソコン・周辺機器の個数は1,684個（853人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く66.6%、次いで「インターネットオークションで売却」と「リユースショップの店頭で売却」がともに7.5%、「自治体にごみとして廃棄」が3.5%と続く。

図表 49 不用となったパソコン・周辺機器の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

N=1,684
(回答者は 853 人)

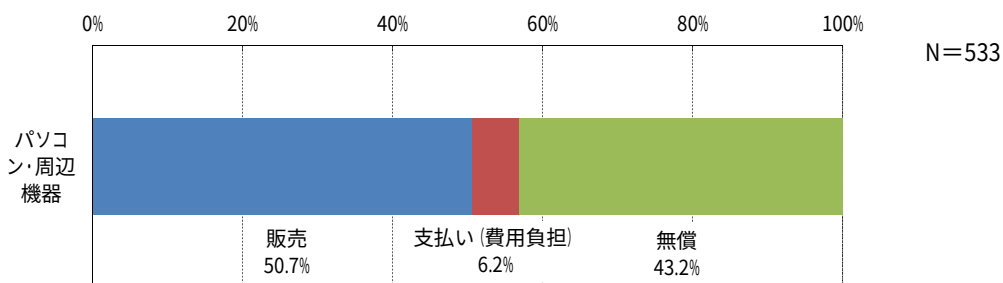
2) 不用品の排出における費用について

不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 50.7%、次いで「無償」が 43.2%、「支払い（費用負担）」は 6.2%となっている（図表 50）。また、「販売」の際の平均単価は 11,572 円/個、「支払い（費用負担）」は 7,513 円/個となっている（図表 51）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」と「リユースショップの店頭で売却」がともに続き、「インターネットオークションで売却」のうち「販売」が 82.2%（21,030 円/個）、「無償」が 17.8%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 85.3%（3,923 円/個）、「無償」が 14.7%、「自治体にごみとして廃棄」では「支払い（費用負担）」が 21.7%（2,033 円/個）、「無償」が 78.3%となっている。

図表 50 排出・引渡時の費用について（パソコン・周辺機器）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 51 排出・引渡先別の割合・費用について（パソコン・周辺機器）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	1,151	66.6%							1,151	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	28	1.6%	21	75.0%	10,629	—	—	—	7	25.0%
その他の小売店に引渡し・売却	6	0.3%	1	16.7%	100	—	—	—	5	83.3%
リユースショップの店頭で売却	129	7.5%	110	85.3%	3,923	—	—	—	19	14.7%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.2%	3	75.0%	1,500	1	25.0%	5,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	14	0.8%	3	21.4%	34,000	—	—	—	11	78.6%
インターネットオークションで売却	129	7.5%	106	82.2%	21,030	—	—	—	23	17.8%
フリマアプリで売却	13	0.8%	11	84.6%	6,827	—	—	—	2	15.4%
自治体にごみとして廃棄	60	3.5%	—	—	—	13	21.7%	2,033	47	78.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	30	1.7%	—	—	—	8	26.7%	23,688	22	73.3%
不用品回収業者に引渡し	42	2.4%	1	2.4%	7,500	9	21.4%	1,889	32	76.2%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	17	1.0%	2	11.8%	50	—	—	—	15	88.2%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	8	0.5%	1	12.5%	200	2	25.0%	5,000	5	62.5%
引越し時に引越業者に引渡し	5	0.3%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	8	0.5%	8	100.0%	2,000	—	—	—	0	0.0%
友人・知人に譲渡・売却	40	2.3%	3	7.5%	11,667	—	—	—	37	92.5%
その他	44	2.5%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	1,728	100.0%	270	16.0%	11,572	33	2.0%	7,513	1,381	82.0%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計

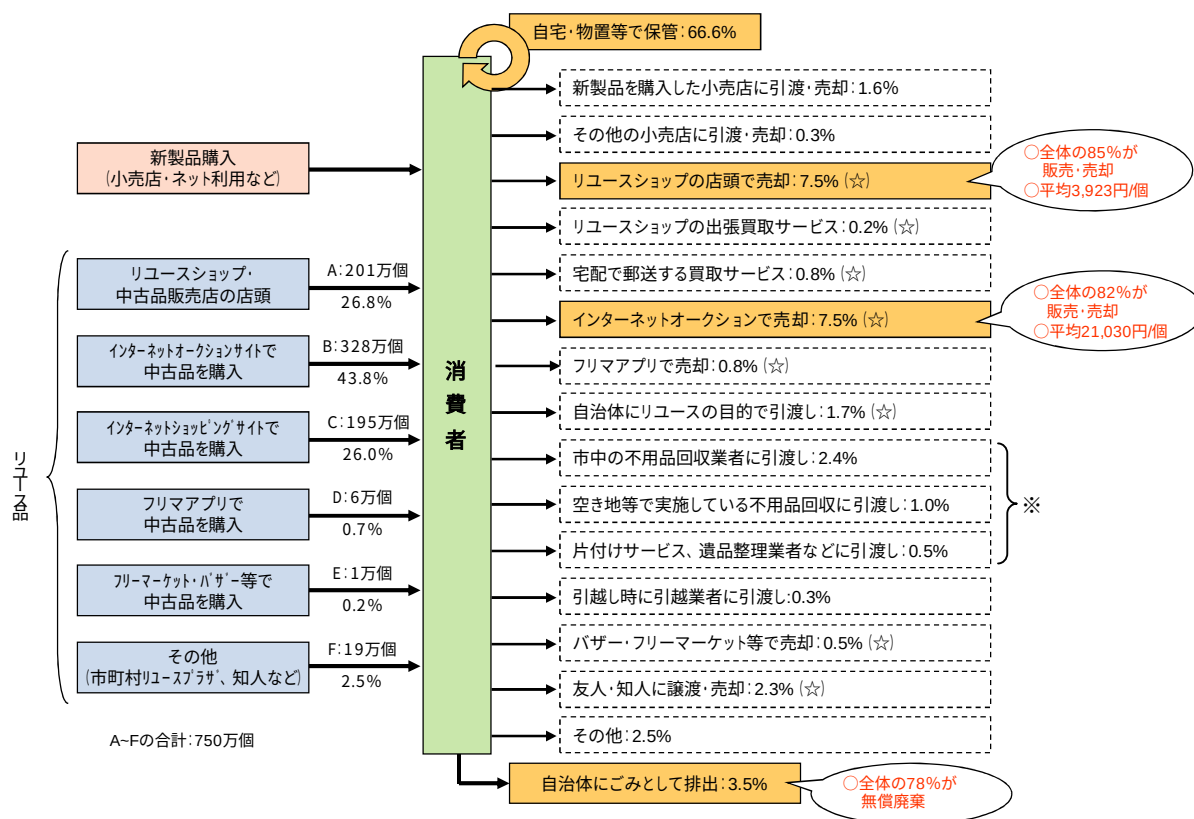
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したパソコン・周辺機器は750万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが43.8%、328万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が26.8%、201万個、「インターネットショッピングサイト」が26.0%、195万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったパソコン・周辺機器の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く66.6%、次いで「インターネットオークションで売却」が7.5%、「リユースショップの店頭で売却」も同じく7.5%、「自治体にごみとして排出」が3.5%と続く。

排出・引渡の費用は、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が85%、平均3,923円/個となり、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が82%を占め、平均21,030円/個となっている。「自治体にごみとして排出する」では78%が無償廃棄となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の21.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の66.4%を占めると推計される。

図表 52 パソコン・周辺機器の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

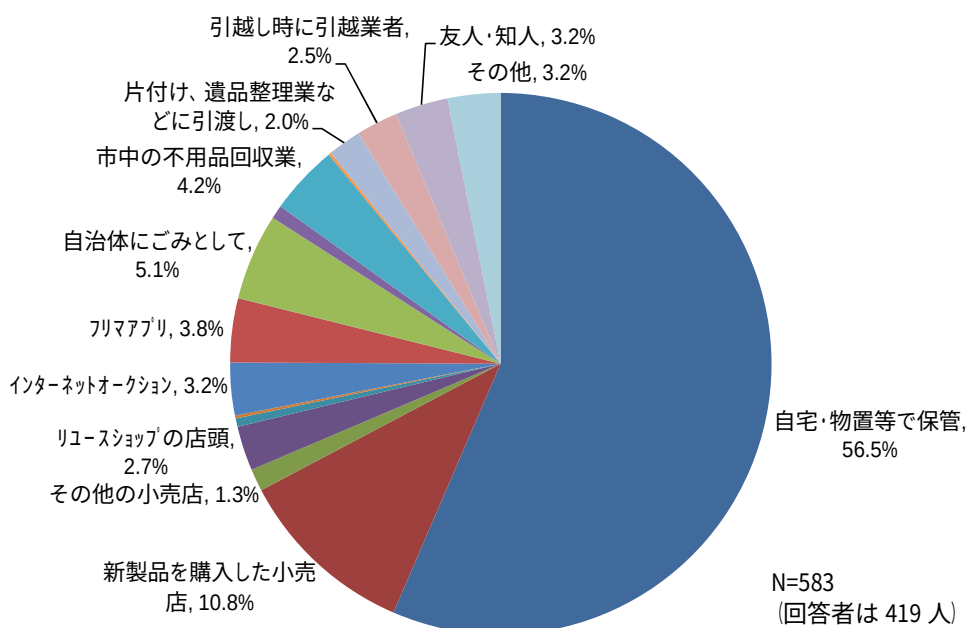
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1 4．家電 4 品目（エアコン、テレビ、洗濯機・乾燥機、冷蔵庫

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった家電 4 品目の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去 1 年に不用となった家電 4 品目の個数は 583 個（419 人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く 56.5%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が 10.8%、「自治体にごみとして廃棄」が 5.1%、「市中の不用品回収業者に引き渡し」が 4.2%と続く。

図表 53 不用となった家電 4 品目の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が 1 種類の回答のみを集計。
※構成比 1 %以上のものの凡例・数値を表示

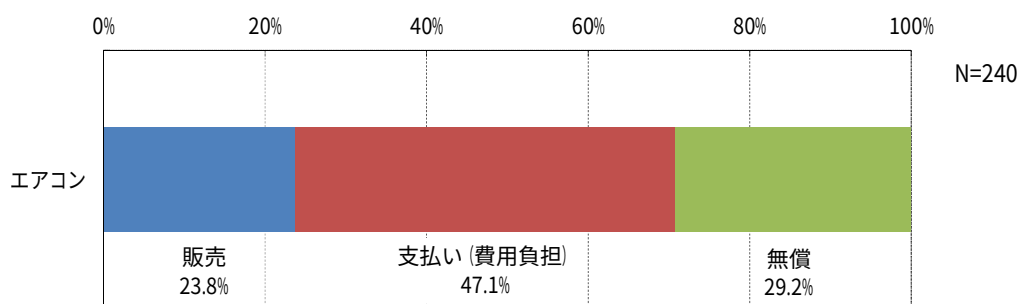
2) 不用品の排出における費用について

不用となった家電4品目の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「支払い（費用負担）」との回答が最も多く47.1%、次いで「無償」が29.2%、「販売」は23.8%となっている（図表54）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は3,983円/個、「販売」は7,201円/個となっている（図表55）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が続く、そのうち「支払い（費用負担）」が69.2%（3,884円/台）、「無償」が23.1%、「販売」が7.7%（3,000円/台）となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「支払い（費用負担）」が74.2%（2,298円/台）、「無償」が25.8%、「不用品回収業者に引渡し」では「支払い（費用負担）」が48.0%（2,667円/台）、「無償」が44.0%、「販売」が8.0%（20円/台）となっている。

図表 54 排出・引渡時の費用について（家電4品目）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 55 排出・引渡先別の割合・費用について（家電4品目）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			（1）販売			（2）支払い（費用負担）			（3）無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	340	56.5%							340	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	65	10.8%	5	7.7%	3,000	45	69.2%	3,884	15	23.1%
その他の小売店に引渡し・売却	8	1.3%	—	—	—	8	100.0%	4,050	0	0.0%
リユースショップの店頭で売却	16	2.7%	6	37.5%	3,000	1	6.3%	5,000	9	56.3%
リユースショップの出張買取サービス	3	0.5%	2	66.7%	10,000	1	33.3%	6,000	0	0.0%
宅配で郵送する買取サービス	1	0.2%	1	100.0%	4,000	—	—	—	0	0.0%
インターネットオークションで売却	19	3.2%	16	84.2%	3,301	—	—	—	1	5.3%
フリマアプリで売却	23	3.8%	20	87.0%	15,005	—	—	—	2	8.7%
自治体にごみとして廃棄	31	5.1%	—	—	—	23	74.2%	2,298	8	25.8%
自治体にリユースの目的で引渡し	5	0.8%	—	—	—	4	80.0%	4,875	1	20.0%
不用品回収業者に引渡し	25	4.2%	2	8.0%	20	12	48.0%	2,667	11	44.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	1	0.2%	—	—	—	1	100.0%	2,000	0	0.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	12	2.0%	—	—	—	9	75.0%	9,111	3	25.0%
引越し時に引越業者に引渡し	15	2.5%	—	—	—	9	60.0%	5,389	6	40.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	19	3.2%	5	26.3%	100	—	—	—	14	73.7%
その他	19	3.2%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	602	100.0%	57	9.8%	7,201	113	19.5%	3,983	410	70.7%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 家電 4 品目の排出・流通実態の推計

ここまでの結果を整理する。過去 1 年間に中古品として消費者が購入・入手した家電 4 品目は 298 万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 40.8%、122 万台、「インターネットオークションサイト」が 37.1%、110 万台

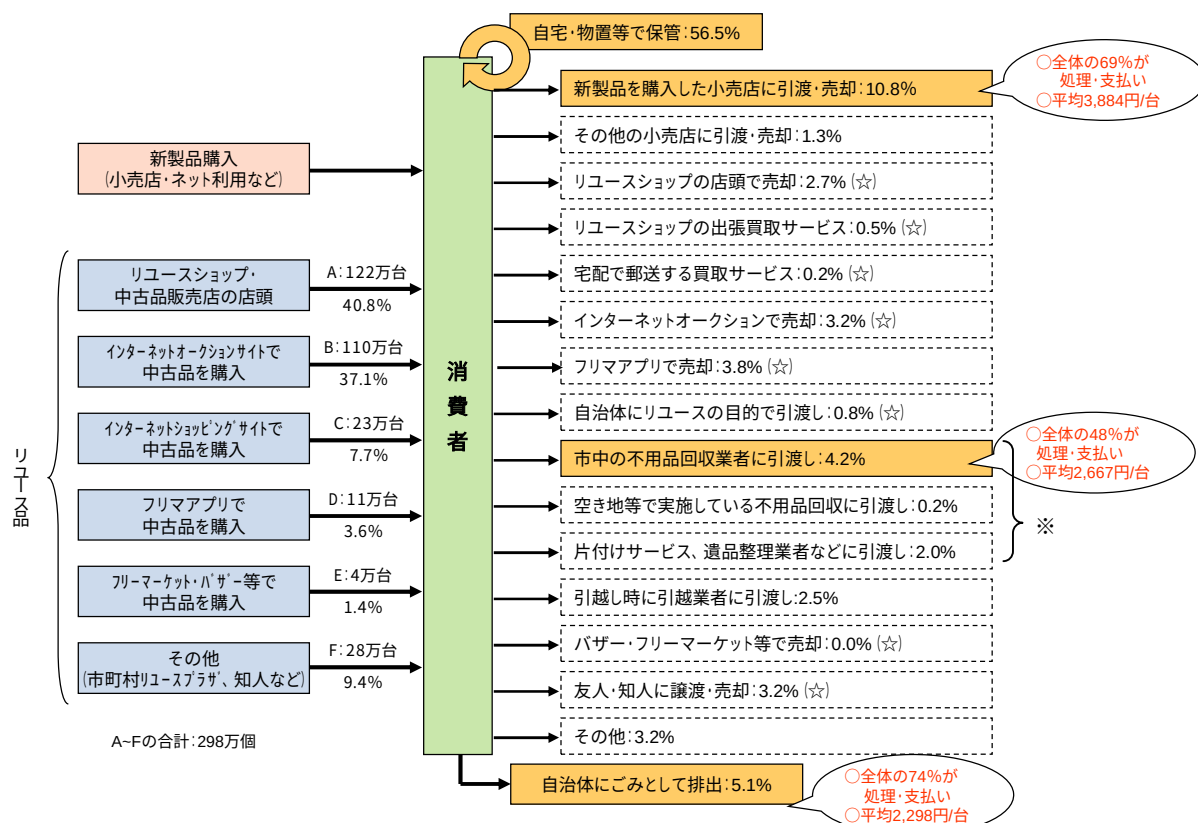
「インターネットショッピングサイト」が 7.7%、23 万台と推計される。

また、過去 1 年間で不用となった家電 4 品目の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 56.5%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が 10.8%、「自治体にごみとして廃棄」が 5.1%、「市中の不用品回収業者に引渡し」が 4.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では支払が 69%を占め、その費用は平均 3,884 円/台となっている。「市中の不用品回収業者に引き渡し」では支払が 48%、平均 2,667 円/台、「自治体にごみとして排出」は 74%、平均 2,298 円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 14.3%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 25.9%を占めると推計される。

図表 56 家電 4 品目の排出・流通実態の推計



注) 図表中の 8 つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

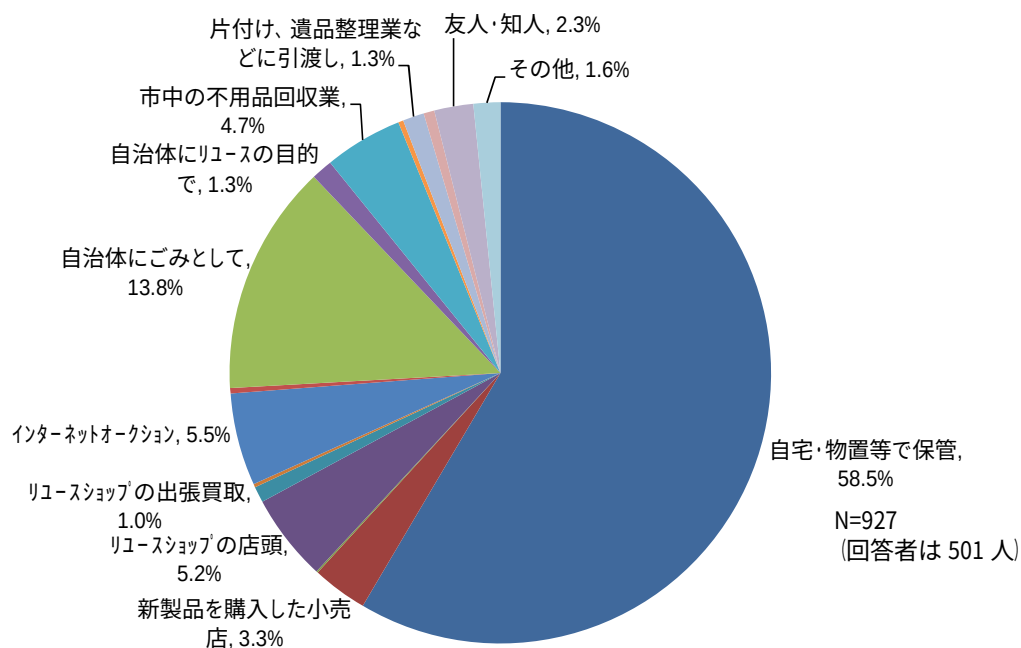
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

15. その他の家電製品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったその他の家電製品の個数は927個（501人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く58.5%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.8%、「インターネットオークションで売却」が5.5%と続く。

図表 57 不用となったその他の家電製品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

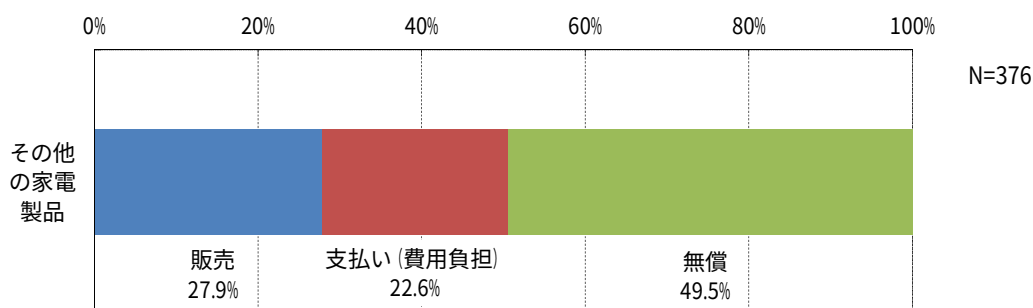
2) 不用品の排出における費用について

不用となったその他の家電製品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 49.5%、次いで「販売」が 27.9%、「支払い（費用負担）」は 22.6%となっている（図表 58）。また、「販売」の際の平均単価は 4,073 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,684 円/個となっている（図表 59）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「自治体にごみとして廃棄」が続く、そのうち「無償」が 59.2%、「支払い（費用負担）」が 37.7%（709 円/台）、となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 90.4%（7,255 円/台）、「無償」が 9.6%、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 75.5%（812 円/台）、「無償」が 24.5%、「不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 61.4%、「支払い（費用負担）」が 31.8%（3,071 円/台）、「販売」が 6.8%（10,000 円/台）となっている。

図表 58 排出・引渡時の費用について（その他の家電製品）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 59 排出・引渡先別の割合・費用について（その他の家電製品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	551	58.5%							551	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	31	3.3%	5	16.1%	660	12	38.7%	3,542	14	45.2%
その他の小売店に引渡し・売却	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
リユースショップの店頭で売却	49	5.2%	37	75.5%	812	—	—	—	12	24.5%
リユースショップの出張買取サービス	9	1.0%	5	55.6%	1,930	—	—	—	4	44.4%
宅配で郵送する買取サービス	2	0.2%	1	50.0%	3,000	1	50.0%	500	0	0.0%
インターネットオークションで売却	52	5.5%	47	90.4%	7,255	—	—	—	5	9.6%
フリマアプリで売却	3	0.3%	3	100.0%	2,836	—	—	—	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	130	13.8%	4	3.1%	550	49	37.7%	709	77	59.2%
自治体にリユースの目的で引渡し	12	1.3%	—	—	—	5	41.7%	2,400	7	58.3%
不用品回収業者に引渡し	44	4.7%	3	6.8%	10,000	14	31.8%	3,071	27	61.4%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	0.3%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	12	1.3%	—	—	—	4	33.3%	2,600	8	66.7%
引越し時に引越業者に引渡し	6	0.6%	—	—	—	—	—	—	6	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	22	2.3%	—	—	—	—	—	—	22	100.0%
その他	15	1.6%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	942	100.0%	105	11.3%	4,073	85	9.2%	1,684	737	79.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) その他の家電製品の排出・流通実態の推計

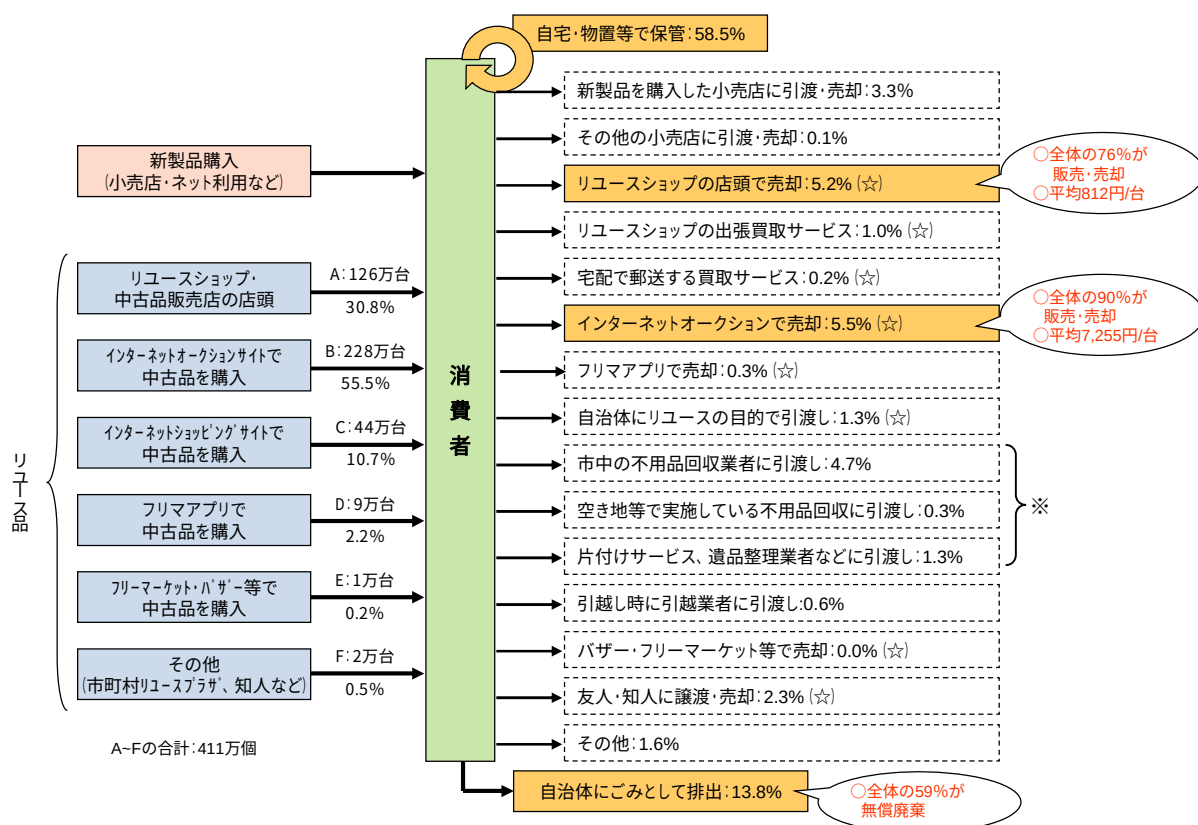
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したその他の家電製品は411万台、そのうち「インターネットオークションサイト」が55.5%、228万台「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが30.8%、126万台と「インターネットショッピングサイト」で購入・入手したものがそれぞれ10.7%、44万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったその他の家電製品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く58.5%、次いで「自治体にごみとして廃棄」が13.8%、「インターネットオークションで売却」が5.5%、「リユースショップの店頭で売却」が5.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「自治体にごみとして排出」では無償が59%、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が90%を占め、平均7,255円/台、「リユースショップの店頭」では販売・売却が76%を占め、平均812円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の15.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の38.8%を占めると推計される。

図表 60 その他の家電製品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为られる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

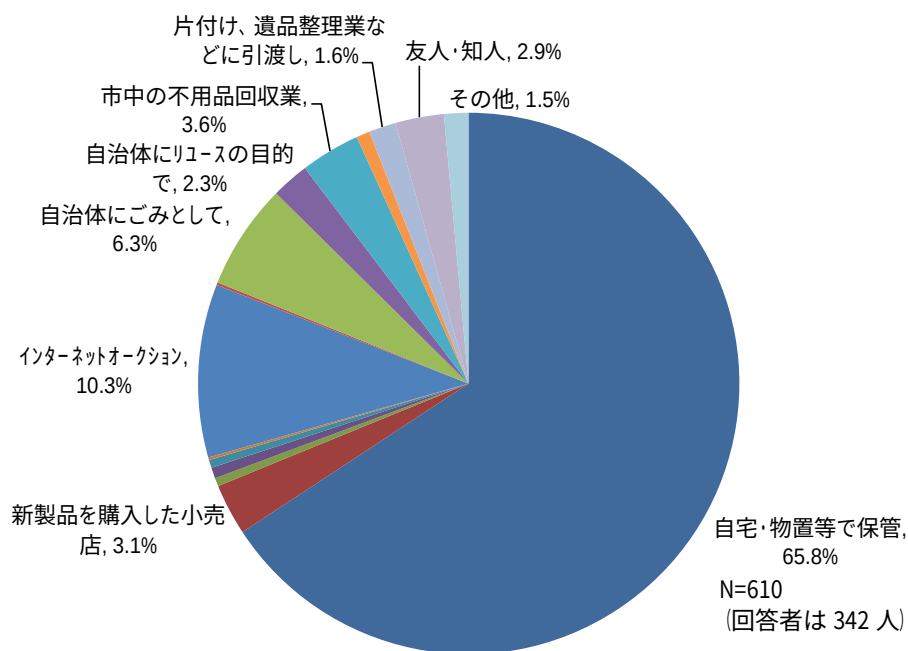
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

1 6．自転車、自転車部品・パーツ

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自転車、自転車部品・パーツの個数は610個（342人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く65.8%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.3%、「自治体にごみとして廃棄」が6.3%、「市中の不用品回収業者に引き渡し」が3.6%と続く。

図表 61 不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

2) 不用品の排出における費用について

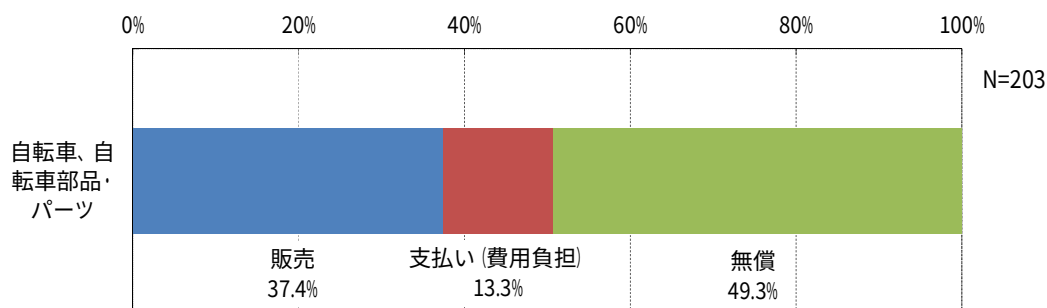
不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多く 49.3%、次いで「販売」が 37.4%、「支払い（費用負担）」は 13.3%となっている（図表 62）。また、「支払い（費用負担）」の際の平均単価は 1,667 円/個、「販売」は 23,751 円/個となっている（図表 63）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続く、そのうち「販売」が 98.4%（26,922 円/個）、「無償」が 1.6%となっている。

「自治体ごみとして廃棄」では「無償」が 56.4%、「支払い（費用負担）」が 30.8%（692 円/個）、「販売」が 12.8%（100 円/個）「不用品回収業者に引渡し」では「無償」が 77.3%、「支払い（費用負担）」が 22.7%（2,300 円/個）となっている。

図表 62 排出・引渡時の費用について（自転車、自転車部品・パーツ）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 63 排出・引渡先別の割合・費用について（自転車、自転車部品・パーツ）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	407	65.8%							407	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	19	3.1%	1	5.3%	500	3	15.8%	1,000	15	78.9%
その他の小売店に引渡し・売却	3	0.5%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
リユースショップの店頭で売却	4	0.6%	3	75.0%	6,667	—	—	—	1	25.0%
リユースショップの出張買取サービス	3	0.5%	1	33.3%	50,000	—	—	—	2	66.7%
宅配で郵送する買取サービス	1	0.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
インターネットオークションで売却	64	10.3%	63	98.4%	26,922	—	—	—	1	1.6%
フリマアプリで売却	1	0.2%	1	100.0%	23,000	—	—	—	0	0.0%
自治体にごみとして廃棄	39	6.3%	5	12.8%	100	12	30.8%	692	22	56.4%
自治体にリユースの目的で引渡し	14	2.3%	—	—	—	2	14.3%	550	12	85.7%
不用品回収業者に引渡し	22	3.6%	—	—	—	5	22.7%	2,300	17	77.3%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	5	0.8%	—	—	—	—	—	—	5	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	10	1.6%	—	—	—	3	30.0%	6,833	7	70.0%
引越時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	18	2.9%	2	11.1%	7,500	2	11.1%	300	14	77.8%
その他	9	1.5%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	619	100.0%	76	12.5%	23,751	27	4.4%	1,667	507	83.1%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計

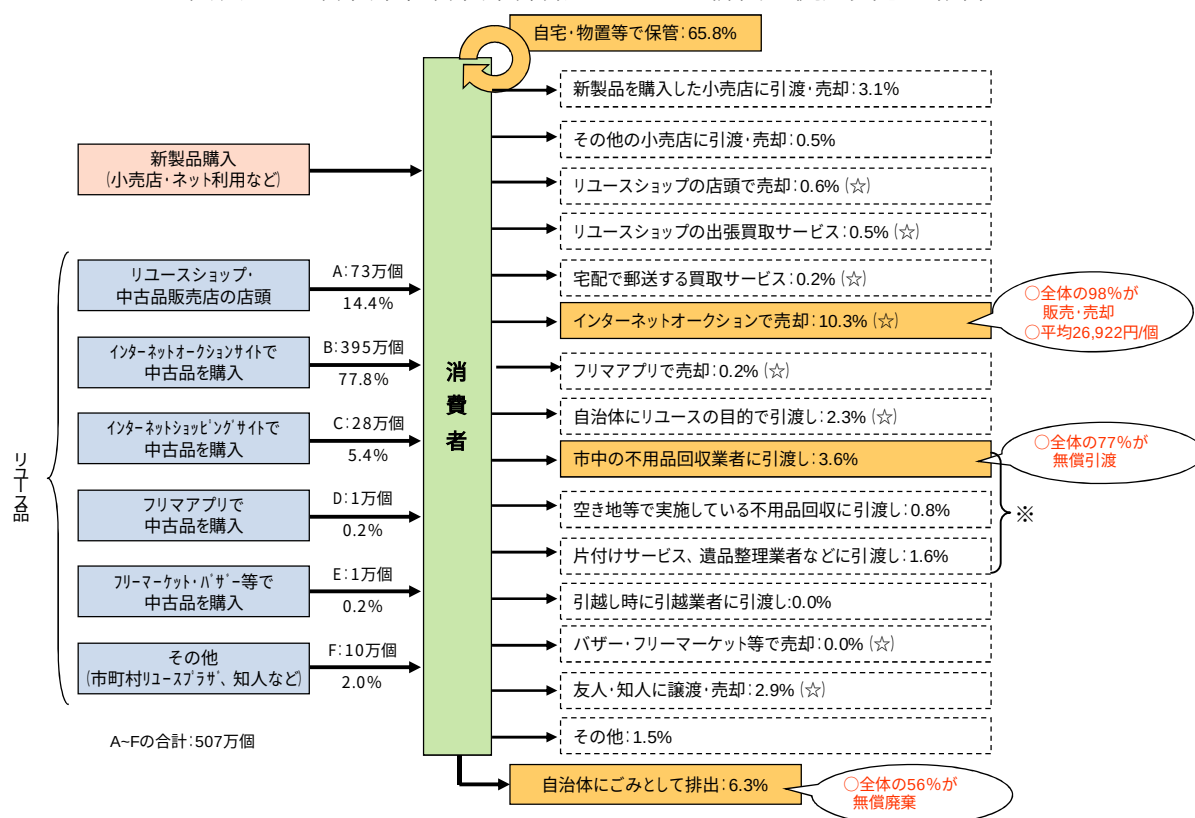
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自転車、自転車部品・パーツは507万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが77.8%、395万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が14.4%、73万個、「インターネットショッピングサイト」が5.4%、28万個と推計される。

また、過去1年間で不用となった自転車、自転車部品・パーツの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く65.8%、次いで「インターネットオークションで売却」が10.3%、「自治体にごみとして排出」が6.3%、「市内の不用品回収業者に引渡し」が3.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」では販売・売却が98%を占め、平均26,922円/個。「市内の不用品回収業者に引渡し」では全体の77%が無償引渡、「自治体にごみとして排出」でも56%が無償廃棄となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の17%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の51.2%を占めると推計される。

図表 64 自転車、自転車部品・パーツの排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされ则认为される排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

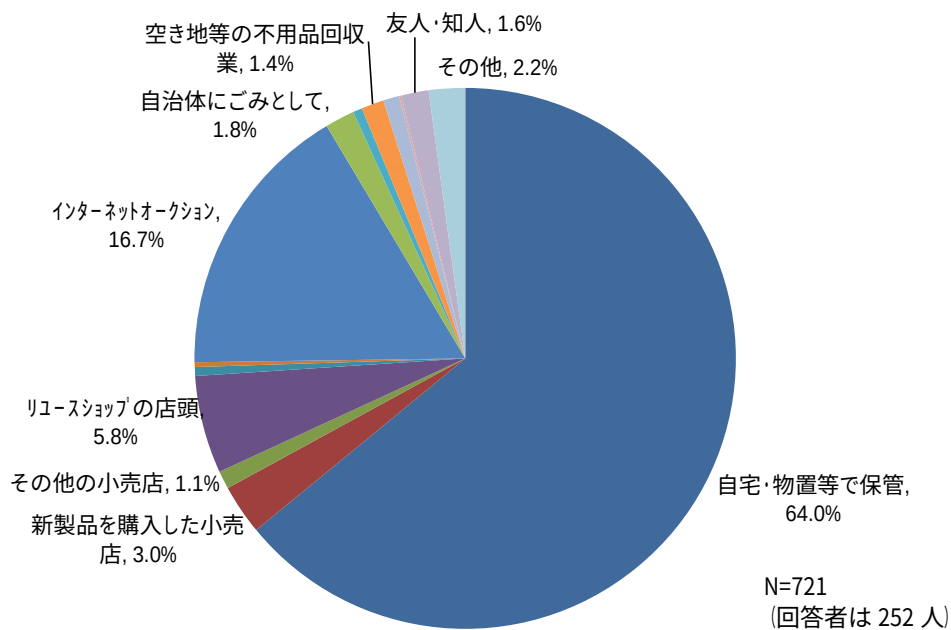
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

17. カー用品

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったカー用品の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったカー用品の個数は721個（252人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く64.0%、次いで「インターネットオークションで売却」が16.7%、「リユースショップの店頭で売却」が5.8%と続く。

図表 65 不用となったカー用品の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

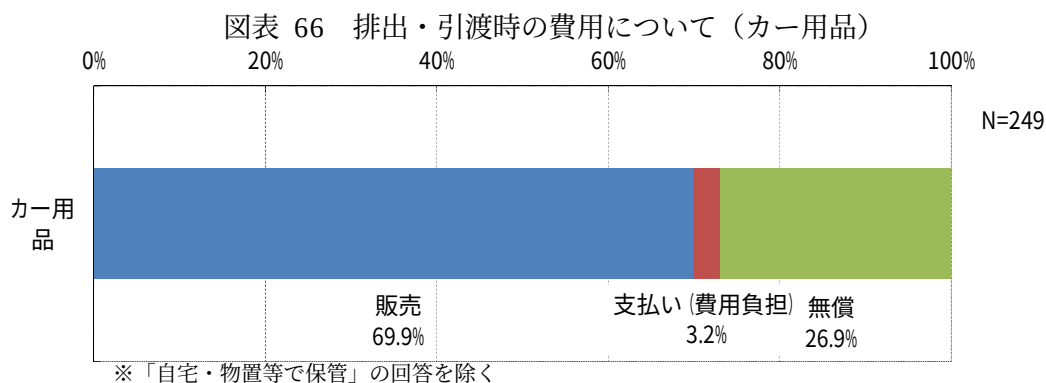
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

2) 不用品の排出における費用について

不用となったカー用品の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 69.9%、次いで「無償」が 26.9%、「支払い（費用負担）」は 3.2%となっている（図表 66）。また、「販売」の際の平均単価は 23,490 円/個、「支払い（費用負担）」は 3,325 円/個となっている（図表 67）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き、97.6%が「販売」（31,920 円/個）、「無償」が 2.4%となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 95.3%（4,437 円/個）、「無償」が 4.7%、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では「無償」が 63.6%、「販売」が 22.7%（2,600 円/個）、「支払い（費用負担）」が 13.6%（700 円/個）となっている。



図表 67 排出・引渡先別の割合・費用について（カー用品）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について(販売、処理、無償)							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	472	64.0%							472	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	22	3.0%	5	22.7%	2,600	3	13.6%	700	14	63.6%
その他の小売店に引渡し・売却	8	1.1%	3	37.5%	12,000	1	12.5%	500	4	50.0%
リユースショップの店頭で売却	43	5.8%	41	95.3%	4,437	—	—	—	2	4.7%
リユースショップの出張買取サービス	4	0.5%	3	75.0%	5,333	—	—	—	1	25.0%
宅配で郵送する買取サービス	2	0.3%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
インターネットオークションで売却	123	16.7%	120	97.6%	31,920	—	—	—	3	2.4%
フリマアプリで売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
自治体にごみとして廃棄	13	1.8%	—	—	—	1	7.7%	1,000	12	92.3%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	4	0.5%	—	—	—	—	—	—	4	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	10	1.4%	—	—	—	—	—	—	10	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	7	0.9%	—	—	—	2	28.6%	10,000	5	71.4%
引越時に引越業者に引渡し	1	0.1%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	12	1.6%	2	16.7%	5,000	1	8.3%	3,000	9	75.0%
その他	16	2.2%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	737	100.0%	174	24.1%	23,490	8	1.1%	3,325	539	74.8%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) カー用品の排出・流通実態の推計

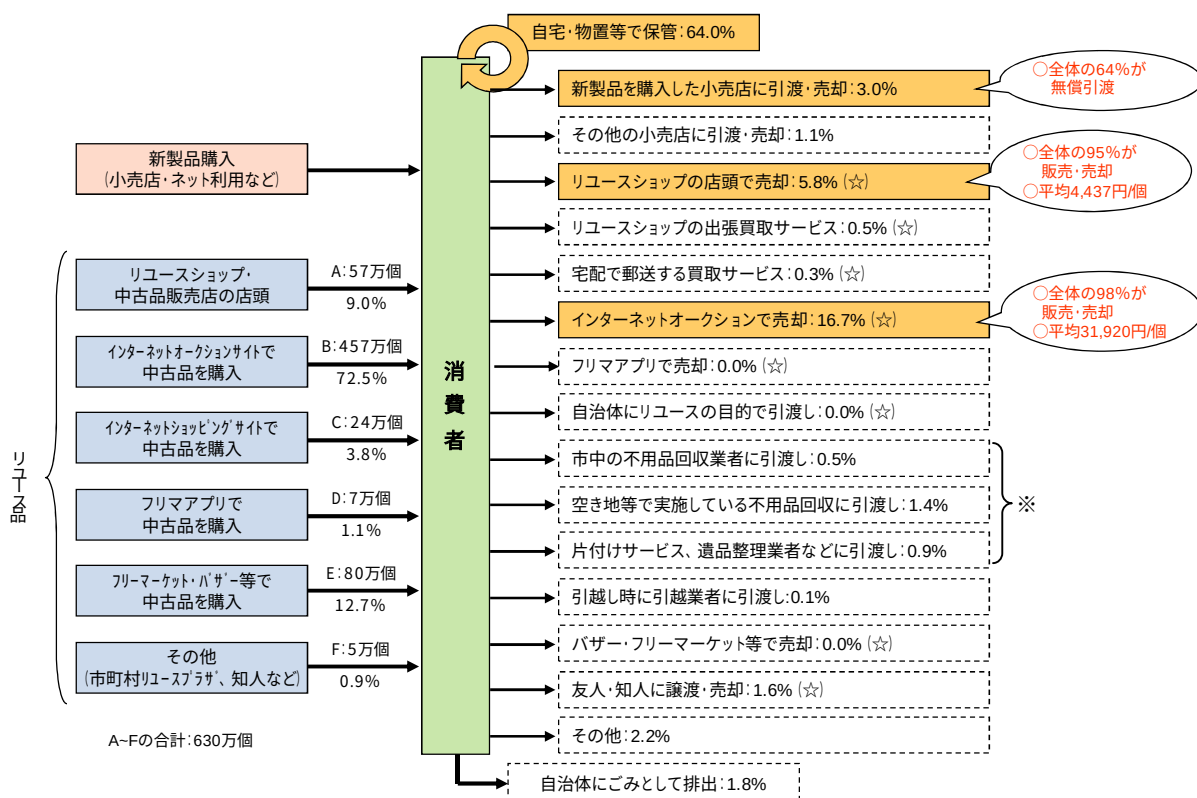
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したカー用品は630万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが72.5%、457万個、「フリーマーケット・バザー等で中古品を購入」が12.7%、80万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が9.0%、57万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったカー用品の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く64.0%、次いで「インターネットオークションで売却」が16.7%、「リユースショップの店頭で売却」が5.8%、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」が3.0%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」は98%が販売・売却であり、平均31,920円/個、「リユースショップの店頭で売却」では95%が販売・売却であり、平均4,437円/個、「新製品を購入した小売店に引渡・売却」では無償引渡しとなっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の25.0%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の73.9%を占めると推計される。

図表 68 カー用品の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

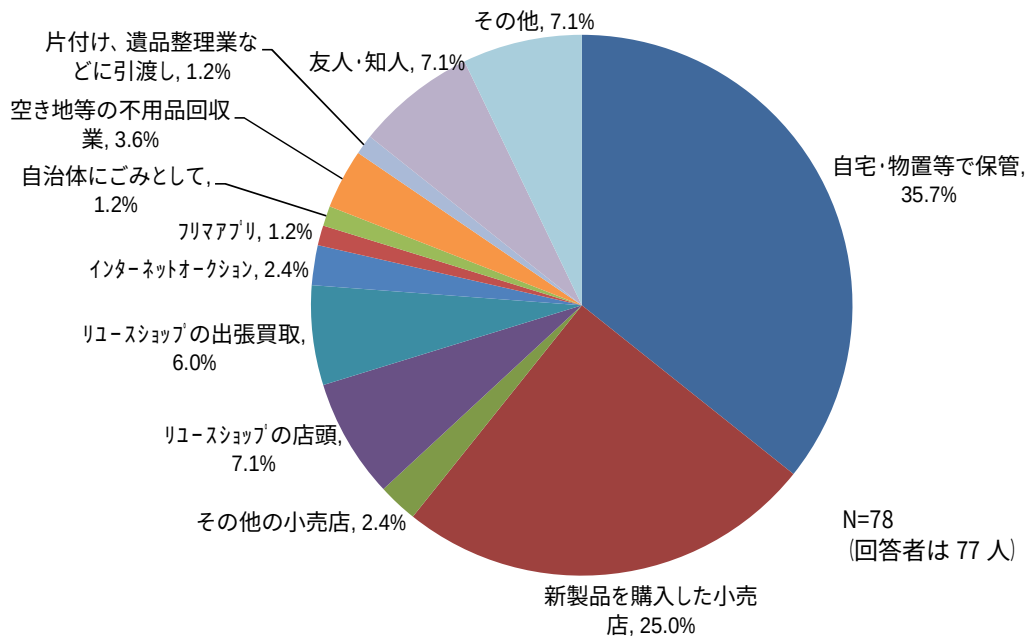
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

18. 自動車

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となった自動車の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となった自動車の台数は78台（77人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く35.7%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が25.0%、「リユースショップの店頭で売却」と「友人・知人に譲渡・売却」が共に7.1%と続く。

図表 69 不用となった自動車の排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。

※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

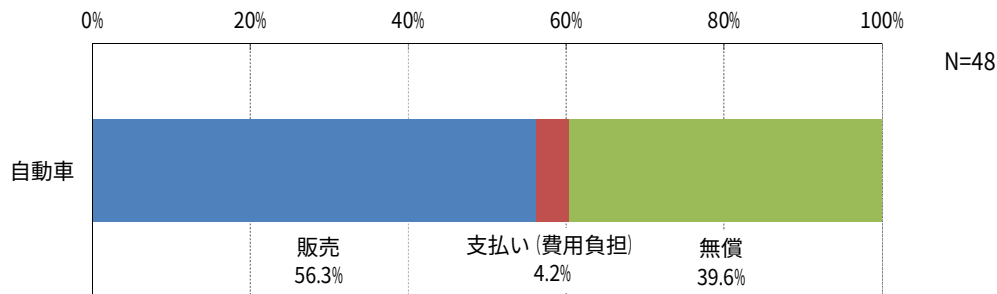
2) 不用品の排出における費用について

不用となった自動車の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 56.3%、次いで「無償」が 39.6%、「支払い（費用負担）」は 4.2%となっている（図表 70）。また、「販売」の際の平均単価は 319,267 円/個、「支払い（費用負担）」は 7,501 円/個となっている（図表 71）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が続く。「販売」が 76.2%（286,263 円/台）、「無償」が 23.8%、となっている。「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 66.7%（318,750 円/台）、「無償」が 16.7%、「支払い（費用負担）」が 16.7%（15,000 円/台）、「友人・知人に譲渡・売却」では「無償」が 83.3%、「販売」が 16.7%（100,000 円/台）となっている。

図表 70 排出・引渡時の費用について（自動車）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 71 排出・引渡先別の割合・費用について（自動車）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い(費用負担)			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	30	35.7%							30	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	21	25.0%	16	76.2%	286,263	—	—	—	5	23.8%
その他の小売店に引渡し・売却	2	2.4%	1	50.0%	30,000	—	—	—	1	50.0%
リユースショップの店頭で売却	6	7.1%	4	66.7%	318,750	1	16.7%	15,000	1	16.7%
リユースショップの出張買取サービス	5	6.0%	3	60.0%	711,667	1	20.0%	—	1	20.0%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	2	2.4%	2	100.0%	250,000	—	—	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	1	1.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
自治体にごみとして廃棄	1	1.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	3	3.6%	—	—	—	—	—	—	3	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	1	1.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	6	7.1%	1	16.7%	100,000	—	—	—	5	83.3%
その他	6	7.1%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	84	100.0%	27	34.6%	319,267	2	2.6%	7,501	49	62.8%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) 自動車の排出・流通実態の推計

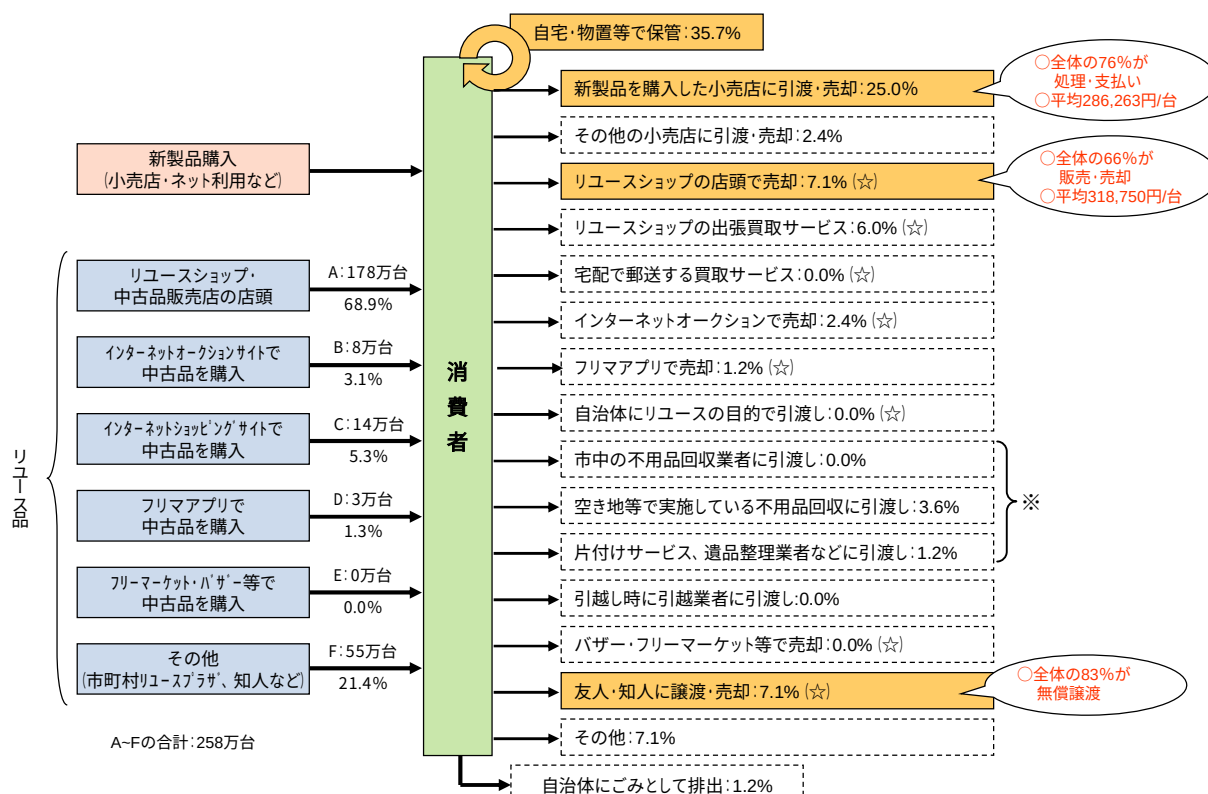
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手した自動車は 258 万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 68.9%、178 万台、「その他」が 21.4%、55 万台、「インターネットショッピングサイト」が 5.3%、14 万台と推計される。

また、過去1年間で不用となった自動車の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 35.7%、次いで「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」が 25.0%、「リユースショップの店頭で売却」「友人知人に譲渡・売却」がそれぞれ 7.1%と続く。

排出・引渡の費用は、「新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却」では販売・売却が 76%、平均 286,263 円/台、「友人知人に譲渡・売却」では全体の 83%が無償譲渡、「リユースショップの店頭で売却」では販売・売却が 66%、平均 318,750 円/台となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 23.8%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 39.6%を占めると推計される。

図表 72 自動車の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

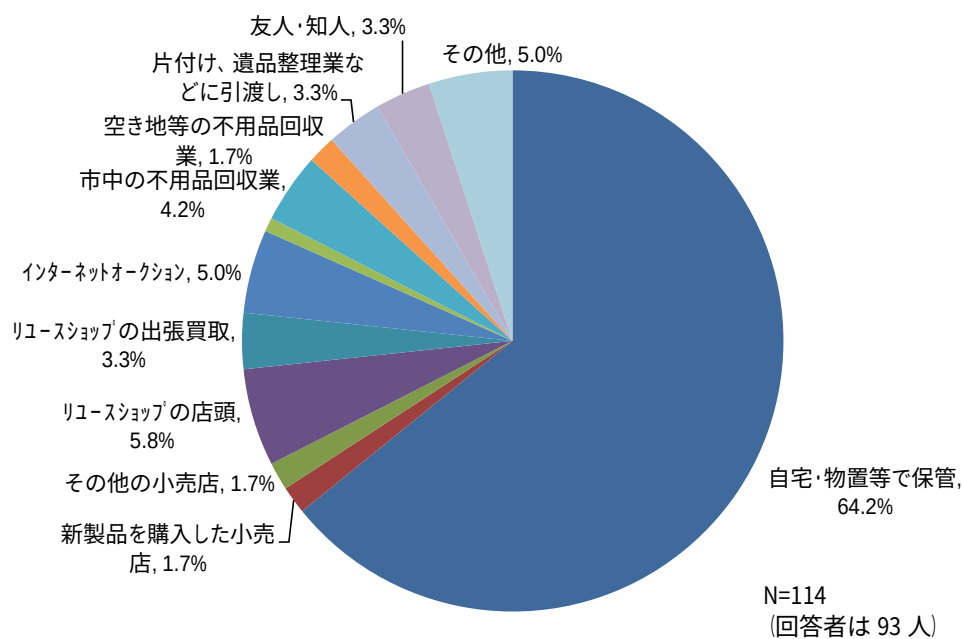
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

19. バイク、原付バイク

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったバイク・原付バイクの台数は114台（93人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く64.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が5.8%、「インターネットオークションで売却」が5.0%、と続く。

図表 73 不用となったバイク・原付バイクの排出先別の割合（台）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

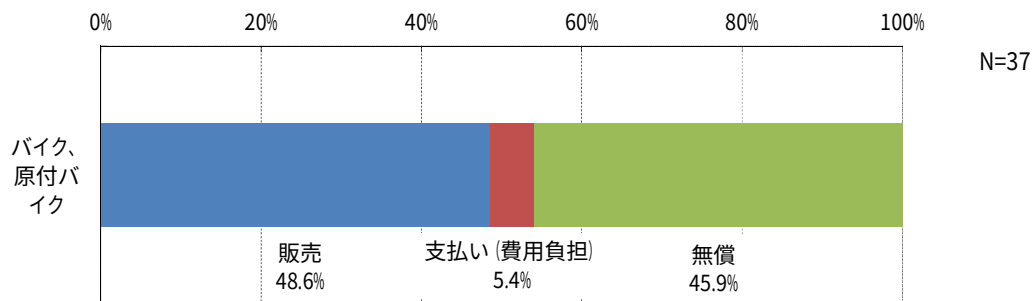
2) 不用品の排出における費用について

不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「販売」との回答が最も多く 48.6%、次いで「無償」が 45.9%、「支払い（費用負担）」は 5.4%となっている（図表 74）。また、「販売」の際の平均単価は 718,556 円/台、「支払い（費用負担）」は 1,500 円/台となっている（図表 75）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「リユースショップの店頭で売却」が続く、100%が「販売」（159,857 円/台）となっている。「インターネットオークションで売却」では「販売」が 100.0%（84,167 円/台）、「不用品回収業者に引渡し」では「支払い（費用負担）」が 20.0%（2,000 円/台）、「無償」が 80.0%、「リユースショップの出張買取サービス」では「販売」が 50.0%（5,452,500 円/台）、「無償」が 50.0%となっている。

図表 74 排出・引渡時の費用について（バイク・原付バイク）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 75 排出・引渡先別の割合・費用について（バイク・原付バイク）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
	個数	割合	(1) 販売			(2) 支払い (費用負担)			(3) 無償	
			個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	77	64.2%							77	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	2	1.7%	1	50.0%	330,000	—	—	—	1	50.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	1.7%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
リユースショップの店頭で売却	7	5.8%	7	100.0%	159,857	—	—	—	0	0.0%
リユースショップの出張買取サービス	4	3.3%	2	50.0%	5,452,500	—	—	—	2	50.0%
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	6	5.0%	6	100.0%	84,167	—	—	—	0	0.0%
フリマアプリで売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
自治体にごみとして廃棄	1	0.8%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	5	4.2%	—	—	—	1	20.0%	2,000	4	80.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	2	1.7%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	4	3.3%	—	—	—	1	25.0%	1,000	3	75.0%
引渡し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	4	3.3%	2	50.0%	37,500	—	—	—	2	50.0%
その他	6	5.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	120	100.0%	18	15.8%	718,556	2	1.8%	1,500	94	82.5%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計

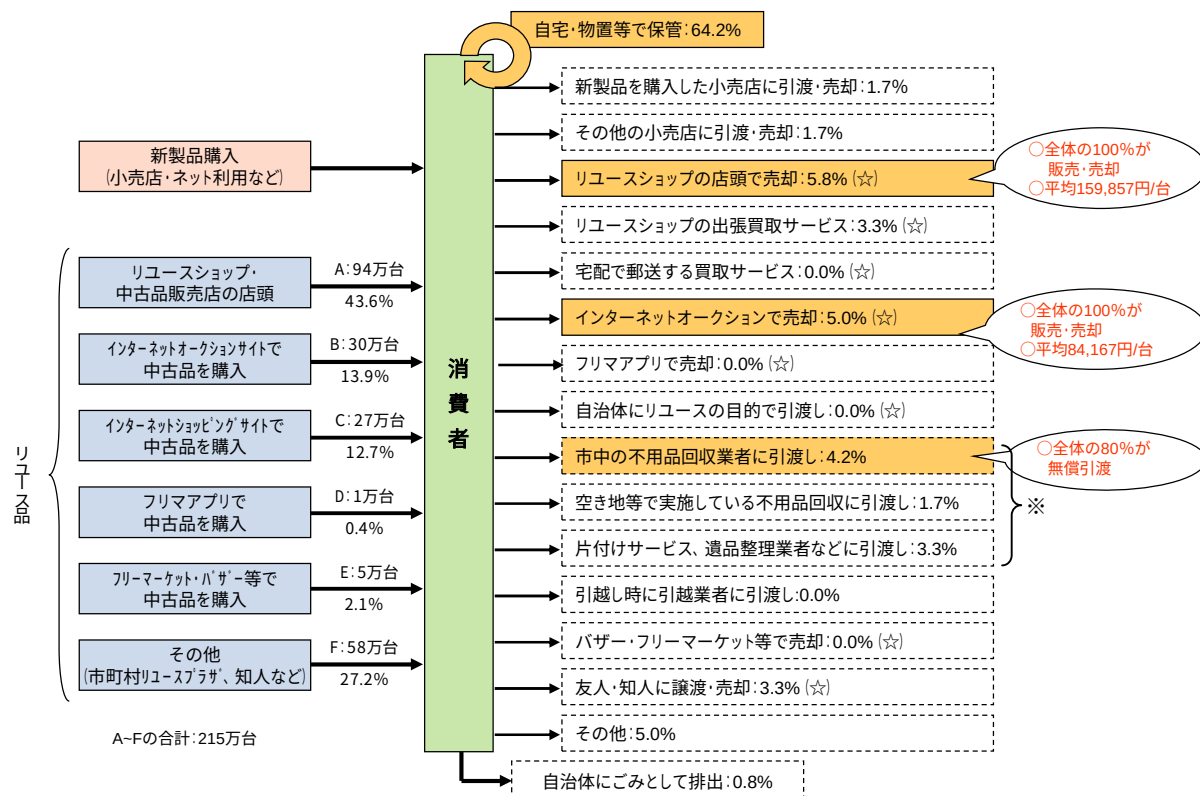
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したバイク・原付バイクは 215 万台、そのうち「リユースショップ・中古品販売店の店頭」で購入・入手したものが 43.6%、94 万台、「その他」が 27.2%、58 万台、「インターネットオークションサイト」が 13.9%、30 万台と推計される。

また、過去1年間で不用となったバイク・原付バイクの排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 64.2%、次いで「リユースショップの店頭で売却」が 5.8%、「インターネットオークションで売却」が 5.0%、「市内の不用品回収業者に引渡し」が 4.2%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」は 100%が販売・売却であり、平均 84,167 円/台、「リユースショップの店頭で売却」も販売・売却が 100%を占め、平均 159,857 円/台、「市内の不用品回収業者に引渡し」では 80%が無償引渡しとなる。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 17.5%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 56.8%を占めると推計される。

図表 76 バイク・原付バイクの排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

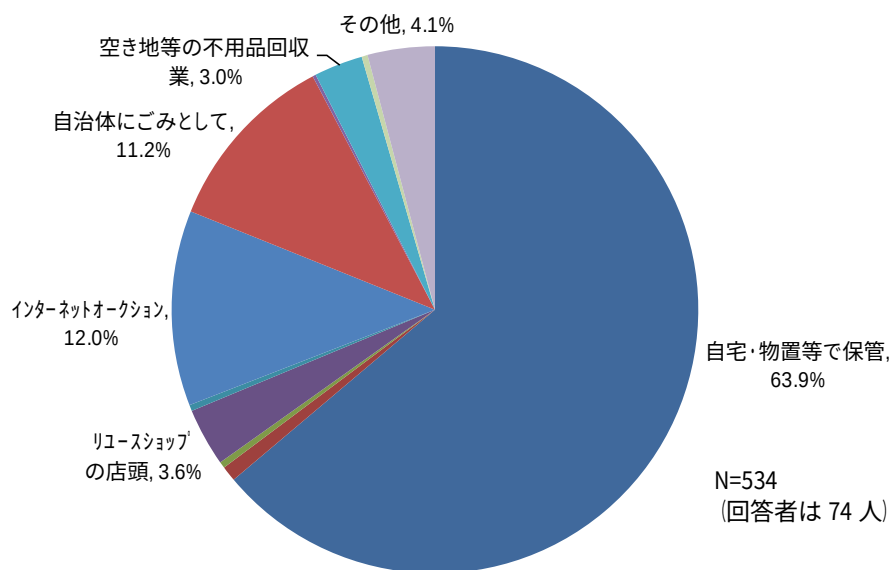
(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))

20. その他

1) 使用済製品・不用品の排出・流通実態について

不用となったその他の排出・引渡先について、消費者アンケートの集計結果を示す。アンケートで確認された過去1年に不用となったその他の個数は534個（74人からの回答）、排出・引渡先は「自宅・物置等で保管」が最も多く63.9%、次いで「インターネットオークションで売却」が12.0%、「自治体にごみとして廃棄」が11.2%と続く。

図表 77 不用となったその他の排出先別の割合（個）



※当該製品の排出・引渡先が1種類の回答のみを集計。
※構成比1%以上のものの凡例・数値を表示

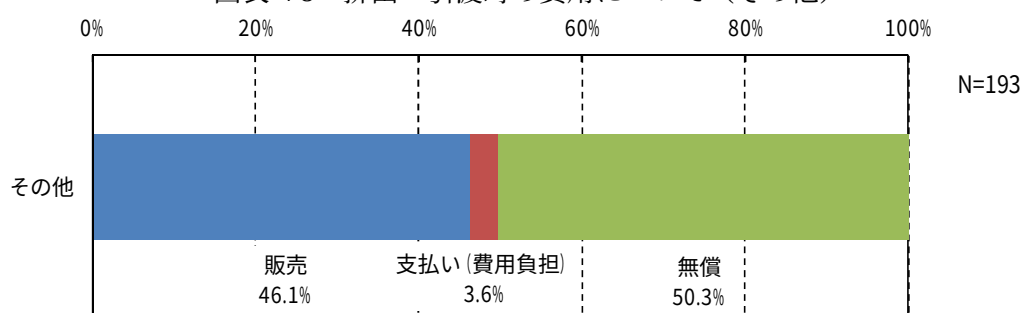
2) 不用品の排出における費用について

不用となったその他の排出・引渡時の費用について整理する。

「自宅・物置等で保管」の回答を除くと、「無償」との回答が最も多 50.3%、次いで「販売」が 46.1%、「支払い（費用負担）」は 3.6%となっている（図表 78）。また、「販売」の際の平均単価は 3,451 円/個、「支払い（費用負担）」は 1,589 円/個となっている（図表 79）。

排出・引渡先別に見ると、「自宅・物置等で保管」が最も多く、次いで「インターネットオークションで売却」が続き 100%が「販売」（3,594 円/個）となっている。「自治体にごみとして廃棄」では「無償」が 91.7%、「支払い（費用負担）」が 8.3%（524 円/個）、「リユースショップの店頭で売却」では「販売」が 100%（1,187 円/個）となっている。

図表 78 排出・引渡時の費用について（その他）



※「自宅・物置等で保管」の回答を除く

図表 79 排出・引渡先別の割合・費用について（その他）

	排出先別の引渡個数合計		排出先別の引渡時の費用について（販売、処理、無償）							
			(1) 販売			(2) 支払い（費用負担）			(3) 無償	
	個数	割合	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合	単価(円/個)	個数	割合
自宅・物置等で保管	341	63.9%							341	100.0%
新しい製品を購入した小売店に引渡し・売却	5	0.9%	4	80.0%	2,637	—	—	—	1	20.0%
その他の小売店に引渡し・売却	2	0.4%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
リユースショップの店頭で売却	19	3.6%	19	100.0%	1,187	—	—	—	—	—
リユースショップの出張買取サービス	2	0.4%	2	100.0%	22,000	—	—	—	—	—
宅配で郵送する買取サービス	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
インターネットオークションで売却	64	12.0%	64	100.0%	3,594	—	—	—	—	—
自治体にごみとして廃棄	60	11.2%	—	—	—	5	8.3%	524	55	91.7%
自治体にリユースの目的で引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
不用品回収業者に引渡し	1	0.2%	—	—	—	—	—	—	1	100.0%
空き地等で実施している不用品回収に引渡し	16	3.0%	—	—	—	—	—	—	16	100.0%
片付けサービス、遺品整理業者などに引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
引越し時に引越業者に引渡し	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
バザー・フリーマーケット等で売却	0	0.0%	—	—	—	—	—	—	—	—
友人・知人に譲渡・売却	2	0.4%	—	—	—	—	—	—	2	100.0%
その他	22	4.1%	—	—	—	2	9.1%	4,250	20	90.9%
合計	534	100.0%	89	16.7%	3,451	7	1.3%	1,589	438	82.0%

※販売単価、処理単価はいずれも加重平均より算出

3) その他の排出・流通実態の推計

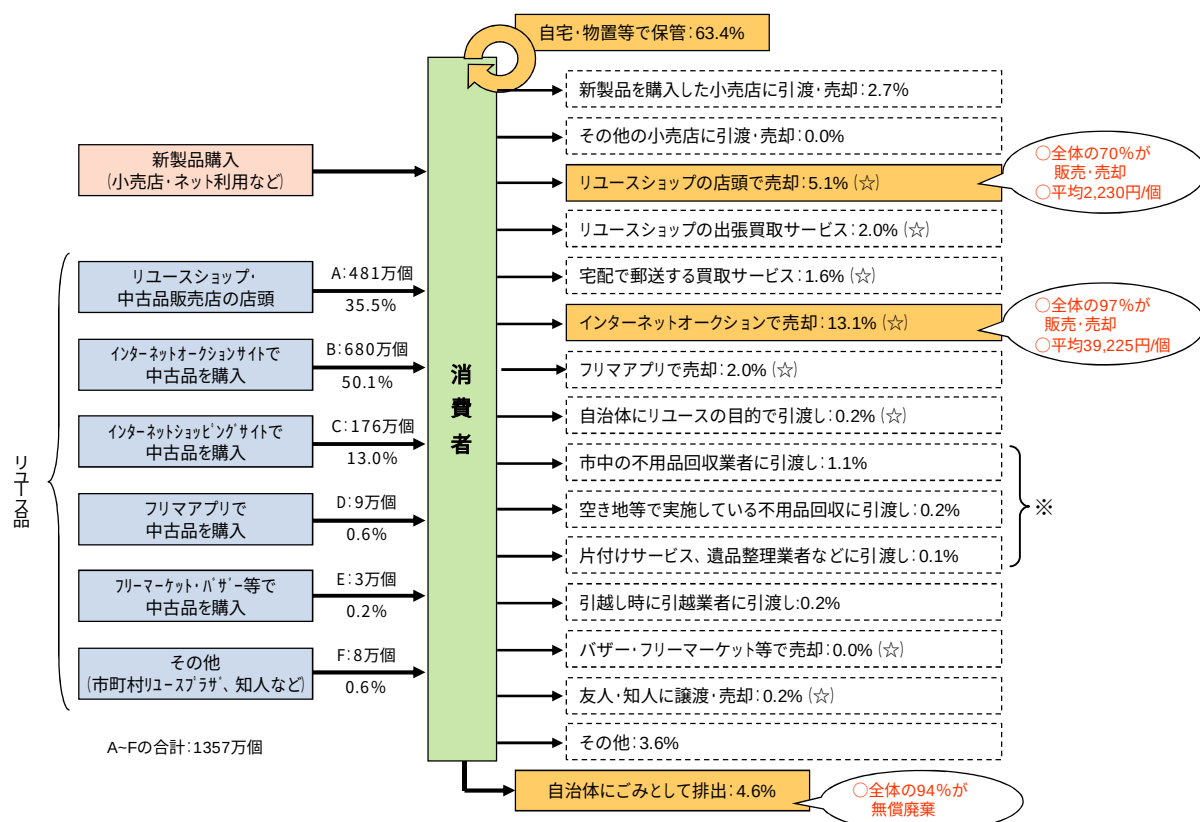
ここまでの結果を整理する。過去1年間に中古品として消費者が購入・入手したその他は 1,357 万個、そのうち「インターネットオークションサイト」で購入・入手したものが 50.1%、680 万個、「リユースショップ・中古品販売店の店頭」が 35.5%、481 万個、「インターネットショッピングサイト」が 13.0%、176 万個と推計される。

また、過去1年間で不用となったその他の排出・引渡について、「自宅・物置等で保管」が最も多く 63.4%、次いで「インターネットオークションで売却」が 13.1%、「リユースショップの店頭で売却」が 5.1%、「自治体にごみとして排出」が 4.6%と続く。

排出・引渡の費用は、「インターネットオークションで売却」97%が販売・売却であり、平均 39,225 円/個、「リユースショップの店頭で売却」では 70%が販売・売却であり、平均 2,230 円/個、「自治体にごみとして排出」は 94%無償廃棄となっている。

排出されたものの多くがリユース市場に流通すると考えられるもの(図表中の☆の排出先の合計)は、全体の 24.2%、「自宅・物置等で保管」及び「その他」を除き割合を求めると全体の 73.3%を占めると推計される。

図表 80 その他の排出・流通実態の推計



注) 図表中の8つの☆、「リユースショップの店頭で売却」「リユースショップの出張買取サービス」「宅配で郵送する買取サービス」「インターネットオークションで売却」「フリマアプリで売却」「自治体にリユースの目的で引渡し」「バザー・フリーマーケット等で売却」「友人・知人に譲渡・売却」については、その多くがリユースされると考えられる排出先。

注) 図表中の※印について、これらの業態の中には、違法な廃棄物回収を行っている事業者も存在することに注意。

(詳細は、環境省ウェブサイト参照 (<https://www.env.go.jp/recycle/kaden/tv-recycle/qa.html>))